

平成20年度 保育園サービス第三者評価事業

報告書

平成21年3月

杉並区

目 次

はじめに

第1部 利用者調査

調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査対象者.....	1
3 調査方法.....	1
4 調査期間.....	1
5 利用者調査票の配布・回収状況.....	1
6 調査項目の構成.....	3
7 報告書の見方.....	3
全体の調査結果.....	4
1 回答者の属性.....	4
2 総合的な満足度.....	6
3 毎日の保育サービスについて.....	8
4 お子さんや保護者の尊重について.....	10
5 要望・意見やトラブルへの対応について.....	12
6 利用(入園)前の保育園の対応について.....	13
7 クロス集計結果.....	14
8 自由意見(保育園に対して日頃感じていること・要望).....	16
各保育園の利用者調査結果.....	17

第2部 事業評価

評価の概要.....	71
1 評価の概要.....	71
2 評点のつけ方.....	71
3 訪問調査とフィードバック.....	72
各保育園の評価結果報告書.....	73

【巻末】

付属資料1: 杉並区立保育園 利用者調査 調査票

付属資料2: 経営層合議シート(事業プロフィール・組織マネジメント・サービス分析)

付属資料3: 職員用シート(組織マネジメント・サービス分析)

はじめに

保育園サービス第三者評価は、第三者からみた保育園のサービスの評価結果を幅広く利用者や保育園に情報提供することにより、サービス内容を利用者に明らかにするとともに公立保育園におけるサービスの質の向上に向けた取り組みを促し、利用者本位のサービスシステムの構築を目的として行うものである。

評価対象：杉並区立の次の13保育園を対象としている。

	保 育 園 名	利用世帯数	備 考
1	杉並保育園	74	延長
2	上高井戸保育園	36	
3	高井戸保育園	80	9週・延長
4	大宮前保育園	65	
5	大宮保育園	78	9週・延長
6	本天沼保育園	78	8ヶ月・延長
7	荻窪南保育園	71	障害
8	高井戸東保育園	81	8ヶ月・延長
9	松ノ木保育園	74	
10	阿佐谷北保育園	89	8ヶ月・障害
11	久我山保育園	86	8ヶ月・延長
12	浜田山保育園	89	9週・延長
13	今川保育園	78	8ヶ月・延長・障害
	合 計	979	

備考欄の9週 9週目以上の園、8ヶ月 8ヶ月以上の園、記載なし 1歳以上の園、延長 延長保育実施園、障害 障害児保育実施園

評価機関：ひょう株式会社

(東京都福祉サービス第三者評価機関 認証番号：機構07-173)

評価者：評価者11名の修了者番号は以下の通りである。

No . H0302007、No . H0302024、No . H0302026、No . H0401054、No . H0401084、
No . H0403050、No . H0405013、No . H0501039、No . H0501052、No . H0501071、
No . H0502002

評価の流れ

	内 容	時期・期間
1	関係者説明会	平成 20 年 9 月
2	利用者調査票配布（利用者調査）	平成 20 年 10 月
3	経営層自己評価票作成（事業評価）	平成 20 年 10 月
4	職員自己評価票作成（事業評価）	平成 20 年 10 月
5	訪問調査 利用者調査・事業評価結果報告	平成 20 年 11 月～12 月
6	評価結果のフィードバック	平成 21 年 2 月

第 1 部 利用者調査

調査の概要

1 調査の目的

実際に杉並区立保育園を利用されている保護者の方が、日常の保育サービスに対して感じていること、また意見や要望について把握することを目的とする。

2 調査対象者

13 保育園の利用者(保護者)を対象とした。(複数のお子さんを預けている場合は、一番年齢の低いお子さんのことについて回答。)

3 調査方法

無記名のアンケート方式で実施した。園より保護者全員にアンケート票を手渡しで配布し、回収については、園を介さず直接評価機関へ郵送する方法で行った。

4 調査期間

平成 20 年 10 月 10 日～平成 20 年 10 月 31 日

5 利用者調査票の配布・回収状況

全世帯に配布し、13 園の回収率は 59.6%～82.7%、平均有効回収率は 68.2%である。

	保 育 園 名	配布数	回収数	回収率
1	杉並保育園	74	54	73.0%
2	上高井戸保育園	36	26	72.2%
3	高井戸保育園	80	50	62.5%
4	大宮前保育園	65	47	72.3%
5	大宮保育園	78	53	67.9%
6	本天沼保育園	78	49	62.8%
7	荻窪南保育園	71	51	71.8%
8	高井戸東保育園	81	67	82.7%
9	松ノ木保育園	74	52	70.3%
10	阿佐谷北保育園	89	53	59.6%
11	久我山保育園	86	56	65.1%
12	浜田山保育園	89	56	62.9%
13	今川保育園	78	54	69.2%
	合 計	979	668	68.2%

(参考：標本誤差)

調査結果の比率から母集団(対象世帯全体)の傾向を推測するには、統計上の誤差(標本誤差)を考慮する必要がある。N(母集団)に 979 人、n(回答者数)に 668 人をあてはめて算出すると、以下の表の通りである。知りたい設問の回答率に誤差(±1.3~±2.1)をあてはめて母集団の傾向を推測することになる。

回答率	標本誤差
10%	± 1.3
20%	± 1.7
30%	± 2.0
40%	± 2.1
50%	± 2.1
60%	± 2.1
70%	± 2.0
80%	± 1.7
90%	± 1.3

$$\text{標本誤差 (信頼度 95\%)} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(100 - P)}{n}}$$

N = 母集団数(対象人口)

n = 比率算出の基数(回答者数)

P = 回答の比率

「標本誤差」とは、全体(母集団)から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。本調査は標本調査ではないが、全体と回答者数に差が生じているため、参考として誤差を算出した。信頼度 95%の計算式を今回の調査にあてはめて算出したのが、上記の表である。例えば、ある設問の選択肢の回答比率が 70%であった場合「全体からの回収があったとしても、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.0%以内(68.0~72.0%)である」とみることができる。

6 調査項目の構成

調査票は、回答者の属性のほかに、園の様子について（16問）と、総合的な感想（1問）で構成されている。（調査票は巻末の付属資料1を参照）



今年度は、第三者評価の標準的な調査項目に杉並区独自の項目を加えている。追加した項目は以下の通りである。

問9 友達とのふれあいなど、人とのかかわり方の基礎が育てられていると思いますか

7 報告書の見方

回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で表示してある。

百分率は小数第二位を四捨五入してあるため、比率の合計が100%にならない場合がある。

作図・表の都合上、設問や回答の選択肢を要約している場合がある。

全体の調査結果

1 回答者の属性

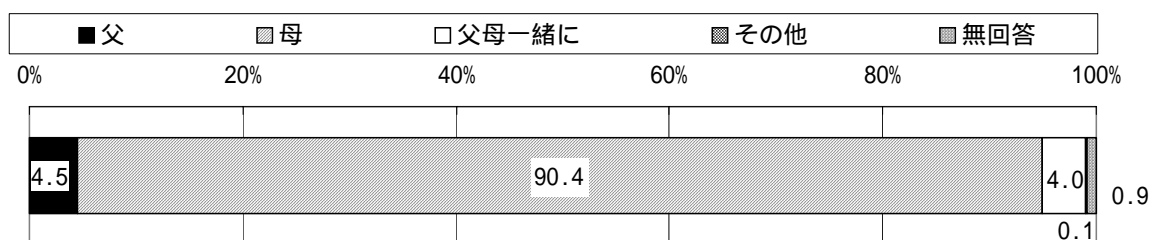
調査票の記入者 668 人の約 9 割は母親である。

回答者の年齢構成をみると、35～39 歳が 4 割弱（38.0%）、30～34 歳が 3 割強（32.2%）となっており、30 代が全体の約 7 割を占めている。40 代が 2 割強（22.8%）、20 代は 6.0% という結果である。

勤務形態をみると、父親の 76.2%、母親の 63.5% がフルタイム（常勤）である。なお、母親の 18.7% はパート、アルバイト勤務である。

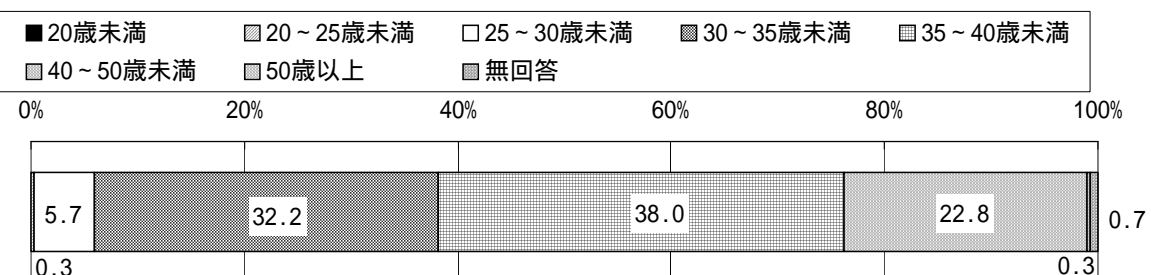
調査票の記入者

	選択肢	回答者数	%
1	父	30	4.5
2	母	604	90.4
3	父母一緒に	27	4.0
4	その他	1	0.1
	無回答	6	0.9
	全体	668	100.0



記入者の年齢

	選択肢	回答者数	%
1	20 歳未満	0	0.0
2	20～25 歳未満	2	0.3
3	25～30 歳未満	38	5.7
4	30～35 歳未満	215	32.2
5	35～40 歳未満	254	38.0
6	40～50 歳未満	152	22.8
7	50 歳以上	2	0.3
	無回答	5	0.7
	全体	668	100.0

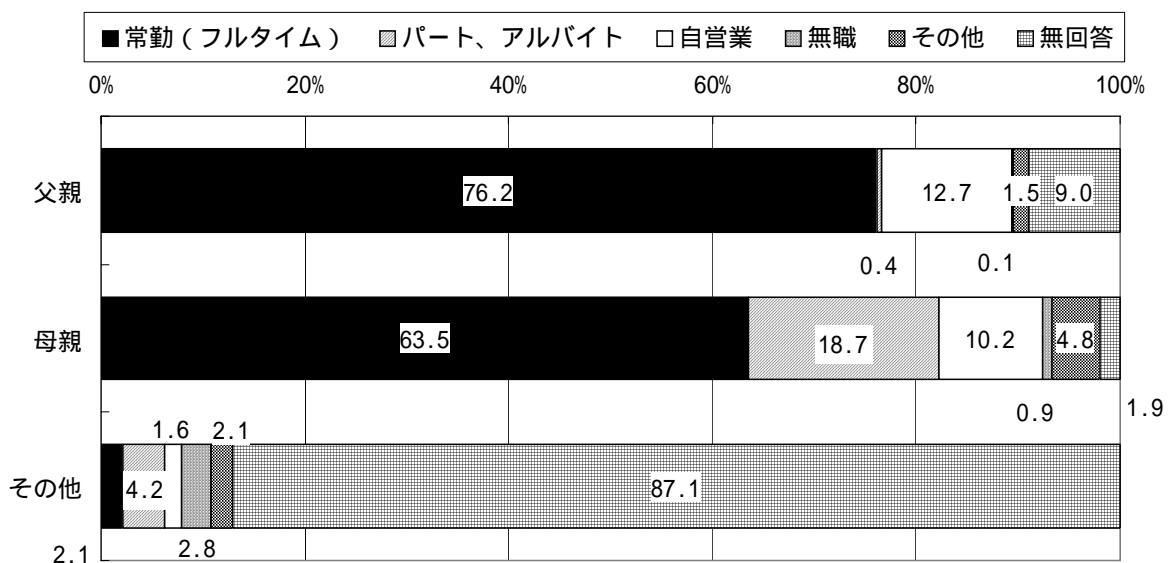


保護者の勤務形態

父親	選択肢	回答者数	%
1	常勤(フルタイム)	509	76.2
2	パート、アルバイト	3	0.4
3	自営業	85	12.7
4	無職	1	0.1
5	その他	10	1.5
	無回答	60	9.0
	全体	668	100.0

母親	選択肢	回答者数	%
1	常勤(フルタイム)	424	63.5
2	パート、アルバイト	125	18.7
3	自営業	68	10.2
4	無職	6	0.9
5	その他	32	4.8
	無回答	13	1.9
	全体	668	100.0

その他	選択肢	回答者数	%
1	常勤(フルタイム)	14	2.1
2	パート、アルバイト	28	4.2
3	自営業	11	1.6
4	無職	19	2.8
5	その他	14	2.1
	無回答	582	87.1
	全体	668	100.0

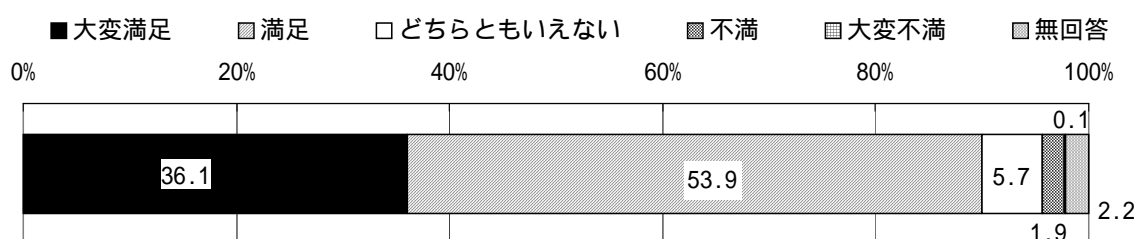


2 総合的な満足度

現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか。(1つに)

「大変満足」が4割弱(36.1%)、「満足」が5割強(53.9%)となっており、これらを合計した“園に概ね満足している”と感じる人は、回答者の9割を占めている。一方、「不満」、「大変不満」をあわせても1割に達せず、特に強い不満を感じる人はごくわずかである。

総合的な感想(満足度)



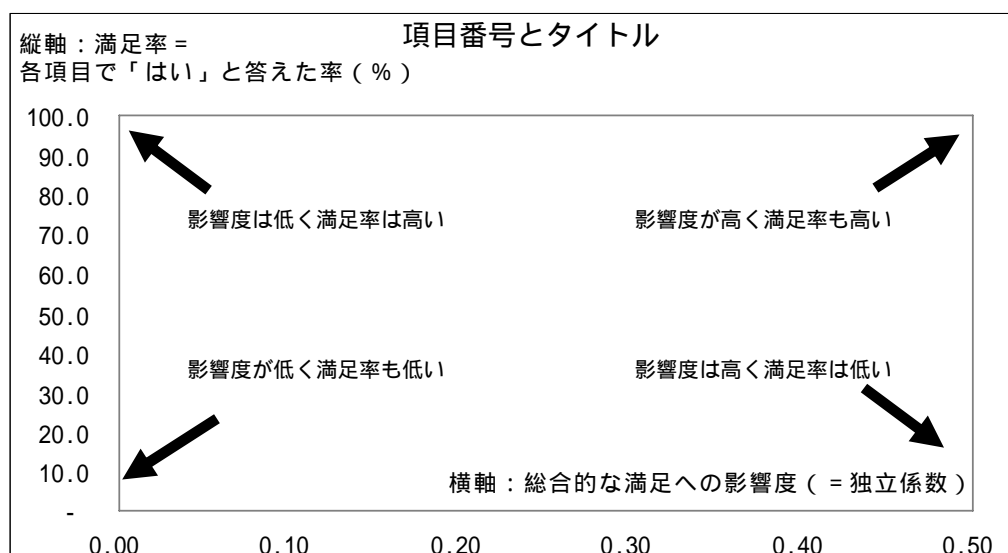
(満足影響度について)

満足影響度とは、総合的な満足度(1 大変満足、2 満足、3 どちらともいえない、4 不満、5 大変不満)と1~16の各項目(1 はい、2 どちらともいえない、3 いいえ)との相対的な関係を表したものである。

各項目が園の総合的な満足度とどのような関係(影響が強いのか弱いのか)にあるのかがわかり、満足度をあげるために取り組むべきことについて、優先順位付けを検討する際の手がかりとなるものである。影響度は、最小0.0~最大1.0の独立係数であらわされ、0.3以上は影響がある、0.4以上は強い影響がある、0.6以上は非常に強い影響がある、という整理をしている。

毎日の保育サービス、お子さんや保護者の尊重、要望・意見や不満・トラブルへの対応、利用前の保育園の対応などの分野ごとに、満足率(各項目に「はい」と答えた率)とあわせて独立係数(影響度)を掲載した。各項目の分布する位置による満足率と影響度の考え方は、以下の通りとなっている。

満足影響度グラフの見方



(満足率・独立係数一覧)

分野	項目名	満足率	独立係数
毎日の保育サービス	1. 食事(給食)・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか	86.98	0.206
	2. 戸外遊びの機会は十分ですか	86.53	0.222
	3. 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか	75.45	0.195
	4. 保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか	86.83	0.252
	5. 安全対策が十分取られていると思いますか	62.72	0.301
	6. 保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか	66.17	0.193
	7. お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができますか	86.23	0.375
	8. 保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか	83.23	0.382
	9. 友達とのふれあいなど、人との関わり方の基礎が育てられていると思いますか	92.07	0.239
	平均	80.69	0.263
お子さんや保護者の尊重	10. 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー(秘密)を守っていますか	78.14	0.295
	11. お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	90.72	0.353
	12. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか	85.93	0.261
	平均	84.93	0.303
要望・意見や不満・トラブルへの対応	13. 要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか	52.54	0.316
	14. 保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	60.78	0.377
	15. 要望や不満があったとき、第三者委員(保育所外の苦情解決相談員)などにも相談できることを知っていますか	25.90	0.088
	平均	46.41	0.260
利用前の保育園の対応	16. 保育園から受けた説明はわかりやすかったですか	82.39	0.258
全平均		73.54	0.251

3 毎日の保育サービスについて

保育や遊びの様子、病気やけがへの対応、保護者と保育園の信頼関係など“毎日の保育サービス”について保護者が感じていることは次の通りである。

9割を超える回答者が「9.人とのかかわり方の基礎が育てられている」と回答しており、友達や保育士とのふれあいの中で、子どもはあいさつや遊びの中にあるルールなどを身につけている様子が認められている。また、「1.食事・おやつなど」、「2.戸外遊びの機会」など毎日の保育園での生活、「4.発熱や怪我などの処置、保護者への連絡等」、「7.お子さんについて職員と相談できる」、「8.職員の聞く姿勢」など保護者と園の信頼関係に対する項目についても、8割を大きく超える回答者が満足している結果である。

一方、「6.保護者が参加しやすい行事日程」への満足率は7割を下回っており、保護者の多様な就業状況の中、園の行事への参加が容易とはいえない状況がうかがえる。行事日程の早めの周知や日程決定の経緯を明らかにすることなどで、参加しやすいと感じる人を増やすことは可能ではないか。

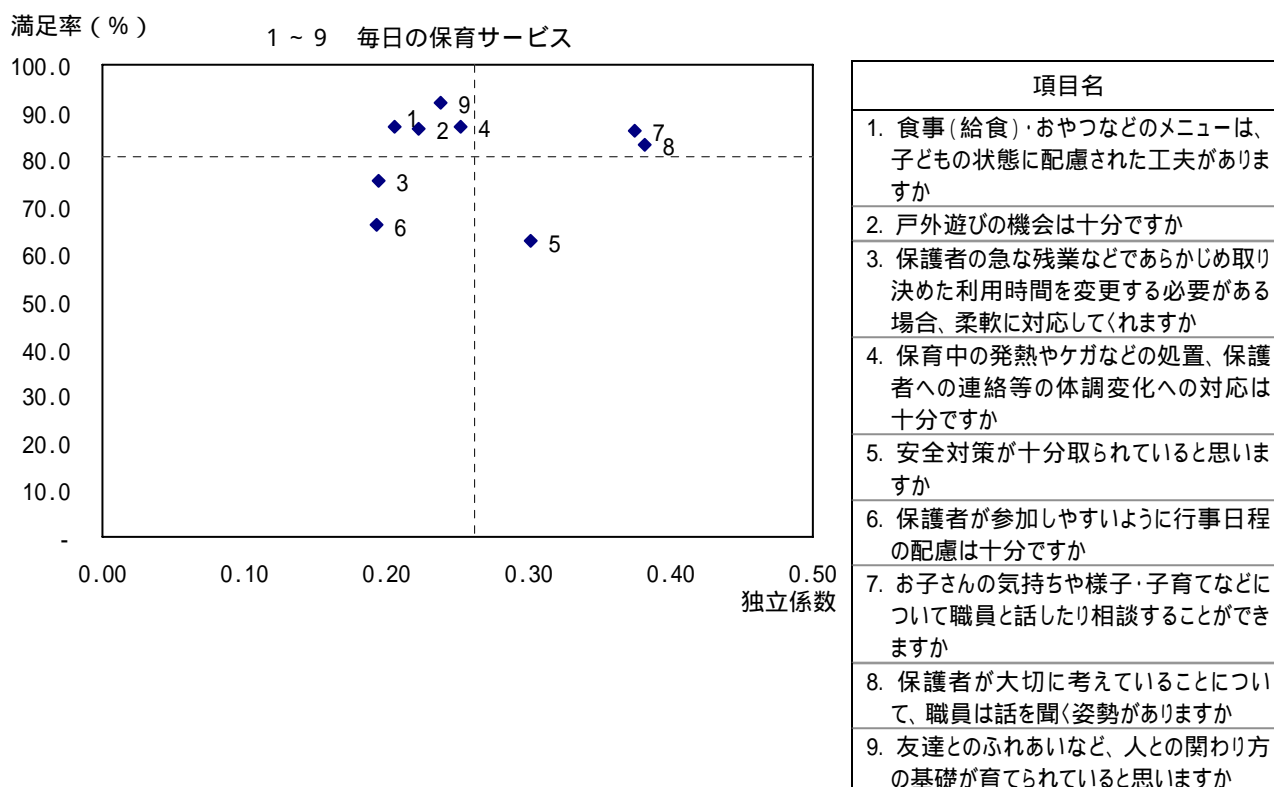
また、「5.安全対策が十分取られている」についても満足率は6割強にとどまり、記述回答には園舎の耐震性や不審者対策、遊具の安全性などへの関心の高さもあらわれている。

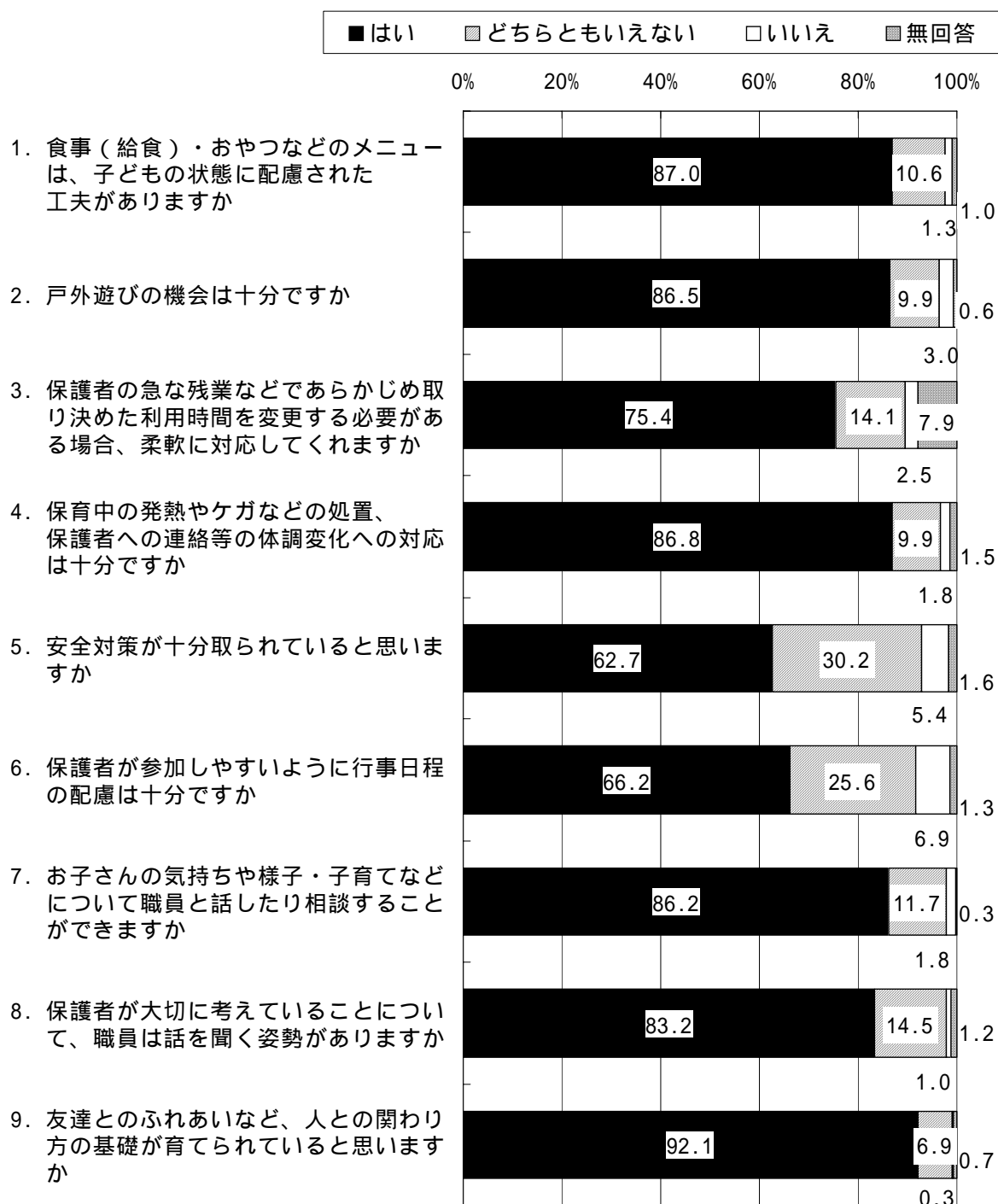
なお、「3.保護者の急な変更への柔軟な対応」に満足する人は約4分の3を占めるが、保育園によって延長スポット保育の実施状況が異なることなどから、園による満足率の違いが大きい項目である。

【満足影響度】

園の総合的な満足度には、項目8、7、5（影響の強い順）が影響を与えている。保護者と園の信頼関係や安全対策に満足している人は、園の総合的な満足度も高いことがうかがえる。

毎日の保育サービス（満足率平均 80.69%、独立係数平均 0.263）





4 お子さんや保護者の尊重について

利用者のプライバシー保護や職員の礼儀正しさなど、“ お子さんや保護者の尊重 ” について保護者が感じていることは次の通りである。

9割を超える回答者が「11.おさんは保育園で大切にされている」ことを肯定的にとらえており、子どもの成長の様子や表情を通して、保護者にも子どもが園で大切にされていることが理解されている。また、「12.職員は礼儀正しく丁寧に対応している」ことを肯定的にとらえる率も8割を大きく超え、保育士をはじめとする職員の対応に概ね満足している様子がうかがえる。

一方、「10.職員はプライバシー（秘密）を守っている」という率は8割を下回る。しかし、否定的な回答が多いわけではなく、保護者には具体的な取り組みが伝わっていないという背景が推察される。園では個人情報保護法に則り、子どもや保護者の個人情報が掲載された書類等の適正な管理、園に出入りするボランティアや実習生などに対する守秘義務指導の徹底、園内での写真やビデオの撮影のルールづくりなどを進めていることから、このような取り組みの周知がこの項目の肯定的な回答率をあげる一因となると思われる。

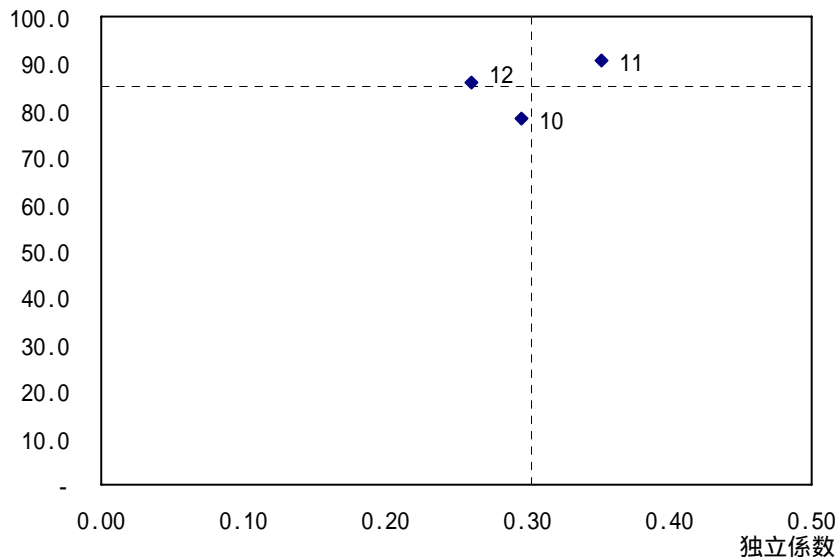
【満足影響度】

園の総合的な満足度には、項目11が影響を与えている。

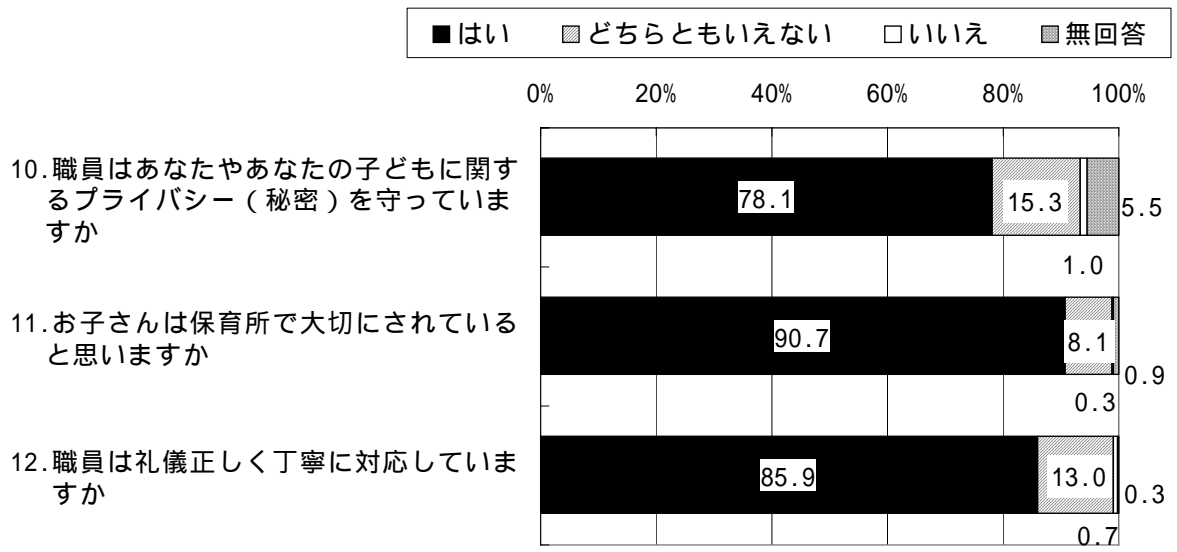
お子さんや保護者の尊重 (満足率平均 84.93%、独立係数平均 0.303)

満足率 (%)

10~12 お子さんや保護者の尊重



項目名
10.職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー（秘密）を守っていますか
11.おさんは保育所で大切にされていると思いますか
12.職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか



5 要望・意見やトラブルへの対応について

要望や不満などを言いやすい雰囲気、意見を聞き入れる園の体制、トラブルが起きた際の対応など“要望・意見や不満・トラブルへの対応”について保護者が感じていることは次の通りである。

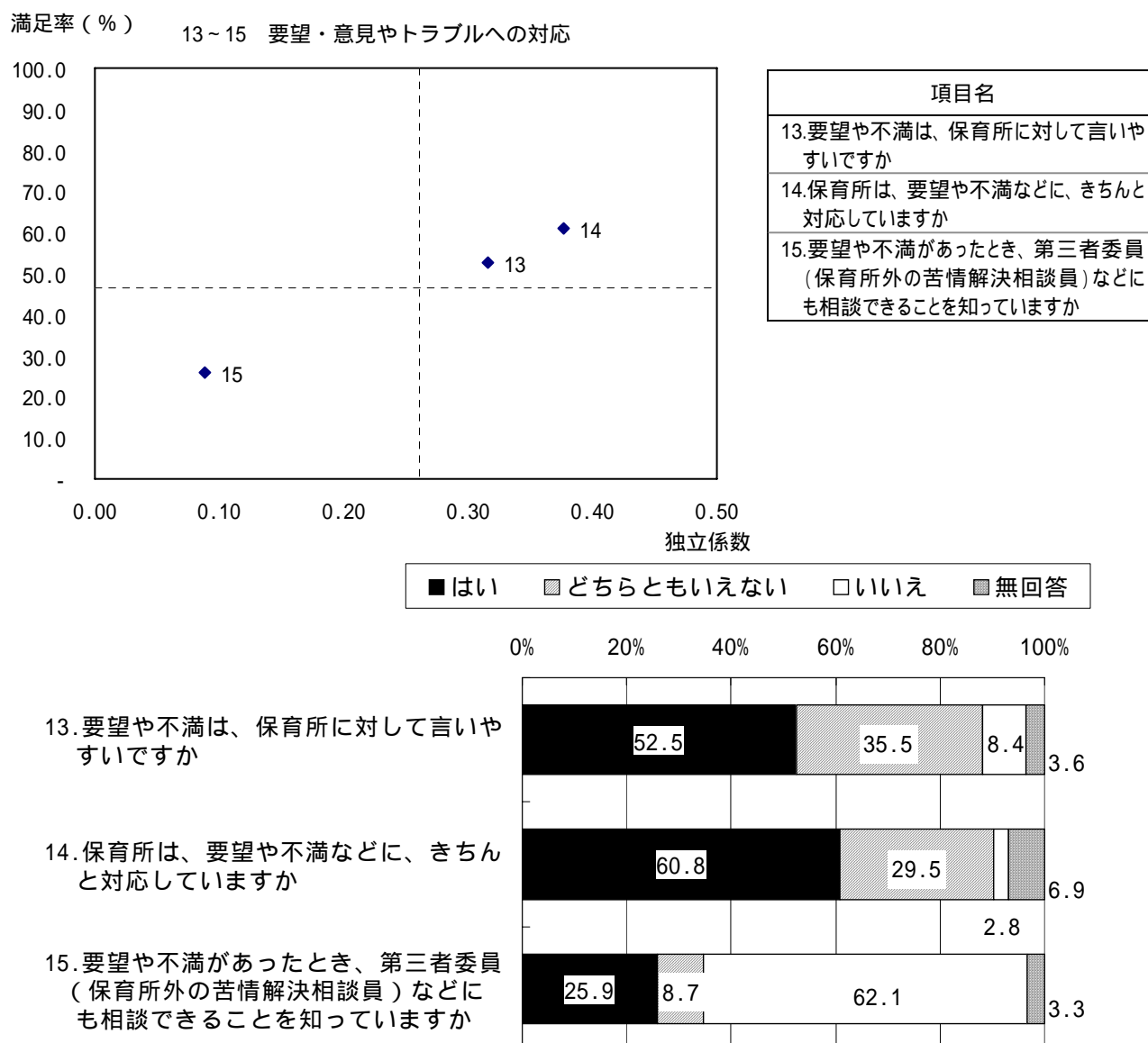
肯定的な率をみると「13. 要望や不満は言いやすい」は5割強、「14. 要望や不満などにきちんと対応している」は6割強にとどまり、“保育サービス”や“利用者の尊重”と比較すると肯定的な回答は低くとどまる傾向となっている。いずれも「どちらともいえない」とする人の割合が3割ほどを占め、保護者の感じ方も一様ではないことがうかがえる。

「15. 第三者委員に相談できること」を知っている人は全体の4分の1にとどまる。いずれの園もポスターなどの掲示などは行っており、引き続きの周知活動が必要といえる。

【満足影響度】

園の総合的な満足度には、項目13及び14が影響を与えている。要望や不満の有無に関わらず、何かあれば聞いてもらえる、対応してもらえると安心感、園全体の満足感につながるものといえる。

要望・意見やトラブルへの対応 (満足率平均 46.41%、独立係数平均 0.260)



6 利用（入園）前の保育園の対応について

入園に際して保育園から受けた説明については以下の通りである。

（利用開始が1年以内かつ説明を受けた方が回答）

1年以内に利用を開始した190名のうち、保育内容の説明を受けたのは176名である。176名のうち8割を超える人が説明はわかりやすかったと感じている。記述回答には、「どちらともいえない」理由として準備が必要な持ち物の複雑さをあげるものなどもみられるが、利用前の保護者の不安を取り除く効果については概ね満足していることが表れている。

過去1年以内にこの施設を利用し始めましたか。

	回答者数	%
はい	190	28.4
いいえ	416	62.3
無回答	62	9.3
合計	668	100.0

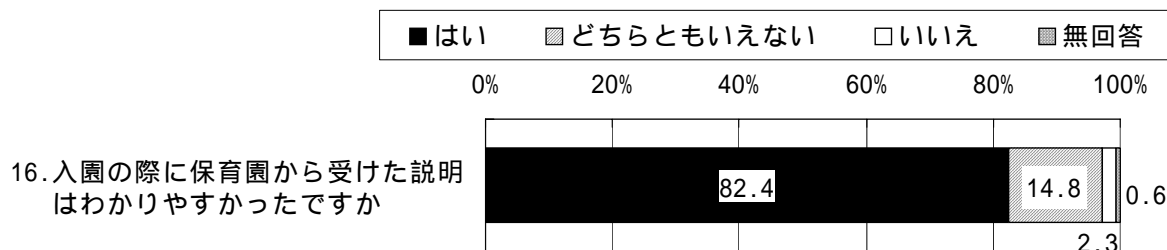
利用を始める前に保育内容などの説明がありましたか。（で「はい」と答えた190名を対象）

	回答者数	%
はい	176	92.6
いいえ	4	2.1
無回答	10	5.3
合計	190	100.0

16. 入園の際に保育園から受けた説明はわかりやすかったですか。（で「はい」と答えた176名を対象）

	回答者数	%
はい	145	82.4
どちらともいえない	26	14.8
いいえ	4	2.3
無回答	1	0.6
合計	176	100.0

利用（入園）前の保育園の対応について（満足率 82.39%、独立係数 0.258）



7 クロス集計結果

回答者の属性別にみた総合的な満足度は以下の通りである。

“園に概ね満足している”率は父親・母親いずれも9割を超えるが、「大変満足」と強い満足を感じる率は、父親（23.3%）よりも母親（36.8%）で高い。

年齢別で“園に概ね満足している”率をみると、25～30歳未満（81.5%）、30～35歳未満（87.0%）、35～40歳未満（93.3%）、40～50歳未満（92.1%）となり、保護者の年齢の高さと満足度は比例する傾向がみられる。

勤務形態別では、父親、母親、その他の保護者のいずれにおいても、“園に概ね満足している”率は、パート・アルバイト及び自営よりも常勤（フルタイム）で高い。

年齢別 - 25歳未満及び50歳以上、勤務形態別 - 無職及びその他は、回答者数が少ないためコメントは控える。
属性の無回答者は除く。

調査記入者と現在利用の保育園の総合的満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
父	回答者数	30人	7人	20人	2人	1人	0人	0人
	(%)	100.0%	23.3%	66.7%	6.7%	3.3%	0.0%	0.0%
母	回答者数	604人	222人	323人	34人	11人	1人	13人
	(%)	100.0%	36.8%	53.5%	5.6%	1.8%	0.2%	2.2%
父母一緒に	回答者数	27人	9人	16人	1人	1人	0人	0人
	(%)	100.0%	33.3%	59.3%	3.7%	3.7%	0.0%	0.0%
その他	回答者数	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	(%)	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

調査記入者の年齢と現在利用の保育園の総合的満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
20歳未満	回答者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～25歳未満	回答者数	2人	0人	1人	0人	0人	1人	0人
	(%)	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
25～30歳未満	回答者数	38人	14人	17人	5人	1人	0人	1人
	(%)	100.0%	36.8%	44.7%	13.2%	2.6%	0.0%	2.6%
30～35歳未満	回答者数	215人	75人	112人	16人	6人	0人	6人
	(%)	100.0%	34.9%	52.1%	7.4%	2.8%	0.0%	2.8%
35～40歳未満	回答者数	254人	93人	144人	11人	1人	0人	5人
	(%)	100.0%	36.6%	56.7%	4.3%	0.4%	0.0%	2.0%
40～50歳未満	回答者数	152人	56人	84人	6人	5人	0人	1人
	(%)	100.0%	36.8%	55.3%	3.9%	3.3%	0.0%	0.7%
50歳以上	回答者数	2人	1人	1人	0人	0人	0人	0人
	(%)	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

- 1 父親の勤務形態と現在利用の保育園の総合的満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
常勤(フルタイム)	回答者数	509人	178人	283人	28人	10人	0人	10人
	(%)	100.0%	35.0%	55.6%	5.5%	2.0%	0.0%	2.0%
パート、アルバイト	回答者数	3人	1人	1人	0人	0人	0人	1人
	(%)	100.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
自営業	回答者数	85人	33人	43人	5人	2人	0人	2人
	(%)	100.0%	38.8%	50.6%	5.9%	2.4%	0.0%	2.4%
無職	回答者数	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	(%)	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数	10人	5人	4人	1人	0人	0人	0人
	(%)	100.0%	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%

- 2 母親の勤務形態と現在利用の保育園の総合的満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
常勤(フルタイム)	回答者数	424人	146人	239人	17人	11人	1人	10人
	(%)	100.0%	34.4%	56.4%	4.0%	2.6%	0.2%	2.4%
パート、アルバイト	回答者数	125人	43人	66人	14人	0人	0人	2人
	(%)	100.0%	34.4%	52.8%	11.2%	0.0%	0.0%	1.6%
自営業	回答者数	68人	29人	31人	5人	2人	0人	1人
	(%)	100.0%	42.6%	45.6%	7.4%	2.9%	0.0%	1.5%
無職	回答者数	6人	4人	2人	0人	0人	0人	0人
	(%)	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数	32人	15人	15人	2人	0人	0人	0人
	(%)	100.0%	46.9%	46.9%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%

- 3 その他でお迎えに行く方の勤務形態と現在利用の保育園の総合的満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
常勤(フルタイム)	回答者数	14人	4人	8人	2人	0人	0人	0人
	(%)	100.0%	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
パート、アルバイト	回答者数	28人	9人	14人	4人	1人	0人	0人
	(%)	100.0%	32.1%	50.0%	14.3%	3.6%	0.0%	0.0%
自営業	回答者数	11人	3人	6人	1人	1人	0人	0人
	(%)	100.0%	27.3%	54.5%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%
無職	回答者数	19人	6人	10人	1人	1人	0人	1人
	(%)	100.0%	31.6%	52.6%	5.3%	5.3%	0.0%	5.3%
その他	回答者数	14人	7人	6人	1人	0人	0人	0人
	(%)	100.0%	50.0%	42.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%

8 自由意見（保育園に対して日頃感じていること・要望）

調査票の自由記述欄および質問別記述欄に寄せられた意見を、内容によって分類すると次の通りとなる。

大分類	中分類	件数	内容
1 毎日の保育 (901 件)	1 保育内容	68	遊びや活動・おもちゃや絵本・表現活動・昼寝
	2 散歩、園外活動	99	頻度や場所、自然や社会との関わり
	3 不定時保育	88	登園・降園時間の融通・延長保育・保護者の都合による保育への対応
	4 食事・おやつ	104	メニューや量
	5 保健・衛生 (病気・けが・健康)	110	園での発熱等への対応・与薬・けがへの対応・健康管理や病気予防
	6 安全性・園舎・園庭・周辺環境	149	安全対策・園や周辺の環境
	7 行事の内容や日程・保護者会	120	行事や保護者会の内容や参加しやすさ・父母会について
	8 毎日の連絡	116	子どもの気持ちや様子についての連絡(主に送迎時)・写真やビデオ
	9 個別相談・園からのお知らせ	47	育児などの相談のしやすさ・おたより
2 子ども・保護者の尊重 (469 件)	1 プライバシー保護	34	プライバシー保護
	2 子ども・保護者の気持ちの尊重	17	気持ちに配慮した言葉遣いや態度
	3 友達・人とのかかわり方	69	友達・人とのふれあいなど、人とのかかわり方の基礎づくり
	4 保育士・園	349	保育士・園の対応
3 不満・要望・トラブルへの対応 (158 件)	1 不満・要望の言いやすさ	74	言いやすい雰囲気・聞く姿勢
	2 不満・トラブル対応	60	不満やトラブルへの対応の的確さ
	3 第三者委員・苦情窓口	24	第三者委員など外部窓口の周知
4 利用前の対応 (25 件)	1 入園時説明	25	利用前の保育内容の説明
5 保育行政・保育サービス・少子化対策 (71 件)	1 区への意見・要望	61	保育園事務・兄弟姉妹の入園、民営化について
	2 子どもを生き育てること	10	児童福祉行政・子育て支援策・子育てしやすい社会

各保育園の利用者調査結果

園ごとの利用者調査結果は、それぞれ次の通りである。

1	杉並保育園	19
2	上高井戸保育園	23
3	高井戸保育園	27
4	大宮前保育園	31
5	大宮保育園	35
6	本天沼保育園	39
7	荻窪南保育園	43
8	高井戸東保育園	47
9	松ノ木保育園	51
10	阿佐谷北保育園	55
11	久我山保育園	59
12	浜田山保育園	63
13	今川保育園	67

保育園 杉並

保育園 上高井戸

保育園 高井戸

保育園 大宮前

保育園 大宮

保育園 本天沼

保育園 荻窪南

保育園 高井戸東

保育園 松ノ木

保育園 阿佐谷北

保育園 久我山

保育園 浜田山

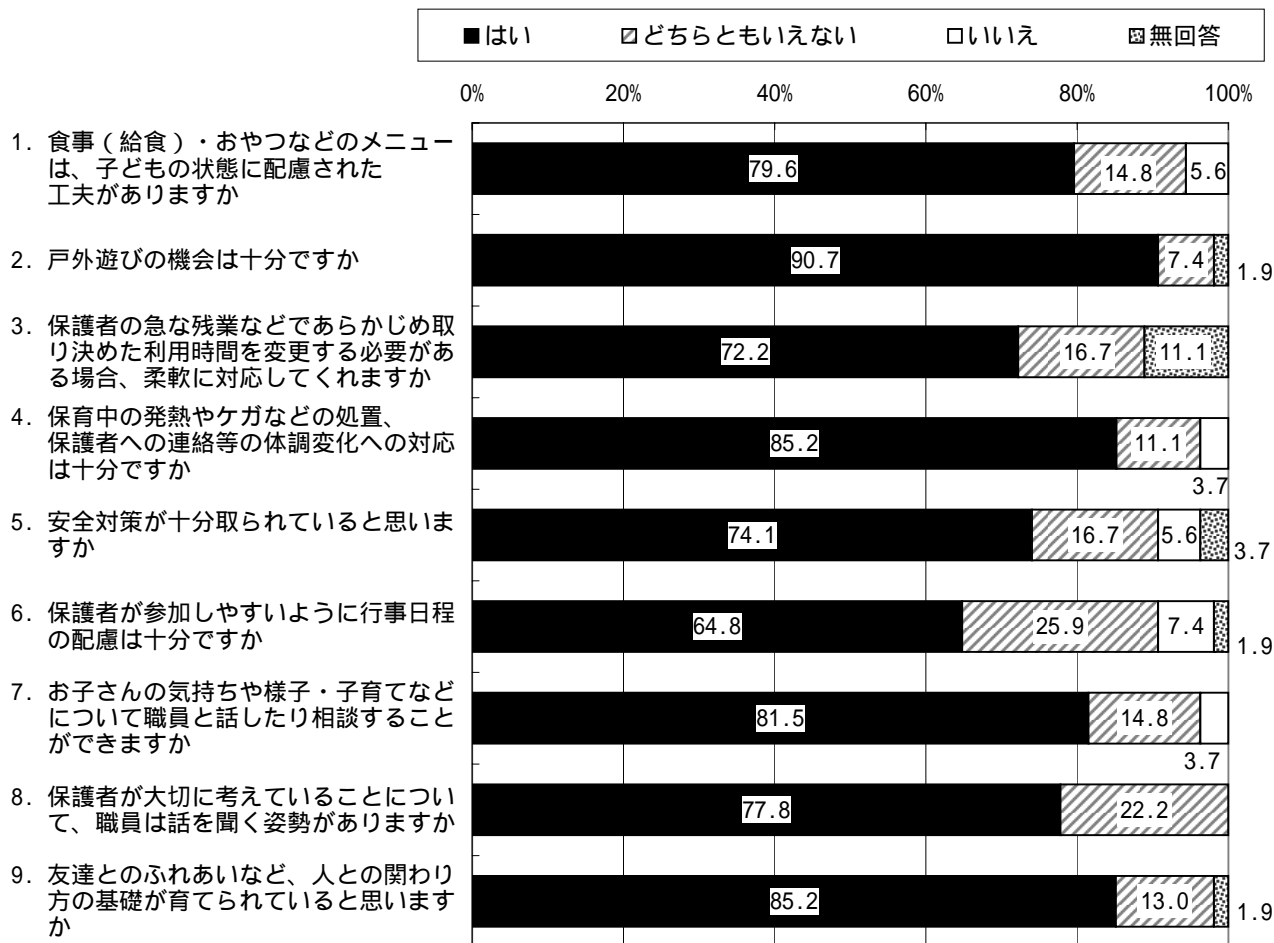
保育園 今川

杉並保育園

杉並保育園

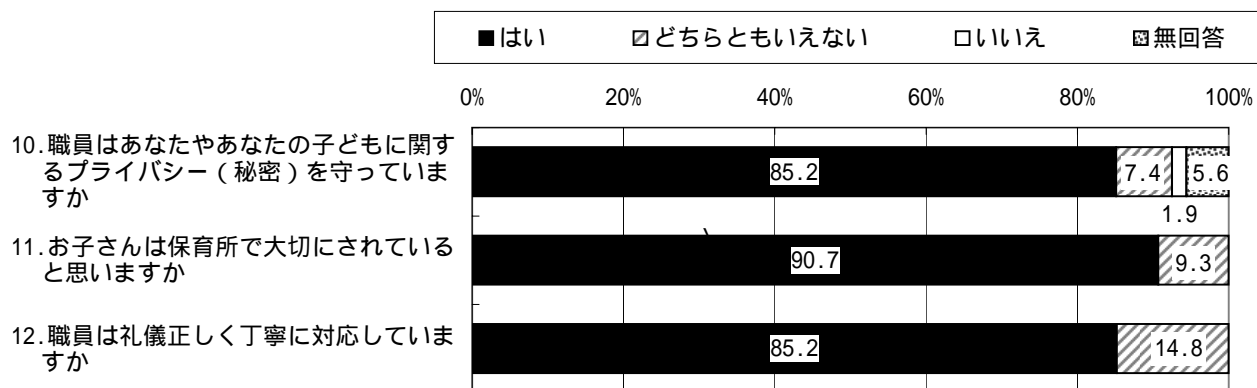
《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

回答者数 = 54



《 お子さんや保護者の尊重についてお聞きします 》

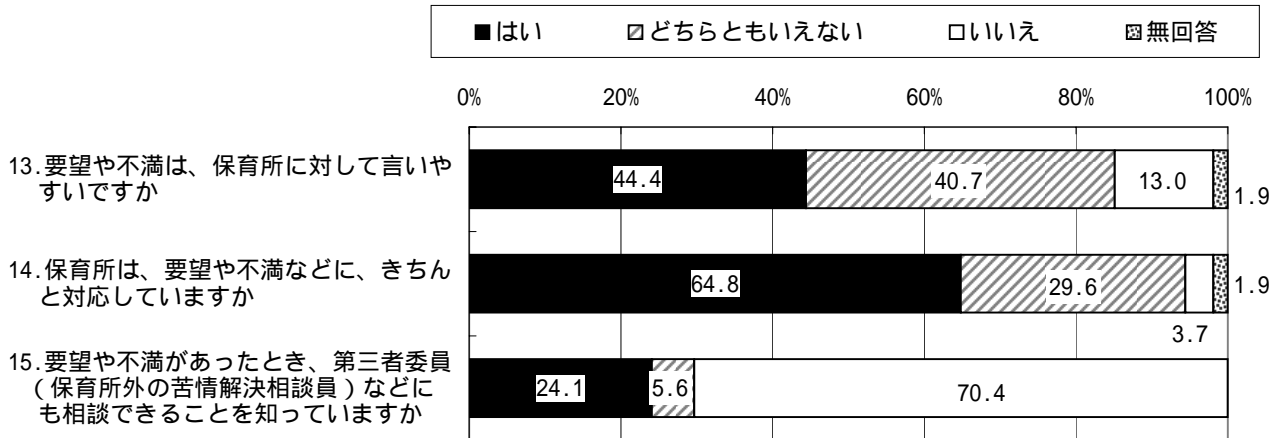
回答者数 = 54



杉並保育園

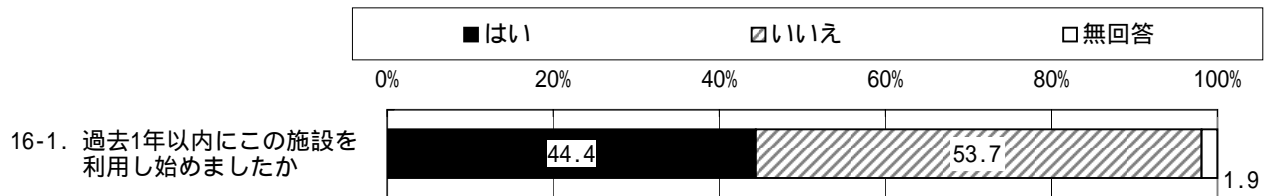
《 要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします 》

回答者数 = 54



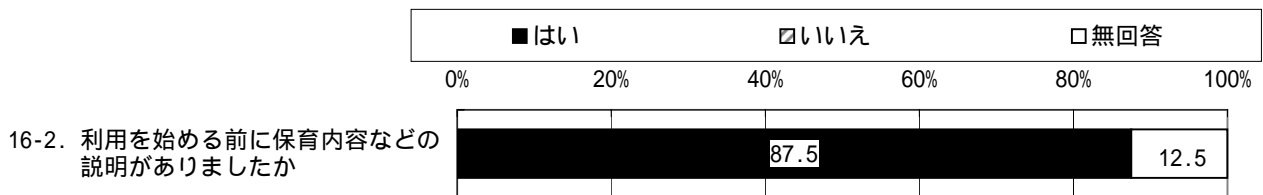
《 利用前の保育園の対応についてお聞きします 》

回答者数 = 54



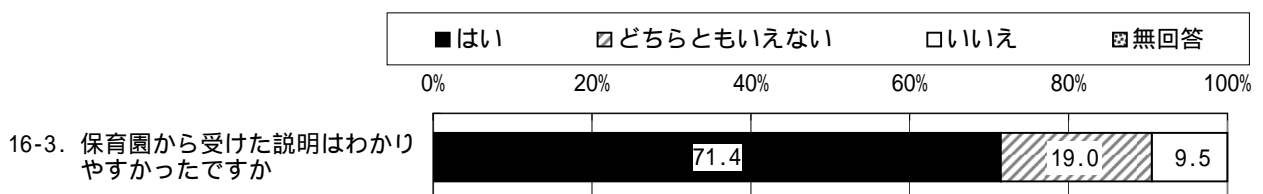
《 利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

回答者数 = 24



《 説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

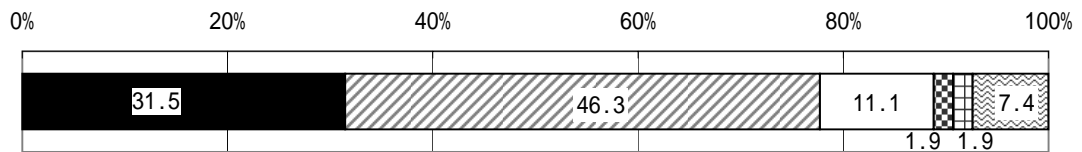
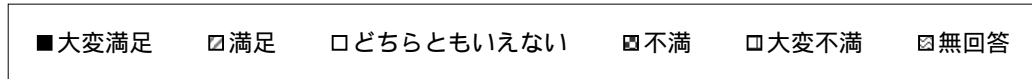
回答者数 = 21



杉並保育園

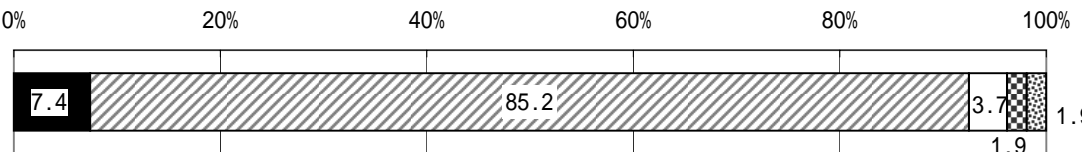
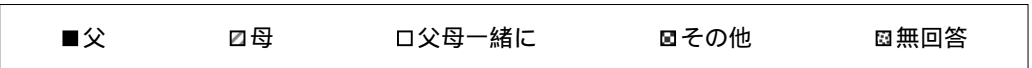
《 総合的な満足度についてお聞きします 》

回答者数 = 54



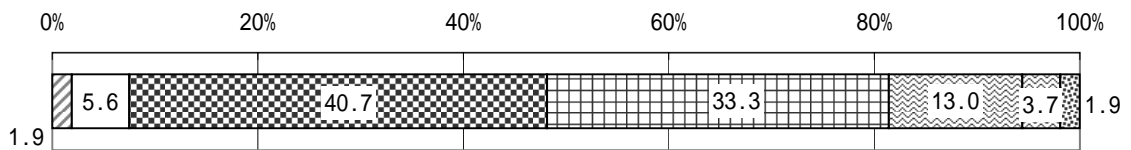
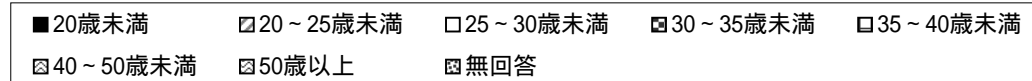
《 調査票記入者について 》

回答者数 = 54



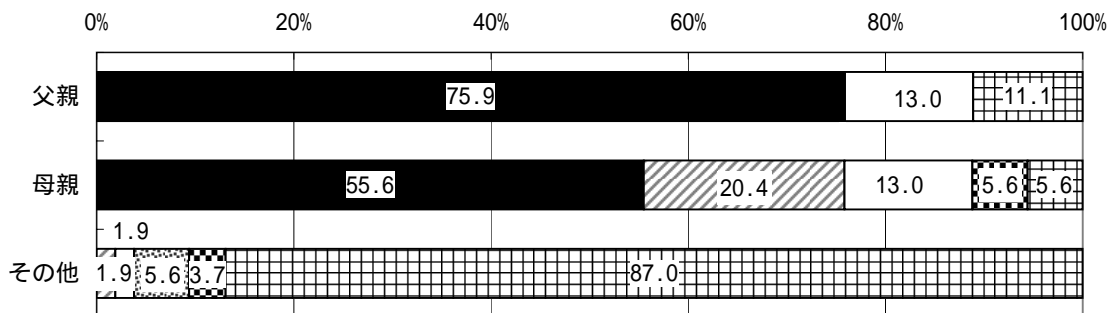
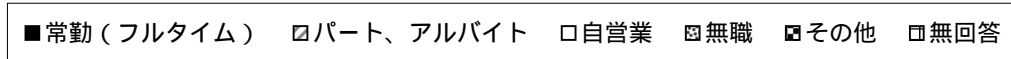
《 調査票記入者の年齢 (主に中心になって回答した方) 》

回答者数 = 54



《 保護者の勤務形態 》

回答者数 = 54



《 お子さんの年齢 (複数のお子さんがいらっしゃる場合は複数に) 》

回答者数 = 54

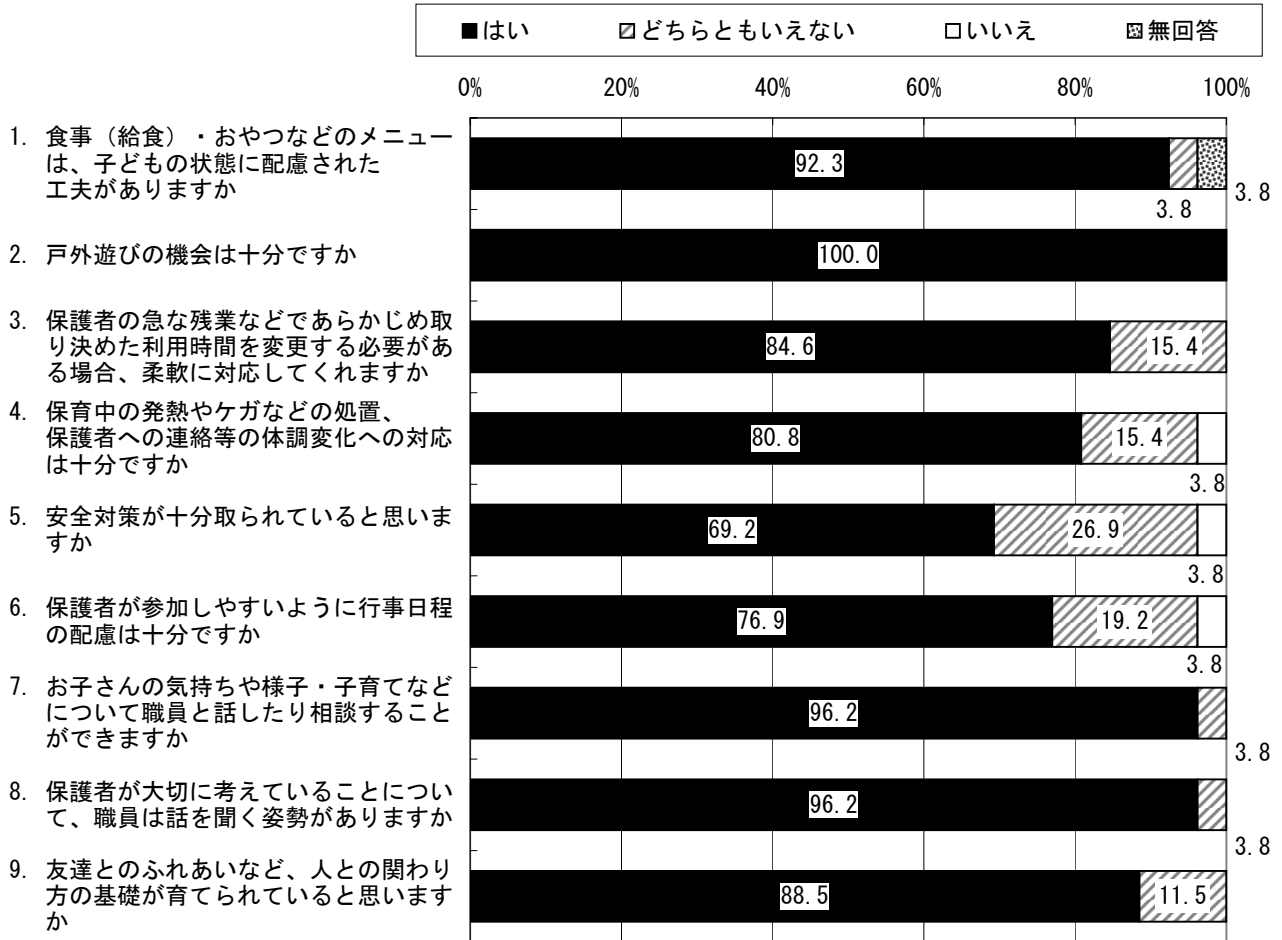


上高井戸保育園

上高井戸保育園

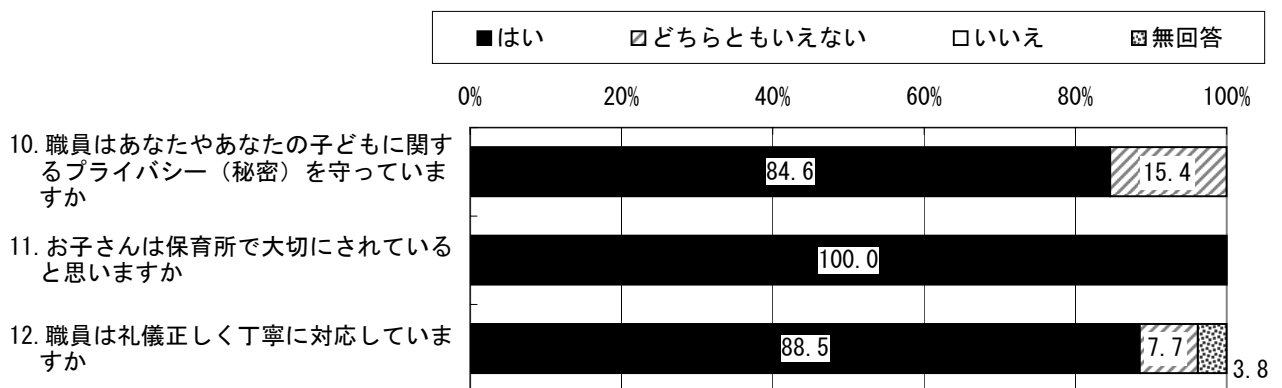
《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

回答者数 = 26



《 お子さんや保護者の尊重についてお聞きします 》

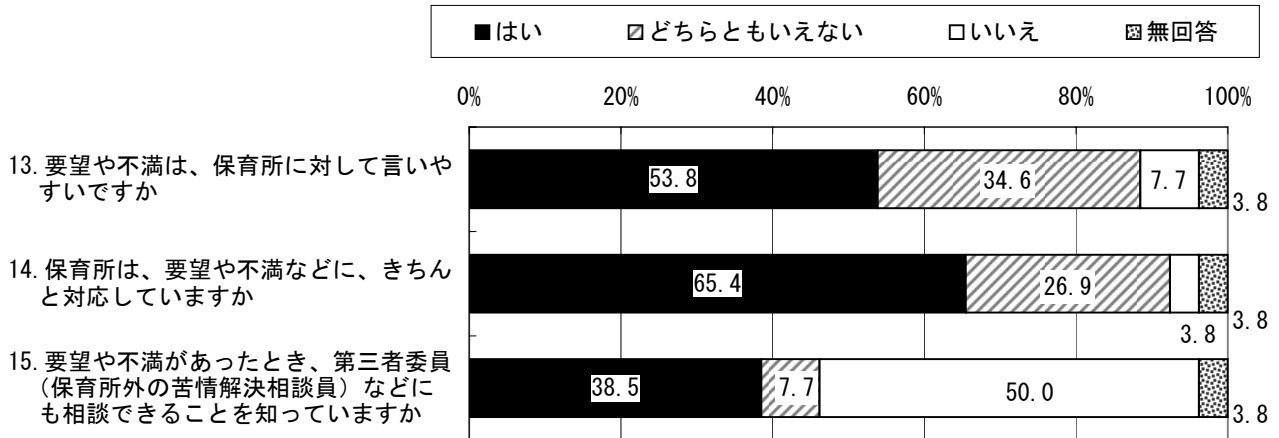
回答者数 = 26



上高井戸保育園

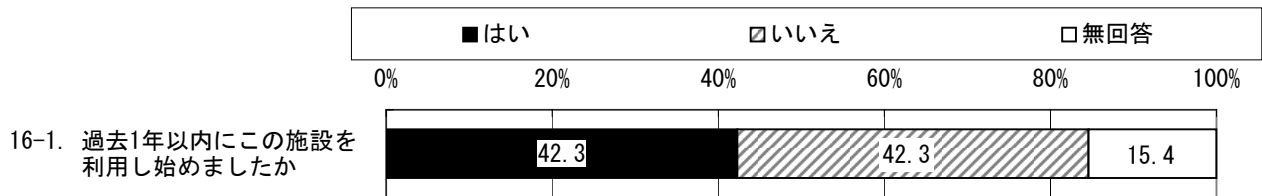
《 要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします 》

回答者数 = 26



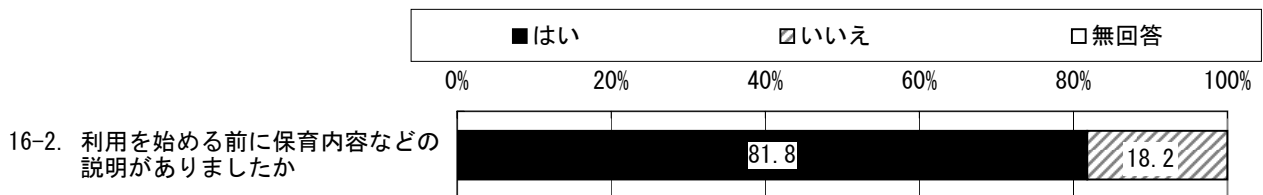
《 利用前の保育園の対応についてお聞きします 》

回答者数 = 26



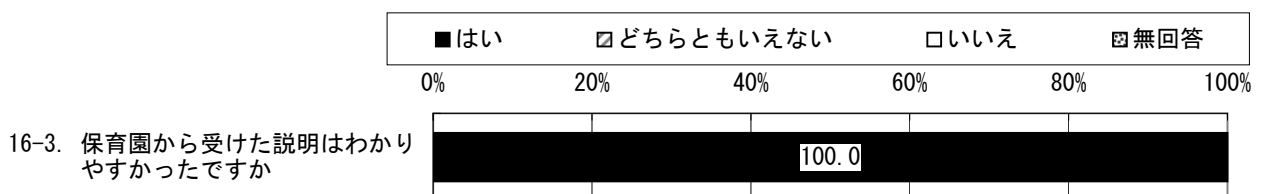
《 利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

回答者数 = 11



《 説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

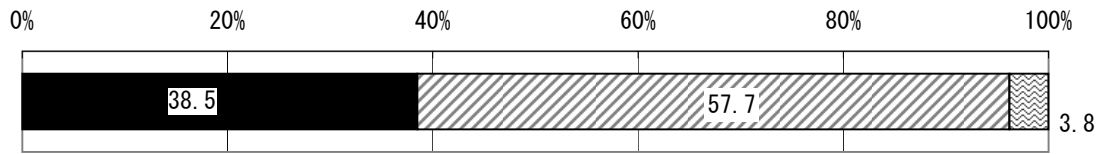
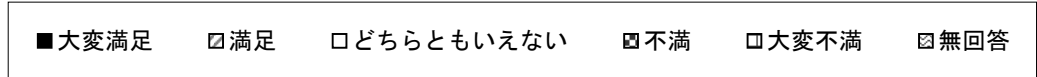
回答者数 = 9



上高井戸保育園

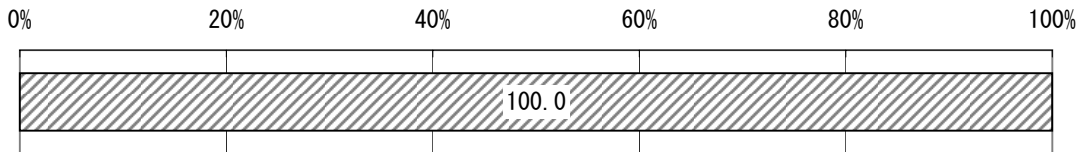
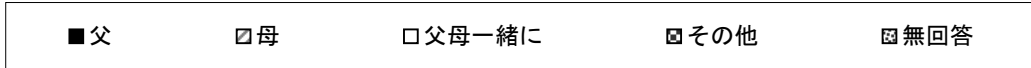
《 総合的な満足度についてお聞きします 》

回答者数 = 26



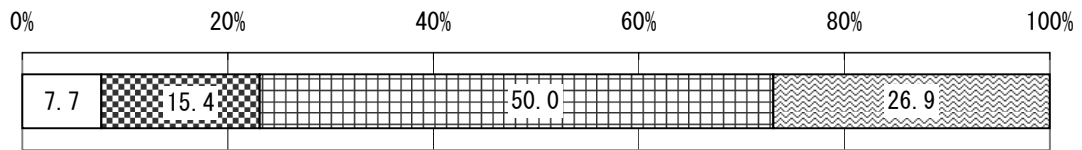
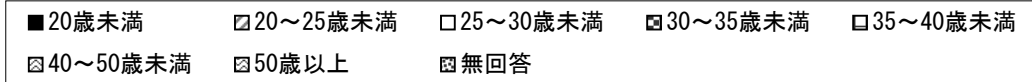
《 調査票記入者について 》

回答者数 = 26



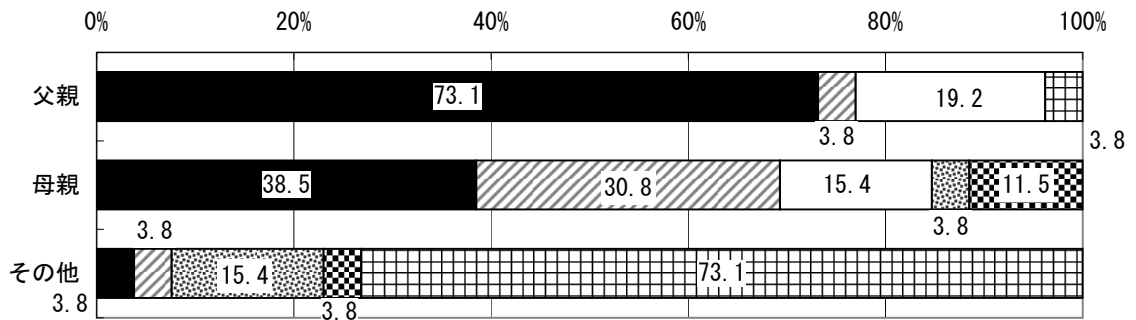
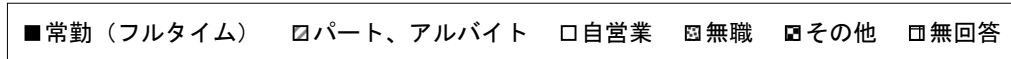
《 調査票記入者の年齢 (主に中心になって回答した方) 》

回答者数 = 26



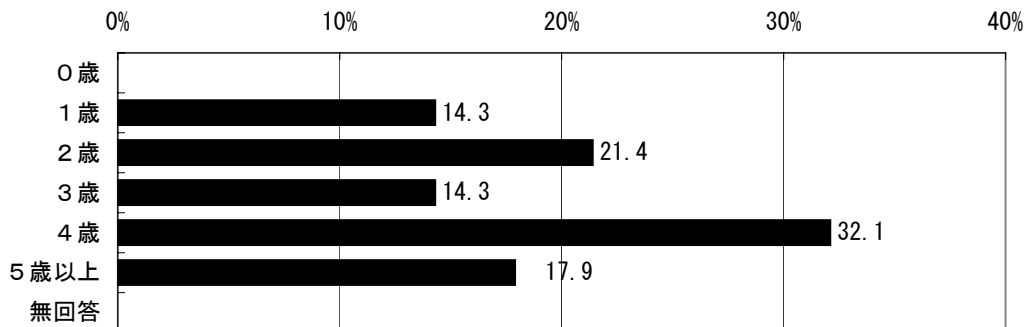
《 保護者の勤務形態 》

回答者数 = 26



《 お子さんの年齢 (複数のお子さんがいらっしゃる場合は複数に〇) 》

回答者数 = 26



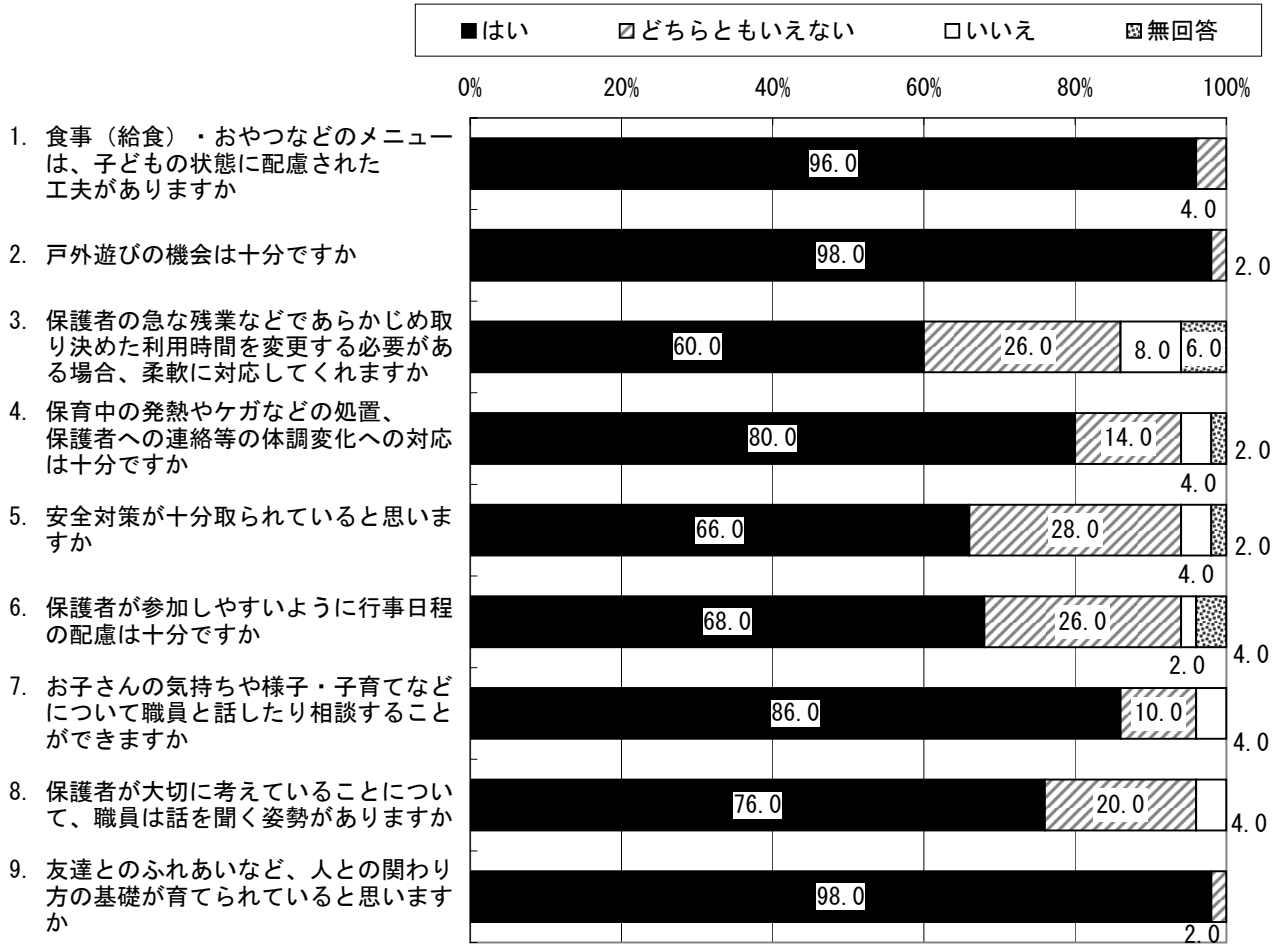
高井戸保育園

高井戸
保育園

高井戸保育園

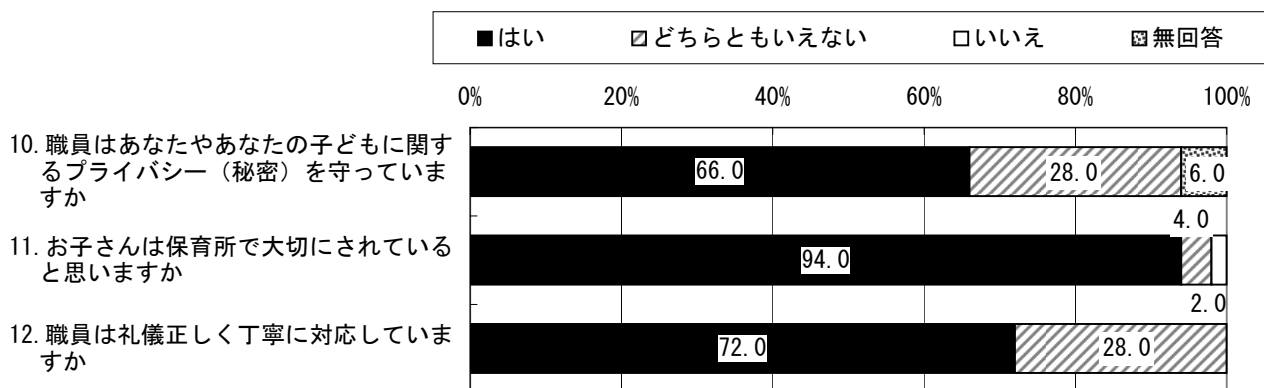
《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

回答者数 = 50



《 お子さんや保護者の尊重についてお聞きします 》

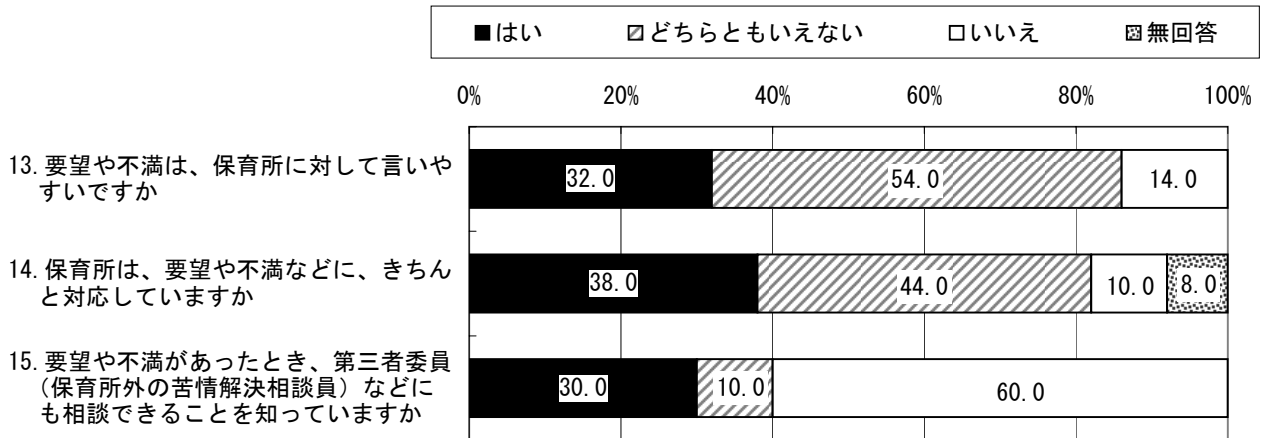
回答者数 = 50



高井戸保育園

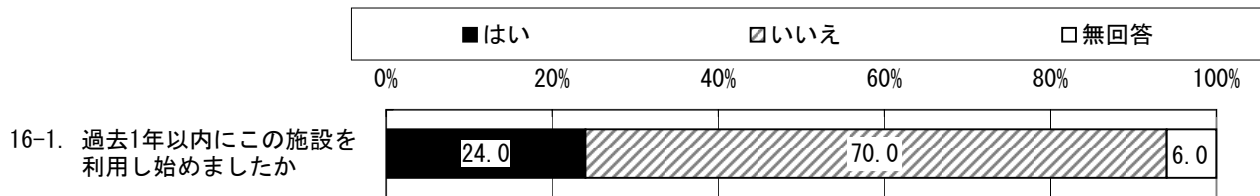
《 要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします 》

回答者数 = 50



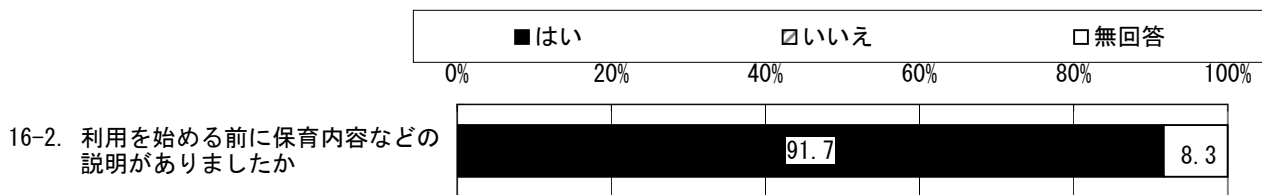
《 利用前の保育園の対応についてお聞きします 》

回答者数 = 50



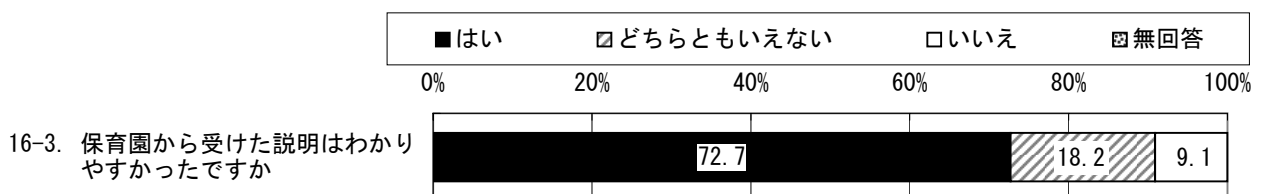
《 利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

回答者数 = 12



《 説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

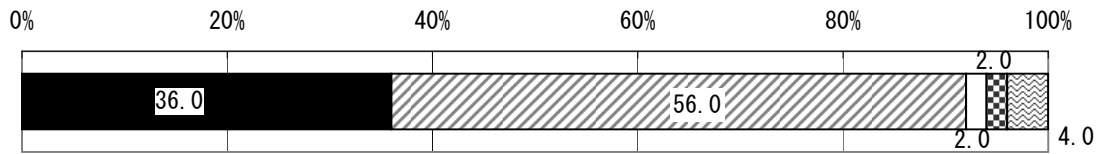
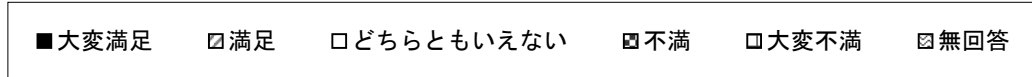
回答者数 = 11



高井戸保育園

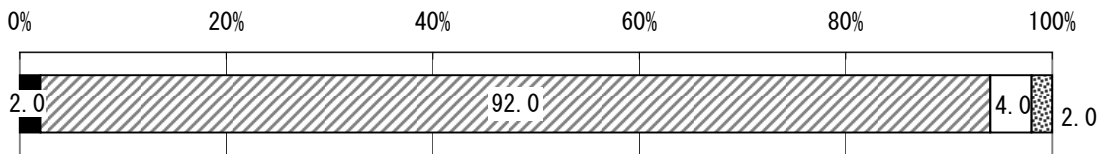
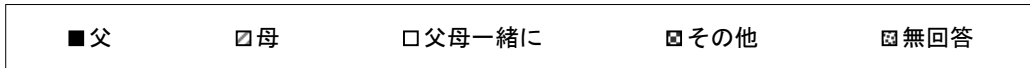
《 総合的な満足度についてお聞きします 》

回答者数 = 50



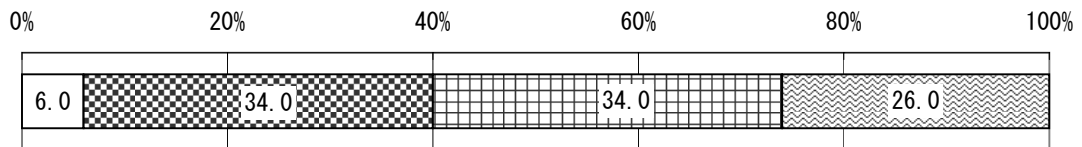
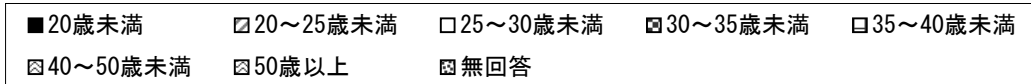
《 調査票記入者について 》

回答者数 = 50



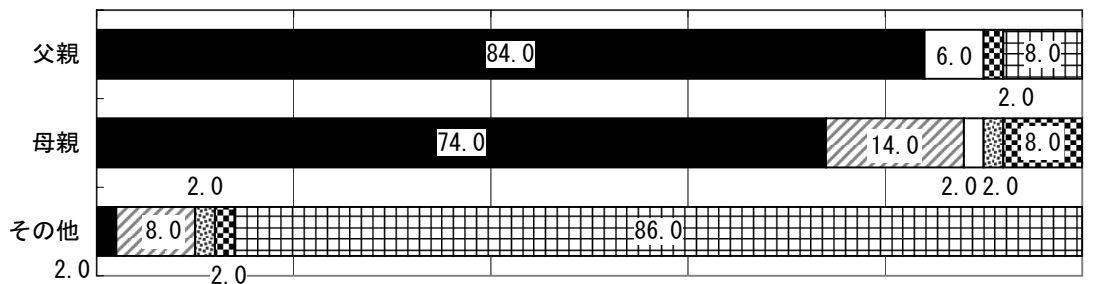
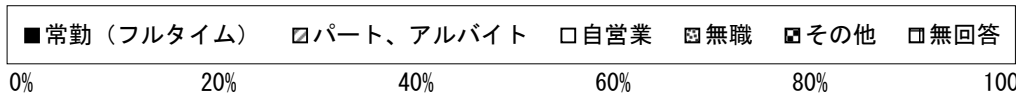
《 調査票記入者の年齢 (主に中心になって回答した方) 》

回答者数 = 50



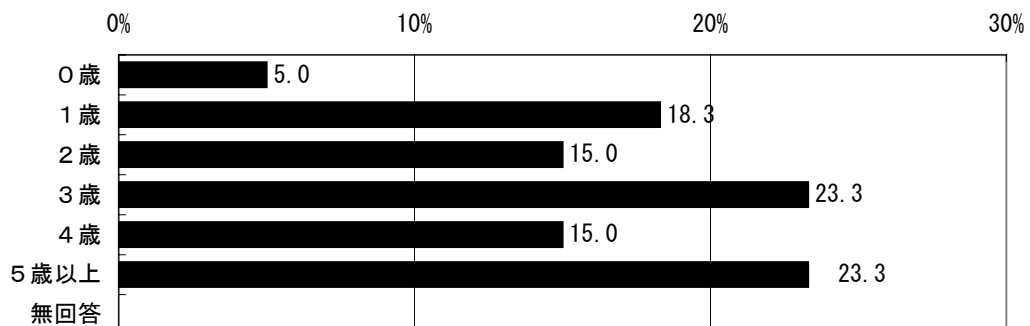
《 保護者の勤務形態 》

回答者数 = 50



《 お子さんの年齢 (複数のお子さんがいらっしゃる場合は複数に0) 》

回答者数 = 50



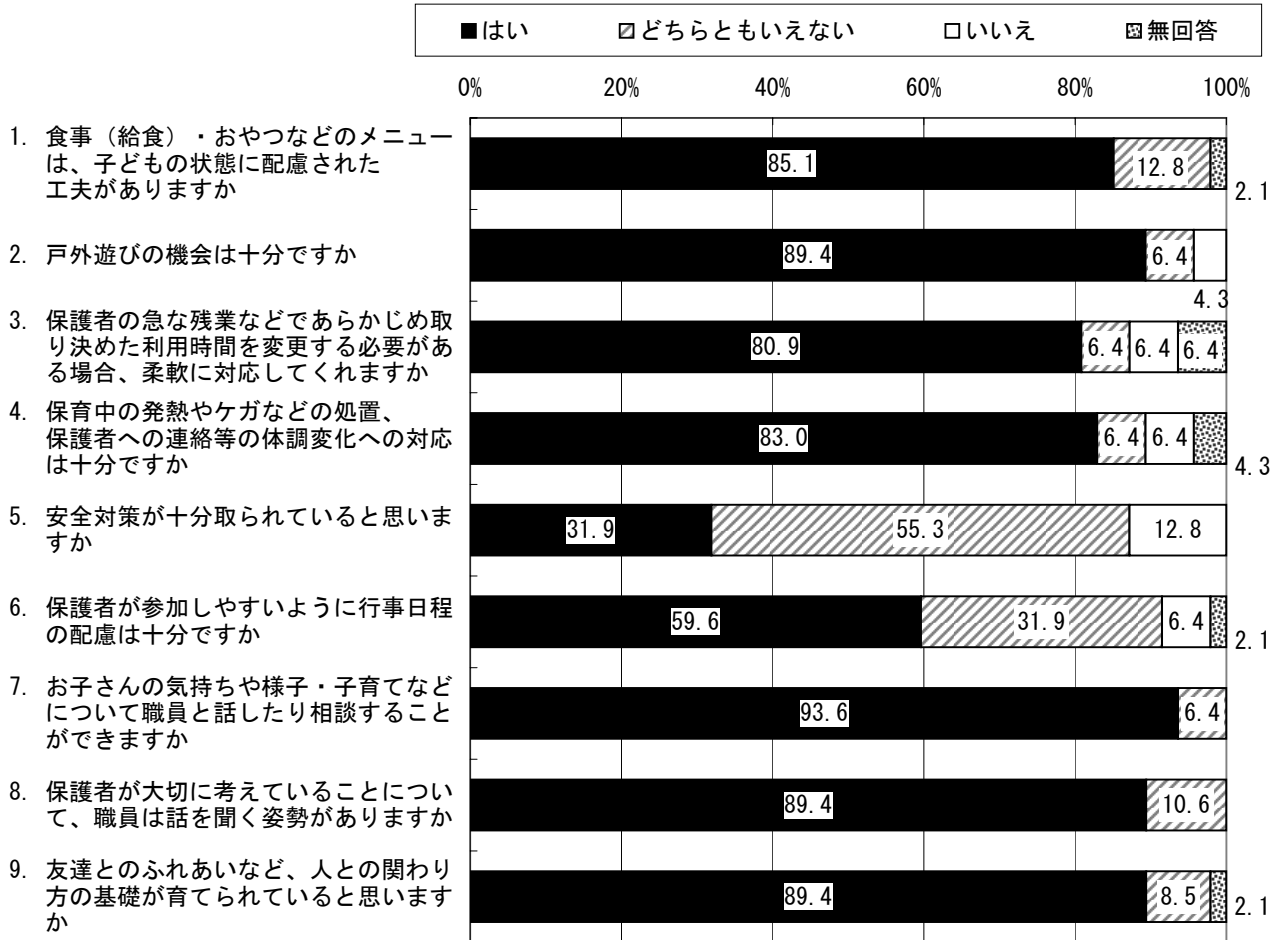
大宮前保育園

大宮前
保育園

大宮前保育園

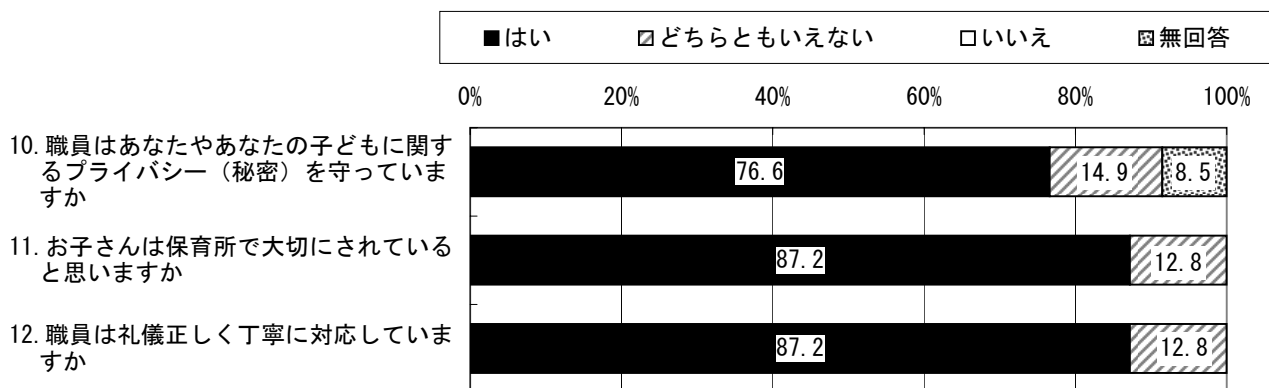
《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

回答者数 = 47



《 お子さんや保護者の尊重についてお聞きします 》

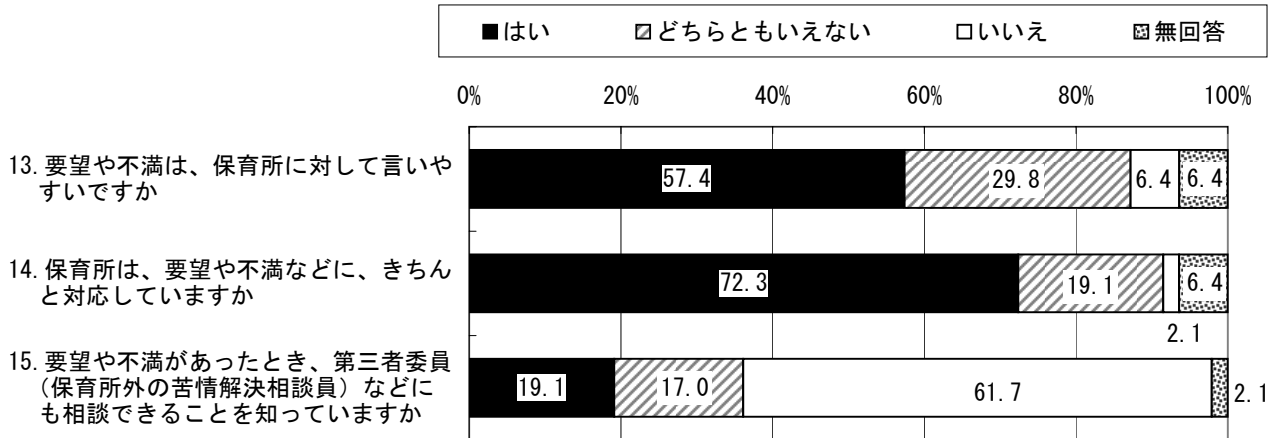
回答者数 = 47



大宮前保育園

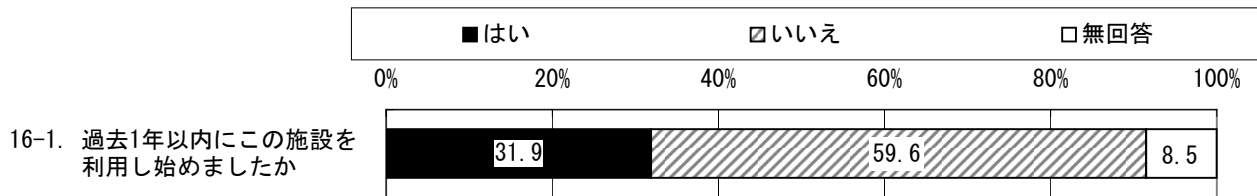
《 要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします 》

回答者数 = 47



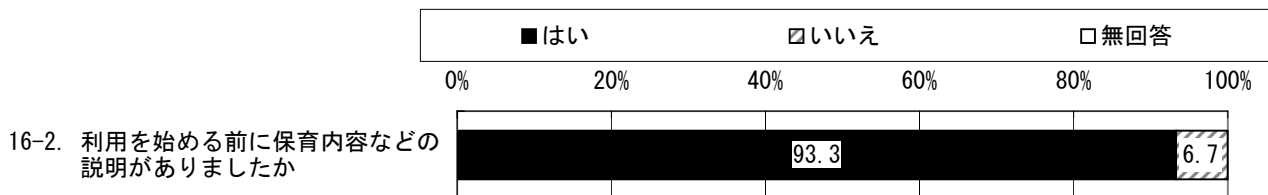
《 利用前の保育園の対応についてお聞きします 》

回答者数 = 47



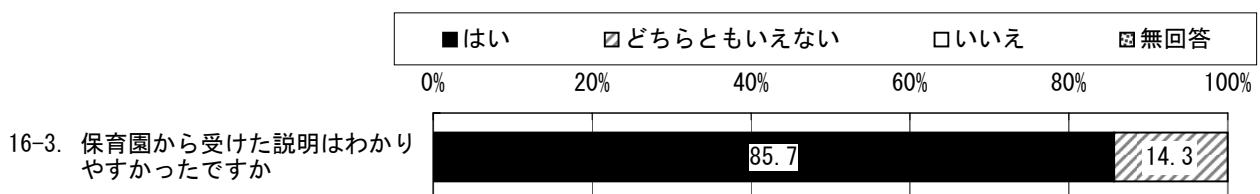
《 利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

回答者数 = 15



《 説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

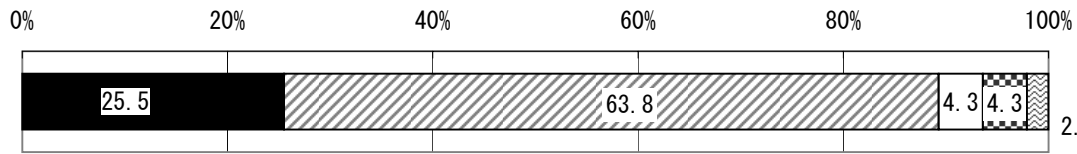
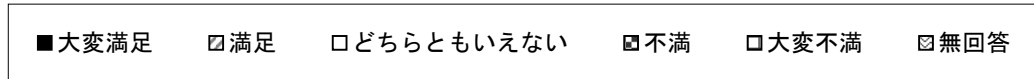
回答者数 = 14



大宮前保育園

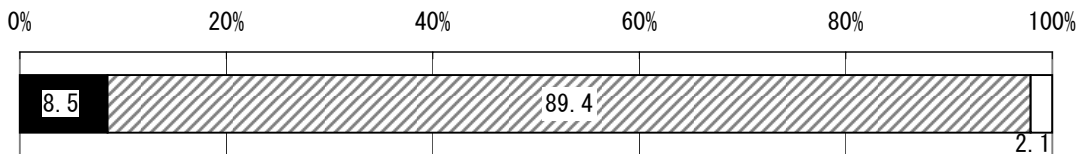
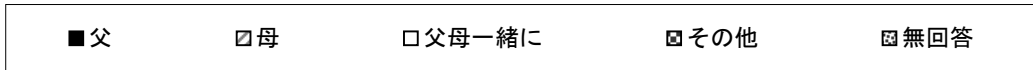
《 総合的な満足度についてお聞きします 》

回答者数 = 47



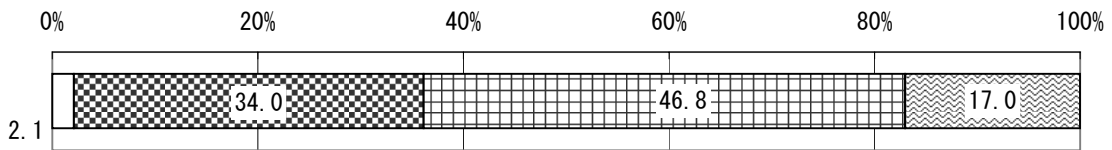
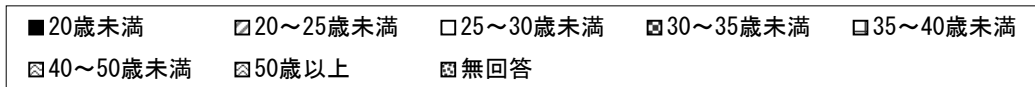
《 調査票記入者について 》

回答者数 = 47



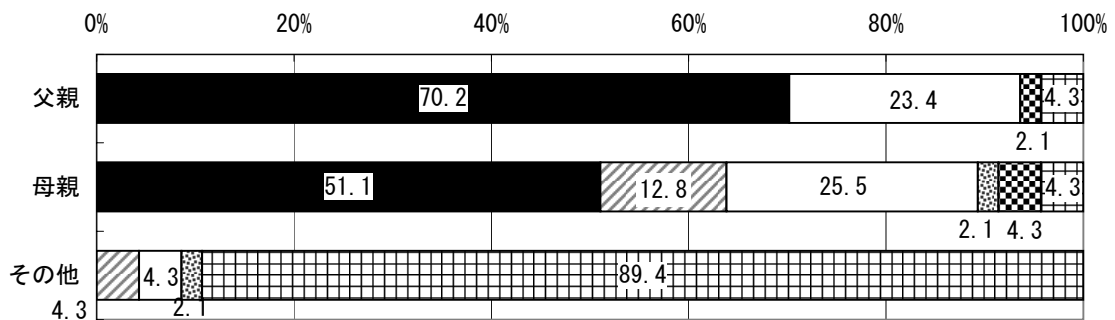
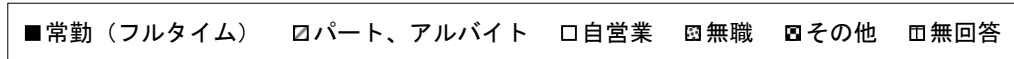
《 調査票記入者の年齢 (主に中心になって回答した方) 》

回答者数 = 47



《 保護者の勤務形態 》

回答者数 = 47



《 お子さんの年齢 (複数のお子さんがいらっしゃる場合は複数に〇) 》

回答者数 = 47



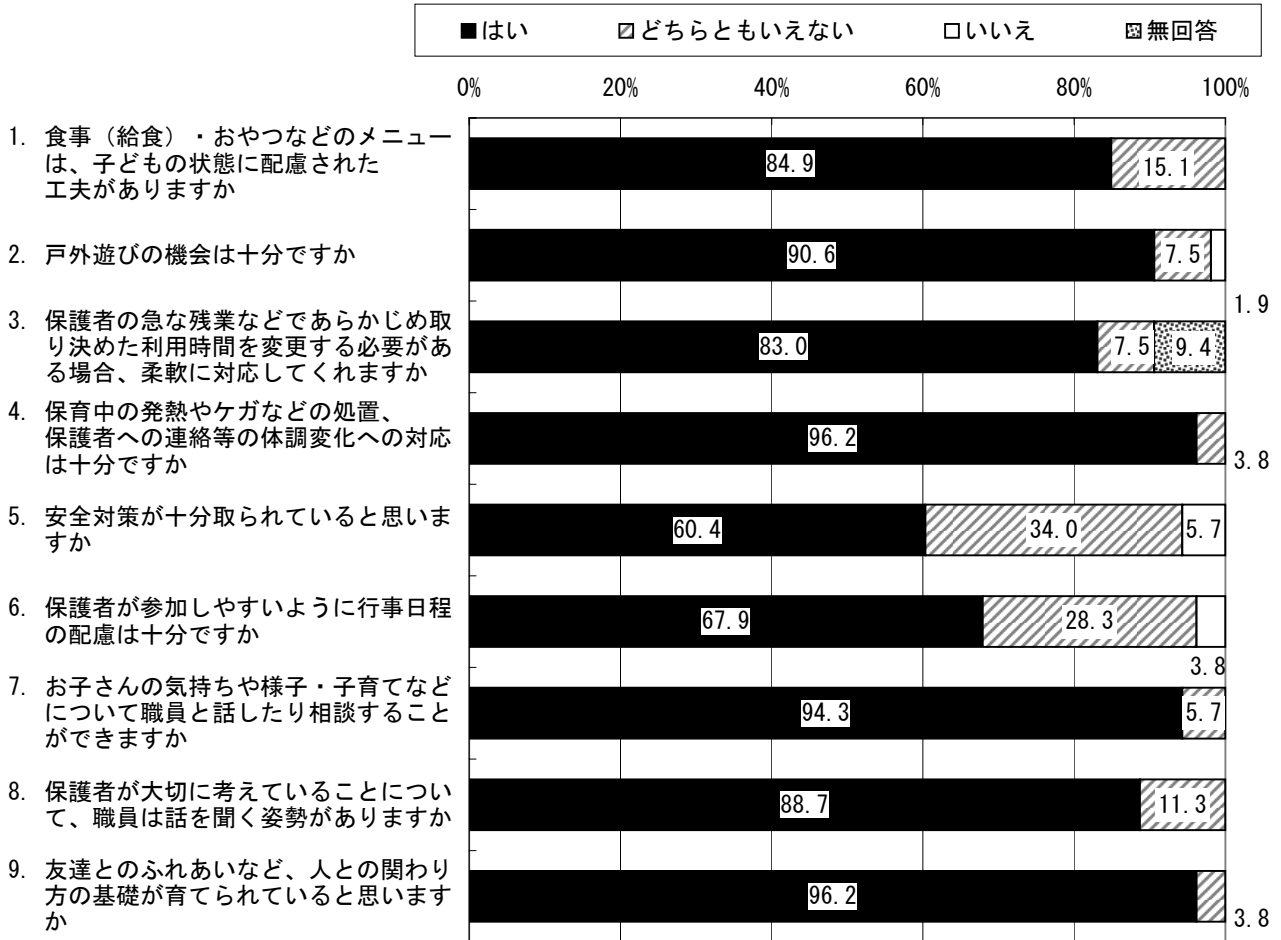
大宮保育園

大宮
保育園

大宮保育園

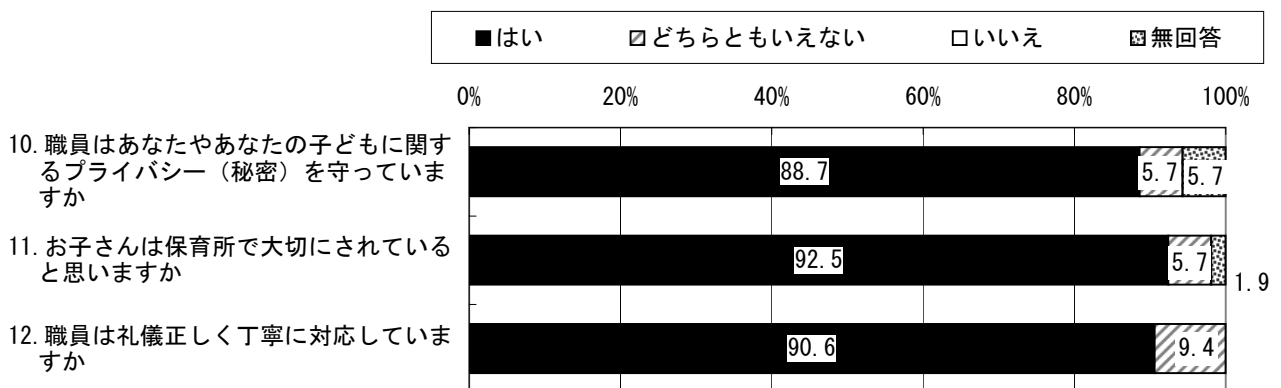
《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

回答者数 = 53



《 お子さんや保護者の尊重についてお聞きします 》

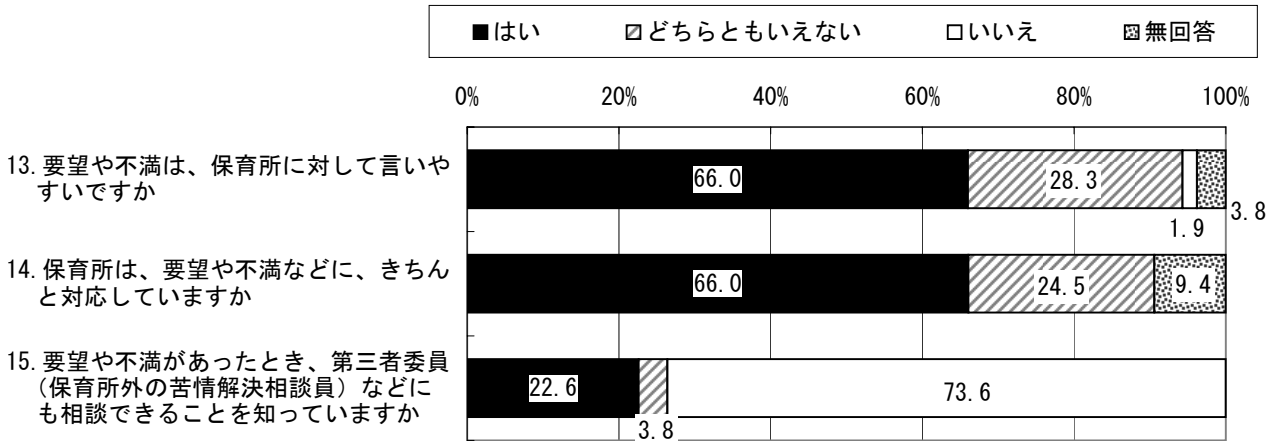
回答者数 = 53



大宮保育園

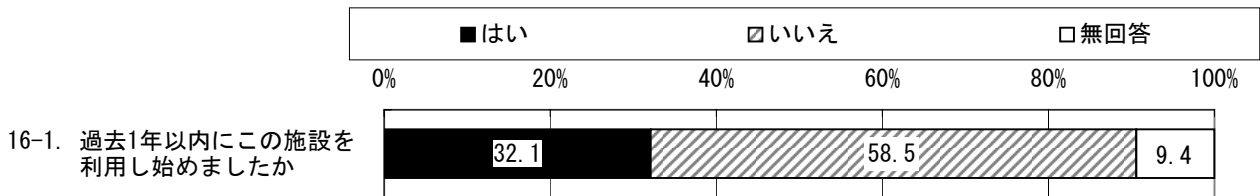
《 要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします 》

回答者数 = 53



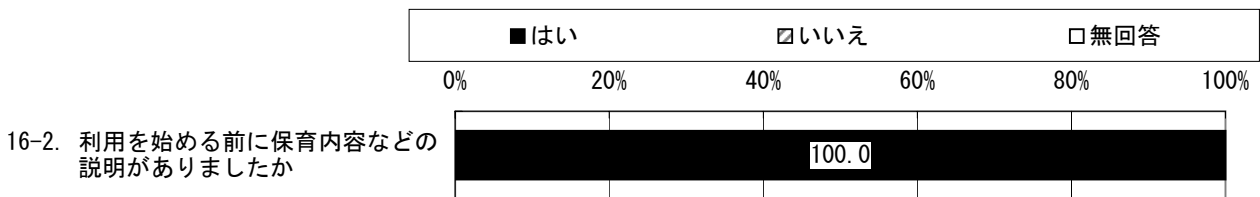
《 利用前の保育園の対応についてお聞きします 》

回答者数 = 53



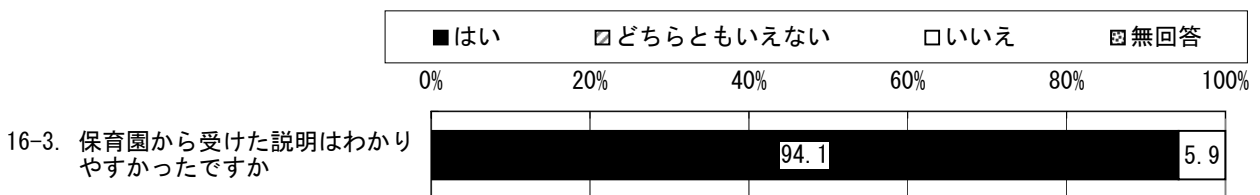
《 利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

回答者数 = 17



《 説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

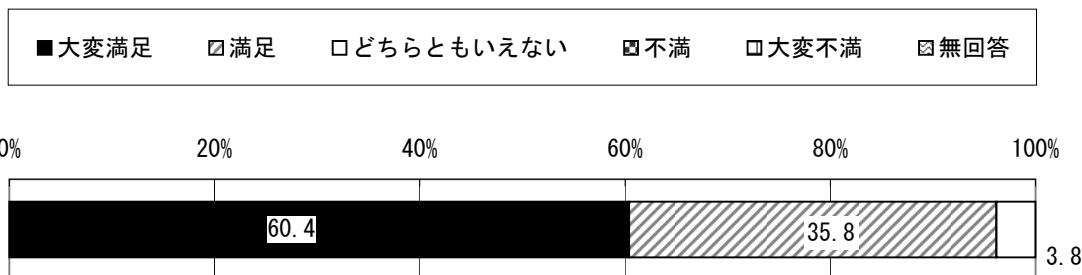
回答者数 = 17



大宮保育園

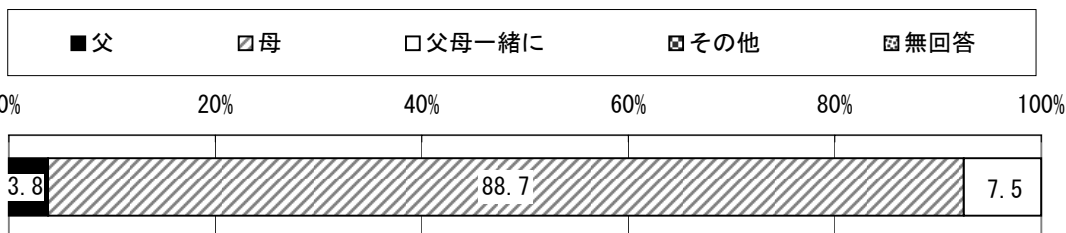
《 総合的な満足度についてお聞きします 》

回答者数 = 53



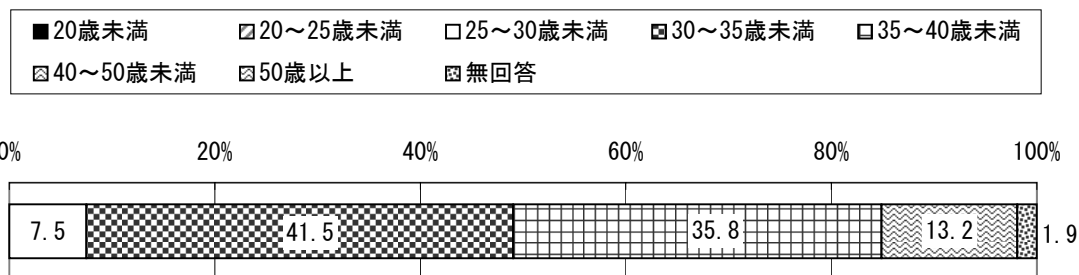
《 調査票記入者について 》

回答者数 = 53



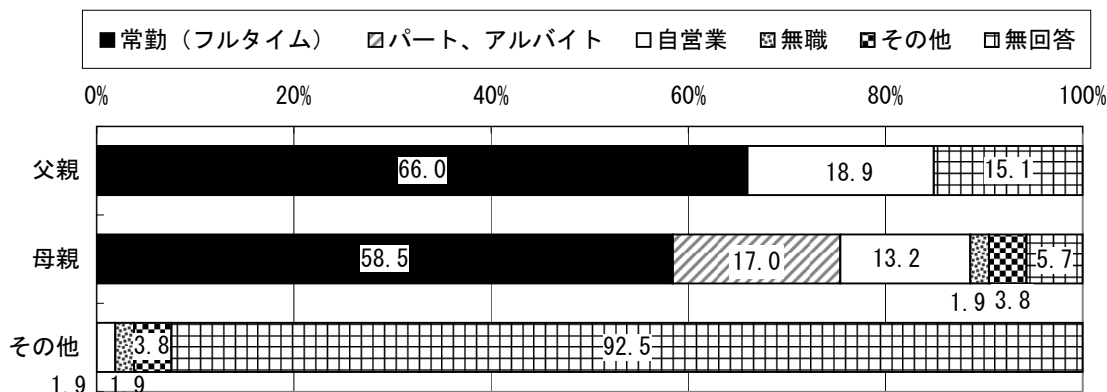
《 調査票記入者の年齢 (主に中心になって回答した方) 》

回答者数 = 53



《 保護者の勤務形態 》

回答者数 = 53



《 お子さんの年齢 (複数のお子さんがいらっしゃる場合は複数に〇) 》

回答者数 = 53



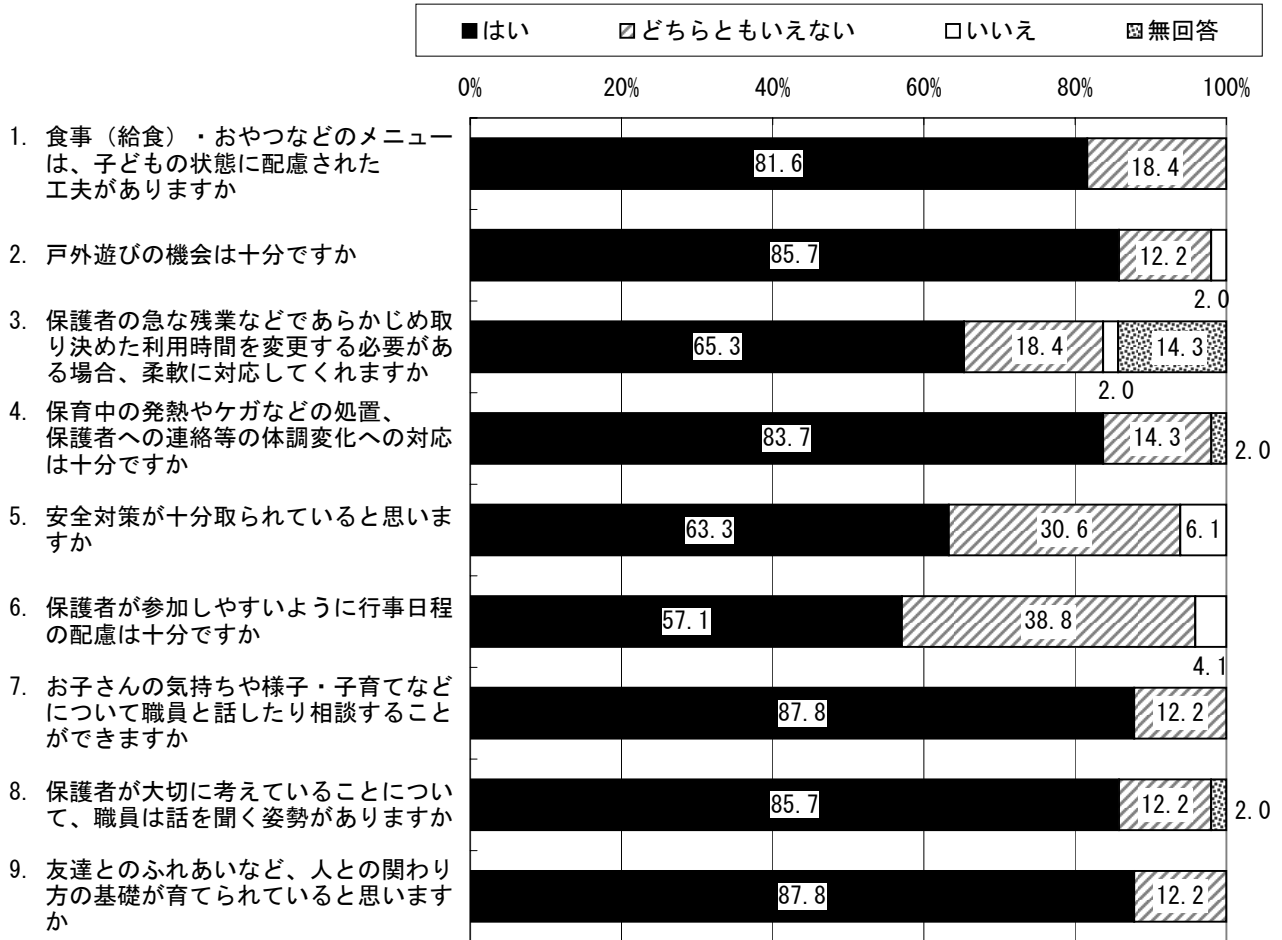
本天沼保育園

本天沼
保育園

本天沼保育園

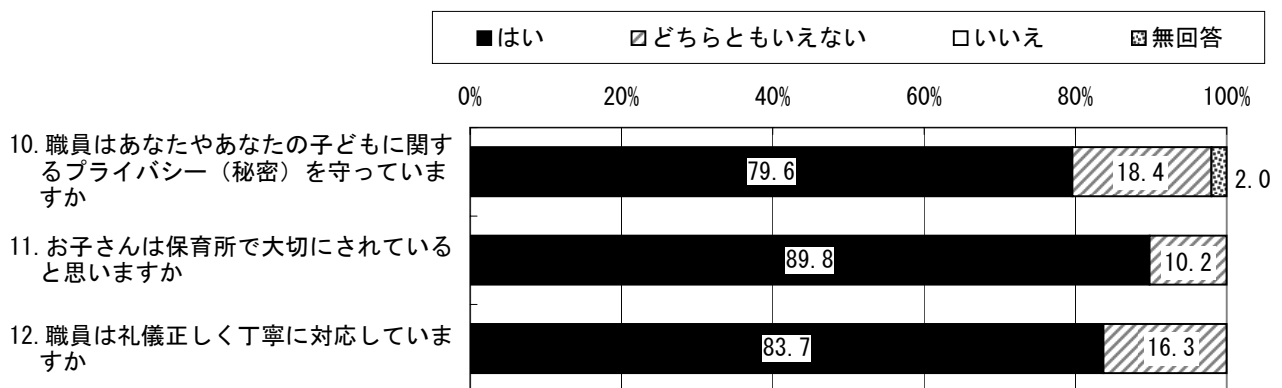
《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

回答者数 = 49



《 お子さんや保護者の尊重についてお聞きします 》

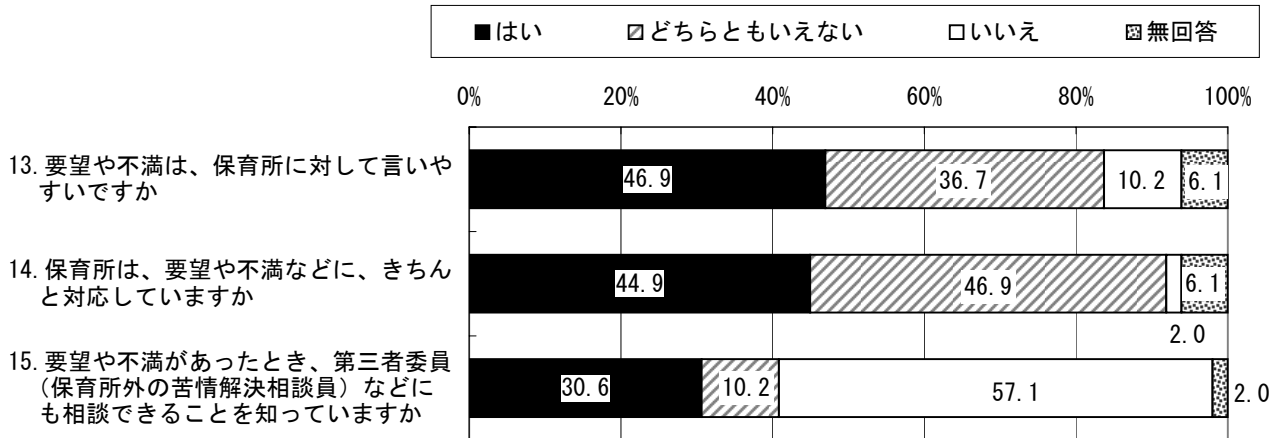
回答者数 = 49



本天沼保育園

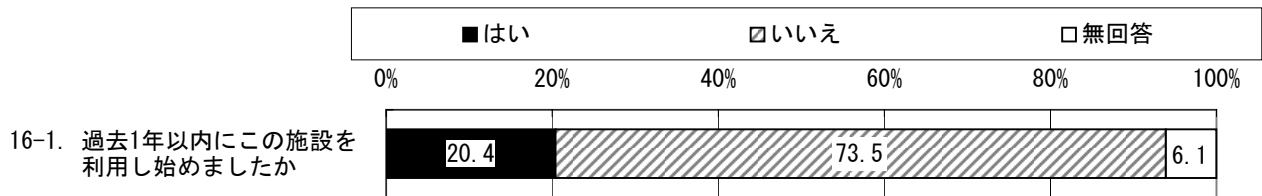
《 要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします 》

回答者数 = 49



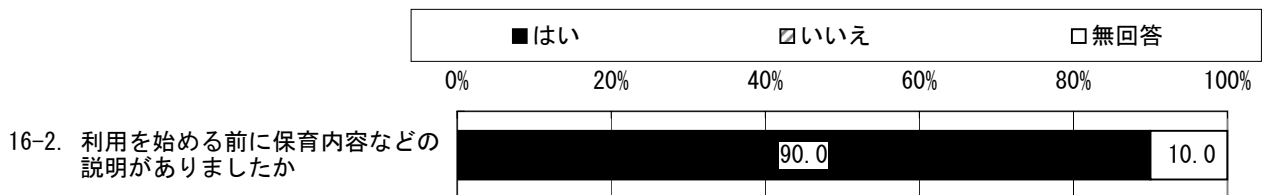
《 利用前の保育園の対応についてお聞きします 》

回答者数 = 49



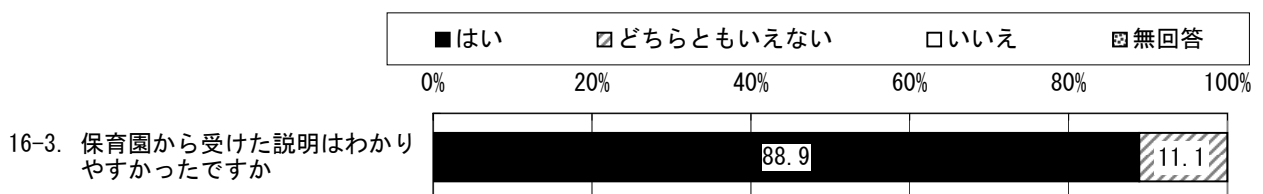
《 利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

回答者数 = 10



《 説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

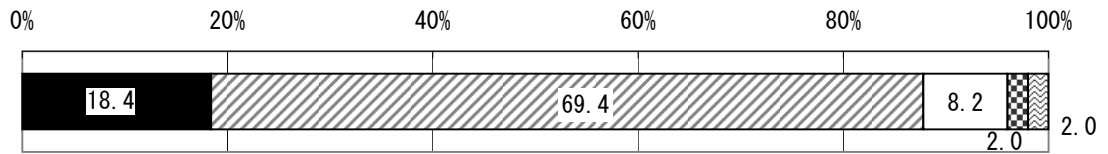
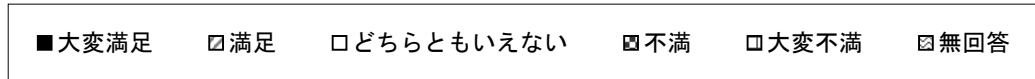
回答者数 = 9



本天沼保育園

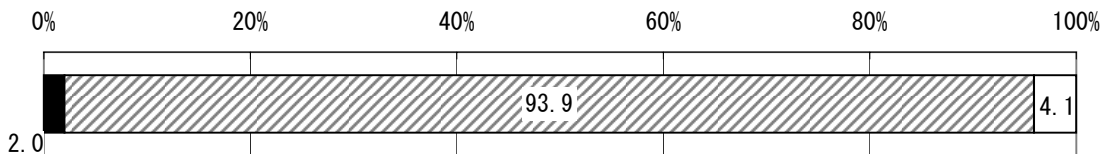
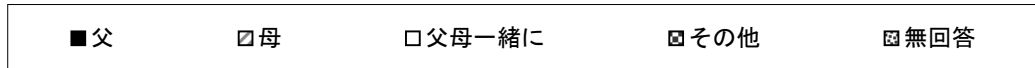
《 総合的な満足度についてお聞きします 》

回答者数 = 49



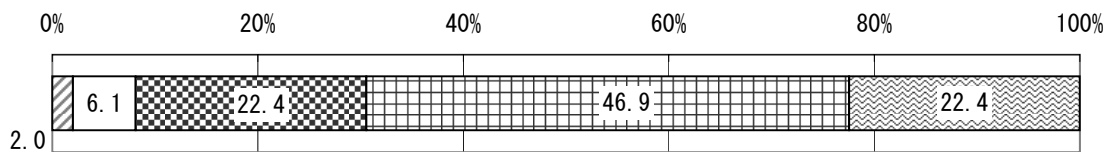
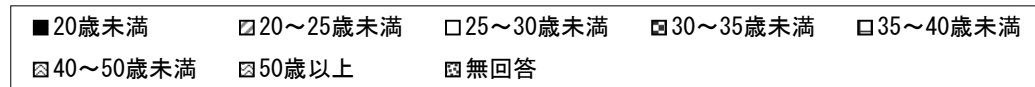
《 調査票記入者について 》

回答者数 = 49



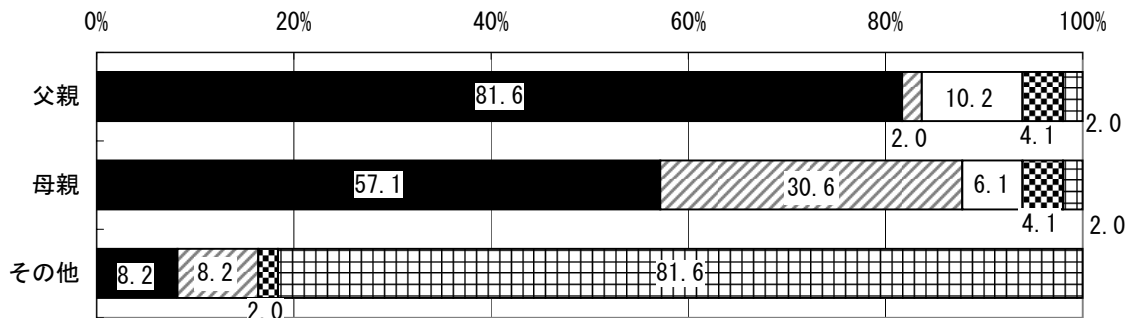
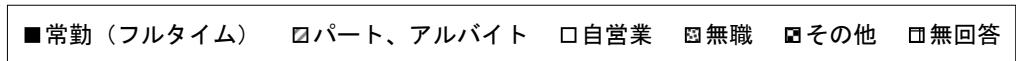
《 調査票記入者の年齢 (主に中心になって回答した方) 》

回答者数 = 49



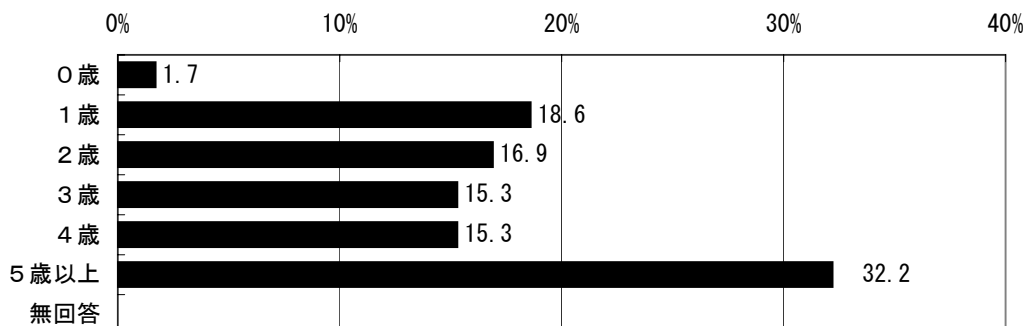
《 保護者の勤務形態 》

回答者数 = 49



《 お子さんの年齢 (複数のお子さんがいらっしゃる場合は複数に〇) 》

回答者数 = 49



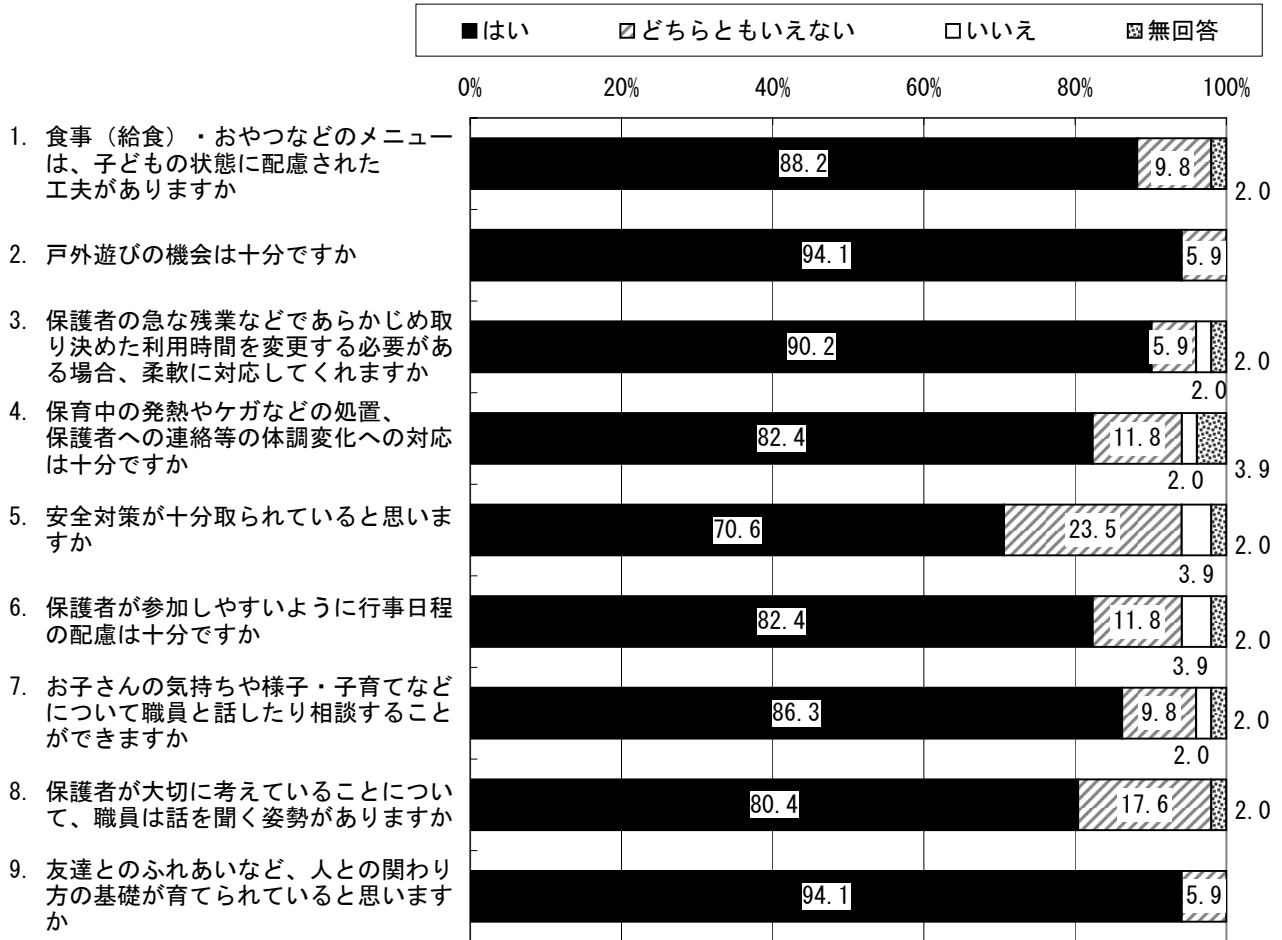
荻窪南保育園

荻窪南
保育園

荻窪南保育園

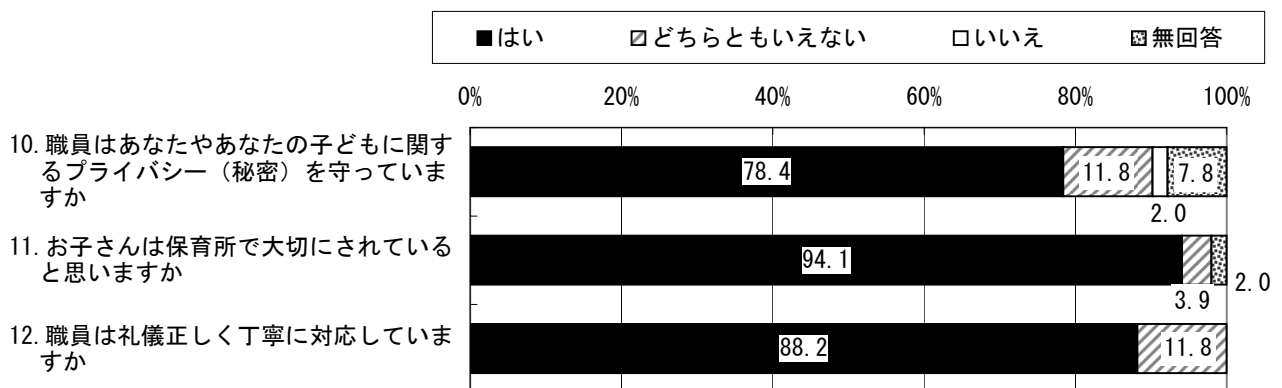
《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

回答者数 = 51



《 お子さんや保護者の尊重についてお聞きします 》

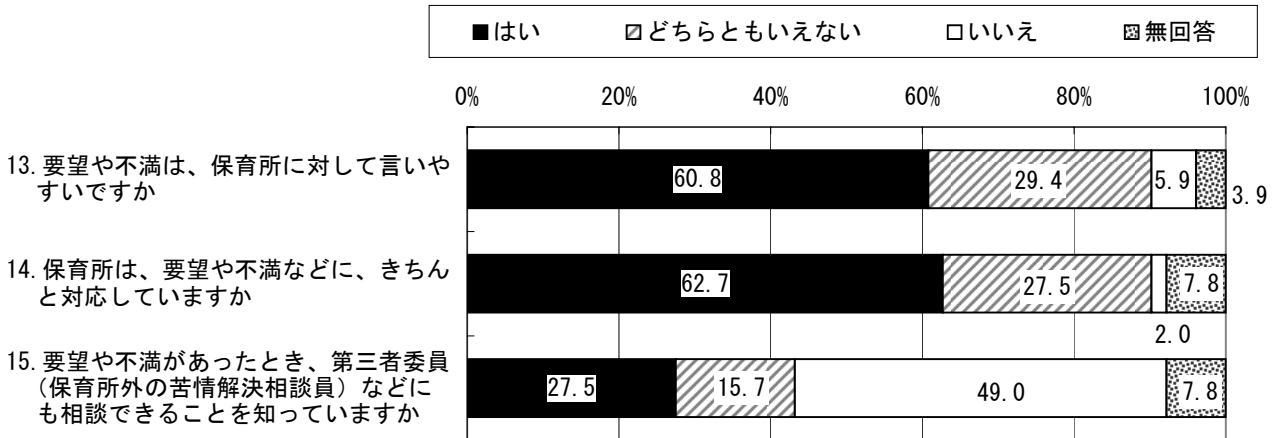
回答者数 = 51



荻窪南保育園

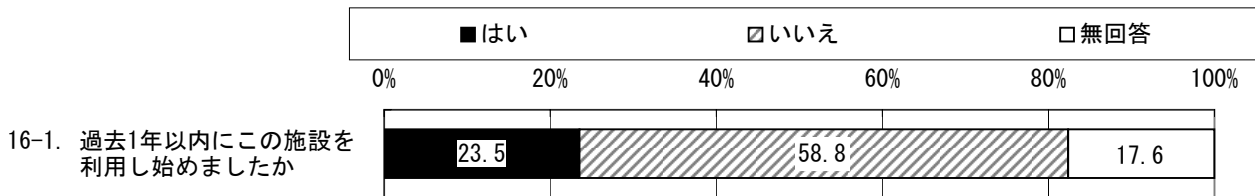
《 要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします 》

回答者数 = 51



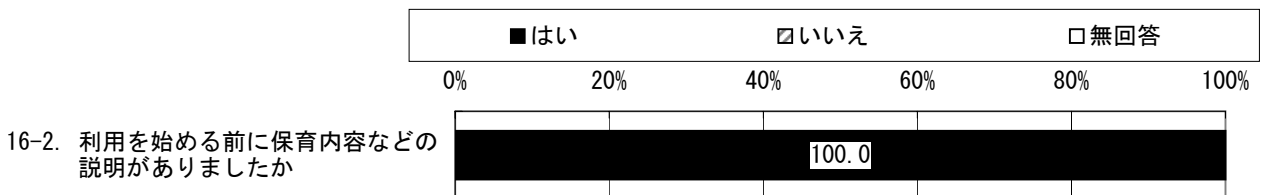
《 利用前の保育園の対応についてお聞きします 》

回答者数 = 51



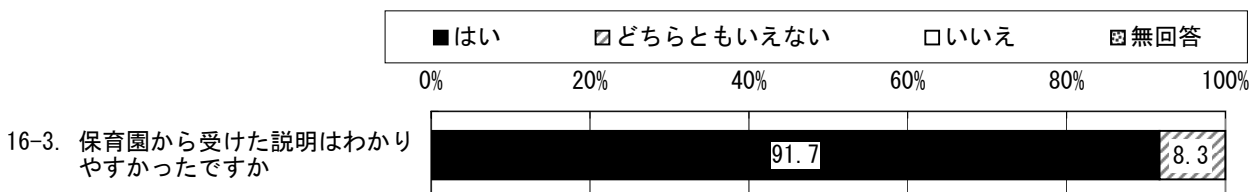
《 利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

回答者数 = 12



《 説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

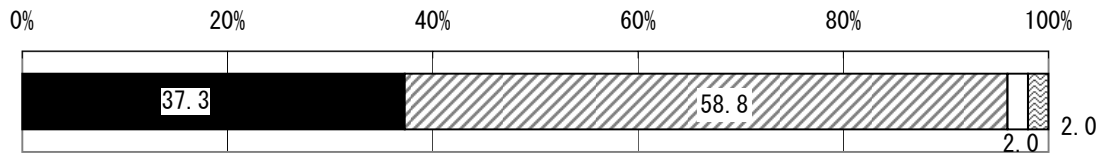
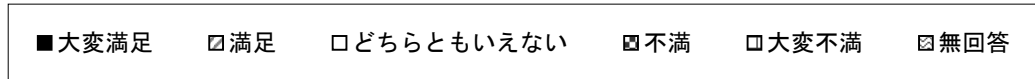
回答者数 = 12



荻窪南保育園

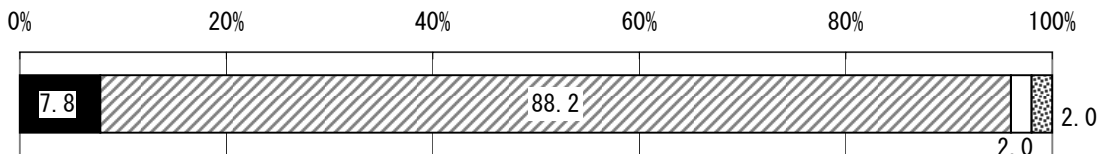
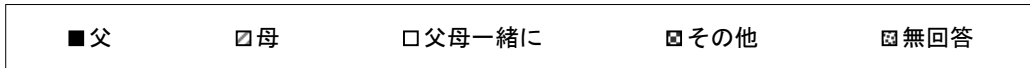
《 総合的な満足度についてお聞きます 》

回答者数 = 51



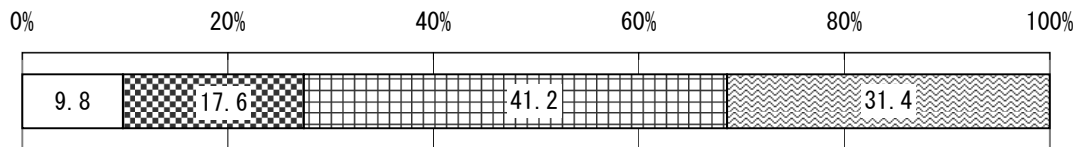
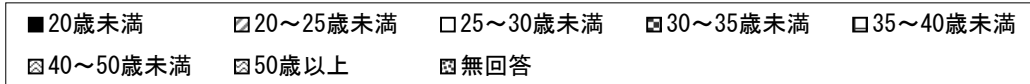
《 調査票記入者について 》

回答者数 = 51



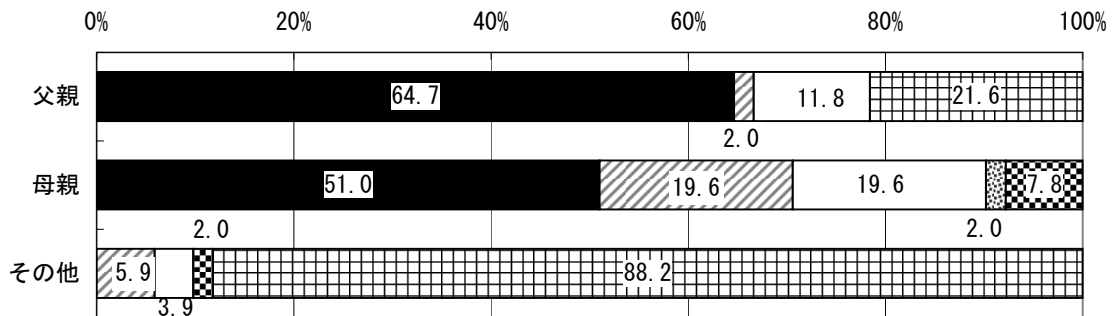
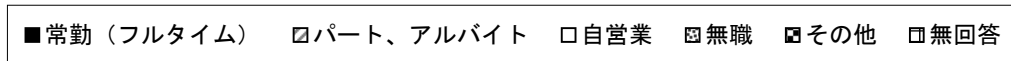
《 調査票記入者の年齢 (主に中心になって回答した方) 》

回答者数 = 51



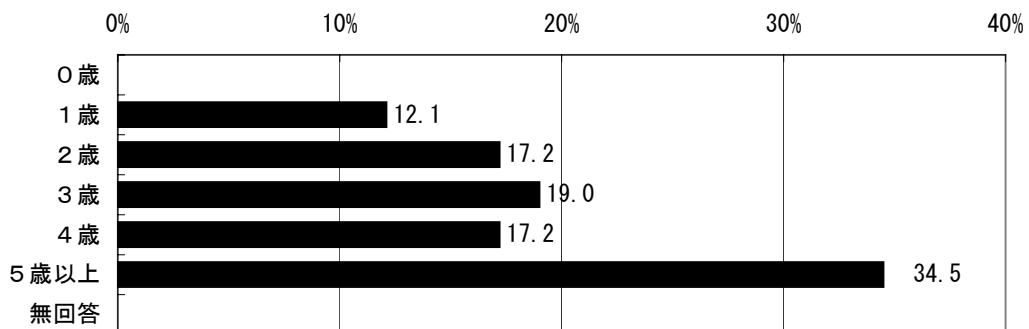
《 保護者の勤務形態 》

回答者数 = 51



《 お子さんの年齢 (複数のお子さんがいらっしゃる場合は複数に〇) 》

回答者数 = 51

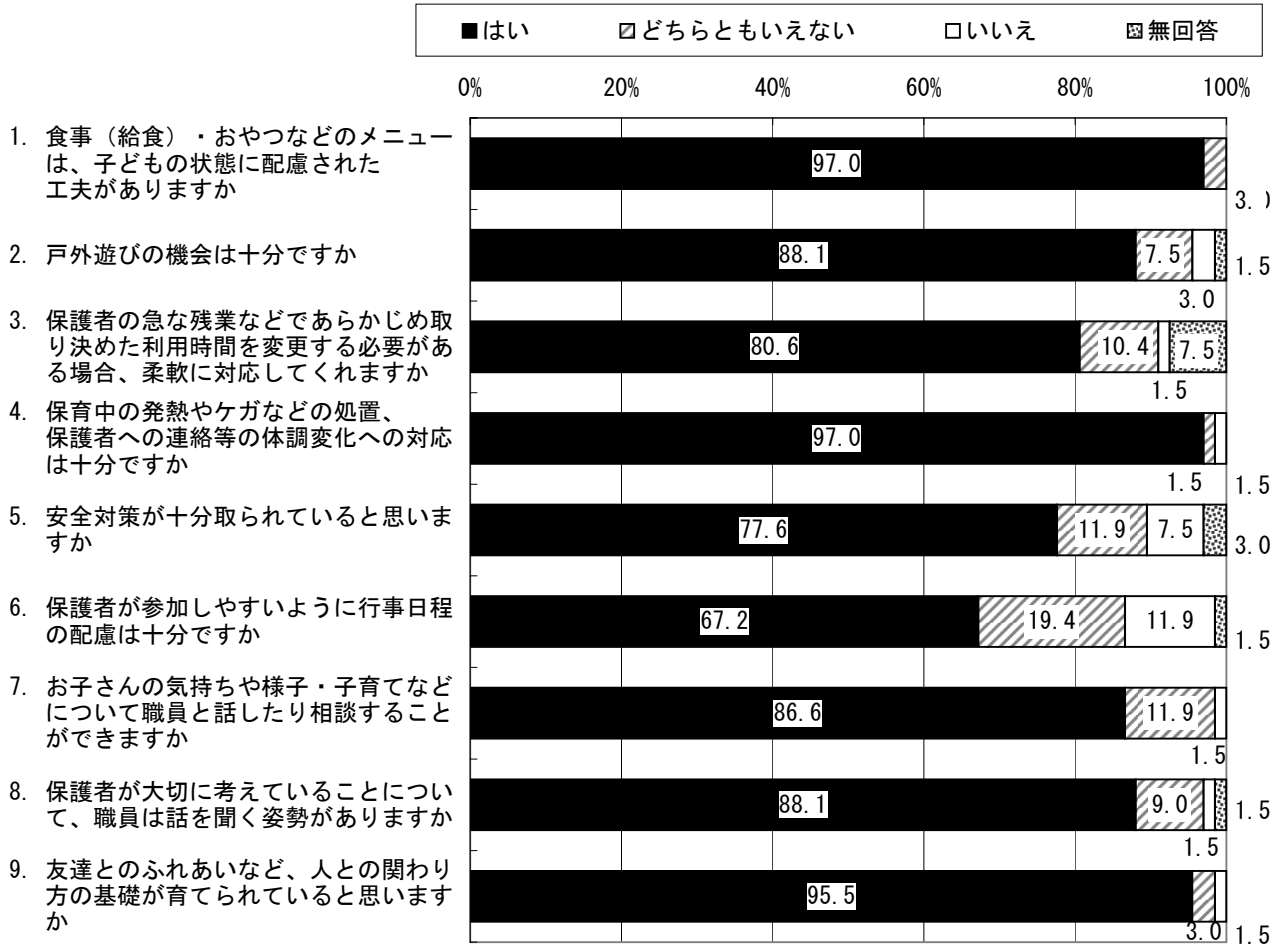


高井戸東保育園

高井戸東保育園

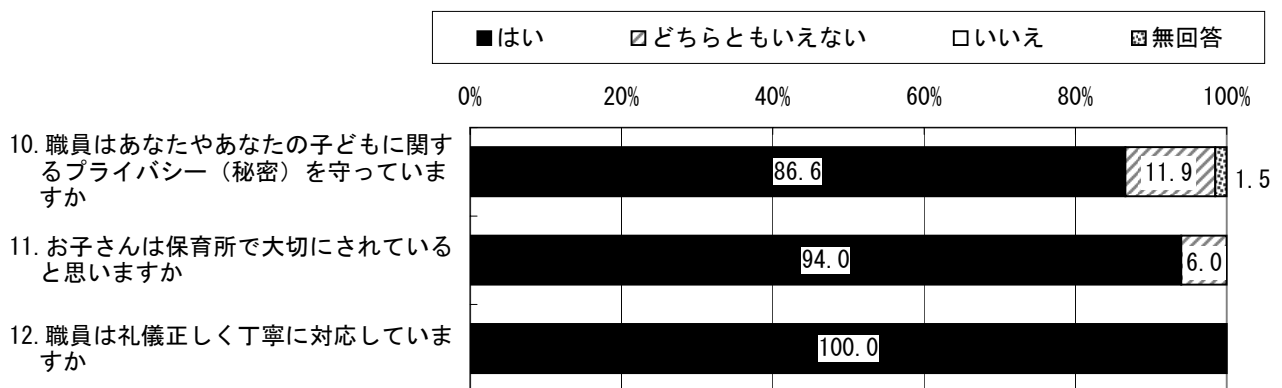
《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

回答者数 = 67



《 お子さんや保護者の尊重についてお聞きします 》

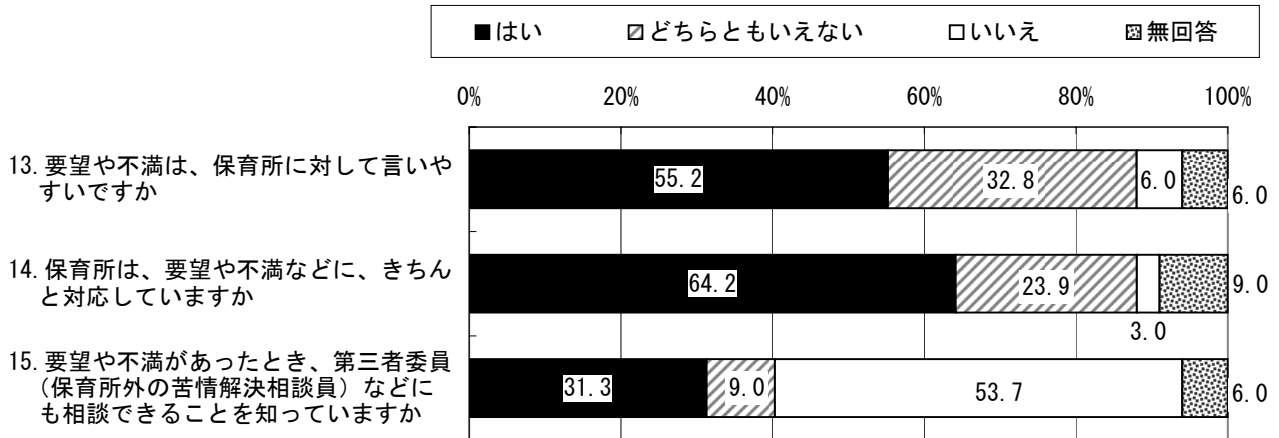
回答者数 = 67



高井戸東保育園

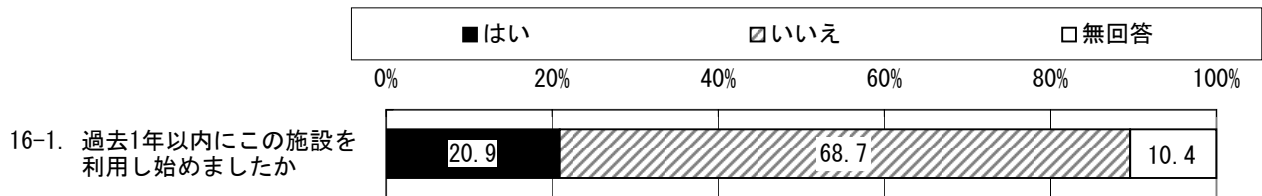
《 要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします 》

回答者数 = 67



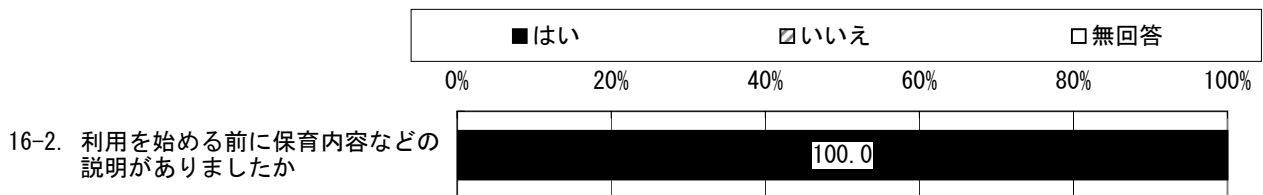
《 利用前の保育園の対応についてお聞きします 》

回答者数 = 67



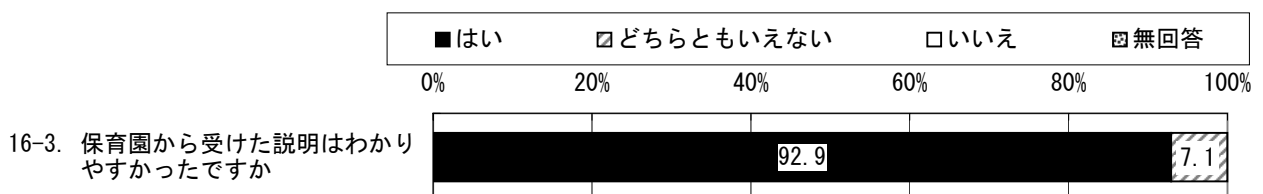
《 利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

回答者数 = 14



《 説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

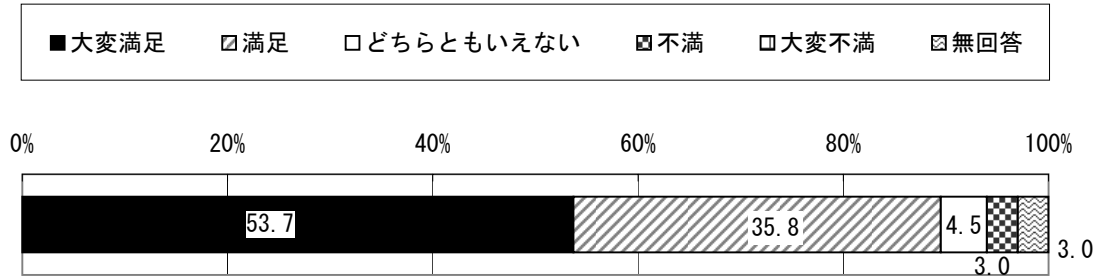
回答者数 = 14



高井戸東保育園

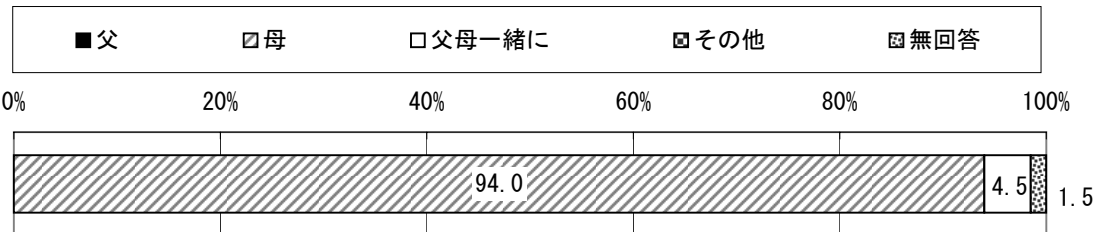
《 総合的な満足度についてお聞きします 》

回答者数 = 67



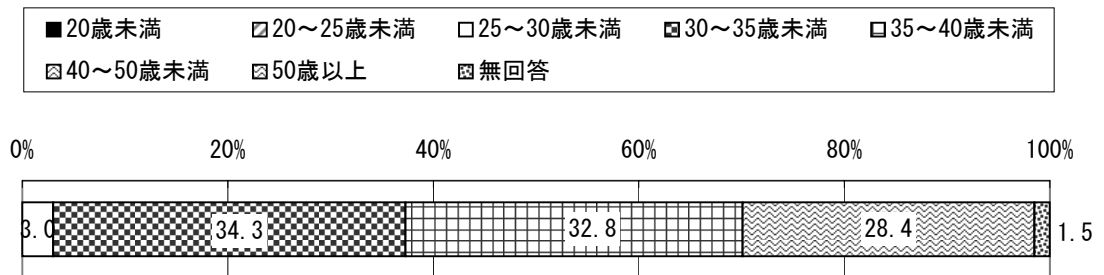
《 調査票記入者について 》

回答者数 = 67



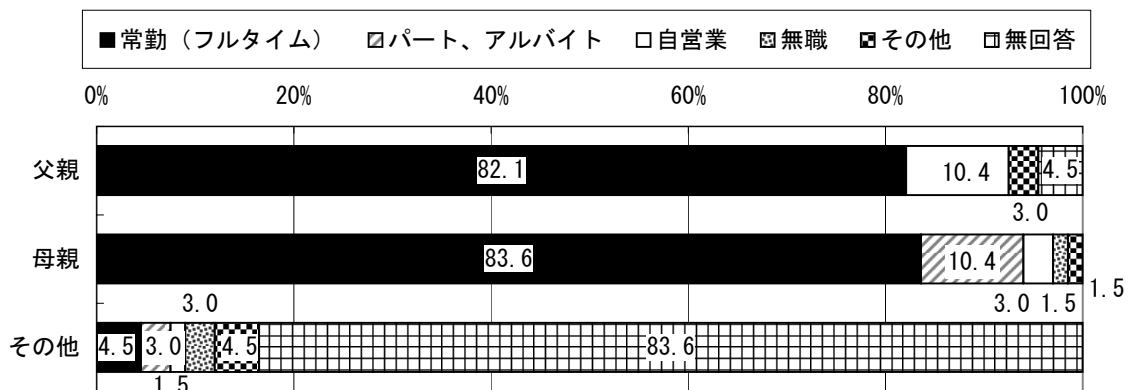
《 調査票記入者の年齢 (主に中心になって回答した方) 》

回答者数 = 67



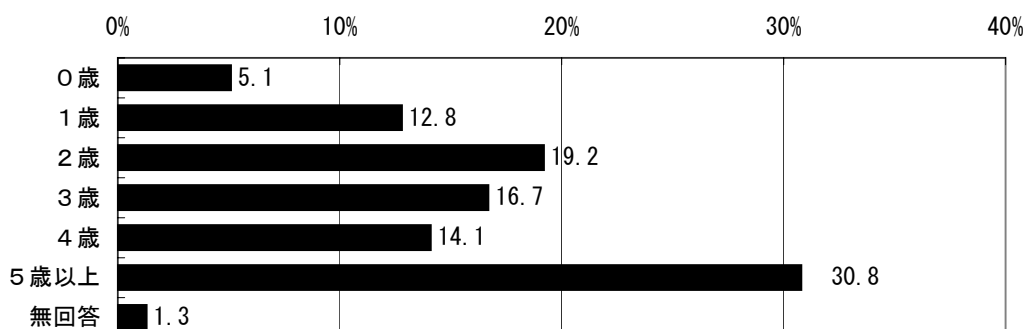
《 保護者の勤務形態 》

回答者数 = 67



《 お子さんの年齢 (複数のお子さんがいらっしゃる場合は複数に〇) 》

回答者数 = 67

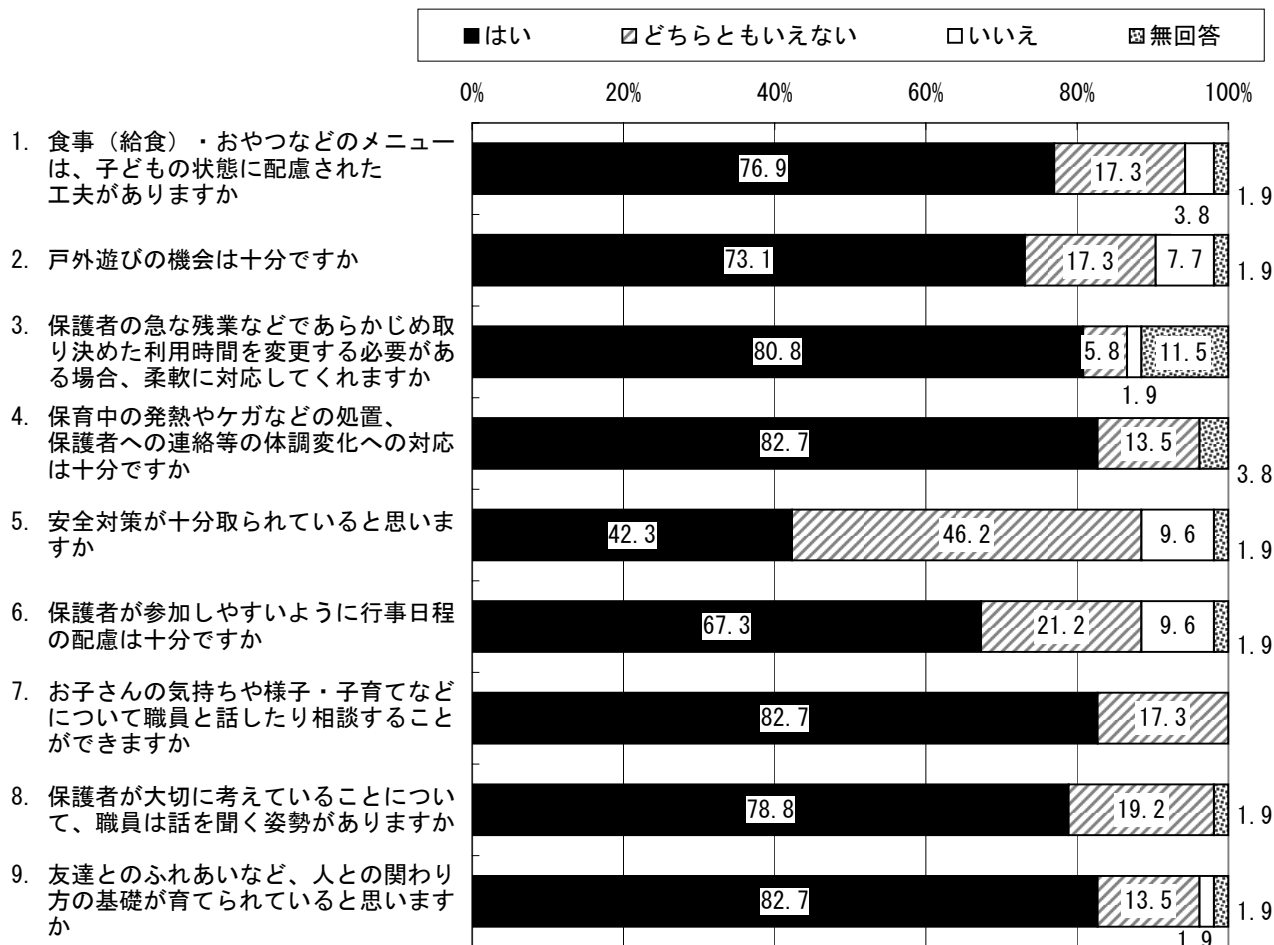


松ノ木保育園

松ノ木保育園

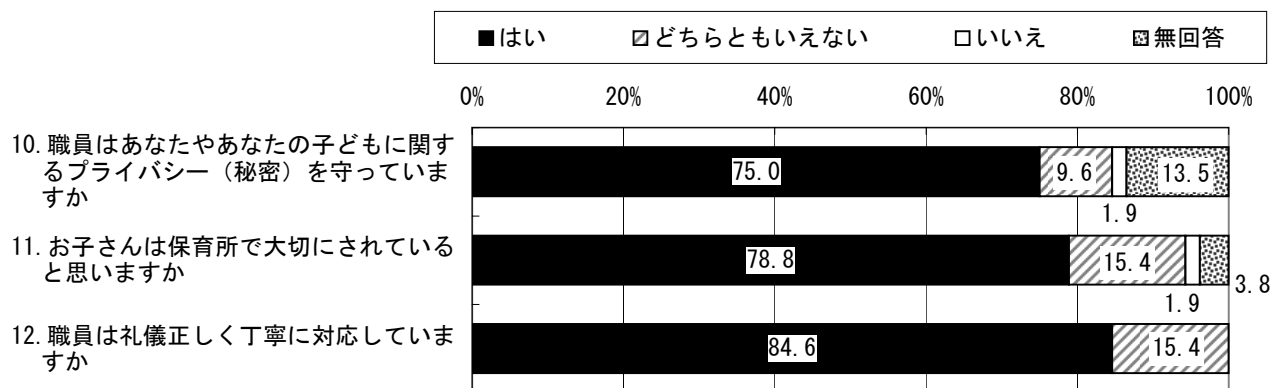
《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

回答者数 = 52



《 お子さんや保護者の尊重についてお聞きします 》

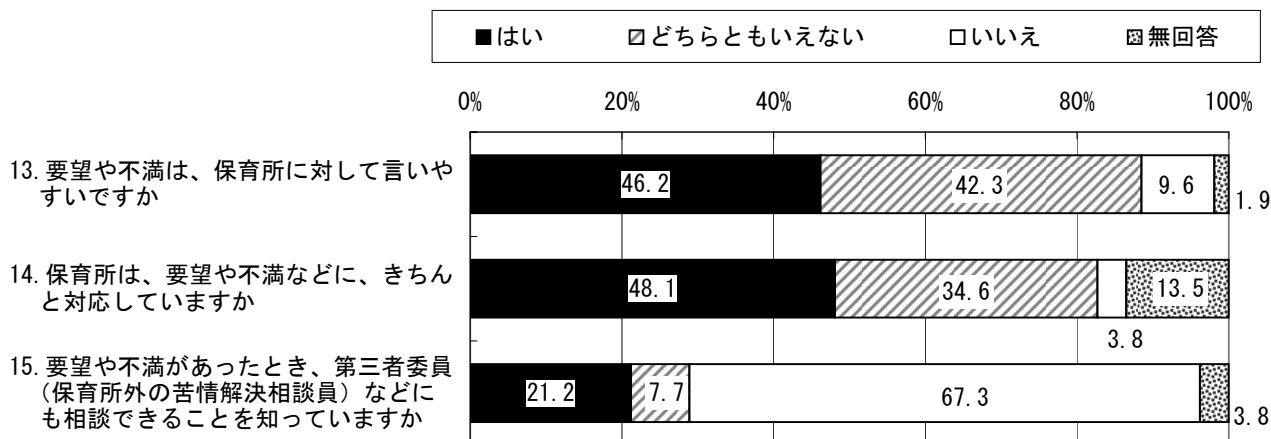
回答者数 = 52



松ノ木保育園

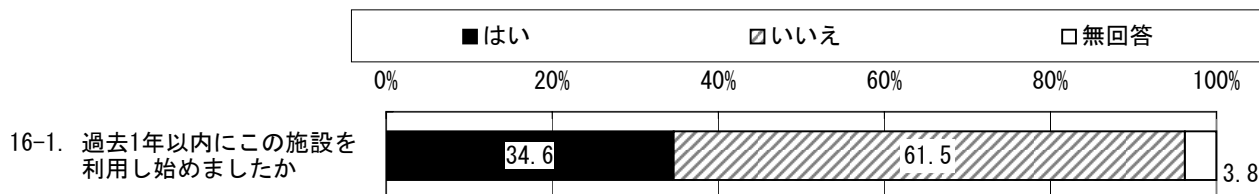
《 要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします 》

回答者数 = 52



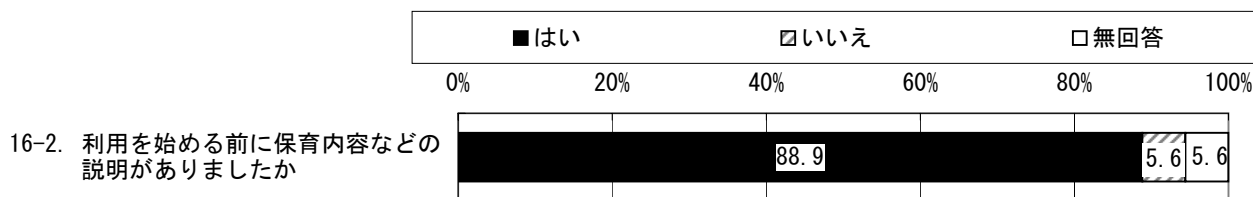
《 利用前の保育園の対応についてお聞きします 》

回答者数 = 52



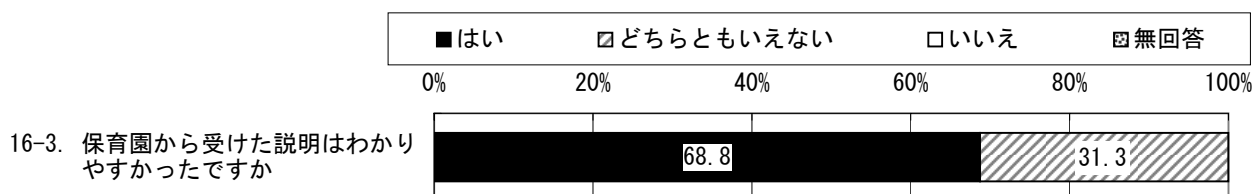
《 利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

回答者数 = 18



《 説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

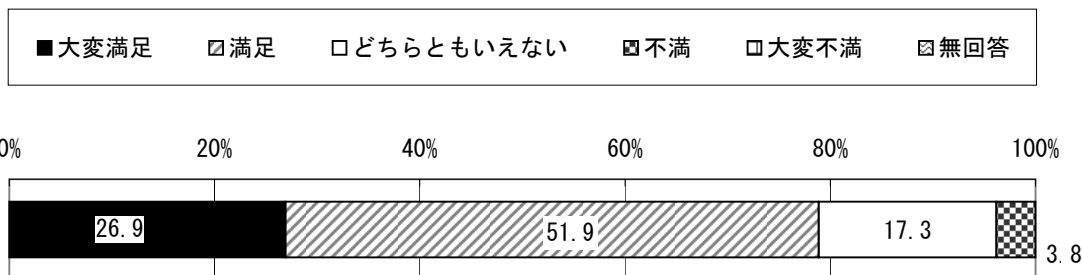
回答者数 = 16



松ノ木保育園

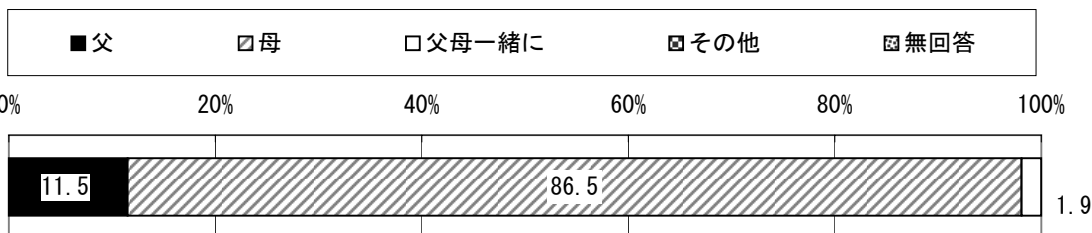
《 総合的な満足度についてお聞きします 》

回答者数 = 52



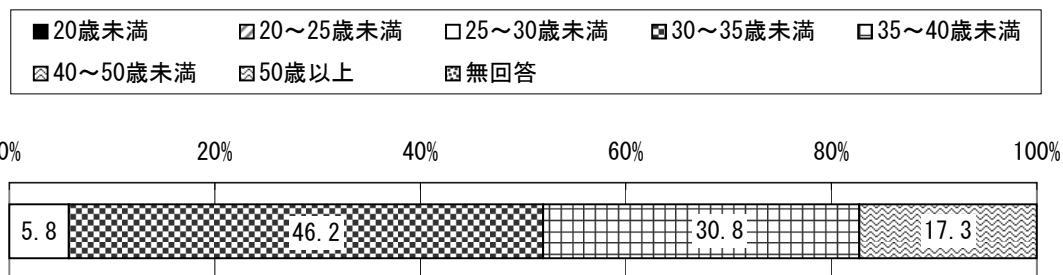
《 調査票記入者について 》

回答者数 = 52



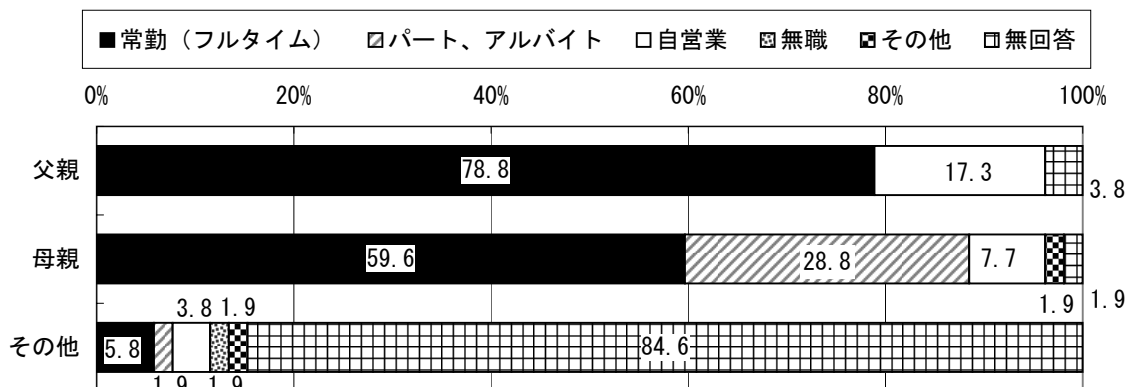
《 調査票記入者の年齢 (主に中心になって回答した方) 》

回答者数 = 52



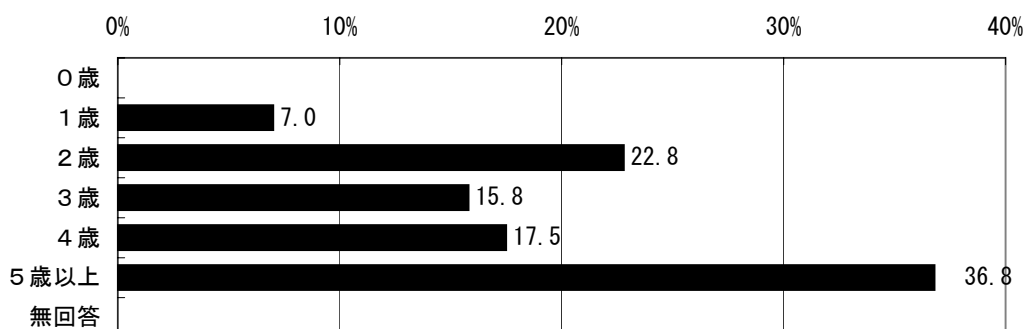
《 保護者の勤務形態 》

回答者数 = 52



《 お子さんの年齢 (複数のお子さんがいらっしゃる場合は複数に〇) 》

回答者数 = 52

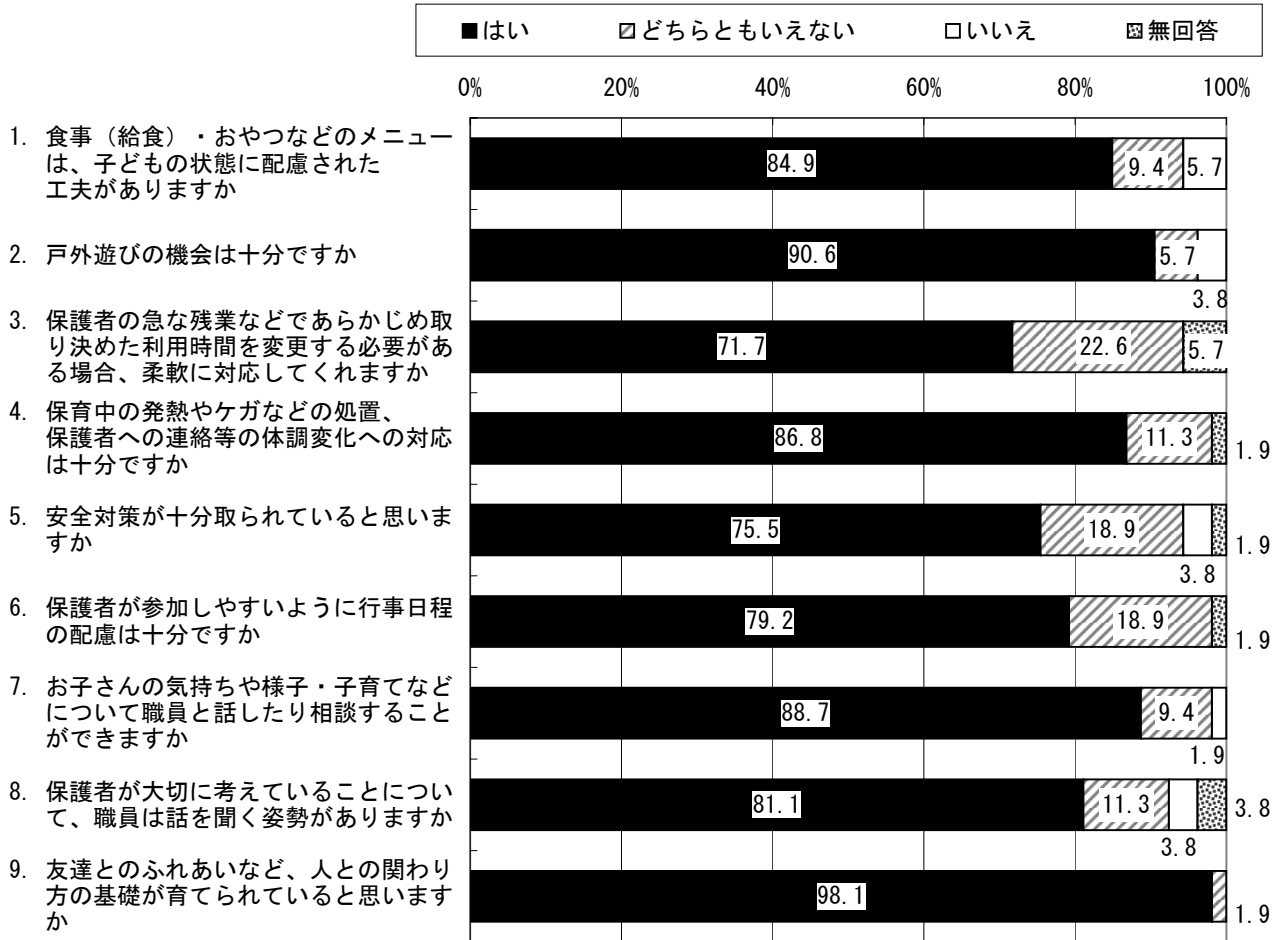


阿佐谷北保育園

阿佐谷北保育園

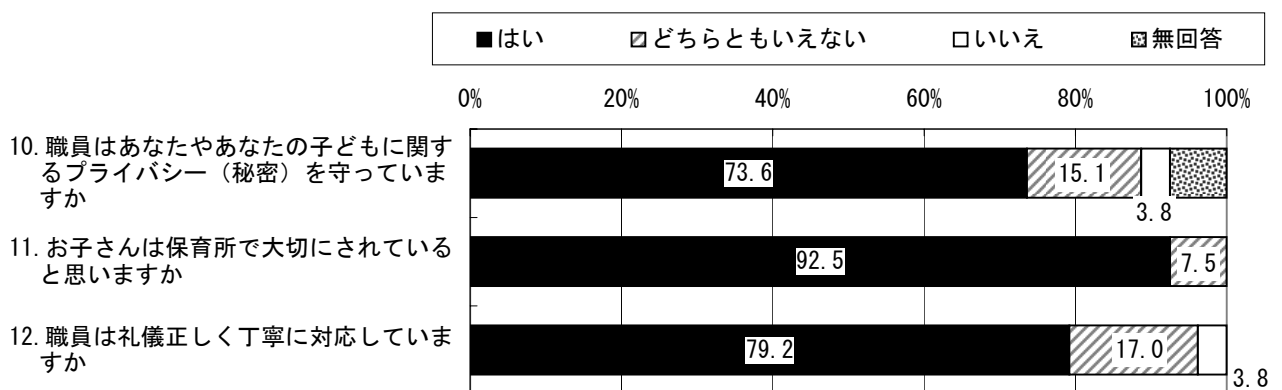
《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

回答者数 = 53



《 お子さんや保護者の尊重についてお聞きします 》

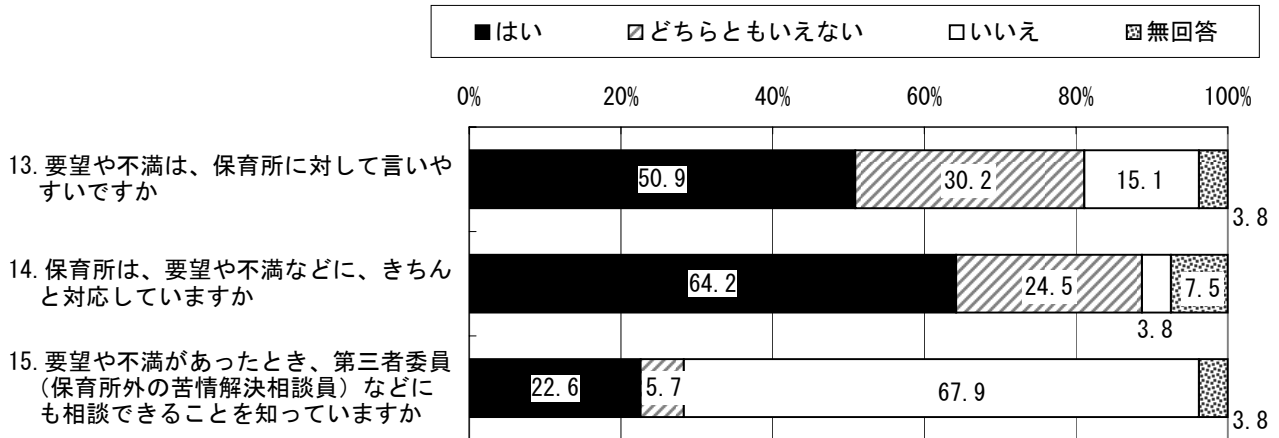
回答者数 = 53



阿佐谷北保育園

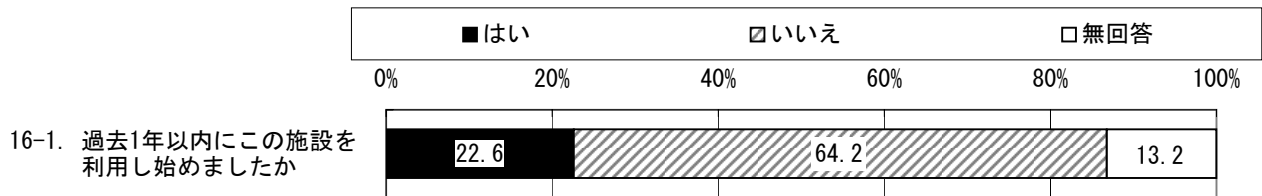
《 要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします 》

回答者数 = 53



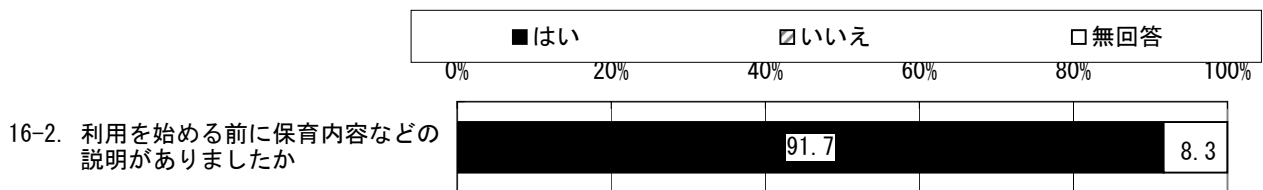
《 利用前の保育園の対応についてお聞きします 》

回答者数 = 53



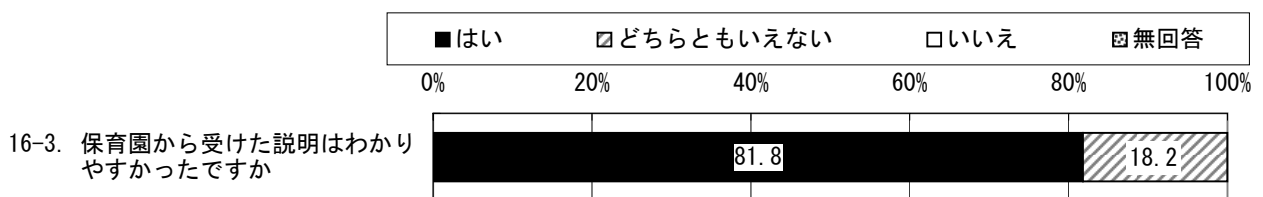
《 利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

回答者数 = 12



《 説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

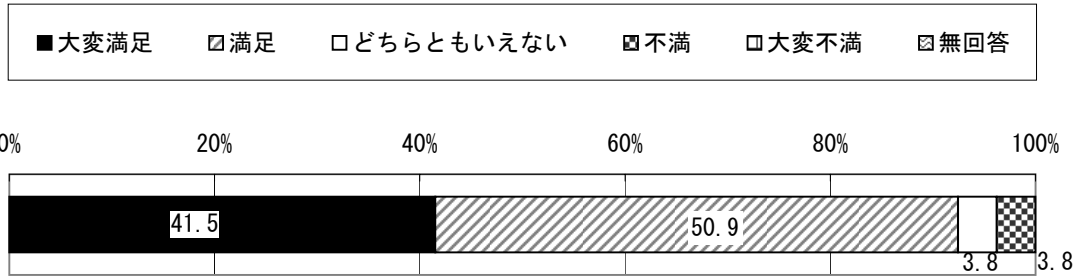
回答者数 = 11



阿佐谷北保育園

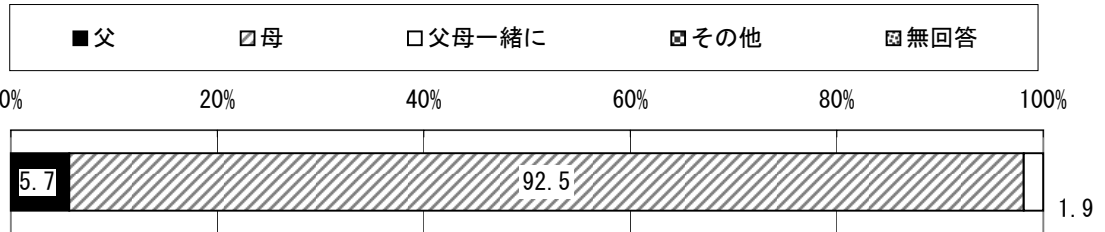
《 総合的な満足度についてお聞きします 》

回答者数 = 53



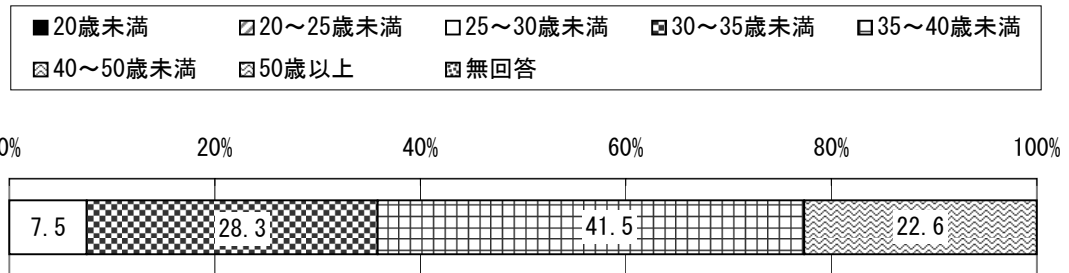
《 調査票記入者について 》

回答者数 = 53



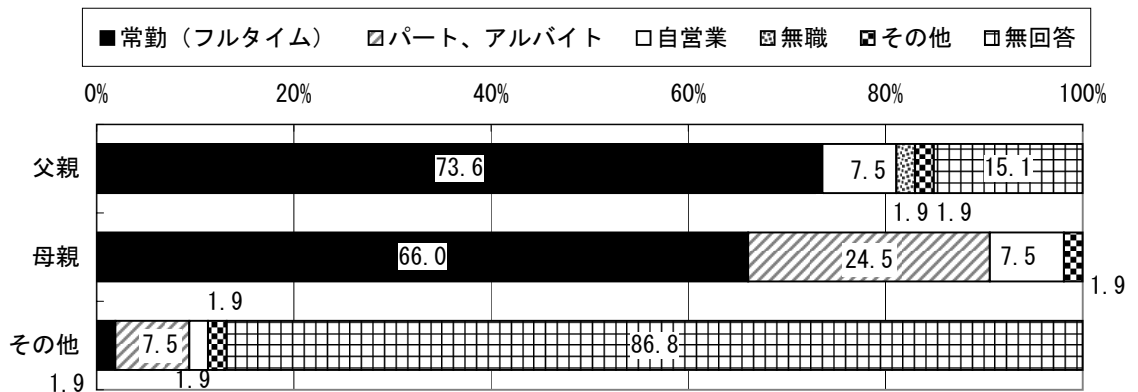
《 調査票記入者の年齢 (主に中心になって回答した方) 》

回答者数 = 53



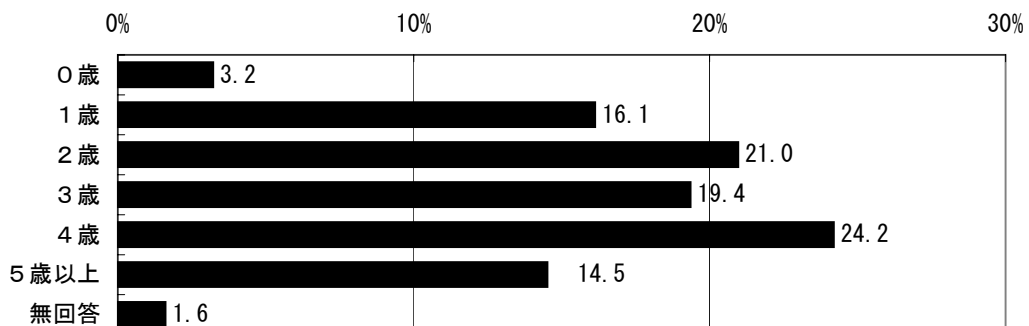
《 保護者の勤務形態 》

回答者数 = 53



《 お子さんの年齢 (複数のお子さんがいらっしゃる場合は複数に〇) 》

回答者数 = 53

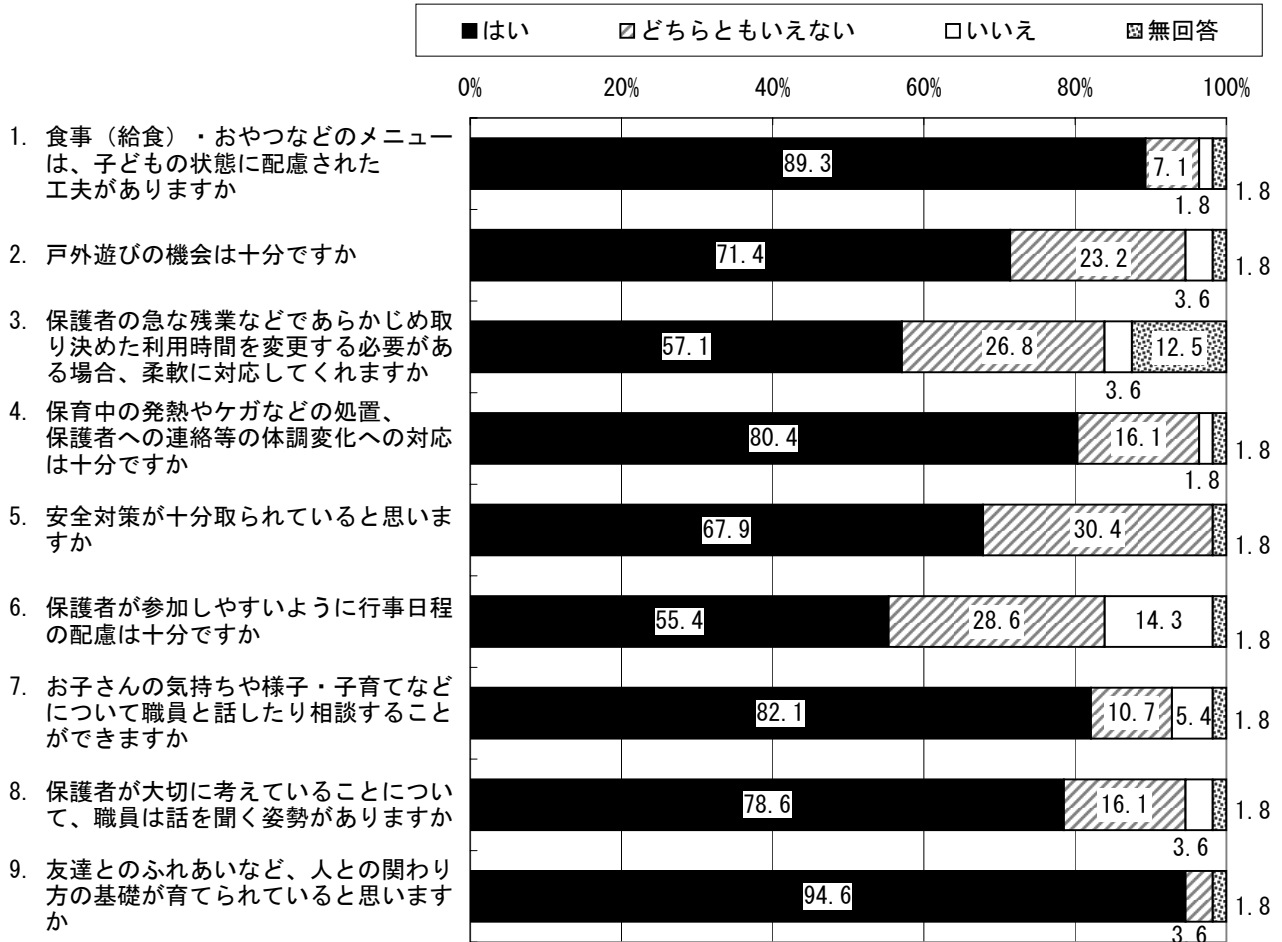


久我山保育園

久我山保育園

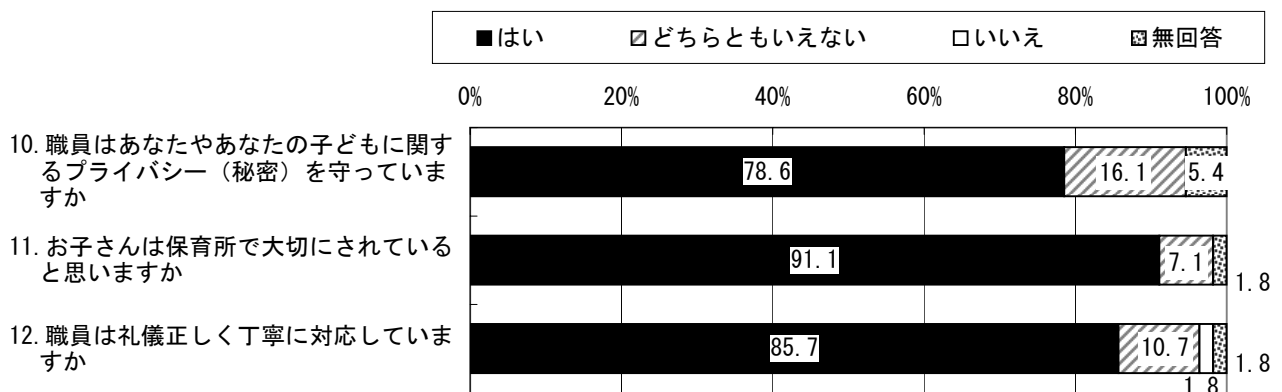
《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

回答者数 = 56



《 お子さんや保護者の尊重についてお聞きします 》

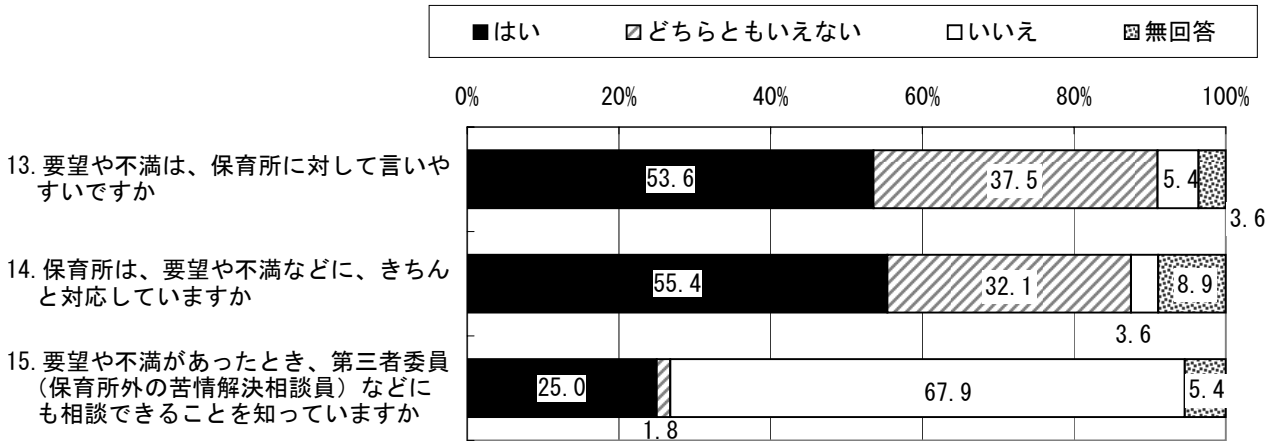
回答者数 = 56



久我山保育園

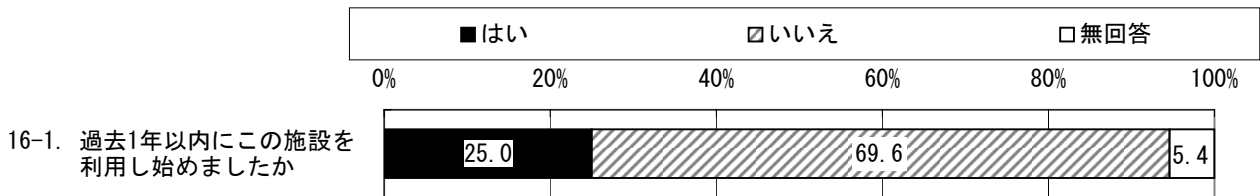
《 要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします 》

回答者数 = 56



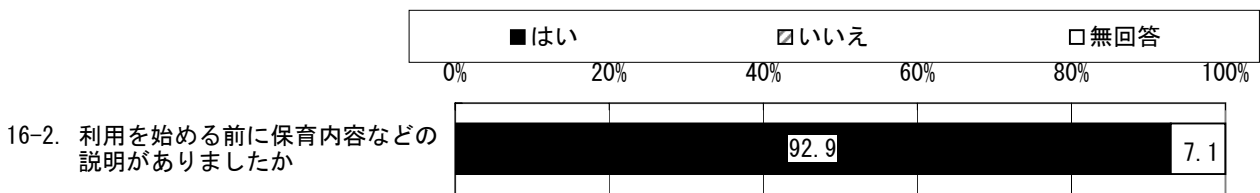
《 利用前の保育園の対応についてお聞きします 》

回答者数 = 56



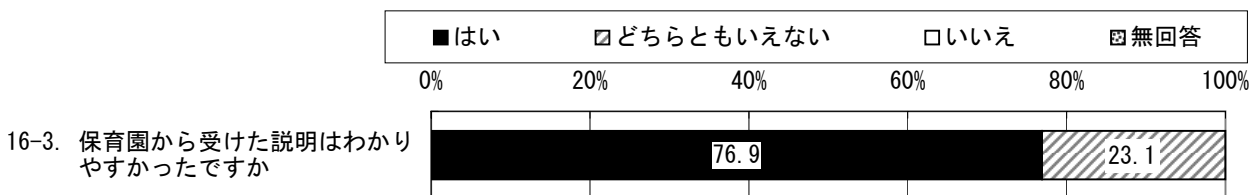
《 利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

回答者数 = 14



《 説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

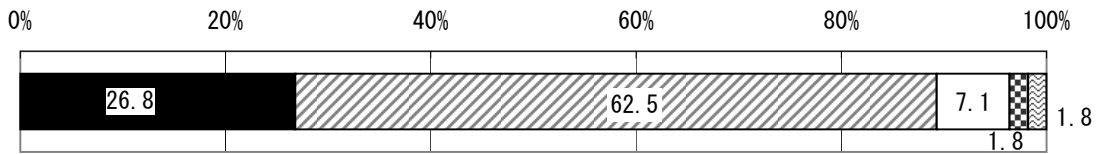
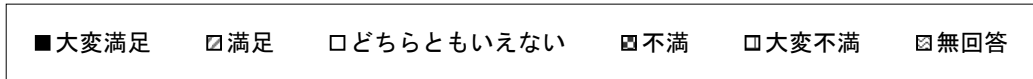
回答者数 = 13



久我山保育園

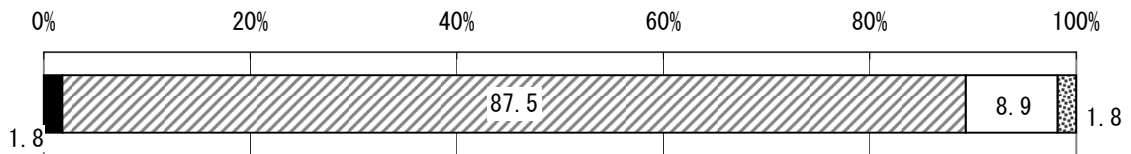
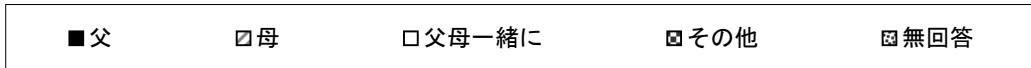
《 総合的な満足度についてお聞きします 》

回答者数 = 56



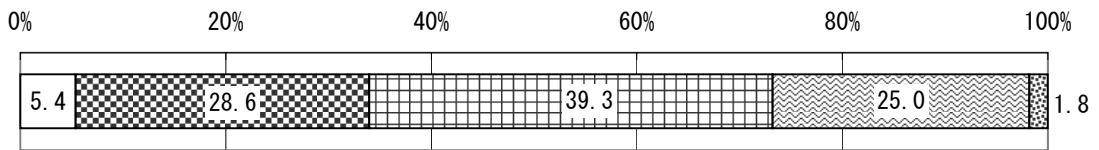
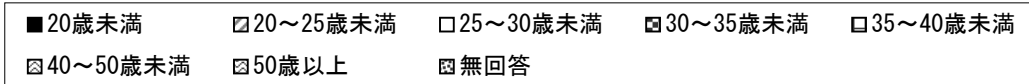
《 調査票記入者について 》

回答者数 = 56



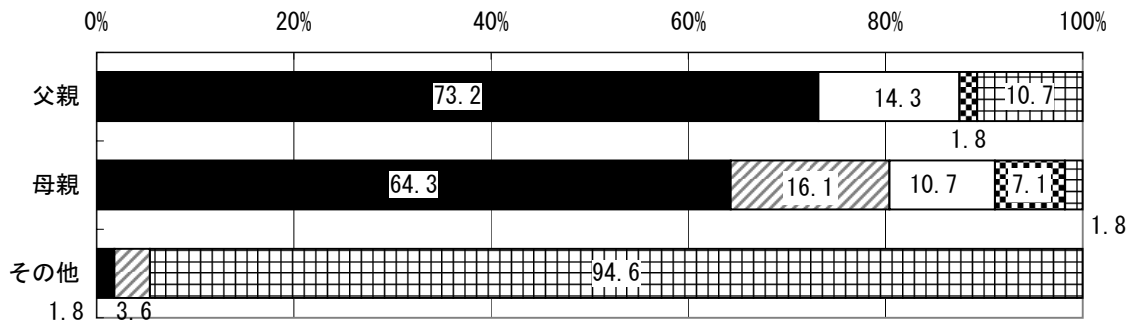
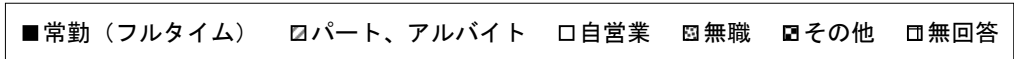
《 調査票記入者の年齢 (主に中心になって回答した方) 》

回答者数 = 56



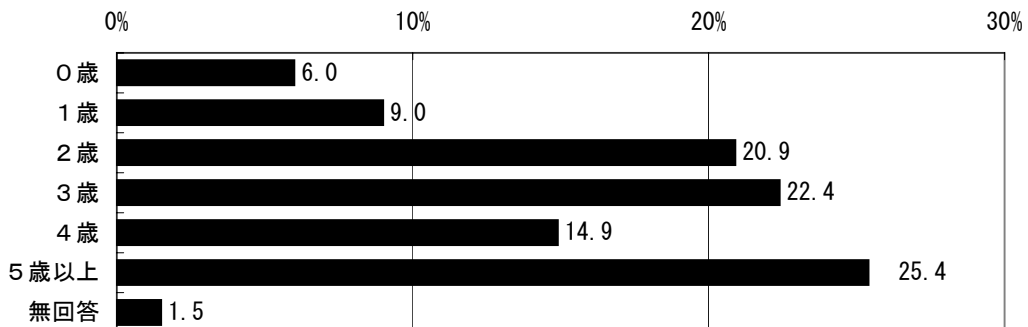
《 保護者の勤務形態 》

回答者数 = 56



《 お子さんの年齢 (複数のお子さんがいらっしゃる場合は複数に〇) 》

回答者数 = 56

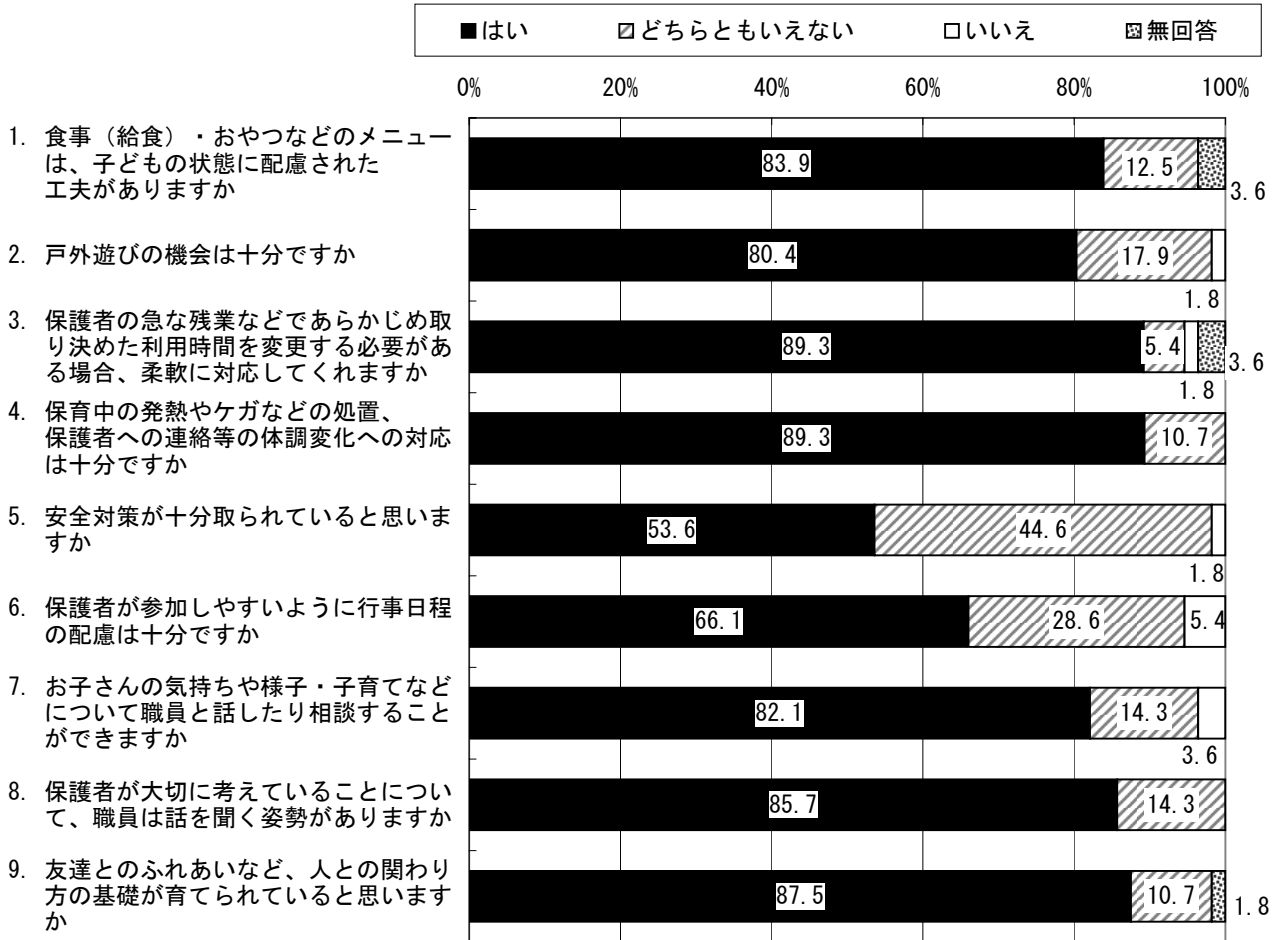


浜田山保育園

浜田山保育園

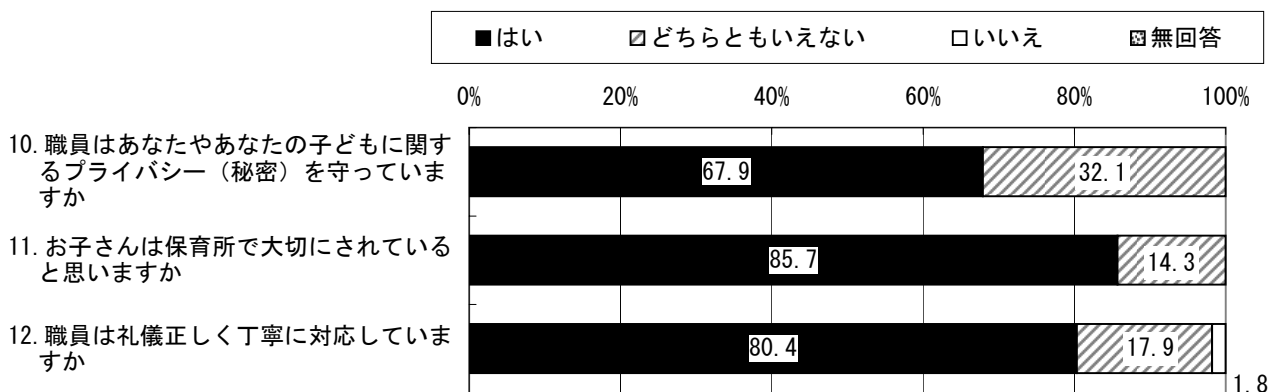
《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

回答者数 = 56



《 お子さんや保護者の尊重についてお聞きします 》

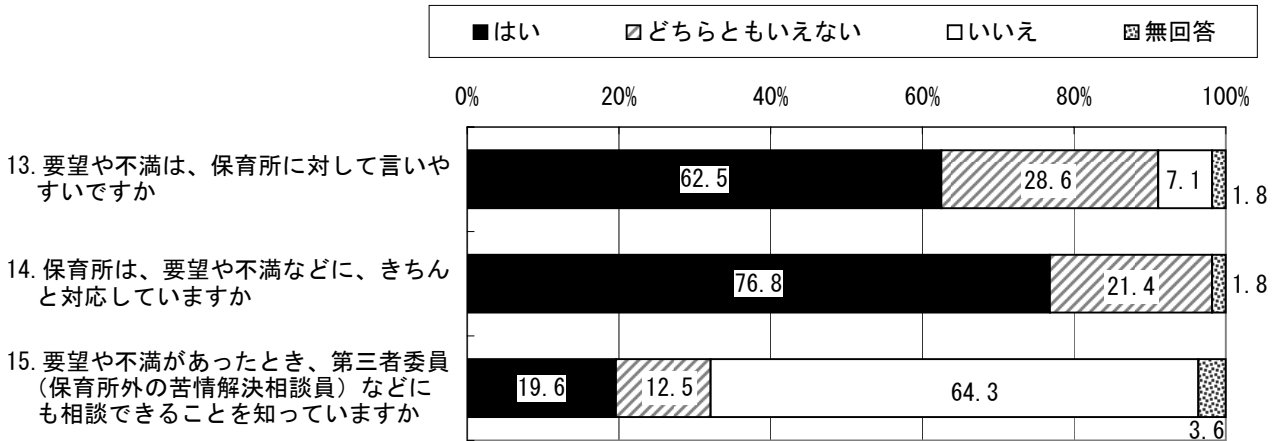
回答者数 = 56



浜田山保育園

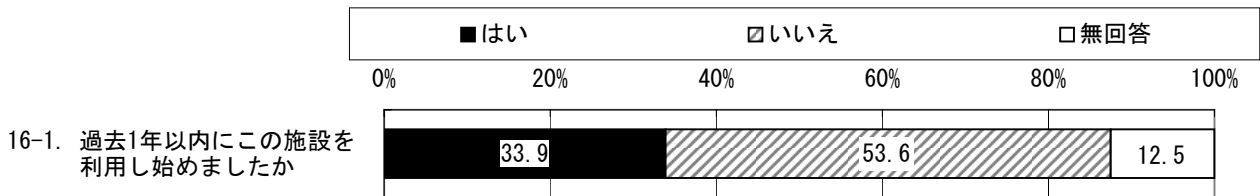
《 要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします 》

回答者数 = 56



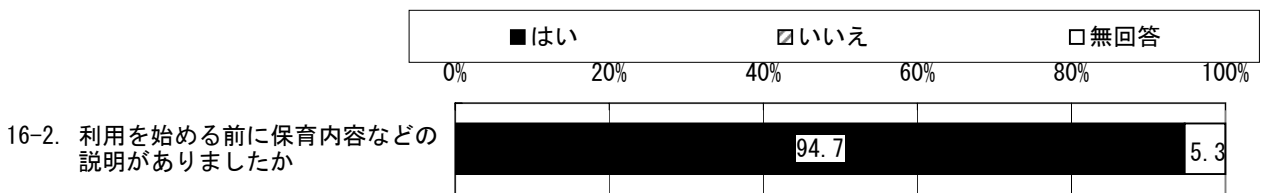
《 利用前の保育園の対応についてお聞きします 》

回答者数 = 56



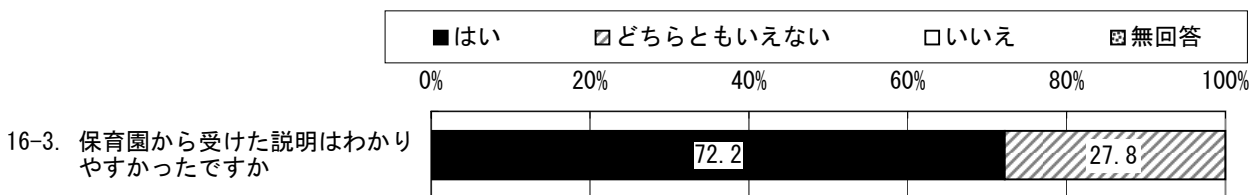
《 利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

回答者数 = 19



《 説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

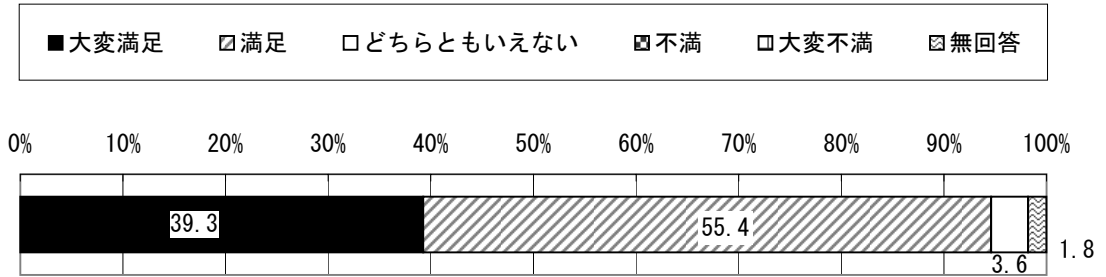
回答者数 = 18



浜田山保育園

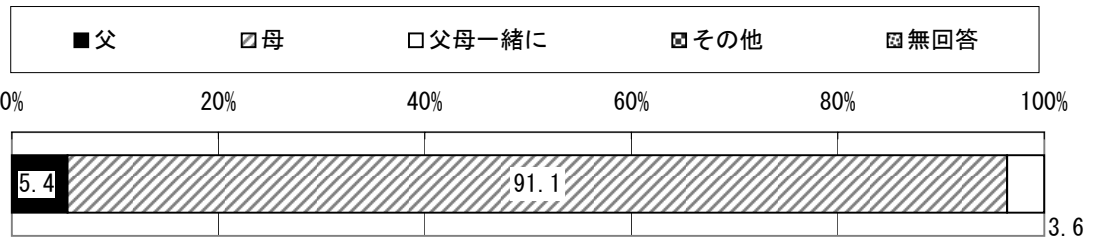
《 総合的な満足度についてお聞きします 》

回答者数 = 56



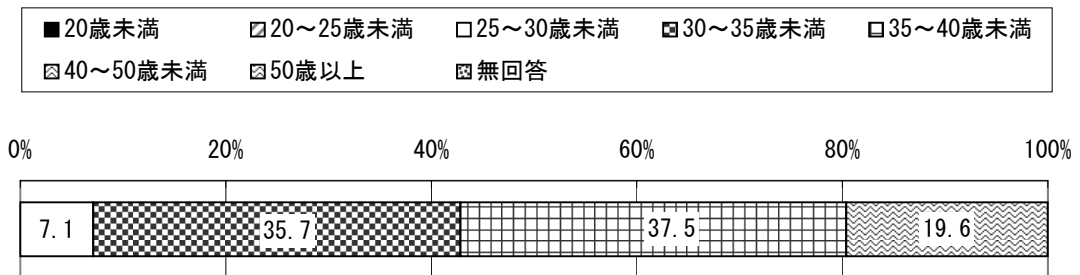
《 調査票記入者について 》

回答者数 = 56



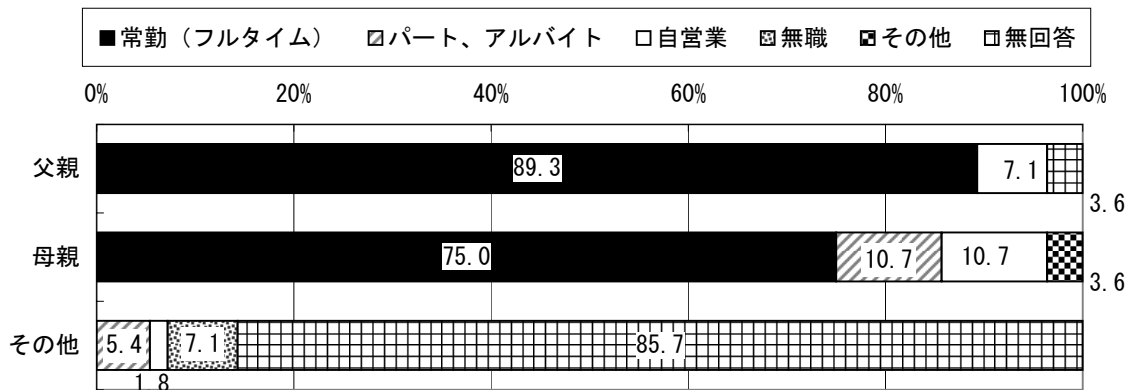
《 調査票記入者の年齢 (主に中心になって回答した方) 》

回答者数 = 56



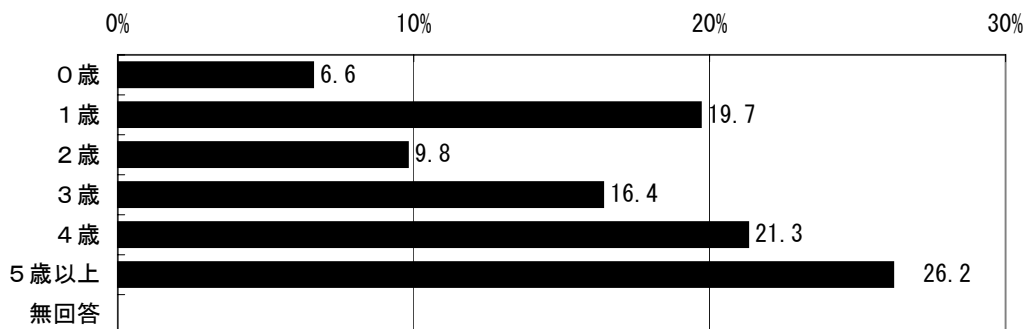
《 保護者の勤務形態 》

回答者数 = 56



《 お子さんの年齢 (複数のお子さんがいらっしゃる場合は複数に〇) 》

回答者数 = 56

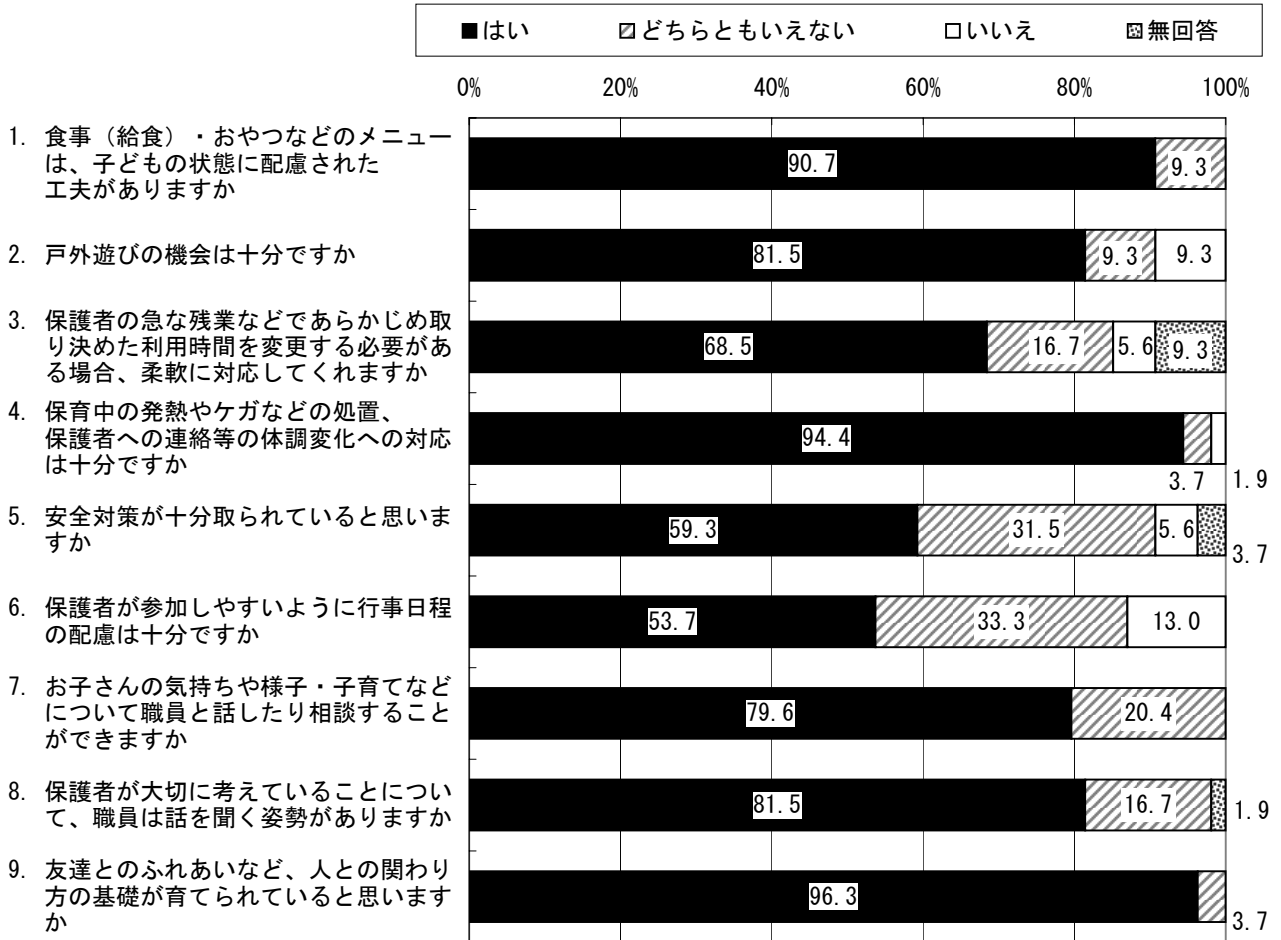


今川保育園

今川保育園

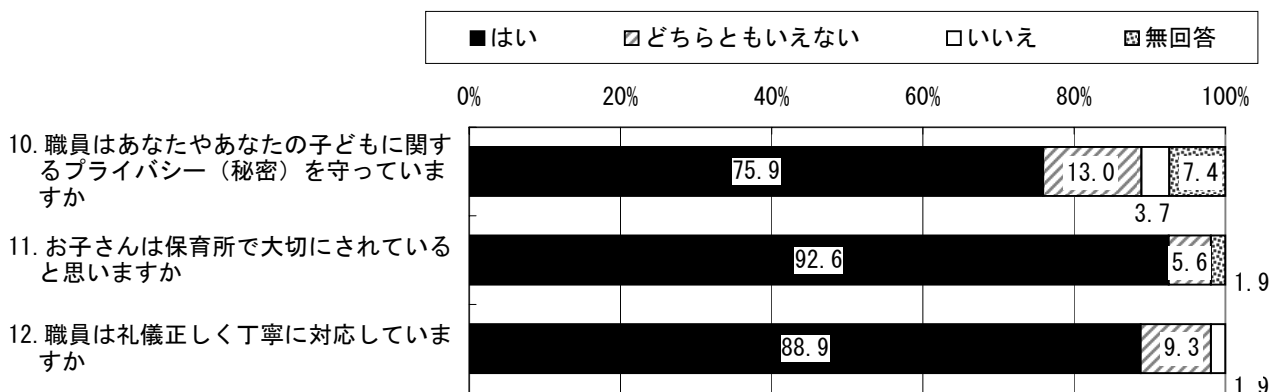
《 毎日の保育サービスについてお聞きします 》

回答者数 = 54



《 お子さんや保護者の尊重についてお聞きします 》

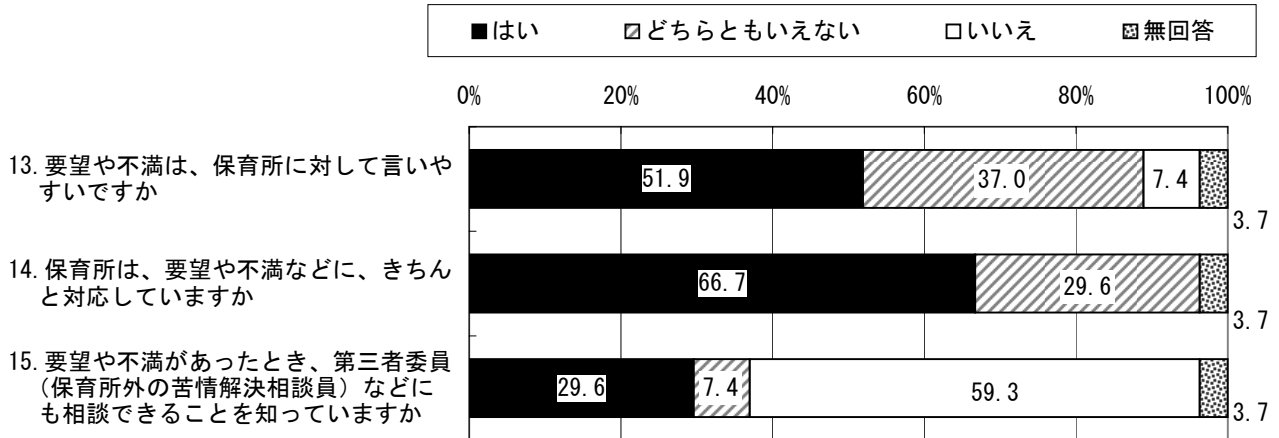
回答者数 = 54



今川保育園

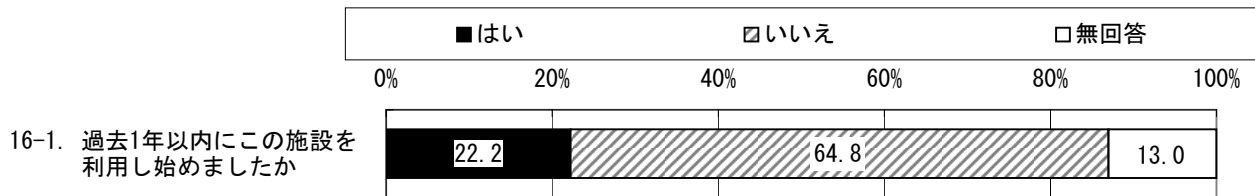
《 要望・意見やトラブルへの対応についてお聞きします 》

回答者数 = 54



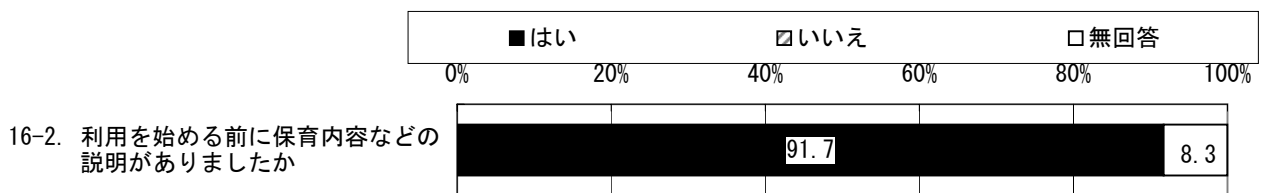
《 利用前の保育園の対応についてお聞きします 》

回答者数 = 54



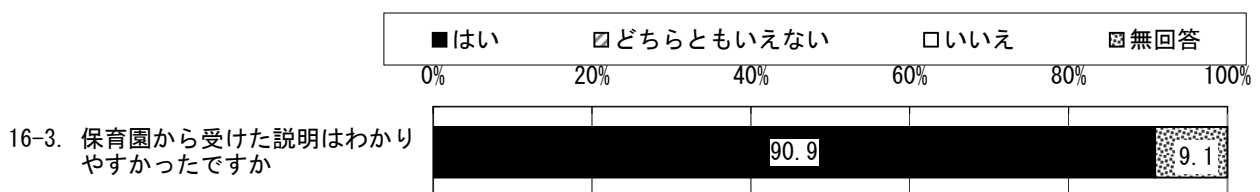
《 利用前の説明についてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

回答者数 = 12



《 説明のわかりやすさについてお聞きします 上記で「はい」と回答した方への質問 》

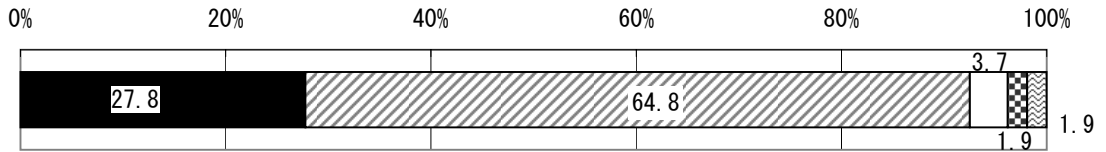
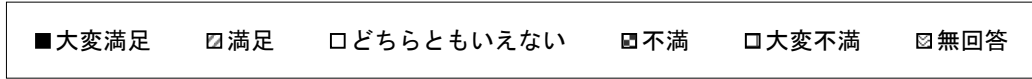
回答者数 = 11



今川保育園

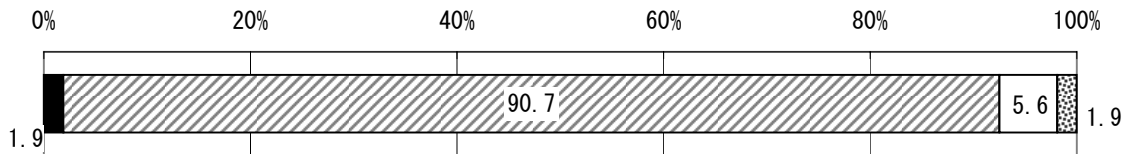
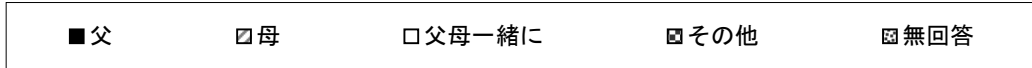
《 総合的な満足度についてお聞きします 》

回答者数 = 54



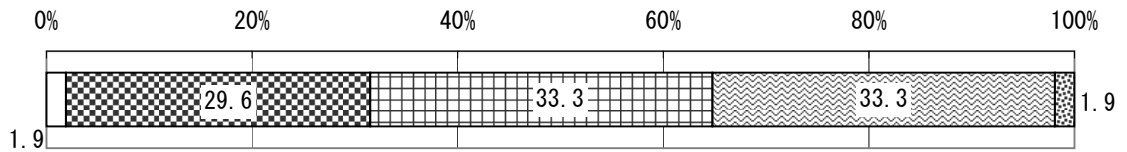
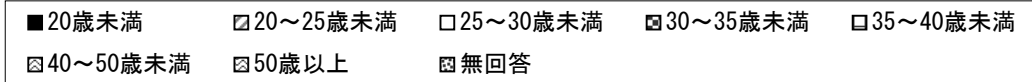
《 調査票記入者について 》

回答者数 = 54



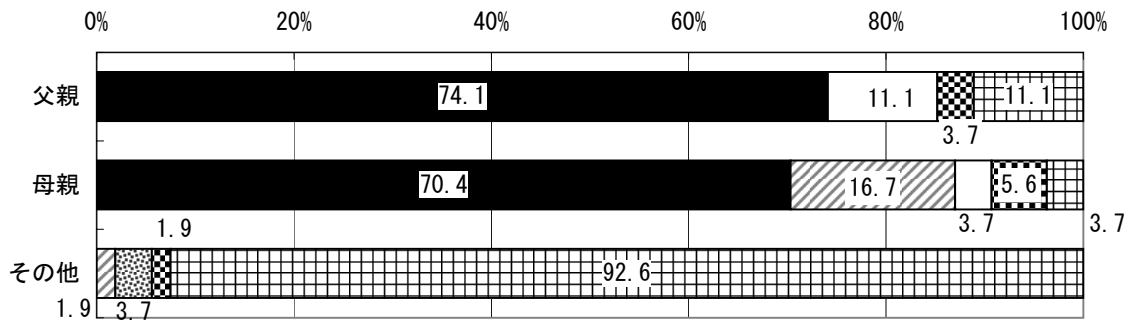
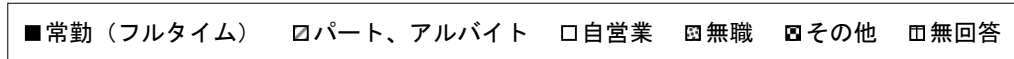
《 調査票記入者の年齢 (主に中心になって回答した方) 》

回答者数 = 54



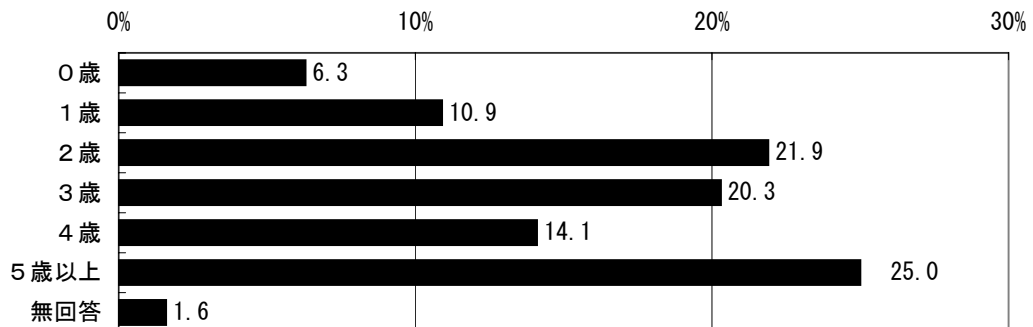
《 保護者の勤務形態 》

回答者数 = 54



《 お子さんの年齢 (複数のお子さんがいらっしゃる場合は複数に〇) 》

回答者数 = 54



第 2 部 事業評価

評価の概要

1 評価の概要

組織としてのマネジメント力がどのような状況にあるか、また現在提供されているサービスの質がどのような状況であるかについて、第三者評価機関が経営層及び職員の自己評価を事前に分析し、訪問調査を実施したうえで合議により評価を決定した。(巻末の付属資料2、巻末の付属資料3)

主な評価項目は以下の通りである。

- カテゴリー1：リーダーシップと意思決定
- カテゴリー2：経営における社会的責任
- カテゴリー3：利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
- カテゴリー4：計画の策定と着実な実行
- カテゴリー5：職員と組織の能力向上
- カテゴリー6：サービス提供のプロセス
- カテゴリー7：情報の保護・共有
- カテゴリー8：カテゴリー1～7に関する活動成果（前年度比）

2 評点のつけ方

上記カテゴリー1～7（活動状況：今年度）の評点は評価項目ごとに4段階でつける。

A+：標準項目をすべて満たしたうえで、A+の取り組みがある状態
A：標準項目をすべて満たした状態
B：標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態
C：標準項目をひとつも満たしていない状態

「標準項目」を満たしていると確認するための要件は、次の～すべてを満たした場合である。

保育園が当該事項を実施していること
その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること
その根拠が示せること

「A+」とは、標準項目をすべて満たしたうえで、下記のすべてを満たした取り組みである。

ア 当該評価項目のねらいに合致していること
イ 事業所の理念・方針に合致していること
ウ 事業所の独自性または現状を改善するプロセスが認められること

なお、カテゴリー8（活動成果：前年度比）の評点は評価項目ごとに4段階でつける。

A+：計画的な取り組みによる改善傾向が確認できる状態
A：改善傾向が確認できる状態
B：取り組んでいるが改善結果は確認できない状態
C：取り組んでいない状態

3 訪問調査とフィードバック

評価者による訪問調査及び評価結果のフィードバックは、以下の日程で行った。

	保 育 園 名	訪問調査日	フィードバック訪問日
1	杉並保育園	平成 20 年 12 月 5 日	平成 21 年 2 月 4 日
2	上高井戸保育園	平成 20 年 12 月 17 日	平成 21 年 2 月 9 日
3	高井戸保育園	平成 20 年 12 月 10 日	平成 21 年 2 月 10 日
4	大宮前保育園	平成 20 年 11 月 26 日	平成 21 年 2 月 16 日
5	大宮保育園	平成 20 年 11 月 28 日	平成 21 年 2 月 6 日
6	本天沼保育園	平成 20 年 12 月 16 日	平成 21 年 2 月 4 日
7	荻窪南保育園	平成 20 年 12 月 22 日	平成 21 年 2 月 4 日
8	高井戸東保育園	平成 20 年 12 月 15 日	平成 21 年 2 月 9 日
9	松ノ木保育園	平成 20 年 12 月 2 日	平成 21 年 2 月 20 日
10	阿佐谷北保育園	平成 20 年 11 月 19 日	平成 21 年 2 月 10 日
11	久我山保育園	平成 20 年 12 月 3 日	平成 21 年 2 月 6 日
12	浜田山保育園	平成 20 年 12 月 17 日	平成 21 年 2 月 9 日
13	今川保育園	平成 20 年 11 月 27 日	平成 21 年 2 月 3 日

各保育園の評価結果報告書

園ごとの評価結果報告書は、それぞれ次の通りである。

1	杉並保育園	75
2	上高井戸保育園	105
3	高井戸保育園	135
4	大宮前保育園	165
5	大宮保育園	195
6	本天沼保育園	225
7	荻窪南保育園	255
8	高井戸東保育園	285
9	松ノ木保育園	315
10	阿佐谷北保育園	345
11	久我山保育園	375
12	浜田山保育園	405
13	今川保育園	435

保育園
杉並

保育園
上高井戸

保育園
高井戸

保育園
大宮前

保育園
大宮

保育園
本天沼

保育園
荻窪南

保育園
高井戸東

保育園
松ノ木

保育園
阿佐谷北

保育園
久我山

保育園
浜田山

保育園
今川

杉並保育園

〔利用者調査：認可保育所〕

(事業所名：杉並区立杉並保育園)

調査対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯74世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

調査方法

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

利用者総数

74

共通評価項目による調査対象者数

74

共通評価項目による調査の有効回答者数

54

利用者総数に対する回答者割合(%)

73.0

利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の約8割という結果になりました(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が77.8%)。個別にみると、「戸外遊びの機会」、「子どもは大切にされている」について肯定的な回答が約9割を占める他、「体調変化への対応」、「職員と相談できる」、「プライバシーの守秘」、「職員は礼儀正しく丁寧」などについても肯定的な回答が8割を大きく超えており、園における基本的な生活について保護者は満足している様子がうかがえます。一方、「要望や不満の言いやすさ」をはじめ、「行事日程の設定」、「要望や不満などへの対応」などについては肯定的な回答が比較的低い結果となっています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	43	8	3	0
食事やおやつへの満足度は約8割を占めています。自由意見についても概ね肯定的な意見が寄せられていますが、少数ですが「質の低下」を指摘する声も寄せられています。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	49	4	0	1
肯定的な回答は9割を超えており、否定的な回答も見られず、保護者が大変満足している様子がうかがえます。自由意見では、概ね満足とする意見とともに、午後も外遊びをさせて欲しいという、意見も寄せられています。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	39	9	0	6
肯定的な回答は約7割ほどですが、否定的な回答は見られず、また、無回答の割合も1割を超えています。否定的な回答が見られないことから不満があるわけではないようですが、無回答の割合が高いことから、このようなケースがない保護者にとっては回答しづらい設問であったことが予想されます。なお、自由意見では、柔軟に対応してくださり助かっていますという意見が寄せられています。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	46	6	2	0
肯定的な回答は8割を大きく超え、満足する人が多い項目です。しかし、自由意見においては、保護者へ連絡をとるタイミングについては「早い」「おそい」など様々な意見が寄せられているとともに、ケガに対する対応や説明に対して不満であるとの声もあげられています。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	40	9	3	2
肯定的な回答は7割を超える程度ですが、否定的な回答が多いというわけではないことから、園の安全対策が保護者に十分伝わっていないことも要因のひとつと考えられます。年齢別では、乳児に比べ幼児で肯定的な率は低く、行動範囲が広がることによって、危険、不安を感じる保護者が増える傾向もみられます。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	35	14	4	1
肯定的な回答は6割を超えるほどで、否定的な回答も1割弱見られるなど満足する人が少ない項目です。自由意見では、保護者と面談に関する不満が大多数を占めています。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	44	8	2	0
肯定的な回答は約8割で、保護者の方々が概ね満足している様子うかがえます。ただし、肯定的な意見がある一方で、自由回答では、相談がしづらいという意見が大半を占めていますが、先生によって異なるとする意見も挙げられています。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	42	12	0	0
肯定的な回答は約8割ほどです。自由回答では、相談しやすい、職員による、相談してもいい回答がかえってこない等様々な意見が寄せられています。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	46	4	1	3
肯定的な意見は8割を大きく超えており、否定的な回答も少ない結果となっており、保護者の方々が概ね満足している様子うかがえます。“どちらともいえない”、“無回答”との回答があわせて1割を超えていますが、この理由については「何をプライバシーとするのか」というご意見もあることから、質問が答えにくいことも予想されます。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	49	5	0	0
肯定的な回答は約9割を占め、大切にされていることに疑問をもつ声はみられません。子どもが大切にされていることについては、安定した評価が得られていることがうかがえます。				

11. 職員の対応は丁寧か	46	8	0	0
肯定的な回答は8割を大きく超えており、職員の礼儀正しさや丁寧さは概ね認められている様子が見えられます。なお、自由意見では、先生によって対応が異なる、と言う意見も複数見られます。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	24	22	7	1
肯定的な回答は5割に届かず、否定的な回答も1割を超えており、他の設問に比べ満足度が低い項目です。自由意見についても「言いづらい」とする意見が多数を占めています。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	35	16	2	1
肯定的な回答は6割を超えるにとどまっており、前問に引き続き満足度が低い項目です。しかしながら否定的な回答はほとんど見られないことから、数字ほど満足率が低いことはないと予想されます。なお、自由意見では、肯定的な意見がある一方、「対応していない」とする否定的な意見も寄せられています。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	13	3	38	0
否定的な回答(知らない)が7割を占め、全設問中最も否定的な回答が高く、肯定的な回答が低い項目となりました。園全体との満足率との相関が薄いことを考慮すると、保護者にとって関心が薄い項目であるとも考えられます。				
15. [過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に] サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	15	4	2	0
1年以内に利用を開始した21人中15人が肯定的な回答をしています。ただし、自由意見では、「保育時間の説明がわからなかった」、「時間に余裕がない」など否定的な意見も寄せられています。				

組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

共通評価項目	
カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定
サブカテゴリ1	
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	

評価項目3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点(A)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ◎なし

カテゴリー1の講評

保育目標やチャレンジ目標を明示しています

園の保育目標「心身ともに豊かな子どもを育てよう よく遊ぶ子～自分で考える・自分でやってみる・力を合わせる・感動し表現する」は、区の保育園紹介のホームページに掲載しているほか、事務所の外側に掲示し、職員や保護者がいつでも確認できるようにしています。保育目標は、毎月の指導計画の反省の中で職員全体で確認を行っているほか、新保育指針プロジェクトにおいて見直しを進めており、今後の整理・再構築が期待されます。また、今年度のチャレンジプランには、園の目標として「保護者と情報を共有して、ともに子育てをする」を掲げています。

園長は、自らの役割と責任に基づいて行動しています

園長は、子どもの事故や保護者対応については、自分が最終的に全責任を持つことを職員会議等で表明しているほか、子どもがまた明日も行きたいと思える園を目指し、子どもの姿を肯定的に捉えながら保護者とともに子育てができるように、日常的に職員に対して指導や働きかけを行っています。また、職員会議や打ち合わせにおいて区の方針や地域の情報を伝達したり、保護者からの苦情には主軸となって対応したり、毎月の園だよりには主任と交代でメッセージを掲載したりと、自らの役割と責任に基づいて行動しています。

各種定例会議により、意思決定過程の透明性を確保しています

重要な案件については、リーダー会議やフリー会議で方向性を話し合った上で、毎週の定例打ち合わせや毎月の職員会議に提案し、検討・決定しています。新たに乳児・幼児のフリー職員を置いたことで、柔軟な保育が可能となり、クラス間の情報共有の面でも向上が見られました。職員調査では、「何か問題があったときには皆で考えていくことができる」、「園長・主査のチームワークが良く、意思決定が分かりやすい」等の肯定的な意見が多く見られました。保護者には、年2回の保護者会で説明を行っているほか、随時お知らせを配布して伝えています。

2			カテゴリ-2		
経営における社会的責任					
サブカテゴリ-1					
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる					
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		○非該当	
●あり ○なし		2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる		○非該当	
●あり ○なし		2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					
サブカテゴリ-2					
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている					
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある					
評点(B)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)		○非該当	
○あり ●なし		2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					

評価項目2
ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3
地域の関係機関との連携を図っている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-2の講評

遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます
 子どもの権利条約や児童憲章が掲載されたマニュアルや保育所保育指針、区の例規集等を事務所に常備しているほか、社会福祉法や児童福祉法の規定を職員用の掲示コーナーに掲示し、職員が公務員倫理や服務規律、関係法令の規定を確認できるようにしています。これら法・規範・倫理については、職員の入職時に研修が行われているほか、経験や職種に応じた各種研修の中でも取り上げられています。また、職員の綱紀の保持に関する通知等、本庁からの配布文書は、園内で回覧したり、定例打ち合わせで周知を行っています。

園庭開放や保育所体験を実施し、園の機能や専門性を地域に還元しています
 園庭開放(一緒に遊ぼう会)を毎月実施しているほか、地域の親子の保育所体験(ふれあい保育)や中学生の体験学習を受け入れたり、来園者からの相談にも都度対応するなど、園の機能や専門性を地域に還元しています。相談の記録は見学や問い合わせの記録と一緒に記録していますが、内容を抽出しやすいようにする工夫が望まれます。また、他の区立園職員にも参加を呼びかけ、保育指針に関する園内研修等を実施しており、今後、地域の人々も対象とした企画・啓発活動に発展させていくことが期待されます。

小学校地域の子育てネットワークに参画しています
 小学校地域の子どもに関わる施設・関係者(小・中学校の校長、PTA、保育園、児童館、民生委員、住民代表等)で組織された地域子育てネットワークに参画しています。毎年、餅つきや昔遊び、おもちゃの展示などを行う児童館主催のフェスティバルの運営にも参加・協力しています。連絡協議会には園長と主査が出席していますが、園長は今後、職員にも順番に出席してもらい、積極的に関わってもらいたいと考えています。民生委員が毎月1回、ボランティアで園の子ども達に絵本の読み聞かせを行ってくれるなど、良好な関係が築かれています。

カテゴリ-3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリ-1

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-3の講評

保護者一人ひとりの意向を把握し、解決を図っています

区の苦情調整委員制度があり、毎月、入口付近の所定の場所にポスターを掲示して保護者に周知しています。しかし、利用者調査結果では、外部の苦情相談窓口について認識している保護者は3割未満となっており、周知方法の再検討が望まれます。把握した苦情や意見については、園長を主軸に園全体で検討し、ケースに応じて区の担当課に相談して対応しており、保護者の行事内容に対する不満や食品添加物に対する不安の声に対し、解決を図っている事例も確認することができました。新たに投書用の意見箱も事務所脇に設置し、園だよりでお知らせしています。

保護者の意向を把握・集約し、サービス向上につなげています

運動会の後には感想アンケートを取っているほか、親子ピクニック後の保護者会では感想や意見を聞き取ったり、保護者会では事前アンケートを実施したりするなど、保護者意向を把握することに努めています。集約結果は定例打ち合わせで検討したり、期末の反省で取り上げ、次回の取り組みの参考にしています。運動会の感想については、結果を取りまとめて保護者にも配布しました。日誌やお知らせの掲示方法を見やすく変えたり、蚊取り線香を部分的に導入したり、ベランダの蛍光灯を入れ替えたりするなど、保護者の意向をサービス向上につなげています。

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワークの連絡協議会や区立保育園の園長会、外部研修等への参加により収集・把握しています。園では専門誌の購読等は行っていないが、区の保健福祉計画等の資料や通知を掲示板や休憩室に設置したり、回覧を行ったりして、職員への情報の周知を図っています。地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行い、園長会等を通じて伝達されていますが、今後、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

カテゴリ-4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ-1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(B)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている	○非該当
○あり ●なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
[A+の取り組み] ○あり ●なし		
サブカテゴリー2		
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		評点(A)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
[A+の取り組み] ○あり ●なし		
カテゴリー4の講評		
<p>チャレンジプランを作成し、年度の重要課題に計画的に取り組んでいます</p> <p>区では中・長期計画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションプランなどを策定しており、必要に応じ随時見直しを行っています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。現場から改善を行う取り組みとして評価できますが、さらに園の複数年度に渡る取組みを方向付ける中期計画に発展していくことが期待されます。</p> <p>各種の年間計画や行事計画を作成し、計画的に園運営を進めています</p> <p>園では、年度の当番、会議の体制等を明確にした「園運営及び保育に関する確認事項」や、行事担当、係分担、保護者会・個人面談予定、避難訓練予定等を記載した「年間計画」、「年間散歩計画」を作成しているほか、行事や外出等の短期の活動についても、プログラムや配置、準備物を記載した「行事計画書」、ルートや留意事項を記載した「園外保育計画書」を作成しています。これらは、打ち合わせの中で検討を重ねて作成しており、現場の意向や保護者の意向を踏まえて、計画的に園運営を進めていることが理解できます。</p> <p>子どもの安全の確保・向上に計画的に取り組んでいます</p> <p>子どもの安全確保に関しては、区の危機管理マニュアルに基づき、定期的に安全点検を実施しているほか、災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練を計画的に実施しています。防犯訓練では、警察官を招いて子どもに対する教育等も実施しています。地域の見回りを行う安全パトロール隊や学校警備員との連絡・連携も行われています。事故が発生した場合は、その状況や原因、経過を「事故報告書」に記録し、全体に周知して改善策を話し合う、再発防止の仕組みも機能しています。現場でのひやりとした事例を日々収集し、予防対策につなげる取り組みが望まれます。</p>		

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金・昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

園に必要な人材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています

常勤職員は配置基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で面接採用していますが、園長には園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように努めています。クラス担任については、毎年度末、職員から希望をとり、経験や能力、バランスを考慮して園長が決定しており、概ね職員の希望に沿った配置ができています。係分担についても、各職員から希望を出してもらい、クラスや業務負担が偏らないように調整して決定しています。

個人用チャレンジプランを基に職員の質の向上に取り組んでいます

職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成してもらい、これを基に園長が半期ごとに個人面談を行う中で把握しています。研修は、勤務時間中の受講が保障されており、個人用チャレンジプランや各自の経験年数・力量に応じて受講を進めています。研修受講後は、個人の研修歴カードや研修実績簿に実績を記録するとともに、レポートを作成して、園長が確認した上で区に提出しています。園では、毎月研修報告会を設けたり、資料の回覧を行って、研修成果を職員間で共有化しています。園内研修も今年度2回実施しています。

就業状況を把握し、職員のやる気と働きがいの向上に取り組んでいます

就業状況に関しては、時間外労働は多い月でも平均10時間程度、有給休暇の取得は年平均13日程度となっており、職員調査では労働環境に対する不満等は特に挙げられていません。園長は、職員にやる気と働きがいを持ってもらえるよう、個人用チャレンジプランに自ら設定した目標に地道に取り組んでほしいことを伝え、アドバイスを行うとともに、そのための環境づくりに努めています。今後は、非常勤職員のやる気と働きがいの向上に向けた取り組みも進め、情報の共有や研修の制度が確立されることを期待したいと思えます。

カテゴリ7		
7	情報の保護・共有	
サブカテゴリ1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリー7の講評

園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットで管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使いやすく更新しています。児童票や保育日誌等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるファイリングキャビネットやロッカーに保管しています。電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を徹底しています。

個人情報の利用・保護について、保護者の理解を得る取り組みが望まれます

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。園で取扱う個人情報の利用目的については、区の入園申込関係書類に一部記載は見られますが、園においても、園のしおりに具体的に利用目的を明示したり、写真やビデオの撮影や他機関への情報提供が必要な場合には保護者から書面で同意を得るなどの取り組みが望まれます。

個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、入職時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修の中で個人情報保護に関する研修も実施されています。園内では、何か問題があった場合に打ち合わせ等で職員に注意を喚起しています。実習生やボランティアに対しては、文書を配布して個人情報保護等の留意事項を伝えています。個人情報の取り扱いについては、保管場所や掲示の仕方、配布物の配り方、園外保育時の名札、パソコンの保管方法などに細心の注意を払って対応しています。

カテゴリ-8	
8 カテゴリ-1～7に関する活動成果	
サブカテゴリ-1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」	○ A+ ● A ○ B ○ C
改善の成果	
<p>リーダー会議への参加を通して新たなリーダーが育成されています</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区立保育園全体の取り組みとして、「保育の向上を目指すリーダー会議」を継続的に開催しました。園の代表者として選出した新たなリーダーが、毎回の会議に積極的に参加して学んできたことで、園内のリーダー会議も活性化し、メンバーの発言も増えてきました。また、情報リーダーを中心に企画した園内研修「職員会議の在り方」では、3つのグループに分かれてブレインストーミングの手法で話し合い、課題の明示と解決策に向けた検討を行うことができました。リーダー層の意識が高まり、仕事に対する意欲や姿勢が一般職員にも良い影響を与えているようです。 ・新保育指針プロジェクトを中心に、指導計画の見直しと保育課程の作成について検討を進めました。 ・地域の親子に向けて、園庭開放(一緒に遊ぼう会)を毎月実施しました。参加者が増加しているほか、園に対する関心も高まり、見学や問い合わせも昨年度より大幅に増えています。 	
サブカテゴリ-2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」	○ A+ ● A ○ B ○ C
改善の成果	
<p>チャレンジプランへの取り組みにより、職員の意欲が高まっています</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保護者と情報を共有して、ともに子育てをする」、「職員一人ひとりがお互いの立場を理解し、協力し合い話し合える職場づくりをすすめる」を園のチャレンジプランの年度の目標として設定し、これに沿って個人のチャレンジプランを作成しました。この目標に職員全体で取り組んだことで、園としての一体感が高まるとともに、職員一人ひとりの意欲が高まってきています。外部研修への参加希望も増え、休憩時間にも保育について話合う職員の姿が見られるようになりました。 	
サブカテゴリ-3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」	● A+ ○ A ○ B ○ C
改善の成果	
<p>保護者と保育情報を共有するため、日々、写真入りの掲示を行いました</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者と保育情報を共有するため、日々の子どもの姿や行事の様子などを写真入りで掲示して、リアルタイムで保護者に紹介するようにしました。 ・新規事業として、延長保育や延長スポット保育を順次開始し、保護者のニーズに応えました。 	

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+ A B C

改善の成果

行財政改革を着実に実行するとともに、経費の節減を引き続き行いました

・区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年度までに6割の事業を委託・民営化・協同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げています。この中で、区立保育園の事業委託等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」という3つが掲げられており、区の保育分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。

・経費節減のため、ペーパータオルの使い方について無駄に使わないよう注意する張り紙を行ったほか、職員はハンカチを必ず持参してペーパータオルを使用しないことを徹底するなど、ケースごとに使い方を見直しました。また、区の環境マネジメント活動の一環として、省エネ活動を推進しており、毎月の電気、水道、ガスの使用量を把握するとともに、毎年度の実績の推移をグラフ化して園内に掲示しています。今年度前期の実績では、昨年同時期に比べて、経費を2万3,000円の削減することができています。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+ A B C

改善の成果

保護者の意向を把握・集約し、サービス向上につなげました

・保護者からの要望や意見を受けて、園庭の樹木の消毒を行ったほか、保育日誌やお知らせの掲示方法を見やすく変えたり、ベランダの蛍光灯を入れ替えたりするなど、保護者の意向をサービス向上につなげました。問題発覚時より早期解決に向けて取り組み、内容や結果を分かりやすく伝えることに努めました。新たに投書用の意見箱も設置して、園だよりで保護者に伝えており、今後の活用が期待されます。

サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

共通評価項目	
サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している 評点(A)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している <input type="radio"/>非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
サブカテゴリ-1の講評	
<p>見学等は、個別の状況に応じて対応しています</p> <p>見学等については、次年度の入園申し込みに向けた見学をはじめ、定期的に身長や体重を量りに来る身体測定、毎週水曜日に行われる「一緒に遊ぼう会」等、年間を通じて受け入れており、H20年12月まででのべ64名の方々を受け入れています。見学の際は、見学者の時間的な都合だけでなく、見学者の目的に応じた時間設定(園児の活動しているところを見たいのであれば午前中がよいです等)を提案するなど、「よりよい見学」につながるような配慮も行われています。</p> <p>園の情報は、さまざまな形で提供されています</p> <p>園の情報は、園で独自に作成されたリーフレットを配付(来園者のほか保健センターや園医さんのところに設置)しているほか、区のホームページ上でも提供されています。このホームページは、杉並区立園共通のフォーマットで作成されており、「所在地」「園の概要」「保育目標」「年間行事」などのほか、「園内の見取り図や写真」「地域向けのサービス」「園の特色」も掲載されており、園の様子が伝わりやすいよう工夫されています。</p>	

サブカテゴリ-2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2の講評

入園時の各種説明は、わかりやすいよう配慮しています

入園前の面接や入園説明会では、園での基本的なルール、園生活に必要なもの、園生活の様子等が、「保育園のしおり」や前年度の保育の様子を撮影した写真等を用いて丁寧に説明されており、利用者調査において多くの保護者の方からわかりやすかったと支持される結果に結びついています。しかし、利用者調査より「説明時間が短い」といったご意見があるとともに、「保育園のしおり」以外の配付資料については、項目ごとに1枚もののプリントで配付しているなど、まだまだ改善の余地があると思われるため、今後の取組みが期待されます。

入園直後は子どもへの影響を考えた保育を保護者とともにすすめています

初めての園生活を迎える子どもたちにとっては、環境変化に伴う心身の負担が大きいことから、少人数の集団での保育や特定の保育士による保育など職員の人員配置を手厚くする体制で臨んでいます。また、保護者の方々にも、初日から数日は短時間保育を行う「なれ保育」にできる限り協力してもらっています。なお、これまでの保育経験(初日から1日預かるような保育をすると子どもによっては疲れからその後体調を崩し、結果何日も休むようになる事もある)等も交えながら話すなど、柔軟な対応をしながらも、保護者の方々の理解を得るよう努めています。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み]		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

サブカテゴリ3の講評

保育に関する計画については、3段階で作成され、状況に応じて変更も行われます

保育に関する計画については、クラスごとに年間計画(年間カリキュラム)・月間計画(月案)・週間計画(週案)の大きく3段階の計画があり、それぞれの計画は、計画の終了時に反省を行い、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。この計画の作成の際には日々の子どもの状況を踏まえるほか、保護者からの要望についても考慮して作成され、計画途中の段階であっても必要に応じて、改定が行われることもあります。なお、保護者に対しては、年間計画は保護者会で、月案は毎月の園だよりで、週案は園内掲示によって伝えられています。

子ども一人ひとりの記録は統一様式の「児童票」に記され、大事に管理されています

子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。この「児童票」は、杉並区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分けされています。また、次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、より子どもの成長について保護者とわかち合えるような内容とするべく検討が行われています。

子ども一人ひとりの状況は保育にあたる職員間で共有されています

各クラスでの情報共有は、主に各クラスを担当する正職員の間で行われており、クラスごとに定期的に行われるカリキュラム会議や月案・週案・日誌・連絡ノート等の書類を通じて共有されています。また、日々の情報共有については、毎日行われる昼のミーティングのほか、全体のことは「体制表ノート」で、クラス毎子ども毎のことは「当番引継ノート」で、朝夕の連絡事項については「朝夕連絡ノート」でそれぞれ行われており、口頭と記録のセットで伝達することにより漏れが発生しないよう配慮されています。

サブカテゴリ5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み]		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		
サブカテゴリ-5の講評		
<p>子どものプライバシーに配慮するとともに、「恥ずかしい」と思う気持ちを育てています</p> <p>乳児クラスでの配慮としては、オムツ換えはついたてを立てその中で行うようにしています。また、幼児クラスにおける日々の保育の中では、外では着替えなし、パンツをはくときは隅の方で見えないように履くように教える等の配慮が行われるとともに、夏季のプール時には、シャワーを浴びる場所は外からの視線をさえぎるすだれをかける、タオルの巻き方を教えるなど、子どものプライバシーに配慮した活動を行っています。また、こうした活動を通じて子どもたちに「恥ずかしい」と思う気持ちを育ませることに取り組んでいます。</p> <p>子どもたちに対する日頃の言動について振りかえりを行いやすい環境を整えています</p> <p>園では、職員の子ども達に対する日常の言葉遣いに対して適切かどうか(名前を呼び捨てにしないなど)、日常的に自ら振りかえりができるよう、子どもの権利条約や児童憲章が掲載されたマニュアルを常備する、社会福祉法や児童福祉法の規定を職員が必ず確認する職員の掲示コーナーに掲示する等の環境整備を行っています。この成果は利用者調査において9割を超える保護者から「子どもは大切にされている」と肯定的に捉える回答となって現れていると考えられ、着実に成果に結びついている活動と評価できます。</p>		
サブカテゴリ-6		
6	事業所業務の標準化	
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目2
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3
さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ6の講評

園で独自に定めたマニュアルを含め3種のマニュアルを活用しています
毎年全園に配付される「子育て託児サービス職員手引き」や区で定めた「危機管理マニュアル」に加え、会議の持ち方、園庭の遊び方、パート・アルバイトへの作業指示方法などを取りまとめた園独自のマニュアルを作成し、場面に応じて使い分けながら活用しています。園独自のマニュアルについては、日々の保育の際に適用されるルール等がまとめられているため、職員の身近なところで各種手順などをチェックすることができるよう、各クラスに1冊ずつ配付されています。

マニュアルの内容は定期的に見直しが行われています
マニュアルの内容は、年に2回(半期に1回)、手順の検証とともに見直しが行われています。この見直しの際には、職員一人ひとりが自ら行っている改善事例などを出し合っており、組織として保育水準の底上げにつながる取り組みとして評価できます。なお、マニュアルの記述は、現場の職員がわかりやすいよう配慮されており、職員自己評価においても「転勤者にもわかりやすいマニュアルが設置されている」と評価する声が寄せられています。

サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
評価項目1の講評			
<p>「個の尊重」を重視した保育が展開されています</p> <p>ブロックや積み木などをつかった活動を行う際は、子どもたちが納得するまで遊びこめるよう、時間がきたら片付けるのではなく、時間の配慮を行うとともに食事などどうしても別の活動に移らなければならない場合においても「続き」ができるようブロックや積み木の製作している場所をそのままにし保存しておくなど、子ども一人ひとりの気持ちを尊重した取り組みが行われています。なお、完成した作品についても棚の上などに飾ることができるものについては、飾っておくなどの配慮も行われています。</p> <p>自主性・自発性を育む活動に取り組んでいます</p> <p>乳児クラスでは、遊びの延長線上で子どもが自らお片付けができるようになるような工夫がされているとともに(例えば、ミニカーを片付ける棚の位置に写真と駐車線を引き、駐車場に車を入れる遊びを行うような気持ちでお片付けができるよう配慮)、幼児クラスにおいても、給食室からワゴンを運ぶなどの給食のお手伝いがステータスになっており、率先して手伝いに名乗りを上げるなど、子どもたちが自主的・自発的に様々な活動に取り組めるような雰囲気づくり、環境づくりが行われています。</p> <p>異年齢交流、3園交流、各種行事など、多様な保育活動に取り組んでいます</p> <p>園内活動としては、異年齢児交流をはじめ、野菜の栽培、七夕や節分などの伝統行事、民生委員さん等地域の方々との交流などが展開されているとともに、園外活動では、散歩のほか、親子ピクニック、プラネタリウム見学、芋ほり、近隣の公立3園の年長児が主に交流する「3園交流」も年に数回行われており、様々な経験をつむことができる多様なプログラムに取り組んでいます。</p>			

2	評価項目2 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		評点(A+)																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている</td> <td><input checked="" type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価		標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている
評価	標準項目																		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当																	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input checked="" type="radio"/> 非該当																	
評価項目2の講評																			
<p>食事がより一層楽しくなる環境整備を行っています</p> <p>年に数回ある行事食の際には、園庭の桜を見ながら食事を行う花見会食など、会食形式で行ったり、異年齢での会食にするなど、特別な日には、食事のメニューだけではなく、環境設定も変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。また、普段の食事においても、乳児クラスでは遊びのときに机にかけているキルティングカバーを、食事をするときには外すなど、遊びと食事の区別をつけ、落ち着いて快適に食事ができるよう配慮しています。</p> <p>個別に対応した食事を提供しています</p> <p>アレルギーを持つ子どもの場合や食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供されています。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳が行われるとともに、調理と保育の両方でクロスチェックをかけるなど、間違いが起こらないよう、様々な工夫が凝らされています。</p> <p>食事がしやすい環境を整えています</p> <p>食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、1歳児までは座面の調整がきくイスも採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についてもなるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、必要に応じて足マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事ができるよう配慮されています。</p>																			
3	評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		評点(A)																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価		標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当	【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
評価	標準項目																		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当																	

評価項目3の講評

看護師が常駐してなくても質を落とさないよう体制を整えています

園には常駐の看護師がいないため、近隣の保育園より月に1～2回、応援の看護師が園を訪問し業務を行っています。この応援の看護師とは、必要に応じて連絡も取れるため、相談等がある場合は園から連絡し、適切な指示や助言をもらっています。また、園独自の保健マニュアルも作成し、これを元に全職員が怪我等の対応について学んでおり、簡単な処置については自らが対応できるよう備えています。

子どもの健康状態は定期的に確認し、把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時に状況を確認しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い、記録しています。また、園医が定期健診(年2回)に加え、厚意で毎月来園してチェックしてくれるほか、耳鼻科・歯科など各診療科の医師が年1回の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申込書を用いた対応なども行っています

保健だよりや園内の掲示により、情報提供を行っています

保健分野に関する保護者への情報提供は、月1回発行の保健だよりを通じて行っているほか、特に感染症に注意が必要な時期は、おたよりのほかに園内掲示をして注意を喚起するなど、予防対策に取り組んでいます。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点(A)

4

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし

評価項目4の講評

室内は落ち着いて過ごせるよう環境設定を行っています

建物の天井が高いため、開放感がある反面、天井が高すぎて落ち着いて活動を行うことが難しい場面も見られることから、押入れを利用して狭い空間を作り、落ち着いて活動できる場所を確保したり、天井から布を吊り下げ、天井の高さを和らげた空間を作るなど、天井の高さが気にならないような環境設定について研究し、実践しています。また、コーナー設定なども工夫されており、棚などを活用しながら、狭い室内を効率的に分割し、利用することができています。

子どもたちが楽しめる工夫をしています

七夕や節分などの季節の行事を取り入れているほか、地域の方などとの交流も活発に行われており、3園交流をはじめ、敬老行事や民生委員さんとの交流や園児の祖父母との交流なども行われており、子どもたちが保育所の生活を楽しめるような工夫がされています。

午睡については、個々の状態に合わせた配慮を行っています

食事、睡眠、運動、排泄などは子どものリズムにできるだけあわせる配慮を行い、午睡については、早く寝たい子、目が覚めてしまう子がそれぞれ快適に過ごせる場所を確保して対応しています。また、年長児については、就学前には午睡をやめ、学校生活にすぐなじめるよう配慮しています。

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点(A)	
	評価	標準項目		
	◎あり ○なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある		○非該当
	◎あり ○なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している		○非該当
	◎あり ○なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている		○非該当
	◎あり ○なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている		○非該当
	◎あり ○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている		○非該当
【A+の取り組み】		○あり ◎なし		
評価項目5の講評				
<p>たよりのほか日誌なども活用し、情報提供を行っています</p> <p>保護者への園からの情報は、クラスの週の活動が記録されている週案やその日の出来事をお知らせしている日誌をクラスごとの掲示スペースに掲示し、保護者に毎日の活動を伝えていきます。また、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健・延長等の各種たよりを発行しています。この各種たよりについては、保護者に原稿作成をお願いするなど保護者を巻き込んだ形で発行されており、たよりを発行するという共同作業を通じて保育者の思いを保護者に伝えることにも一役かっています。</p> <p>保護者会や面談は他の行事とセットで行うよう設定しています</p> <p>保護者会や面談については、親子ピクニックと同日開催するような形式をとったり、保育参観(参加)などを組み合わせることによって、子どもたちの成長している姿を直接実感できるように配慮されています。</p>				
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点(A)	
	評価	標準項目		
	◎あり ○なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		○非該当
	◎あり ○なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている		○非該当
	◎あり ○なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている		○非該当
	◎あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		○非該当
【A+の取り組み】		○あり ◎なし		

評価項目6の講評

区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援に取り組んでいます

虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、『虐待防止マニュアル』の実践をはじめ、区の保育課、家庭支援センター、児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見時の対応などが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。

研修等に積極的に参加し、職員間の情報共有を図っています

区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の向上を図るとともに、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされるような取り組みをしています。継続的な園全体のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりが期待されます。

保護者との発達に関する共通理解を深める取り組みを行っています

個人面談の際には、保護者の方に児童票のコピーしたものを配布し、記入を行っていただいています。この内容については、保育者として記録した児童票の内容と突合せを行うことによって、発達に関する認識をお互いに理解し合うことにつながっており、大変評価できます。

評価項目7

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(A)

7

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目7の講評

地域の情報を保護者に提供しています

杉並区の子育て応援券に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域施設や機関から依頼があった場合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供をおこなっています。

地域の方々との交流を積極的に行っています

地域との交流については、園においても非常に大事にしているところであり、職場体験や実習生の受け入れのほか、月に1回行われる民生委員さんのお話会を通じた交流や敬老の集い、ボランティアの美容師さんに来ていただいて開催される手品会など、子どもたちがたくさんの方と触れ合える機会が確保されています。

特に良いと思う点		
1	タイトル	室内は落ち着いて過ごせるよう環境設定を行っています
	内容	園舎の天井は非常に高く、開放感がある反面、高過ぎて落ち着いて活動を行うことが難しい場面も見られることから、押入れを利用して狭い空間を作り、落ち着いて活動できる場所を確保したり、天井から布を吊り下げ、高さを和らげた空間を作るなど、天井の高さが気にならないような環境設定について研究し、実践しています。また、各クラスのコーナー設定なども工夫されており、棚などを活用しながら、狭い室内を効率的に分割し、それぞれ異なる活動ができる「場」を生み出すことができています。
2	タイトル	職員が協力し合える体制、職場づくりに取り組んでいます
	内容	園のチャレンジプランの目標として、「職員一人ひとりがお互いの立場を理解し、協力し合い話し合える職場づくりを進める」を掲げ、担当や職種の枠にとらわれない意見交換の場を多く持つことに取り組んでいます。年間の会議や打ち合わせの計画を明確にしているほか、乳児・幼児のフリー職員を配置し、情報共有やフォローがしやすい体制も作っています。また、新たに選任した情報リーダーを中心に、園内研修を企画し、小グループに分かれて課題の討議を行うことも試みました。職員の自己評価でも、チームワークの良さを挙げる声が多く寄せられています。
3	タイトル	わかりやすい園独自のマニュアルが作成されています
	内容	会議の持ち方、園庭の遊び方ルール、パート・アルバイトへの作業指示方法などを取りまとめた園独自のマニュアルが作成されており、各クラスに1冊ずつ配付され活用されています。このマニュアルの内容については、年に2回、手順の検証とともに見直しが行われ、職員一人ひとりが自ら行っている改善事例などを出し合いながら必要に応じて改定されています。なお、マニュアルの記述は、現場の職員がわかりやすいよう配慮されており、職員自己評価においても「転勤者にもわかりやすいマニュアルが設置されている」と評価する声が寄せられています。
さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	入園時に配付する説明資料については、もう一段の工夫が望めます
	内容	入園前の面接や入園説明会では、園での基本的なルール、園生活に必要なもの、園生活の様子等が、「保育園のしおり」や前年度の保育の様子を撮影した写真等を用いて丁寧に説明されており、利用者調査において9割を超える保護者の方からわかりやすかったと支持される結果に結びついています。しかし、「保育園のしおり」以外の配付資料については、項目ごとに1枚もののプリントで配付しているなど、ここで配付されるプリントが後の園生活におけるルールブックになることを考慮すれば、改善の余地があると思われます。
2	タイトル	保護者の意見や要望に対する対応方法の工夫が望めます
	内容	行事の後や保護者会の前にアンケートを実施し、保護者の意向の把握に努めています。集約結果は打ち合わせや期末の反省で取り上げて改善に活かしており、日誌やお知らせの掲示方法を見やすく変えたり、ペランダの蛍光灯を入れ替えたりするなど、サービス向上につなげています。しかし、利用者調査では、不満や要望への対応に関する設問の満足率はやや低く、自由意見にも、園や職員に対する不満や要望が複数寄せられています。アンケートの取り方や保護者への回答の仕方、納得してもらえるような説明方法など、対応方法の工夫が望めます。
3	タイトル	地域に支えられた保育園として、地域に貢献していく活動が期待されます
	内容	当園は、杉並区で一番古い保育園であり、近隣には卒園児も多いため地域の理解と協力を得やすく、地域に支えられた園であると言えます。敬老の集いでは高齢者とともに地域の人々も呼んで、一緒にダンスや手遊びをしたり、歌を歌ったりと、子どもとの交流の機会があるほか、運動会や一緒に遊ぼう会(園庭開放)には地域の人々が気軽に参加できるようにしています。さらに地域との交流を深めるとともに、育児講座や子育て情報誌の発行など、園の機能や専門性を活かした多様な地域子育て支援に取り組むなど、地域に貢献していくことが期待されます。

上高井戸保育園

〔利用者調査：認可保育所〕

(事業所名：杉並区立 上高井戸保育園)

調査対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯36世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

調査方法

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

利用者総数

36

共通評価項目による調査対象者数

36

共通評価項目による調査の有効回答者数

26

利用者総数に対する回答者割合(%)

72.2

利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の9割を大きく超える結果となりました(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が96.2%)。個別にみると、「戸外遊びの機会」、「一人ひとりの子どもは大切にされていると思う」についてはすべて肯定的な回答で占められているほか、「提供される食事への配慮」、「家庭と園との信頼関係」、「保護者の意見を聞く姿勢」についても肯定的な回答が9割を超える結果となっています。一方、「要望や不満の言いやすさ」、「要望や不満への対応」、「安全対策」については7割を下回っています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	24	1	0	1
食事やおやつへの満足度は高く、栄養面に関することや好き嫌いがなくなったなど概ね肯定的な意見が寄せられています。一方で、「魚メニューを増やしてほしい」、「無添加の食品を使ってほしい」などの意見も見られます。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	26	0	0	0
自由回答も含め、すべての回答が肯定的な回答で占められており、保護者が大変満足している様子がうかがえます。園での活動が保護者にもしっかりと伝わっていることが、本評価につながったものと推察されます。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	22	4	0	0
肯定的な回答は8割を大きく超えています。自由意見についても「暖かく対応してくれる」「柔軟に対応してくれる」との意見が大半を占めますが、少数ながら「延長保育を導入してほしい」との意見も見られます。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	21	4	1	0
肯定的な意見は約8割を占めており、1～2歳児の保護者よりも3歳以上児の保護者の方が肯定的な率が低い傾向が見られます。自由意見では「配慮されている」「感謝している」との意見がある一方、看護師がいないことに対する不満や「担任により対応が異なる」等の意見もあげられています。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	18	7	1	0
肯定的な回答は約7割を占めています。肯定的な回答の率は3歳以上児の保護者でも1～2歳児の保護者でも変わりませんが、否定的な回答が1～2歳児の保護者にのみ見られます。自由意見では、外部からの進入に対する不安や耐震性に疑問があるとの意見がそれぞれ複数みられます。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	20	5	1	0
肯定的な回答は3/4を占めており、否定的な回答もほとんどみられません。また、年齢別でも大きな差はみられません。ライフスタイルが多様化している中、すべての保護者の都合に配慮することは難しいことですが、そのような状況にもかかわらず、保護者の多くが満足している様子が見え、評価できます。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	25	1	0	0
肯定的な回答でほぼ占められており、否定的な回答もみられず、ほとんどの保護者が満足している様子が見えます。また、自由意見では、「話しやすい」等肯定的な意見が大半を占めていますが、「先生によって異なる」とする意見も複数みられます。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	25	1	0	0
肯定的な回答でほぼ占められており、否定的な回答もみられず、ほとんどの保護者が満足している様子が見えます。また、自由意見では、「親身になって聞いてくれる」とする肯定的な意見と「先生によって異なる」とする意見の両者がみられます。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	22	4	0	0
肯定的な回答が8割を大きく超えており、否定的な回答もみられません。年齢別で見ると、1～2歳児の保護者よりも3歳以上児の保護者の方が肯定的な率が低い傾向が見られるため注意が必要ですが、おおむね保護者の多くが満足していると予想されます。また、自由意見では、「親同士の中がよいので問題ない」とする意見がある一方「個人情報だから、といわれ以前よりつきあいが希薄になった気がする」とする意見もみられます。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	26	0	0	0
すべて肯定的な回答で占められているとともに、自由意見でも、「可愛がってもらっている」と肯定的に捉える意見で占められており、すべての保護者が大変満足している様子が見えます。				

11. 職員の対応は丁寧か	23	2	0	1
肯定的な回答が約9割を占めており、否定的な回答もみられず、保護者の多くが満足している様子がうかがえます。また、自由意見では、「わからない」「笑顔で明るい」等様々な意見が寄せられています。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	14	9	2	1
肯定的な回答は約5割にとどまっており、他の設問に比べ満足度が低い項目です。本設問は、言いやすいかいいづらいかを一律で大きく設問のため、寄せられた意見の中には「不満はない」等の意見がみられることから、保護者にとって答えづらい設問であったともいえます。しかし、一方で否定的な意見も約1割を占めているため、何らかの対応をとることが望まれます。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	17	7	1	1
肯定的な回答は7割を下回り、前問に引き続き満足度が低い項目です。しかしながら、本問では否定的な回答の割合はごくわずかにとどまっています。本設問も、きちんと対応しているかを一律で大きく設問のため、答えづらい設問であるといえます。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	10	2	13	1
否定的な回答(知らない)が5割を占め、全設問中最も否定的な回答が高く、肯定的な回答が低い項目となりました。園全体との満足率との相関があまり高くないことを考慮すると、保護者にとって関心が薄い項目であるとも考えられますが、自由意見において「知らなかった」「連絡先がわからない」等ある一定数のコメントが寄せられていることから、何らかの対応をとることが望まれます。				
15. [過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に] サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	9	0	0	0
1年以内に利用を開始した9人すべてが肯定的な回答をしており、また、自由意見でも、「安心して子どもを預けられる場所だと判断できました」との意見も寄せられており、保護者が大変満足している様子がうかがえます。				

組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

共通評価項目	
カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定
サブカテゴリ1	
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	

評価項目3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリー1の講評

園目標やクラス目標を明示しています

園目標「生きる力、大きな心を持ったことも～自分を愛せることも～友だちを大切にできることも～意欲のあることも～心もからだも元気なことも～」は、園のしおりや区の園紹介のホームページに掲載され、事務所内にも掲示されています。また、園目標やクラス目標に沿って、年間指導計画が展開されています。保護者に対しては、入園説明会や年度初めの全体保護者会で園目標や園運営のコンセプトについて説明を行っているほか、4月の園だよりに園目標を掲載して伝えています。

園長は、職員の自主性を尊重しつつ、自らの責任を自覚して行動しています

園長は、自らに全ての最終決定権、責任の一切があること、保護者に対する説明責任があることを自覚して行動しています。率先して保護者対応にあたっているほか、自ら事務所だよりを発行したり、毎月の園だよりにメッセージを掲載したりしています。「すぐに結論や答えが出なくても良いから、まずは職員一人ひとりに自ら考えてもらうこと」を指導方針としているためか、職員調査では、経営層やリーダー層の指導力不足を指摘する意見がいくつか挙げられています。職員の自主性を大切にしている意図をもう少し職員に伝えていく必要があるかもしれません。

職員会議を中心に意思決定と周知を行っています

園の重要な案件については、各クラスからの提案や検討を経て、園長や主査、リーダー層で検討し、職員会議で討議して決定しています。また、重要な意思決定についても、職員会議で全体に説明・周知しています。毎日の朝の打ち合わせを廃止し、昼の打ち合わせを徹底したことで、クラスの代表者だけでなく正規職員全員が出席できるようになり、話し合いや情報の共有がスムーズとなったほか、保護者とのコミュニケーションに力を注ぐことができるようになりました。職員調査では、小集団のため会議で発言しやすい等の肯定的な意見が多く寄せられています。

カテゴリ-2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(A)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(A)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
サブカテゴリ-2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(A)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

カテゴリ-2の講評

遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます
 処務規程を始めとした区の規則やマニュアル、保育所保育指針等が事務所に常備されているほか、全職員が所持する公務員倫理に関する区のハンドブックには、子どもの人権尊重や個人情報保護をはじめ、守るべき事項が明示されています。今年度、園内・園外で新保育所保育指針に関する研修を数多く実施・受講しており、職員が倫理法令遵守について再確認する良い機会になっています。制度や社会、人々の関心のもち方の変化も激しいことを意識し、今後も定期的に確認し合うことが期待されます。

園の機能や専門性を活かし、地域に開かれた園づくりを行っています
 毎日、広い園庭を開放しているほか、ふれあい保育を実施し、園の子ども達の日常活動に地域の親子が参加し、体験できる機会を設けています。また、近隣の児童館の子育て支援行事に保育士を派遣して、出し物に協力したり、育児相談にも応じたりするなど、園の機能や専門性を活かし、地域福祉に役立つ取り組みを行っています。現在は希望者を受け入れるにとどまっていますが、今後は地域の親子が保育園に何を望んでいるのかを探り、地域密着の保育園としてのさらなる取り組みが期待されます。

小学校地区の地域子育てネットワークに参画しています
 小学校地区の地域子育てネットワーク会議に参画しており、勉強会や地域の子どもに関する課題について話し合う機会を定期的に持っています。地域の小学校とは、年長児が招かれてゲームをして遊んだり、1・2年生が園の運動会や夏祭りに遊びに来たりしているほか、入学式や卒業式には職員が出席するなど、年に数回の交流があり、良好な関係が築かれています。地域のネットワークや関係機関との会合に参加するのは、園長や主査に限られてしまうことから、今後、他の職員も参加しやすい環境づくりが課題となっています。

カテゴリ-3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリ-1

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-3の講評

保護者の苦情等を把握し、解決を図っています

苦情解決制度としては、区の苦情調整委員制度があり、毎月、入口付近の所定の場所にポスターを掲示して保護者に周知しています。しかし、利用者調査結果では、外部の苦情相談窓口についての認識度は4割未満となっており、周知方法の再検討が望まれます。保護者会や個人面談で出た要望等については、全員で話し合って解決を図っています。投書用の意見箱も、通用門の外に設置されていますが、特に保護者には案内しておらず、活用されていないようです。長い間に箱も傷んできており、再整備が必要と思われます。

アンケートを活用して保護者の意向を集約し、サービス向上につなげています

運動会の後に感想アンケートを実施しているほか、年度末には保護者アンケートを実施して、保護者の意向を把握することに努めています。保護者アンケート結果は、職員会議で取り上げ、反省を行うとともに、園としての回答をまとめ、保護者全体に改善案や対策を配布しており、評価できます。保護者からの意見を受け、保護者とのティータイムの時間の変更や生活発表会の内容の見直し等を行っていることも確認できました。また、個人面談では保護者の要望を丁寧に聞き出すことに努めており、要望の多い園の設備改修に関する区の方針等も伝えています。

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワークの連絡会や区立保育園の園長会・主査会に参加して収集しており、職員会議で職員に報告・周知しています。また、区からの通知や冊子などの資料は職員間で回覧を行っています。地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行い、園長会等を通じて伝達されていますが、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

カテゴリ-4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ-1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(B)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている	○非該当
○あり ●なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
[A+の取り組み] ○あり ●なし		
サブカテゴリー2		
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		評点(A)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
[A+の取り組み] ○あり ●なし		
カテゴリー4の講評		
<p> チャレンジプランを作成し、年度の重要課題に計画的に取り組んでいます 区では中・長期計画として、杉並区基本計画や保健福祉計画などを策定しています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接遇向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。さらに、室内や遊具等の環境改善など、単年度では取り組みにくい課題を複数年度に渡る目標として設定することで、より大きな成果が期待できるため、分かりやすい目標や指標を設定した取り組みが期待されます。 </p> <p> 複数のプロジェクトを組織し、チャレンジプランの実行に取り組んでいます 園では、区の意向や園の課題に沿って年度始めに複数のプロジェクトを組み、全職員参加で園のチャレンジプランの推進に取り組んでいます。チャレンジプランの目標(保護者と共有できる、安心して安全な心地良い保育の実施等)に沿って、園内研修の企画やデジカメ保育速報、園のPR活動、みどりの推進、環境設定・危機管理マニュアル作り等の9つのプロジェクトを設置し、半期ごとに活動状況の確認、見直しを行いながら、取り組みを進めています。様々に成果は見られますが、プロジェクトの活動計画を作成することで、より着実な取り組みが期待できます。 </p> <p> 危機管理プロジェクトを中心に、園内の安全確保に努めています 子どもの安全確保に関しては、区の危機管理マニュアルを活用しているほか、災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練が計画的に実施されています。地域の見回りを行う安全パトロール隊や学校警備員との連絡・連携も行われています。また、危機管理プロジェクトを中心に、園内の危険箇所の点検と改善を行っているほか、事故が発生した場合は、その経緯や内容を「事故報告書」に記録し、全体に周知して改善策を話し合う、再発防止の仕組みも機能しています。さらに、現場でのひやりとした事例を日々収集・記録し、予防対策につなげる取り組みが望まれます。 </p>		

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金・昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

園に必要な人材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています

常勤職員は配置基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で面接採用していますが、園長には園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように努めています。クラス担任については、職員から希望をとり、園長・主査の案を職員会議に提案して理由を説明した上で話し合っており、プロジェクトや係については、職員の経験やスキル、バランスを考慮して選任しています。

個人用チャレンジプランを基に職員の質の向上に取り組んでいます

職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成してもらい、園長が個人面談を行う中で把握しています。研修については、個人用チャレンジプランや各自の経験年数・力量に応じて受講を進めており、個人の研修歴カードや実務研修参加名簿に記録し、実績を把握・確認できるようにしています。研修受講後は、レポートを作成して研修成果を自己評価し、園長が確認した上で区に提出しているほか、職員会議での研修報告を徹底しています。職員が1人1回は講師になり、園内研修を実施するという取り組みも実施しています。

就業状況を把握し、職員のやる気と働きがいの向上に取り組んでいます

就業状況に関しては、休憩時間は協力し合って確保できているほか、時間外労働は月平均2～3時間程度、有給休暇は1人年平均16日程度取得できており、職員調査では大きな不満は見られません。園長は、職員にやりがいを持ってもらえるよう、パソコンや草花・野菜の栽培、劇遊びの指導など個々の得意分野を活かした役割分担を行うようにしており、職員が教え合ったり、助け合ったりしています。一方で、苦手なことをそのままにしないようにすることが課題となっています。職員調査でも、仕事の配分や負担が偏っているとの意見もあり、注意が必要です。

カテゴリ-7		
7	情報の保護・共有	
サブカテゴリ-1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリー7の講評

園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットに管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使いやすく更新しています。児童票や保育日誌等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるキャビネットに保管し、退出時には事務所自体も施錠管理しています。電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を徹底しています。

個人情報の利用・保護について、保護者の理解を得る取り組みが望まれます

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。園で取扱う個人情報の利用目的については、区の入園申込関係書類の一部記載は見られますが、園においても、園のしおりに具体的に利用目的を明示したり、写真やビデオの撮影や他機関への情報提供が必要な場合には保護者から書面で同意を得るなどの取り組みが望まれます。

職員が個人情報保護を理解し行動するための取り組みの充実が期待されます

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、入職時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修の中で個人情報保護に関する研修も開催されています。実習生やボランティアに対しては、個人情報保護等の留意事項を伝えていますが、口頭での説明にとどまっています。個人情報の保護について、パートやアルバイトも含めた全職員、ボランティアや実習生が理解し、具体的に行動できるよう、配布資料を作成したり、園内研修等の機会を設けるなどの取り組みが期待されます。

カテゴリ-8

8 カテゴリ-1～7に関する活動成果

サブカテゴリ-1

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」

A+ A B C

改善の成果

各種プロジェクトを設置し、チャレンジプランに取り組みました

・年度初めにプロジェクト(デジカメ保育速報、園のPR活動、みどりの推進、声を吸い上げるシステム作り、園内研修の企画、環境設定・危機管理マニュアル作り等)を設置し、園のチャレンジプランに位置付けた年度の目標や課題に取り組みました。特に、昨年度は情報共有・保育の共有、今年度は新保育所保育指針への対応と、その時々テーマに合わせて、職員が一体となって、新しい課題に取り組む仕組みが定着しています。

サブカテゴリ-2

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」

A+ A B C

改善の成果

新保育所保育指針について全職員で学び、意欲と能力を高めています

・新保育所保育指針に関する園内・園外の研修に全職員が参加しました。全員が同じ書籍を購入して、園内研修で読み合わせを行うなど、新保育所保育指針の内容を学ぶとともに、来年度からの保育の計画について検討を行っています。全職員がいずれかのプロジェクトに所属し、園のチャレンジプランに取り組むことで、職員が意欲と能力を高め、園の組織力の向上につながっています。

サブカテゴリ-3

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」

A+ A B C

改善の成果

保護者との情報の共有を目指し、保育日誌を公開するようにしました

・保護者との情報の共有、保育の共有を目指し、保育日誌の公開を行っています。以前はその日の保育については、ホワイトボードに都度書いていましたが、保育日誌をそのままファイルに入れて各クラスの園庭側のテラスに展示し、迎えに来た保護者が自由に閲覧できる形式に変更しました。日々の活動がなぜ行われているのか明確になるよう、週案も同時にファイリングして公開しており、その時々に行われる活動の意味も保護者と共有できるように心がけています。保護者に公開することで丁寧な文章を意識し、バラつきのあった書き方も徐々に統一されてきました。また、デジカメ保育速報と題し、即日、子ども達の様子を写真で掲示することにも取り組んでいます。

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+ A B C

改善の成果

行財政改革を着実に実行するとともに、省エネ活動を推進しています

・区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年度までに6割の事業を委託・民営化・協同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げています。この中で、区立保育園の事業委託等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」という3つが掲げられており、区の保育分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。

・区の環境マネジメント活動の一環として、省エネ活動を推進しており、毎月の電気、水道、ガスの使用量を把握するとともに、毎年度の実績の推移をグラフ化して園内に掲示しています。平成11年度の使用量を100%とすると、平成19年度の実績は、電気118.5%、水道98%、ガス118.1%、用紙は13.8%となっています。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+ A B C

改善の成果

保護者アンケート結果を受け、改善に取り組みました

・昨年度末に「安心して預けられる保育園を目指して」とする保護者アンケートを園独自に実施し、アンケート結果は、職員会議で取り上げて園としての回答をまとめ、保護者全体に改善案や対策を配布しました。蚊の対策の実施や登降園時のヘルメットの置き場所の確保、保護者会や保護者とのティータイム時間の変更など、様々な改善・解決を行っています。初の試みにより、保護者の要望が鮮明になり、保護者の要望に応えながら、保育等の見直しを行うことができました。

〔全体の評価講評：認可保育所〕

(事業所名：杉並区立 上高井戸保育園)

特に良いと思う点	
1	<p>タイトル 小規模園の特性を生かした家庭的な保育が行われています</p> <p>内容 杉並区立保育園の中でも最も児童数が少ない小規模園であり、家庭的な保育が行われています。1クラスの人数も少ないため、子どもが室内遊びを継続したい場合も庭に出たいときも、隣のクラスの担任と連携し合い、他のクラスと一緒に活動することができるなど、1歳児から5歳児まで自然な異年齢交流が行われています。乳児クラスだけでなく、幼児クラスでも、子ども全員の個別配慮を検討し合い、全職員が他のクラスの子どもや保護者について熟知しています。園庭も広く、芝生のある環境の中で、子どもが伸び伸びとゆったり過ごしています。</p>
2	<p>タイトル 複雑な問題への対応能力を高めるための取り組みに力を入れています</p> <p>内容 近年、児童虐待や育児困難家庭の問題がクローズアップされており、当園でもコミュニケーション能力やカウンセリング能力を高めることが大切であると考えています。職員の多くが専門家の講義を受講し、複雑な家庭や子どもの支援について学んだり、非常勤も含めた全職員が子どもや保護者に対して不適切な対応を行っていないか、独自のチェックリスト(職員が気を付けていくこと)を用いて自らの言動を自己評価し、職員間に結果を公表しています。毎月の実施状況と全体の傾向を踏まえて項目の見直しにもつなげており、高く評価できます。</p>
3	<p>タイトル 地域交流を意欲的に行い、子どもに豊かな経験をもたらしています</p> <p>内容 園では、中学生の職場体験や保育実習生などを受け入れているほか、老人保健施設を訪問しての高齢者との交流や毎日の園庭開放に参加する親子との交流、近隣の公立保育園4園(上高井戸・久我山・久我山東・高井戸)で行う交流、発達センターの子ども達との交流、地域の小学校への訪問など、子ども達と様々な世代の方々との交流が意欲的に行われ、子ども達に豊かな経験をもたらしています。職員の事務所は、保護者や地域の親子など、園を訪れる様々な人々が声をかけやすいように、寒い日でもドアを開けているなど、開放的な姿勢で対応しています。</p>
さらなる改善が望まれる点	
1	<p>タイトル マニュアルの作成・管理や設置方法の検討が望めます</p> <p>内容 園の基本的なルールや事件・事故等に対する対応方法などについては、区のマニュアルがあり、年間反省や半期反省などの際に保育の振り返りの際にも活用されるとともに、必要に応じて、改訂作業も行われています。また、園独自のマニュアルとしても、「散歩マニュアル」や「パート職員の仕事内容」等を作成し、事務所内に吊り下げ、すぐに確認できるようにしています。さらに、最新版の把握や改訂管理がしやすいような作成方法の検討や、園の方針や体制、計画等も含めた全体を1つにまとめて分かりやすい場所に設置するなどの工夫が望めます。</p>
2	<p>タイトル トイレ環境を始めとした施設・設備の改修等、さらなる安全対策が望めます</p> <p>内容 園舎は日当たりが良く、各クラスも心地よい空間が作られています。しかし、建物が古いため、トイレが全年齢同じ場所にあり、ベランダを通って行かなければならないなど使いにくく、死角となる場所もあるなど、施設・設備の構造上の問題も抱えています。利用者調査の自由意見には、建物の耐震性チェックを望む声やトイレ付近の安全性に疑問を持つ声も寄せられています。トイレには、職員が常に子どもに付いて注意を払うようにしたり、子どもが怖がらないようにする工夫も見られますが、設備の改修や職員の動きの確認等、さらなる安全対策が望めます。</p>
3	<p>タイトル 個別配慮をさらに充実させるための工夫が期待されます</p> <p>内容 全職員が他のクラスの子も含めた一人ひとりの子どもを把握して保育を行っている当園ですが、個別の記録を残すという点では必ずしも十分ではないように思われます。子ども全員の個別配慮を検討、記録することにも取り組んでいますが、幼児の日常の一人ひとりの様子や活動は、週案及び保育日誌に気になった点を特記事項として一部記載するほかは、保護者との連絡ノートに記載するのみとなっています。個々のケースを共有するために、保育日誌や職員間の打ち合わせノートを見直し、業務負担とならないような記録の工夫を行っていくことが期待されます。</p>

サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

共通評価項目	
サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している 評点(A)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している <input type="radio"/>非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
サブカテゴリ-1の講評	
園の情報を様々な形で発信しています 園の情報は、区役所で配付している保育園の概要資料のほか、区のホームページ上でも提供されています。このホームページは、区立園共通のフォーマットで作成されており、「所在地」、「園の概要」、「保育目標」、「年間行事」などのほか、「園内の見取り図や写真」、「地域向けのサービス」、「園の特色」も掲載されており、園の様子が伝わりやすいよう工夫されています。また、年4回、地域版の園だよりを児童館や小学校に配布し、地域の方々への周知を図っています。	

サブカテゴリ-2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2の講評

入園時の各種説明は、わかりやすいよう配慮しています

入園前の面接や入園説明会では、園の概要や園からのお願いを記載した入園のしおりを用いて保護者に丁寧に説明しています。このような取り組みは、利用者調査において1年以内に入園したと回答した保護者全員から分かりやすかったと支持される結果に結びついており、「安心して子どもを預けられる場所だと判断できました」との自由意見もみられました。入園のしおりにはさらに、イラストや図を多く取り入れたりするなど、より充実した内容としていく工夫が期待されます。

入園直後は子どもへの影響を考えた保育を実施しています

入園前の子どもの生活状況を正確に聞き取って把握し、記録に残しています。初めての園生活を迎える子ども達にとっては、環境変化に伴う心身の負担が大きいことから、個別保育を行う(別保育で芝生で遊んでもらうなど)とともに、職員の配置を手厚くしてじっくりふれ合い、安心させるようにしています。面談時に保護者に確認し、可能であれば、初日から1~2日、親子保育をしてもらっています。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(A)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
◎あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリー3の講評

保育に関する計画については、3段階で作成しています

保育に関する計画については、クラスごとに年間計画(年間カリキュラム)・月間計画(月案)・週間計画(週案)の大きく3段階の計画があり、それぞれの計画は、計画の終了時に反省を行い、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。この計画の作成の際には、日々の子どもの状況を踏まえるほか、保護者からの要望についても考慮され、計画途中の段階であっても必要に応じて、改定が行われることもあります。なお、保護者に対しては、年間計画は保護者会で、月案は毎月のクラスだよりで、週案は園内掲示によって伝えられています。

子ども一人ひとりの記録は統一様式の「児童票」に記録しています

子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。この「児童票」は、区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分けされています。保護者との面談の記録などもしっかりとファイリングされています。次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでいるほか、園では、個人面談で保護者と子どもの発達の目安について話し合い確認し合うための新たな書式の検討・作成を進めています。

口頭と記録をセットにして情報の伝達や共有を行っています

各クラスでの情報共有は、月案や毎月の検討会議を通じて行われており、特に配慮を行わなければならない子どもについては、会議の中でケーススタディーとして指導の検討と子どもの変化など継続的な話し合いを行っており、その結果については、細かく記録され、情報共有されています。また、日々の情報共有については、定例職員会議や毎日の昼打合せや昼打合せノート、連絡体制表や全体連絡ノートを通じて行われており、口頭と記録のセットで伝達することにより漏れが生じないよう配慮されています。パートやアルバイトにも必要な情報は伝えられています。

サブカテゴリー5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(A)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		
サブカテゴリ-5の講評		
<p>プール実施時や排泄時等におけるプライバシーへの配慮</p> <p>園では、プールの着替えは屋内で行い、シャワーを浴びる際も外からの視線をさえぎるなどの配慮を行うとともに、排泄時やおむつ交換時においても子どものプライバシーに配慮した活動を行っています。子どもの写真掲載に関しては、全体保護者会で説明し、了解を得て実施していますが、書面により同意を得ることについて検討が望まれます。</p> <p>チェックリストを用いた振り返りを実施しています</p> <p>園では、園独自に作成したチェックリスト(職員が気を付けていくこと)を用いて、子どもや保護者に対して不適切な対応を行っていないか、非常勤も含めた全職員が自らの言動を自己チェックし、職員間に結果を公表しています。担当者が毎月の実施状況と全体の傾向を把握・集計して報告するとともに、次年度の項目の見直しにつなげています。この成果は、利用者調査において、全ての保護者から「子どもは大切にされている」と、また、9割に近い保護者から「職員は礼儀正しく丁寧」と、肯定的な回答が得られる結果となって表れています。</p>		
サブカテゴリ-6		
6	事業所業務の標準化	
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリー6の講評

園の基本的なルールや各種対応方法をマニュアルにまとめています

園の基本的なルールや事件・事故等に対する対応方法などについては、それぞれ、区で作成した「危機管理マニュアル」や「医療マニュアル」にとりまとめられており、年間反省や半期反省などの際に保育の振り返りの際にも活用されるとともに、必要に応じて、改訂作業も行われています。園独自のマニュアルとしては、「散歩マニュアル」や「パート職員の仕事内容」等を作成し、事務所に吊り下げ、すぐに確認できるようにしています。さらに、全体を1つにまとめて分かりやすい場所に設置するなどの工夫が望まれます。

プロジェクトを設置し、危機管理の強化を行っています

園では、危機管理に関するプロジェクトを設置し、危機管理マニュアルを見直したり、散歩中の防犯訓練や散歩中の避難訓練に取り組んだり、危機管理に力を入れて取り組んでいます。園庭通路にスノコを敷いたり、雨の日にはテラスにシートを敷くようにしたりと、安全を意識した園内環境の工夫・改善も実施しています。他の園で事故が起きた場合には、職員会議や打ち合わせで、自園の場合はどうかについての確認や話し合いを行っています。

サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	○非該当
	◎あり ○なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	○非該当
	◎あり ○なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	○非該当
	◎あり ○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ◎なし	
評価項目1の講評			
<p>自然な異年齢交流により、子どもの自主性・自発性が育まれています 園では、1クラスの人数が少ないため、子どもが室内遊びを継続したい場合も、庭に出たいときも、隣のクラスの担任と連携し合い、他のクラスと一緒に活動することができ、1歳児から5歳児まで自然な異年齢交流が行われています。前期反省では、乳児だけでなく、幼児クラスでも子ども全員の個別配慮を検討し合って職員が全園児を把握しています。特に、子ども一人ひとりのサインを覚えたり、クラスにない遊具を他のクラスから借りてくるなどの工夫も見られました。</p> <p>広い園庭で子ども達は伸び伸びと遊んでいます 子どもの人数に比べて園庭が広く、芝生が広がっているほか、大きな桜の木もあり、四季を通して遊びを広げてくれます。ジャングルジムやすべり台、太鼓橋などの遊具も設置されており、子ども達は、散歩で遠くに出かけなくても、日々園庭で伸び伸びと遊ぶことができます。利用者調査では、回答した保護者全てが「戸外遊びは十分ですか」の問いに、「はい」と答えており、「緑豊かな園庭でどろんこになって遊べるのがよい」などの肯定的な自由意見も寄せられています。園では、さらに園庭遊具の工夫と整備を行っていききたいとしています。</p> <p>関係機関と連携して障害児保育に取り組んでいます 障害がある子どもの保育については、担任保育士と障害児担当の非常勤職員が連携して行っています。また、区としては、発達センターの専門家が巡回指導を行い、ビデオなども活用しながら、保育士が自分自身の子どもの接し方を客観的に見るなど、現場の事例から学ぶ機会を用意するなど、障害がある子どもの保育の充実に取り組んでいます。</p>			

2	評価項目2 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		評点(A+)																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている</td> <td><input checked="" type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価		標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている
評価	標準項目																		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当																	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input checked="" type="radio"/> 非該当																	
園では、保護者や子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、園庭の畑等で収穫した野菜で調理体験(焼き芋など)につなげ、給食で食べる取り組みを行っているほか、おにぎりづくりやクッキーづくりを行ったりするなど、様々な体験ができるプログラムを用意しています。																			
評価項目2の講評																			
<p>「食」について考えてもらう食育活動を行っています</p> <p>園では、子ども達に「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、種を買ってきて園庭の畑等で野菜(サツマイモやナス、トマト、ジャガイモ、ダイコン、ニンジン等)を栽培し、収穫した野菜を調理体験(焼き芋など)につなげ、給食で食べる取り組みを行っているほか、おにぎりづくりやクッキーづくりを行ったりするなど、様々な体験ができるプログラムを用意しています。訪問調査で来園した際は、子ども達は野菜の名前をよく知っている様子がうかがえました。</p> <p>個別に対応した食事を提供しています</p> <p>アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な子どもに対しては、個々の内容に応じた食事を個別に提供するようにしています。今年度はアレルギーの子どもはいないようですが、1歳児の保護者とは、入園前の面談時に詳しく聞き取り調査を行っているほか、初めて口にするような食物等については、頻繁に連絡を取り合い、慎重に食べさせています。昼食時には、調理員が喫食状況を把握するため、時間が許す限り各クラスに入り、子ども達と会話をしています。</p> <p>食事がしやすい環境を整備しています</p> <p>食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、1歳児までは高さの調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、2歳児以上についてもなるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、足置き台を工夫して微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事ができるよう配慮されています。職員は、子どもに無理強いをせず、食べられる分だけ食べさせていますが、適宜声かけをして指導していました。</p>																			
3	評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		評点(A)																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価		標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当	【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
評価	標準項目																		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当																	

評価項目3の講評

子どもの健康状態をきめ細かく把握しています

日々の子どもの健康状態は、登園時に状況を確認しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い、記録しています。また、月1回、近隣の区立園から看護師が定期的に来園して健康状態を確認しているほか、園医による定期健診をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の年1回の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。

感染症予防と感染症発生時の対応について

感染症予防に関しては、月1回発行の保健だよりを通じて情報提供を行っているほか、園内掲示をして注意を喚起するなどの取り組みが行われています。また、感染症に関する外部研修には、年1回以上、必ずいずれかの職員が受講するようにしています。なお、感染症が発生した場合は、お知らせの掲示や配布を行って、感染の拡大が起らないよう取り組んでいます。看護師が常駐していないため、細やかな保健指導が行えないことが課題となっており、園内研修等、全職員が知識や対応方法を再確認する機会を定期的に設けていくことが期待されます。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着いた環境・空間になっている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目4の講評

一人ひとりの子どもが誕生会を楽しめる工夫をしています

誕生会は、その子の誕生日当日に実施しています。数日前から誕生写真を掲示することで、子どもや保護者、職員が皆、お祝いの言葉をかけたり、気持ちを持ったりすることができるように配慮しています。4、5歳児は、事務所で、ピンクのテーブルクロスをかけたテーブルで園長と一緒に昼食を食べ、事務所にしかないおもちゃで遊ぶことができる楽しい日となっています。

落ち着いて遊べる環境・空間をつくっています

園内は、4歳児と5歳児の部屋がつながっており、合同で食事を行っていますが、遊びや活動の内容に応じてアコーディオンカーテンで仕切れるようになっています。各クラスの遊具はマークやシールなどで位置が子ども達に分かりやすく表示されているほか、木製の衝立やマットで空間を区切り、ママごとやお絵描き、絵本等のコーナーをうまく作り出しています。クラス内の装飾やコーナー設定は各クラスの担任に任せており、設定の見直し・変更や模様替えは、年2、3回行っていますが、今後、季節に応じてなど、早めに替えていきたいと考えています。

午睡については、個々の状態に合わせた配慮を行っています

食事、睡眠、運動、排泄などは、子どものリズムにできるだけ合わせる配慮を行っています。午睡については、乳児は目覚めたらベランダや3歳児クラスで遊んだり、早く寝たい子、目が覚めてしまう子がそれぞれ快適に過ごせるよう場所の確保に努めています。

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	[A+の取り組み] <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
評価項目5の講評			
<p>子どもたちの様子や園の活動をわかりやすく伝えています</p> <p>保護者への園からの情報提供については、定期的かつ目的別に発行される、園・事務所・クラス・保健等の各種のおたよりがあります。これらについては、園での子どもたちの様子をより分かりやすく伝える配慮を行っており、特にクラスだよりでは、パソコンを使って写真を積極的に取り入れ、年12回以上発行しています。また、給食についても、日々の食事・おやつを展示しています。建物の構造上、掲示場所が限られてしまうという課題があり、さらなる工夫が期待されます。</p> <p>日々の活動をタイムリーに伝えるため、日誌を公開しています</p> <p>従来のおたより等に加え、保護者に情報を伝える方法として、保育日誌の公開を行っています。毎日の日誌をファイルに入れて各クラスの園庭側のテラスに展示し、迎えに来た保護者が自由に閲覧できるようにしています。日々の活動がなぜ行われているのか明確になるよう、週案も同時にファイリングして公開しており、その時々に行われる活動の意味も保護者と共有できるように心がけています。また、デジカメ保育速報と題し、即日、子ども達の様子を写真で掲示する取り組みも行っていきます。</p> <p>保護者の希望や事情に応じて柔軟に対応しています</p> <p>保育参観は、保護者が参観したい日に自由に来園するのを原則としていますが、具体的に日程を決めてほしい保護者には、個人面談の前の時間等を案内するようにしています。個人面談も土曜日も含め、保護者の希望する時間に設定しています。また、登降園の時間は、7時30分～18時30分までの間は自由としており、利用者調査では、「急な残業等にも柔軟に対応してくれる」との回答が8割を超えています。延長保育の実施に対する保護者の要望が強く、今後の検討が期待されます。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
	[A+の取り組み] <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目6の講評

区、関係機関との連携により、虐待防止等に取り組んでいます

虐待防止については、区全体として取り組んでいます。具体的には、虐待防止マニュアルの実践をはじめ、区の保育課、家庭支援センター、児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見時の対応などが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。

専門的な研修により、園全体の対応能力を向上させていくことが期待されます

虐待防止ネットワークの事例検討会に参加しているほか、区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の向上を図るとともに、研修で得た情報を職員間で共有しています。職員の多くが専門家の講義を受講し、複雑な家庭や子どもの支援などについて学んでいます。継続的な取り組みにより個々の職員のスキルを高め、多様化・深刻化するケースに組織として対応能力を向上させていくことが期待されます。

評価項目7

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(A)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ◎なし

評価項目7の講評

保護者の希望する地域情報を提供しています

区の子育て応援券に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域の施設や機関から依頼があった場合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報の提供を行っています。また、保護者から望まれる情報として、地域の医療機関の情報を配付するなど、関係機関から回ってくる情報だけではなく、保護者からのニーズを捉え必要と思われる情報についても提供しています。

豊かな経験をもたらす地域の様々な人たちと交流しています

地域との交流としては、中学生の職場体験などの受け入れや実習生などのほか、老人保健施設を訪問しての高齢者との交流、園庭開放に参加する親子との交流、近隣の公立保育園4園(上高井戸・久我山・久我山東・高井戸)で行う交流、発達センターの子ども達との交流、地域の小学校への訪問など、子ども達と様々な世代の方々との交流が意欲的に行われています。

高井戸保育園

高井戸
保育園

〔利用者調査：認可保育所〕

(事業所名：杉並区立高井戸保育園)

調査対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯80世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

調査方法

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

利用者総数

80

共通評価項目による調査対象者数

80

共通評価項目による調査の有効回答者数

50

利用者総数に対する回答者割合(%)

62.5

利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の9割を超える結果となりました(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が92.0%)。個別にみると、「提供される食事への配慮」、「戸外遊びの機会」、「子どもは大切にされている」について肯定的な回答が約9割を占める他、「体調変化への対応」、「お子さんについて職員と相談できる」、「職員の聞く姿勢」についても肯定的な回答が8割を超えており、園における基本的な生活について保護者は満足している様子がうかがえます。一方、「要望や不満の言いやすさ」をはじめ、「要望や不満に対する対応」などについては肯定的な回答が低い結果となっています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	48	2	0	0
肯定的な回答は約9割を占めているとともに否定的な回答がない結果となっており、大きな不満はなく安定的な評価を受けている項目といえます。自由回答については「おいしい」等の肯定的な意見が寄せられているほか、「食育という意味でも感謝している」といった意見も見られます。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	49	1	0	0
肯定的な回答は9割を大きく超えるとともに否定的な回答がない結果となっており、大きな不満はなく安定的な評価を受けている項目といえます。しかし、自由回答では、肯定的な意見もある一方で、小数ですが、「散歩が少ない」、「担任により異なる」とする意見も見られます。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	30	13	4	3
肯定的な回答は6割です。自由意見において、「変更したことがないのでわからない」との意見も見られることから、利用したことがなく答えられない保護者もいたと推測されます。また、対応が良くないとする意見も複数見られます。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	40	7	2	1
肯定的な回答は8割を占め、満足する人が多い項目です。自由意見では、肯定的な意見がある一方、体調に関する連絡に対する不満(何時でも知らせてほしい)など様々な意見が寄せられています。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	33	14	2	1
肯定的な回答は6割強にとどまり、他の設問に比べ満足度が低い項目です。自由回答では、防犯面での不安や園内外の危険箇所を指摘する声も上げられていますが、「わからない」とする意見も寄せられています。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	34	13	1	2
肯定的な意見は7割を下回っていますが、否定的な意見もほとんどありません。自由意見は、平日の保護者会を不満に感じるものが多く寄せられている状況です。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	43	5	2	0
肯定的な意見は9割に迫っており、他の設問に比べ満足度が高い項目です。自由意見では、「普段は話す時間がない」とする意見も見られますが、その他は肯定的な意見が占めており、自由意見からも保護者が満足している様子が見えがえします。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	38	10	2	0
肯定的な回答は7割を大きく超えています。自由意見は少ないですが、「話は聞いてもらえるが行動に反映されないと感じることがある」「もう少しお話しする時間があればと思います」のほか「先生によるが現在の担任は良好」などの意見が寄せられています。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	33	14	0	3
肯定的な意見は7割を下回っていますが、否定的な意見もありません。自由意見には、否定的な意見も見られますが、「よくわかりません」という意見に代表されるように「どちらともいえない」「無回答」とする理由としては、「どのように守っているかわからない」ということが主な理由であると考えられます。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	47	2	1	0
肯定的な回答は約9割を占め、大切にされていることに疑問をもつ声はほとんどみられません。子どもが大切にされていることについては、安定した評価が得られていることがうかがえます。				

11. 職員の対応は丁寧か	36	14	0	0
肯定的な回答は7割を超える程度ですが、否定的な意見はありません。自由意見では、肯定的な意見も否定的な意見も両方見られますが、先生によって対応が異なる、と言う意見が多く見られます。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	16	27	7	0
肯定的な回答は3割にとどまっており、他の設問に比べ満足度が非常に低い項目です。年齢別で見ると0～2歳では4割強なのに対し、3歳以上では2割強と、その率にはかなりの開きがみられます。本設問は、言いやすいかいいづらいかを一律で設問のため、寄せられた意見の中には「特になし」等の意見も見られ、答えづらい設問であるともいえますが、一方で否定的な意見も1割を大きく超えているため、何らかの対応をとることが望まれます。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	19	22	5	4
肯定的な回答は4割を下回り、前問に引き続き満足度が非常に低い項目です。本設問も、きちんと対応しているかを一律で設問のため、答えづらい設問であるといえますが、一方で否定的な意見も1割を占めているため、何らかの対応をとることが望まれます。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	15	5	30	0
否定的な回答(知らない)が6割を占め、全設問中最も否定的な回答が高く、肯定的な回答が低い項目となりました。自由意見も寄せられていない状況や園全体との満足率との相関が薄いことを考慮すると、保護者にとって関心が薄い項目であるとも考えられます。				
15. [過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に] サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	8	2	1	0
1年以内に利用を開始した11人中8人が肯定的な回答をしています。全般として保護者が満足している様子がうかがえます。				

組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

共通評価項目	
カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定
サブカテゴリ1	
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	

評価項目3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし

カテゴリー1の講評

園目標や保育目標を明示しています

園目標「頭と体を使って遊ぶ子ども」「友だちを大切に、仲間と一緒にいることの大切さがわかる子ども」は、園のしおりや園のホームページに掲載され、事務所前廊下にも掲示されています。また、園目標に沿って保育目標が設定され、保育計画が展開されています。保護者に対しては、入園説明会や年度初めの保護者会で園のしおりを用いて園目標の説明を行っています。

指揮命令系統を、分かりやすく明文化しています

園長や主査をはじめ、それぞれの職員の役割と責任は、指揮命令系統図で明示しています。一方、職員自己評価では、「経営層の役割と責任」に対する肯定的な評価が、他の項目と比較して低いことから、さらなる充実が期待されます。

職員ハンドブックは、毎年更新し、年度初めに読み合わせをしています

法人の理念や基本方針、日常の業務等に関することは、職員ハンドブックにまとめられています。職員ハンドブックは、毎年更新され、年度初めに職員同士で読み合わせをすることにより、再確認を行っています。また、職員ハンドブックの他、各種マニュアルを揃え、職務マニュアル(保育士編)では、乳児、幼児別に1日の流れ、保育士の動き、具体的な関わり方について、詳細に分かりやすく記載されており、新任保育士等でもイメージしやすく、理解しやすい内容となっています。これらのマニュアルについても定期的な見直しを行っています。

カテゴリ-2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(A)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(A)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
サブカテゴリ-2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(A)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目2

ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当
[A+の取り組み] ○あり ●なし		

評価項目3

地域の関係機関との連携を図っている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当
[A+の取り組み] ○あり ●なし		

カテゴリ-2の講評

遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます

「職務にあたっての心得」を廊下に掲示している他、就業規則、職員ハンドブック、マニュアル等に掲載し、倫理や関係法令の規定がいつでも確認できるようになっています。また、職員の綱紀の保持に関する通知等、法人本部や区役所からの配布文書は、園内で閲覧したり、職員会議や打ち合わせで周知を行っています。

地域のボランティアを積極的に受け入れています

お餅つき会には郷土会の協力、竹馬ボランティア(修理)や、ボランティア協会からの依頼など、積極的にボランティアを受け入れています。ボランティアの受け入れに関しては、事前オリエンテーションでボランティア受け入れマニュアルにもとづいた説明を行っており、この中でプライバシーの尊重など留意点を伝えています。また、終了後には、感想を書いてもらい、ふり返りも行っています。

地域の児童館をはじめ、地域の関係機関との連携を図っています

児童館の秋祭りでは、園の保育士が1つのゲームコーナーを担当するなど、地域の児童館の行事への参加・協力をしています。また、地域行事への参加・協力に加え、私立保育園園長会、保育部会等のネットワークにも積極的に参加しています。

カテゴリ-3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリ-1

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えてい	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(A+)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ●あり ○なし

保護者からの様々な意見を聞く環境の充実に取り組むとともに、迅速に対応することにより、信頼関係の構築に努めています。

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリー3の講評

行事ごとにアンケートを実施し、保護者の意見を反映するしくみがあります

秋祭り、運動会、お楽しみ会などの行事ごと感想アンケートを実施、出された意見を集約し、園だよりの号外に掲載したり、園内に掲示するなど、保護者へフィードバックしているほか、行事総括を行い、次回や次年度の取り組みに反映させるようにしています。

意見箱を設置し、保護者からの意見を大切にしています

行事のアンケートの他、入り口横に常時意見箱を設置し、保護者からの意見を積極的に収集しています。また、寄せられた苦情に対しては、迅速に書面に対応し、保護者意見要望記録簿に記載しています。一方、利用者調査では、要望や苦情の言いやすさやその対応等について、保護者からの肯定的な割合が他の項目に比べて低いことから、さらなる改善が望まれます。

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、法人本部、地域教育連絡会議や私立保育園の園長会、東京都社会福祉協議会等のネットワーク、外部研修等への参加により収集・把握しています。

カテゴリ-4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ-1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点(A)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点(A)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリー2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリー4の講評

園の事業計画は、園独自のホームページで確認することができます

各年度の事業計画は、園独自のホームページから計画書をダウンロードできる様になっています。事業計画には、保育方針、保育目標、クラス別編成方針、年間行事、健康管理、食事などの他、職員会議、職員の健康管理、研修、備品購入や改修等、保護者に対する取り組みなど、多岐にわたって記載されています。

保護者や現場の声をいかにしながら、計画的に策定・見直しを行っています

法人全体で取り組む計画やマニュアルについては、現場の声をいかにしながら策定・見直しを行っています。また、園の行事予定作成等に当たっては、アンケート等で寄せられた意見を次年度の計画づくりにいかしています。一方、職員自己評価によると、計画の策定と実行に関する項目、特に計画の実行については、他の項目と比較して評価が低いことから、さらに意識的に取り組んでいくことが期待されます。

子どもの安全確保に関して、ハード・ソフトの両面で充実を図っています

子どもの安全確保に関しては、防犯カメラ、地震速報装置、AEDなどの設置を段階的に進めてきました。これらのハード面での充実に加え、ソフト面では、危機管理マニュアルに基づき、避難訓練等の役割分担と明確化するとともに、日常の安全・予防対策については、会議等を通じて職員に伝達しています。また、本園は都営住宅の1階部分にあることから、自治会等の連携を図りながら、子どもの安全確保に取り組んでいます。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点(B)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

園に必要な人材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています

常勤職員は法人で採用し、本園で必要とする人材と他園とのバランスを考慮しながら、配置をしています。また、園内のクラス担任については、毎年度末、職員から希望をとり、経験や能力、バランスを考慮して園長が検討し、法人で決定されます。なお、本園は、区で運営していた当時から、持ち上がりの担任制を基本としています。一方、職員自己評価においては、人材構成に関する評価は、他の項目と比較して最も低いことから、改善が求められます。

法人全体で研修環境の充実に取り組んでいます

職員研修については、職務に応じて、法人内研修、園内研修を行っている他、外部の研修の受講に際しては、シフトを調整し対応しています。また、研修成果は、報告書を作成するとともに、職員会議の場で報告を行い、職員同士の情報共有を図っています。一方、職員自己評価では、職員の質の向上に対する評価は、他の項目と比べて低いことから、さらなる充実が期待されます。

カテゴリ-7		
7	情報の保護・共有	
サブカテゴリ-1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリー7の講評

園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットに管理されています。児童票や保育日誌等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるキャビネットに保管されています。また、電子データの場合も、パソコンにパスワードを設定し、管理を徹底しています。

個人情報の取り扱いについては、規則・要綱で明確にしています

個人情報については、園各種規則及び要綱で明確にしています。また、実習生やボランティアに対しては、個人情報保護等の留意事項を伝えています。個人情報の取り扱いについては、保管場所や掲示の仕方、写真データの保管方法などに細心の注意を払って対応しています。

運用要綱にもとづき、園独自のホームページを公開しています

園独自のホームページの公開については、公開目的を明確にするとともに、公開する情報に対しての基本的な考えとして、「公開しない情報」「保護者の了解を得る必要がある情報」「掲載に際しての留意点」を明示するなど、個人情報に対する十分な配慮がなされています。

カテゴリ-8

8 カテゴリ-1～7に関する活動成果

サブカテゴリ-1

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」

A+ A B C

改善の成果

行事や日常保育の充実に向けて、計画的に取り組んでいます

本年度においては、世代間交流や食育の推進など、積極的に取り組んでいます。世代間交流については、従来は地域の人たちが来園する方式でしたが、今年度からは高齢者施設等に訪問するようになりました。また、食育については、米飯中心のメニューの提供や魚の解体を見学するなどの活動もはじめています。これらの取り組みに対しては、保護者からの感謝の声もきかれます。また、昨年度から取り組んでいる体育指導の積み重ねにより、落ち着いた保育に取り組めるようになっていきます。毎年の計画的な取り組みが、少しずつ成果になっていることがうかがえます。

サブカテゴリ-2

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」

A+ A B C

改善の成果

研修等により、質の向上に取り組んでいます

一昨年度までは、全クラスが複数担任制でしたが、平成19年度からは、4、5歳児クラスを1人担任制とする新たな取り組みを始めました。当初は、戸惑う場面も見られましたが、1年が経過し、1人担任制の効果も現れています。こうした職員の能力をいかす取り組みの他、職員の資質の向上を図るために、各種研修や参考図書の紹介を行うなど、日常の取り組みが重ねられています。

サブカテゴリ-3

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」

A+ A B C

改善の成果

「食」に関する取り組みの強化を行っています

食育については、栄養士が各クラスを巡回し、イラストを使って食材の解説を日常行っておりますが、本年度からは、米飯中心の献立など園独自の取り組みを行ったほか、魚の解体を見学するなど、子どもたちがより食に関心をもちやすくなる様、取り組みました。

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+ A B C

改善の成果

収支のバランスの向上が図られています

定員の変更や職員配置、職員の異動等を通じて、収支のバランスが向上しています。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+ A B C

改善の成果

保護者の意向を積極的に把握し、改善に努めています

おたのしみ会の公開をはじめとした保育参観や個人面談等、意見箱、行事のアンケート等を通じて、積極的に保護者の意見を聞く体制を整えています。しかしながら、利用者調査の評価からは、改善の余地が残されていることから、さらなる改善が期待されます。

サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

共通評価項目	
サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している 評点(A)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している <input type="radio"/>非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし	
サブカテゴリ-1の講評	
<p> 掲示物を積極的に活用し、情報提供を行っています 保護者への園からの情報は、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健等の各種おたよりを発行しています。また、その他各種情報は、入り口付近に掲示し、全ての保護者に伝わるように工夫をしています。 </p> <p> 園での子どもの様子を、たくさんの写真で伝えています 行事を中心に保育園での子どもの様子を数多く写真に納め、保護者に安価で提供しています。園だよりなどの情報に加え、写真は子どもの生き生きとした様子を伝える情報伝達のツールのひとつとなっています。 </p> <p> 園独自のホームページで情報を公開しています 区のホームページでの園紹介のページについては、公立園が統一された情報が提供されています。また、園独自のホームページを作成し、法人の運営状況、各種マニュアル等、広く情報を発信する取り組みが行われています。 </p>	

サブカテゴリー2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリー2の講評

入園説明会を実施し、園での生活について詳しく説明しています

入園前には、入園児説明会の実施、入園児面接等の場で、「園のしおり」等を活用し、園での生活や入園までに準備をするものなどについて、詳しく説明する機会を設けています。

入園前には子ども一人ひとりの状況を把握しています

新入園児家庭調査票、家庭での生活状況票、家庭連絡票及び入園前の面接において、家庭での入園前の生活リズムをはじめとする子どもの様子等が把握されており、面談結果については、「児童票」等に記録されています。この「児童票」は、入園後の児童の発達や保護者の意向などを時系列で整理され記録が追加できるように配慮されており、保育の最重要書類として活用されています。

入園直後は慣れ保育を実施しています

入園直後の子どもの不安やストレスを軽減するため、一定期間「慣れ保育」を行っています。「慣れ保育」期間中は可能な範囲で保護者と子どもと一緒に保育園で過ごし、子どもが園での生活に慣れ、保護者も保育の様子を知ること、安心して子どもを預けられるようにするための配慮をしています。そのため、職員も休暇を控え、子どもと慣れる時間を多く持てるようにしています。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

サブカテゴリー3の講評

保育日誌、連絡帳等で子どもの情報を共有しています
 子どもの記録は、保育日誌に記載し、情報共有・把握を行っています。また、保育日誌は、それぞれの年齢に適した記録しやすい様に、年齢ごとに異なる様式となっています。また、職員の勤務シフトの違いに対応するために、遅番早番連絡表を活用し、情報を共有しています。

半期毎に保育総括を行い、見直しを行っています
 定期的な計画の見直しは、前期・半期ごとに、保育総括、行事総括、全体総括を、クラス会議、保育会議、幼児会議、職員会議等、それぞれ役割に応じた職員の出席のもと会議を行い、必要に応じて見直し・改善を行っています。

保護者会の場で、計画や子どもの発達について詳しく伝えていきます
 毎年4月に行われる保護者会では、運動会、お楽しみ会、秋祭り等に関する年間計画を伝えている他、子どもの発達のポイントを伝えています。2回目の保護者会では、保育参観を行い、子どもの成長の様子を伝えています。

サブカテゴリー5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし 		

サブカテゴリ5の講評

ホームページへの写真の掲載など、保護者の同意を得ています
 園独自のホームページの公開については、公開する情報に対しての基本的な考えとして「公開しない情報」「保護者の了解を得る必要がある情報」「掲載に際しての留意点」を明示するなど、個人情報に対する十分な配慮がなされています。

外部からの視線の遮断の他、毎日の着替えなどで、子どもの羞恥心に配慮しています
 子どもの羞恥心やプライバシーへの配慮としては、失敗を責めない言葉かけや、トイレの失敗の際の目立たない着替え場所の設定などに心がけています。また、プールやシャワーの際に目隠しをつけることにより外部から見えない様にするるとともに、室内においては、毎日の着替えなどにも配慮しています。また、子どもに対して羞恥心を養うことにも取り組んでいます。

プライバシーへの配慮については、個々の状況に合わせた対応が求められています
 日常の子どもや保護者とのコミュニケーションについては、職員会議やミーティングの中で常に振り返り、不適切な言動等がなかったか確認しあっています。一方、利用者調査及び職員自己評価においては、プライバシーに関する評価に差がみられることから、プライバシーへの配慮の具体的な対応については、個々のケース、環境や時代にあわせて柔軟に方法を考えていく必要があります。

サブカテゴリ6

6 事業所業務の標準化

評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし 		

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリー6の講評

職員ハンドブックの内容は定期的に見直しが行われています

職員の基本的な手引き書となる職員ハンドブックは、職員個人に配布されるもので、毎年更新しています。見直しの検討は、現場職員の声をもとに、幹部会議を行い、理事会を経て、最終的な決定が行われます。年度初めには、職員同士で読み合わせをし、変更点の確認も含め、内容の理解を深めています。

園内外の研修により、職員の質の向上に取り組んでいます

園内の研修、法人内研修、専門研修などにより、保育の質の向上に取り組んでいます。園外研修では、同法人の姉妹園での研修や先進事例の見学など、見学や体験型の研修にも取り組んでいます。研修成果は、研修報告書にまとめるほか、職員会議で概要を報告するなど、他の職員との情報共有にも取り組んでいます。

情報共有による子どもの安全性のさらなる充実が期待されます

現在園では、子どもの安全性確保に関して様々な取り組みを行っていますが、一方で、利用者調査によると、肯定的な評価が7割程度と、他の項目と比較して低く、改善の余地が残されています。今後は、引き続きハード面の対策を充実させていくとともに、職員一人ひとりの日常の気づきをヒヤリハット事例等で蓄積し、安全性確保の改善に反映させていくことが期待されます。

サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点(A+)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
【A+の取り組み】 <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし			
絵本を通じた子どもたちの発達を促すため、毎年200冊程度絵本を購入し、園内の絵本の充実を図っているだけでなく、絵本の貸し出しを行い、家庭においても絵本にふれる機会を増やす支援をしています。絵本の貸し出しについては、年間2000冊前後の実績があり、家庭に対する支援も順調に実を結んでいるといえます。			
評価項目1の講評			
外部講師による体育指導を実施しています 外部からの体育講師を招き、毎週水曜日に4・5歳児を対象に体育指導を実施しています。また、運動会においては、その成果を保護者の方に披露しています。昨年から取り入れられたこのプログラムにより、子どもたちが落ち着いて物事に取り組めるようになったなど、活動の成果が現れています。			
絵本の充実、貸出など、子どもの発達を促すための環境を充実しています 各クラスに設置している絵本の充実に加え、貸し出しを行うなど、子どもの発達を促すための環境の充実に取り組んでいます。こうした取り組みに対し、職員自己評価では、9割が肯定的な評価をしており、園長をはじめ、職員一人ひとりが意識的・積極的に取り組んでいる姿勢がうかがえます。			
関係機関との連携により、障害がある子どもの保育に取り組んでいます 障害がある子どもや気になる行動がみられる子どもの保育については、専門機関と連携を密に図りながら対応しています。発達支援センターの専門家が、特別な保育指導により、保育士が現場の事例から学ぶ機会を用意し、子どもの特性に配慮した保育の提供体制を整えています。			

2	評価項目2 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		評点(A+)																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価		標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている
評価	標準項目																		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input type="radio"/> 非該当																	
【A+の取り組み】 米中心の献立など園独自の取り組みを行っている他、栄養士が各クラスを巡回し、イラストを使って食材の解説を日常行っており、また、魚の解体を見学するなど、子どもたちがより食に関心をもちやすい様な取り組みを行っています。																			
評価項目2の講評																			
<p>園独自の食事の取り組みを進めています 今年度においては、米飯中心の献立を取り入れるなど、園独自の取り組みも行われています。なお、アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供されています。 利用者調査では、食事に対する評価は、ほぼ全員が肯定的な評価をしていることから、取り組みを確認することができます。</p> <p>桜の木の下での食事、バイキングなど、楽しみながら食事ができる環境を提供しています 楽しみながら食事ができる様に、5歳児のバイキング、桜の木の下やテラスでの食事などを取り入れています。また、食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。</p> <p>栄養士による食育の充実が図られています 日々の献立に対する子どもの評価を確認するため、栄養士が各クラスを巡回し、反応を把握しています。その際、その日のメニューについて、イラストを使って解説を行っています。また、イラストだけでなく、本物を体験する為、本年度においては、プロを呼び魚の解体の見学を行うなど、栄養士による食育の取り組みが、毎年の様にひろがっています。</p>																			
3	評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		評点(A)																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価		標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
評価	標準項目																		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当																	
【A+の取り組み】																			

評価項目3の講評

子どもの健康状態は、看護師が毎日把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況の確認、常駐の看護師が毎日各クラスを巡回しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、尿検査を取り入れた定期健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬表を用い対応を行っています。

手洗いの指導、歯磨き指導を積極的に行っています

3歳以上を中心に、外から帰った後や給食前の手洗い指導やパネルシアターをみながらの歯磨き、区の歯科衛生士の協力を得ながら行う歯磨き指導など、保健指導に積極的に取り組んでいます。

法人3園の看護師が連携を図り、健康づくりに取り組んでいます

保健指導については、法人の3つの保育園の看護師で構成される看護師会で検討されたことをもとに、園の実践活動をおこなっています。看護師会では、東京都社会福祉協議会・保健部会など、他機関との連携を図り、積極的に情報収集を行い、感染予防を含めた様々な情報を保護者に提供しています。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点(A)

4

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
◎あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
◎あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ◎なし

評価項目4の講評

異年齢児交流、各種催し物など、多様な保育活動に取り組んでいます

誕生会は、一人ひとりの日にあわせて実施している他、園内活動として、お散歩時などの異年齢児交流をはじめ、「みんなであそぼう」「秋まつり」「お楽しみ会」など、子どもの発達を促す活動や催し物が取り入れられています。また、公開をしている「お楽しみ会」は、保護者が子どもの成長を確認する場ともなっています。

手作りの木製玩具等により、暖かさ、落ち着きを感じさせる園内環境となっています

ママゴト遊びなどで使う手作りの木製キッチンをはじめ、手作りで室内環境を整えている箇所が数多くみられ、既製品にはない暖かさを感じるとともに、安全性に対する工夫もされています。

午睡については、個々の状態に合わせた配慮を行っています

食事、睡眠、運動、排泄などは子どものリズムにできるだけあわせる配慮を行い、午睡については、早く寝たい子、目が覚めてしまう子がそれぞれ快適に過ごせる場所を確保して対応しています。また、年長児については、就学前には午睡をやめ、学校生活にすぐなじめるよう配慮しています。

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	○非該当
	◎あり ○なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当
	◎あり ○なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当
	◎あり ○なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	○非該当
	◎あり ○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○あり ◎なし		
評価項目5の講評			
<p>行事ごとにアンケートを実施し、保護者の意見を反映しています</p> <p>運動会は土曜日の開催、秋まつりは夕方から開催するなど、一人でも多くの保護者が参加しやすい様に日程を調整しています。また、運動会、お楽しみ会などの行事ごとに感想アンケートを実施し、出された意見を集約して、次年度の開催日程等を検討しています。</p> <p>個人面談をはじめ、保護者からの意見を大切にしています</p> <p>個人面談の充実や意見箱の設置など、保護者との意見交換に積極的に取り組んでいます。これらの取り組みは、利用者調査の「職員との相談」に対する評価でも9割弱が肯定的な評価をしていることから、成果を確認することができます。一方、「保護者の考えを聞く姿勢」については、3/4が肯定的な評価をしており、他の項目と比べて低くはないものの、改善の余地が残されていることから、継続的な取り組みを行っていくことにより、さらなる成果が期待されます。</p> <p>クラスだより、写真等を活用し、子どもの生活の様子を伝えています</p> <p>クラスだよりに加え、園では、行事や日常の生活をたくさんの写真で伝えています。園での自然な姿を写す写真が多く、子どもたちのいきいきとした姿がリアルに伝わる情報源ともなっています。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当
	◎あり ○なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
	◎あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○あり ◎なし		

評価項目6の講評

区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援に取り組んでいます

虐待については、区と連携を図りながら取り組んでいます。具体的には、区の保育課、家庭支援センター、児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見時の対応などが職員ハンドブックに明示されており、また、必要に応じてケース会議を開催し、対応しています。

研修等に積極的に参加し、職員間の情報共有を図っています

新人研修をはじめとして積極的に各種研修へ参加しており、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の向上を図っています。また、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされるよう取り組まれています。継続的な園全体のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりが期待されます。

保護者会で講演会を開催し、保護者と共通理解を深める取り組みを行っています

子どもの発達等に関しては、現在、虐待防止のポスターなどの情報提供をしていますが、さらに、全体保護者会で講演会を開催し、子どもの発達や虐待防止について保護者と共通理解を深めています。

評価項目7

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(A)

7

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目7の講評

地域の就園前の親子を支援しています

地域の子育ての拠点となるよう、就学前の親子を対象に、園庭開放、ふれあい保育の実施、見学の受け入れを行っています。一方、在園児に対する保育の質の向上に力を入れている中で、地域の子育て支援については、積極的とは言えないことから、さらなる充実が期待されます。

世代間交流や地域交流の取り組みが広がっています

本園は都営住宅の1階に位置している特性をいかし、園の催し物に居住者に声かけをするなど、取り組みが広がっています。また、従来、世代間交流は、来園形式で待ちの姿勢でしたが、高齢者デイサービスとの訪問交流をはじめとしています。現在は、やや遠方の施設との交流ですが、近隣の施設との交流に広がっていくことが期待されます。

地域のボランティアや児童館と連携をすすめています

お餅つき会には郷土会の協力、竹馬ボランティア(修理)等のボランティアや、実習生や職場体験を受け入れています。また、地域の児童館の地域行事へ参加するなど、地域連携を進めています。

特に良いと思う点		
1	タイトル	保護者の声をいかし、積極的に改善、質の向上に取り組んでいます
	内容	各行事後はアンケート調査を実施し、寄せられた声や反省点を園だより等でフィードバックするとともに、次回以降の行事の改善に活かしています。また、常設の意見箱をはじめ、保護者からの意見については、迅速に対応することを心がけることにより、保護者とのコミュニケーションの充実を図るとともに、日常の保育の質の向上に取り組んでいます。生活スタイルや価値観が多様化する中で、全ての保護者が満足できる対応は困難ですが、積極的に保護者の声を聞き、改善につなげていく取り組み等を常に行っていることは高く評価できます。
2	タイトル	地域交流・世代間交流を積極的に広げています
	内容	ボランティアの受け入れ、児童館との連携、高齢者施設への訪問など、地域交流・世代間交流を積極的に進めています。特に、世代間交流については、従来は来園による交流を図っていましたが、施設に訪問する交流もはじめています。また、本園は、都営住宅の1階に位置していることから、上層階の方に園行事の毎に声をかけるなど、ご近所づきあいにも取り組んでいることは高く評価できます。さらに地域での交流を広げるために、近隣の高齢者施設との交流も模索しており、地域の輪が広がっていくことが期待されます。
3	タイトル	保育環境等を充実するため、計画にもとづき毎年着実に実行しています
	内容	園では、子どもたちの発達を促すための新たな取り組みを計画にもとづき実行し、毎年成果を重ねています。平成16年度から取り組んでいる絵本活動の充実については、毎年200冊の絵本を増やすなど計画的に取り組んできた結果、年間の貸し出し数がのべ2,000冊になるなど成果が現れています。また、本年度は、新たに世代間交流、米飯中心の食事、魚の解体の見学(食育)、園庭の固定遊具の設置などを行いました。さらに、これらの新たな取り組みに対する効果を検証し、改善や次の取り組みへつなげることも行われており、高く評価できます。
さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	各専門職としての質の向上や職員一人ひとりの力が発揮できるしくみづくり
	内容	利用者調査では、「子どもの発達を促すための保育」「栄養を考慮した美味しい食事」「健康を維持回復するための支援」「園内が快適になるための工夫」になどの保育の基本となる項目について9割が肯定的な評価をしている一方で、職員自己評価では、「職員のやる気」「職員の質の向上」など、人材育成等に関する項目は、他の項目と比較して評価が低いことから、各専門職として質の向上や、職員一人ひとりの力を組織で発揮できるような環境をさらに充実していくことが望まれます。
2	タイトル	地域の子育て支援や地域の福祉ニーズの把握
	内容	ボランティアの受け入れ、世代間交流など、地域に向けた活動を広げている一方で、地域の子育て支援については、就学前の親子を対象に、園庭開放、ふれあい保育の実施、見学の受け入れを行っているものの、さらなる充実が期待されます。同時に、地域の福祉ニーズや福祉事業の情報に関しては、職員自己評価においても、他の項目と比較して、評価が低いことから、一層の充実が期待されます。
3	タイトル	情報共有による子どもの安全性のさらなる充実が期待されます
	内容	現在園では、子どもの安全性確保に関して様々な取り組みを行っていますが、一方で、利用者調査によると、肯定的な評価が7割程度と、他の項目と比較して低く、改善の余地が残されています。今後は、引き続きハード面の対策を充実させていくとともに、職員一人ひとりの日常の気づきをヒヤリハット事例等で蓄積し、安全性確保の改善に反映させていくことが期待されます。

大宮前保育園

大宮前
保育園

〔利用者調査：認可保育所〕

(事業所名：杉並区立 大宮前保育園)

調査対象

同一世帯で複数の子どものみが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯65世帯を調査対象としました。(複数の子どものみが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

調査方法

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

利用者総数

65

共通評価項目による調査対象者数

65

共通評価項目による調査の有効回答者数

47

利用者総数に対する回答者割合(%)

72.3

利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の約9割を占める結果となりました(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が89.3%)。個別にみると、「お子さんについて職員と相談できる」について肯定的な回答が約9割を占める他、「提供される食事への配慮」、「戸外遊びの機会」、「保育時間変更の柔軟な対応」、「体調変化への対応」、「職員の聞く姿勢」、「子どもは大切にされている」、「職員は礼儀正しい」についても肯定的な回答が8割を超えており、園における基本的な生活について保護者は満足している様子うかがえます。一方、「安全対策が十分とられているか」をはじめ、「要望や不満の言いやすさ」、「行事日程への配慮」などについては肯定的な回答が低い結果となっています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	40	6	0	1
肯定的な回答は8割を大きく超える結果となっており、安定的な評価を受けている項目といえます。自由回答については肯定的な意見が大半を占めていますが、食事のメニューに関する要望も寄せられています。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	42	3	2	0
肯定的な回答は約9割を占めるとともに否定的な回答もほとんどみられない結果となっており、大きな不満はなく安定的な評価を受けている項目といえます。しかし、自由回答では、肯定的な意見が多い一方で、「園庭を広くしてほしい」「公園へもっと連れて行ってほしい」とする意見などもみられます。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	38	3	3	3
肯定的な回答は8割を超えており未回答も若干見られます。自由意見においては、肯定的な意見のほか、延長保育が実施されていないことに対する意見が見られます。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	39	3	3	2
肯定的な回答は8割を超えているとともに否定的な回答もあまりみられず、満足する人が多い項目です。ただし、自由意見では、けがに対する連絡が不十分であるとの意見が複数寄せられています。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	15	26	6	0
肯定的な回答は約3割と非常に満足度が低い結果となっています。自由回答では、防犯対策が不安とする意見が多く寄せられています。園では、本年度よりさらなる改善を行っているところでもあり、それらの活動や今後の予定についても伝えるなど、園の取り組みについてもさらに深く知ってもらうことも必要ではないでしょうか。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	28	15	3	1
肯定的な回答が約6割を占めているほか、否定的な回答も多くありません。自由意見では、平日に行われる行事(保護者会・夏祭り)を不満に感じるものが複数寄せられている状況です。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	44	3	0	0
肯定的な回答は9割を超えており、他の設問に比べ満足度が高い項目です。自由意見では、「担任の先生以外はあまり話してくれない」とする意見も見られますが、その他は肯定的な意見が占めており、自由意見からも保護者が満足している様子がうかがえます。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	42	5	0	0
肯定的な回答は9割に迫っているとともに、否定的な回答もみられない結果となっており、大きな不満はなく安定的な評価を受けている項目といえます。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	36	7	0	4
肯定的な回答は8割に迫っているとともに、否定的な回答もみられない結果となっており、安定的な評価を受けている項目といえます。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	41	6	0	0
肯定的な回答は9割に迫っているとともに、否定的な回答もみられない結果となっています。自由意見では、「大切にされている」と肯定的に捉える意見が半数を占めるほか、先生によって異なるとの意見も複数寄せられています。				

11. 職員の対応は丁寧か	41	6	0	0
肯定的な回答は9割に迫っていると同時に、否定的な回答もみられない結果となっています。自由意見では、「職員による」との意見が複数寄せられています。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	27	14	3	3
肯定的な回答は6割弱にとどまっており、他の設問に比べ満足度が低い項目です。自由意見では、「園には直接言いつらい」とする意見が複数見られますが、「父母会を通していえるのでよい」とする意見が多数寄せられています。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	34	9	1	3
肯定的な回答は7割を超えており、否定的な回答も少数にとどまっています。自由意見では、「経験がない」とする意見のほか、「対応してくれている」とする肯定的な意見や「小さなことは対応してくれるが大々的な改善はやっていない」とする意見など、様々な意見が寄せられています。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	9	8	29	1
否定的な回答(知らない)が6割を占め、全設問中最も否定的な回答が高く、肯定的な回答が低い項目となりました。園全体との満足率との相関が薄いことを考慮すると、保護者にとって関心が薄い項目であるとも考えられます。				
15. [過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に] サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	12	2	0	0
1年以内に利用を開始した14人中12人が肯定的な回答をしており、否定的な回答もありません。自由意見では、「わかりにくい部分があり再度質問しました」との意見も寄せられておりますが、全般として保護者が満足している様子がうかがえます。				

組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

共通評価項目	
カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定
サブカテゴリ1	
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	

評価項目3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
[A+の取り組み]		○あり ●なし

カテゴリー1の講評

保育目標の浸透を図っています

園では、杉並区の保育園(保育)の考え方を受け、園目標を定めるとともに、この園目標に沿って、保育目標を定めています。園の保育目標「健康でたくましい子ども」「意欲的に遊ぶ子ども」「思いやりの気持ちを持つ子ども」は、園で作成した「ほいくえんのしおり」や区の園紹介のホームページに掲載され、事務所内にも掲示されています。また、保護者に対しては、入園説明会や保護者会で「ほいくえんのしおり」等を用いて保育目標の説明を行うとともにクラスだよりなどでも触れ、理解してもらうように心がけています。

職員会議を中心に意思決定と周知を行っています

園の重要な案件については、定例打ち合わせや夜の職員会議で検討して決定しています。また、重要な意思決定についても、夜の職員会議や定例打ち合わせの場で全体に説明・周知しています。また、保護者に対しては、保護者会や園だより、クラスだよりを通じて、重要な案件に関する決定事項や経緯を伝えています。

2			カテゴリ-2		
経営における社会的責任					
サブカテゴリ-1					
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる					
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		○非該当	
●あり ○なし		2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる		○非該当	
●あり ○なし		2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					
サブカテゴリ-2					
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている					
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)		○非該当	
●あり ○なし		2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					

評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

カテゴリ-2の講評

遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます
 児童憲章が掲載された区の保育園のしおり、都や区の職員ハンドブック、処務規程を始めとした区の規則やマニュアル、保育所保育指針等が事務所に常備され、公務員倫理や関係法令の規定がいつでも確認できるようになっています。これら法・規範・倫理については、職員採用時に研修が行われているほか、経験や職種に応じた各種研修の中でも取り上げられています。また、職員の綱紀の保持に関する通知等、本庁からの配布文書は、園内で回覧したり、職員会議や打ち合わせで周知を行っています。

園の機能や専門性を活かし、地域福祉に役立つ取り組みを行っています
 施設見学や学生の保育体験を積極的に受け入れているほか、毎月2回開催される「いっしょにあそぼ!!」、ふれあい保育、園庭開放などを通じ、地域の親子が参加できる機会を設けるなど、地域の子育て支援活動を行っています。しかしながら、ふれあい保育については参加者が少ないことから、園においても宣伝方法や内容について再検討する必要があると認識しているため、より有効な取り組みとなるよう今後の改善が期待されます。

地域の関係機関との連携を行っています
 行政連絡会をはじめ、地域子育てネットワーク連絡会等のメンバーとして、地域の子育てや教育の課題などについて情報・意見交換を行っています。また、1歳児～2歳児の担任が、児童館の乳児グループに派遣されており、育児相談に対応するなど、園長だけでなく職員も育児支援者として地域に出向いています。このような取り組みにより、職員も地域との連携について「行っている」と認識している割合が高く、園として一丸となって取り組んでいる姿勢がうかがえます。

カテゴリ-3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリ-1

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリー3の講評

保護者の苦情等を把握し、解決を図っています

苦情解決制度としては、区の苦情調整委員制度があり、毎月、所定の場所にポスターを掲示して保護者に周知しています。しかし、利用者調査では、外部の苦情相談窓口についての認識度は2割程度となっており、周知方法の再検討が望まれます。

保護者の意向を把握・検討しサービス向上につなげています

保護者の意向については、保護者会や個人面談、連絡帳、普段のコミュニケーションのほか、父母会が行うアンケートなどを通じて把握し、職員会議等で報告、検討しています。検討結果については、すぐ出来ることはすぐに取り組み、サービス向上につなげています。しかしながら、現在、園が主体的に行うアンケート実施されていません。園独自にアンケートに取り組むことは、園が考えていることを保護者の方々に伝える効果もあることから、このような点についても検討する余地があるのではないのでしょうか。

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワーク会議や区立保育園の園長会等への参加、新聞・雑誌の保育や子育てに関する記事から収集・把握しています。新聞や保育雑誌等は園で購読していませんが、園長が個人的に記事を収集し、区からの通知などとともに職員に回覧を行っています。地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行い、園長会等を通じて伝達されていますが、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

カテゴリ-4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ-1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(B)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
サブカテゴリ-2		
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
カテゴリ-4の講評		
<p> チャレンジプランを作成し、年度の重要課題に計画的に取り組んでいます 区では中・長期計画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションプランなどを策定しており、必要に応じ随時見直しを行っています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。現場から改善を行う取り組みとして評価できますが、さらに達成度を確保するための指標の設定や複数年度に渡る取り組みの計画が期待されます。 </p> <p> 行事計画書を作成し、計画的に行事運営を行っています 園では、年度の係・担当や確認事項を明確にした一覧表や、個々の行事のねらいや実施内容、感想等を明確にした「行事計画書」、年間の園外行事予定をまとめた「園外保育実施計画書」を作成した上で取り組んでいます。これらは、係の担当やプロジェクトを中心に、定例打ち合わせや夜の職員会議の中で検討を重ねて計画しており、実施後には「行事実施報告書」を作成して反省を職員間で共有化しています。 </p> <p> 子どもの安全の確保・向上に計画的に取り組んでいます 子どもの安全確保に関しては、区の危機管理マニュアルに基づき、定期的に安全点検を実施しているほか、災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練を計画的に行っています。地域の見回りを行う安全パトロール隊や学校警備員との連絡・連携も密に行われています。事故が発生した場合は、その状況や原因、経過を「事故報告書」に記録し、全体に周知して改善策を話し合う、再発防止の仕組みも機能しています。しかし、利用者調査では、肯定的に捉えている保護者が3割程度と非常に低いことから、今後のさらなる取り組みと改善が強く望まれます。 </p>		

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

園に必要な人材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています

常勤職員は配置基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で面接採用していますが、園長には園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように努めています。クラス担任については、毎年度末、職員から希望をとり、経験や能力、バランスを考慮して園長が決定しており、概ね職員の希望に沿った配置ができています。係分担についても、各職員から希望を出してもらい、クラスや業務負担が偏らないように調整して決定しています。

様々な研修を通じて職員の質の向上や意欲の向上に取り組んでいます

職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成してもらい、これを基に園長が個人面談を行う中で把握しています。また、研修については、区で実施している実務研修などのほか、自主的な活動として学習会や勉強会にも参加しています。実務研修などの公的な研修受講後は、個人の研修歴カードに実績を記録するとともに、研修の理解度や満足度、仕事にどのように活かすか等について研修報告書を作成し、園長が確認した上で区に提出しています。また、研修成果を共有するため、会議での研修報告にも取り組んでいます。

職員の働き甲斐を大事に考えて、仕事の指示を出しています

園長は、職員のレベルアップとモチベーションの向上のためには、職員が示した仕事に対するやる気を尊重し、仕事を任せることが重要であると考えています。特に仕事の成功体験は、非常に成長を促す効果があるため、園全体での協力体制を整えた上でバックアップを行い、任せた仕事が成功しやすいように取り計らうとともに、気持ちよく仕事ができるように配慮もされています。

カテゴリ-7		
7	情報の保護・共有	
サブカテゴリ-1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリ7の講評

園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットに管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使いやすく更新しています。児童票や保育日誌等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるキャビネットに保管し、園長が施錠管理しています。電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を徹底しています。

個人情報の取り扱いを明示しています

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。写真撮影などに関しては、「ほいくえんのしおり」でも文章で説明されており、説明会の際に説明されています。園で取扱う個人情報の利用目的は、区の入園申込関係書類に一部記載が見られますが、さらに全般的な個人情報の利用目的についても明示することが期待されます。

職員が個人情報保護を理解し行動できるための取り組みを行っています

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、職員採用時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修の中で個人情報保護に関する研修も開催されています。実習生やボランティアに対しては、個人情報保護等の留意事項を伝えています。

カテゴリ-8

8 カテゴリ-1～7に関する活動成果

サブカテゴリ-1

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」

A+ A B C

改善の成果

防犯対策の改善に取り組んでいますがより一層の取り組みが求められます

園では、防犯対策の改善に取り組んでおり、門扉への鍵の導入などのハード面での対策のほか、近隣住民との関係作りなどのソフト面での対策も行っております。しかしながら、利用者調査では、肯定的な回答が約3割に留まる等、保護者の理解を得るまでには至っていません。完璧な防犯対策、保護者が100%納得する対策は難しいといわざるを得ないものの、多くの保護者に理解を得ることが出来る対策については、今後とも引き続き検討し、この課題について取り組まれることが必要であると思われまます。

サブカテゴリ-2

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」

A+ A B C

改善の成果

リーダーが研修で持ち帰った成果や情報が園を変える職員の機運を高めました

園において2名のリーダーを任命し、区の研修に参加することによって、会議等の進め方などを学ぶとともに、他の公立園の状況も色々と聞き、園に持ち帰って報告しました。これによって、園でこれまで行っていた保育等と他園で行われている活動のギャップを職員が意識するところとなり、結果として園の保育全体を見直す機運が高まったことは、大変評価できます。

サブカテゴリ-3

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」

A+ A B C

改善の成果

保育環境の見直しを行いました

園長は今年度異動で当園に赴任してきましたが、園長のこれまでの赴任先での経験と前述のリーダーによる他園の状況を認識することによって生まれた園の保育等を見直す機運の高まり等が原動力となり、保育環境の見直しを行ったことは評価できます。具体的には、雑然としていた園内の清掃・片付け、機械警備となったことで生まれた空き部屋などを通じて、園の環境設定を一新させるとともに、園の掲示物や照明などを変更することによって、明るい雰囲気醸成するなどが行われました。園長は、次年度も引き続きこのような環境設定の見直しを図ることを考えており、次年度以降の活動にも期待されます。

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+ A B C

改善の成果

行財政改革を着実に実行しました

区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年度までに6割の事業を委託・民営化・協同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げています。この中で、区立保育園の事業委託等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」という3つが掲げられており、区の保育分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+ A B C

改善の成果

保護者の声を積極的に拾い上げるとともにその声を元にした改善を行っています

一昨年から父母会アンケートの結果を受け入れることとなったことなどもあり、保護者からの意見を聞くための仕組みは整いつつありましたが、今年度は、園長が変わったことによって、職員が保護者の声により耳を傾けるようになり、保護者からの意見や要望に対して積極的に改善するようになりました。その結果、利用者調査の自由回答において、「園長(主査)が変わって対応が変わった」等の意見が寄せられており、日々の小さな積み重ねが、結果となって現れており評価できます。

サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

共通評価項目	
サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている ○非該当
●あり ○なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している ○非該当
●あり ○なし	3. 保護者の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	
サブカテゴリ-1の講評	
園の情報をさまざまな形で発信しています 園の情報は、区役所で配付している保育園の概要資料のほか、区のホームページ上でも提供されています。このホームページは、杉並区立園共通のフォーマットで作成されており、「所在地」「園の概要」「保育目標」「年間行事」などのほか、「園内の見取り図や写真」「地域向けのサービス」「園の特色」も掲載されており、園の様子が伝わりやすいよう工夫されています。	
見学等は、個別の状況に応じて対応しています 見学等については、次年度の入園申し込みに向けた見学をはじめ、地域の親子を対象とした毎月2回開催される「いっしょにあそぼ」、ふれあい保育、園庭開放等、年間を通じて受け入れています。見学の際は、見学者の時間的な都合だけでなく、見学者の目的に応じた時間設定(園児の活動しているところを見たいのであれば午前中がよいです等)を提案するなど、「よりよい見学」につながるような配慮も行われています。	

サブカテゴリ-2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2の講評

入園時の各種説明はわかりやすいよう配慮しています

入園説明会では、園で独自に作成した「ほいくんのしおり」を用いて、園での基本的なルール、園生活で必要なもの等が丁寧に説明されています。この「ほいくんのしおり」は、イラストや表、図などが使われ、わかりやすい内容となっています。このような取り組みは利用者調査において8割を超える保護者の方からわかりやすかったと支持される結果に結びついていると考えられます。これに満足することなく、より充実した内容となるような継続的に取り組むことが望まれます。

入園直後は子どもへの影響を考えた保育や保護者の不安軽減の取り組みを行っています

初めての園生活を迎える子どもたちにとっては、環境変化に伴う心身の負担が大きいことから、小グループでの保育を行うとともにパートやアルバイト職員の人員配置を手厚くして対応しています。また、保育開始初日から1週間程度を目処として短時間保育を行う「なれ保育」を保護者の都合も勘案しながら実施しています。こうした子どもへの対応のほか、保護者に対しても、連絡帳や送迎時の会話などを通じて丁寧に子どもの様子を伝えることを心がけており、保護者の不安が軽減されるように努めています。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

サブカテゴリ3の講評

保育に関する計画については3段階で作成し、より良い保育を計画的に実施しています

保育に関する計画については、クラスごとに年間計画(年間カリキュラム)・月間計画(月案)・週間計画(週案)の大きく3段階の計画があり、それぞれの計画は、計画の終了時に反省を行い、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。この計画の作成の際には日々の子どもの状況を踏まえるほか、保護者からの要望についても考慮して作成され、計画途中の段階であっても必要に応じて、改定が行われることがあります。なお、保護者に対しては、年間計画は保護者会で、月案は毎月のクラスだよりで、週案は園内掲示によって伝えられています。

子ども一人ひとりの記録は統一様式の「児童票」に記録しています

子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。この「児童票」は、杉並区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分けされています。また、次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、より子どもの成長について保護者とわかち合えるような内容とするべく検討が行われております。

口頭と記録をセットにした情報の伝達や共有を行っています

各クラスでの情報共有は乳児や幼児での打ち合わせや月案を通じて行われています。また、日々の情報共有については、朝の打ち合わせのほか朝の打ち合わせノートや朝夕当番表等を通じて行われており、口頭と記録のセットで伝達することにより漏れが発生しないよう配慮されています。しかしながら、このような仕組みがあっても連絡・報告漏れは起こることも考えられるため、職員一人ひとりが積極的に「聞く姿勢」を持つことが重要であると園長は考えています。今後の改善に向けた活動が期待されます。

サブカテゴリ5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		
サブカテゴリ5の講評		
<p>着替え時やおむつ交換時等におけるプライバシーへの配慮を行っています 園では、ついでをたて、視線がさえぎられたなかで着替えが行えるよう配慮を行うとともに、おむつ交換時は囲いの中の決められた場所で行うなど、プライバシーに配慮した活動を行っています。なお、園で行っているこうした活動は、子どもたちの羞恥心を育むことにもつながっており評価できます。</p> <p>チャレンジプランで子どもの尊厳の尊重について触れ、意識の向上を図っています 園では、チャレンジプランにおいて子ども一人ひとりの個性や価値観を尊重して丁寧に対応していくことを掲げ、取り組んでいます。この成果は利用者調査において約9割の保護者から「子どもは大切にされている」と肯定的に捉える回答となって現れていると考えられ、着実に成果に結びついている活動と評価できます。しかしながら、パート職員等を含む園全体として考えるとまだ取り組みが不十分であると園長は考えています。今後の改善に向けた取り組みが期待されます。</p>		
サブカテゴリ6		
6	事業所業務の標準化	
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし

サブカテゴリ6の講評

園の基本的なルールや各種対応方法はマニュアルを定めて明確化しています

園の基本的なルールや事件・事故等に対する対応方法などについては、それぞれ、区で作成した「危機管理マニュアル」「保健マニュアル」等にとりまとめられており、年間反省や半期反省などの際に保育の振り返りの際にも活用されるとともに、必要に応じて、改訂作業も行われています。しかしながら、園内の活動に対する細かいルール等については、体系的にまとめたマニュアルなどが整備されていません。園の様々なルールを明確にする意味でも、園独自のマニュアルの整備が望まれます。

職員一人ひとりの学びを組織として共有し、業務水準の確保を行っています

研修については、区で実施している実務研修などのほか、園内研修や自主的に取り組む勉強会等も行われており、職員の希望に沿った、そして、組織として必要な研修メニューの確保ができています。また、研修に参加しやすい体制作りが行われているとともに、研修で学んだ内容については、打ち合わせにおいて確認されており、職員一人ひとりの学びが組織として共有され、園として一定水準の保育レベルが維持できる環境が整っています。

サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
【A+の取り組み】 <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし			
評価項目1の講評			
<p>多様な表現活動が屋内外で展開されています 屋内での活動としては、自然物を使った制作活動や絵の具を使った絵画制作、積み木を使った遊び、絵本活動、わらべ歌などの音楽活動などが行われています。また、屋外での活動では、時には異年齢(幼児クラス)で行うこともある園外に出る散歩活動のほか、野菜などの栽培活動など、子どもたちがいつでも新鮮な気持ちに、そして、楽しい気持ちになれるように様々な取り組みが行われています。</p> <p>子どもの発達を促すための保育の充実が期待されます 子どもの発達や家庭での生活状況については、保護者との面談・連絡帳のやりとり・送迎時の会話などにより把握し、保育計画に反映して、保育に取り組んでいます。しかし、職員自己評価の結果においては、子どもの発達を促すための保育に関して、他の項目に比し評価が低く、また、園長としても、散歩活動やリズム遊びの採用など、積極的に体を動かす活動のさらなる充実が必要であると考えています。今後のより充実した取り組みが期待されます。</p> <p>関係機関との連携により、障害がある子どもの保育に取り組んでいます 障害がある子どもや気になる行動がみられる子どもの保育については、専門機関と連携を密に図りながら対応しています。区としては、発達センターの専門家が、特別な保育指導が行われています。巡回指導では、現場の事例から学ぶ機会を用意し、子どもの特性に配慮した保育の提供の体制を整えています。</p>			

2	評価項目2 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		評点(A+)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input checked="" type="radio"/> 非該当
	【A+の取り組み】 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		
	食育については年間指導計画の中で検討され、計画的に取り組まれています。具体的には、区民農園や園庭(プランター)を利用した栽培活動に取り組んでいるとともに、年長児では、調理士作成のレシピによるクッキー作りやおにぎり作りが行われているほか、栽培から収穫を経て調理する一連の食事が出来るまでの流れを体験することが出来るプログラムが用意されています。これらの取り組みは職員が職種を超えて協力することによって実現しており、大変評価できます。		
	評価項目2の講評		
	食事がより一層楽しくなるような食事環境への配慮を行っています 季節の行事の際には、メニューが行事用の特別食が用意されるとともに、幼児クラス3クラスで会食する、ランチョンマットを使用する、花をテーブルに飾る等、特別な日には食事のメニューだけではなく、環境設定を変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。		
	個別に対応した食事を提供しています アレルギーを持つ子どもや障害などで食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供されています。また、配膳に関しても名前入りの個別トレーによる配膳が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないように、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。		
	食事がしやすい環境を整備しています 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。		
3	評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
	【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目3の講評

子どもの健康状態をきめ細かく把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況の確認、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申込書を用いて対応しています。

感染症予防と感染症発生時の対応を効果的に行っています

感染症予防に関しては、月1回発行の保健だよりを通じて情報提供を行っているほか、園内掲示をして注意を喚起するなどの活動が行われています。また、感染症の発生時には、決められた場所に処置用のグッズを配置して、いざというときにきちんと対応できるよう備えています。なお、感染症が発生した該当クラスにおいては、注意喚起の掲示を行って、感染の拡大が起らないよう取り組まれています。

きめ細かいマニュアルを用いた対応等により園の活動が支持されています

園には常駐の看護師が配置されていませんが、保健衛生面での細かな対応について記された詳細なマニュアルを常備しており、保育士がこのマニュアルを元に日々の保健衛生面での対応を行っているほか、いざというときには近隣園の応援看護師や園医とも連携しながら対応を行っています。このような活動は、利用者調査において8割を超える保護者から「発熱やけがの際の対応」について肯定的な意見が寄せられており、保護者からも支持されている様子がうかがえます。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点(B)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当

【A+の取り組み】 あり なし

評価項目4の講評

落ち着いて過ごせる環境設定に力を入れて取り組んでいます

園が最も力を入れて取り組んでいる環境設定については、子どもが落ち着いて過ごすことができる環境を目指しており、今年度は、雑然としていた園内の清掃・片付け、照明を変更などが行われました。また、ホールと兼用の4・5歳児の保育室は、1日の中でも数回、机やついたてを移動するなど設定を変更しており、それぞれのクラス活動(遊び、食事、午睡等)が保障されるよう配慮されています。現在はまだ改善途中という段階ではありますが、園長は次年度も引き続き環境設定の見直しを図ることを考えており、継続的な改善が期待されます。

手作りおもちゃや木のおもちゃなどのぬくもりを感じるおもちゃが充実しています

園では、発達に応じて子ども一人ひとりが楽しめるおもちゃを用意しており、既製品ではカバーできない部分は、職員が手作りにより対応しています。また、その他のおもちゃについても、ぬくもりを感じ楽しめることを大事にして、木製のおもちゃを中心として充実させています。さらに、子どもたちがこれらのおもちゃを納得がゆくまで遊びこめるよう、コーナー設定についても配慮しており、少人数での活動が行いやすい小さな場の設定を基本としながら、その時々の場合に応じて、設定を変えるなど柔軟に取り組まれています。

子どもたちが園生活を楽しめるよう行事や交流などに取り組んでいます

誕生日は子ども一人ひとりが特別な気持ちになれるよう、誕生日当日にクラスでお祝いを行う形式となっています。また、行事については、七夕や節分などの季節の行事を取り入れているほか、わくわくデー(運動会)や定期的に行われている地域のお年寄りの施設との交流など、子どもたちが保育園の生活を楽しめるような工夫がされています。なお、わくわくデー(運動会)については、開催方法を変更し、雨天でも小学校の体育館で開くようにするなど、行事などについて子どもたちが楽しみにしている気持ちを大事にするよう配慮されています。

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] ○あり ●なし			
評価項目5の講評			
<p>園だよりなどのたよりで子どもたちの様子や園の活動をわかりやすく伝えています</p> <p>保護者に対する園からの情報提供については、毎月発行される園だよりや保健だより等のたよりがあります。また、クラスだよりについては、より子どもたち一人ひとりが主役となった内容となるよう配慮されているとともに、幼児クラスで月に2回以上、乳児クラスで月に1回の頻度で発行されており、園だより等よりもタイムリーに活動内容が伝わるよう、発行回数にも配慮がなされています。</p> <p>日誌の公開を通じて日々の保育の様子をタイムリーに伝えています</p> <p>従来の園だより等に加え、日々の園での様子をタイムリーに保護者へ伝える取り組みとして、日誌の公開が行われています。保護者に関心を持って読んでもらえるようなわかりやすい文章表現が心がけられているとともに写真なども織り交ぜながら日々の活動が生き生きと伝わるよう配慮されています。</p> <p>保護者会等は園内で行うことが出来るよう取り組まれることが期待されます</p> <p>本園は小規模園であるため、ホールと4・5歳児のクラスが兼用であったり、職員室内に保健室スペースがあるなど、非常に限られたスペースで保育等の活動を行わなければならない状況にあります。こうした中、今年度は機械警備導入に伴って宿直室のスペースが空き、保護者との面談や相談を行うための部屋を確保することが出来ましたが、保護者会については近隣の会議室で行われています。園内開催が可能となれば日程調整なども容易なることを考慮すれば、このような行事についても園内開催出来るよう、スペース活用の改善が行われることを期待します。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] ○あり ●なし			

評価項目6の講評

区、関係機関との連携して虐待防止、育児困難家庭を支援できるよう取り組んでいます

虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、『虐待防止マニュアル』の実践をはじめ、区の保育課、家庭支援センター、児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見時の対応などが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。

研修内容の職員間での情報共有と園全体の対応能力の底上げを図っています

該当するケースがない場合でも区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の向上を図るとともに、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされるよう取り組みを行っています。継続的な園全体のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりが期待されます。

評価項目7

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(A)

7

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目7の講評

地域の情報を保護者へ提供しています

杉並区の子育て応援券に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域の施設や機関から依頼があった場合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供をおこなっています。

地域の様々な人たちとの交流は子どもたちに豊かな経験をもたらしています

地域との交流は、学生の職場体験などの受け入れや実習生などとの交流のほか、地域の方も参加できる運動会等の行事、毎月2回開催される「いっしょにあそび!!」、ふれあい保育、園庭開放などを通じた地域の親子との交流、老人施設との世代間交流、図書館における社会体験など、様々な年代の方々との交流が意欲的に行われています。

〔全体の評価講評：認可保育所〕

(事業所名：杉並区立 大宮前保育園)

特に良いと思う点		
1	タイトル	入園直後は子どもへの影響を考えた保育や保護者の不安を軽減する取り組みを実践しています
	内容	初めての園生活を迎える子どもたちにとっては、環境変化に伴う心身の負担が大きいことから、小グループでの保育を行うとともにパートやアルバイト職員の人員配置を手厚くして対応しています。また、保育開始初日から1週間程度を目処として短時間保育を行う「なれ保育」を保護者の都合も勘案しながら実施しています。こうした子どもへの対応のほか、保護者に対しても、連絡帳や送迎時の会話などを通じて丁寧に子どもの様子を伝えることを心がけており、保護者の不安が軽減されるように努めています。
2	タイトル	手作りおもちゃや木のおもちゃなどのぬくもりを感じるおもちゃが充実しています
	内容	園では、発達に応じて子ども一人ひとりが楽しめるおもちゃを用意しており、既製品ではカバーできない部分は、職員が手作りにより対応しています。また、その他のおもちゃについても、ぬくもりを感じ楽しめることを大事にして、木製のおもちゃを中心として充実させています。さらに、子どもたちがこれらのおもちゃを納得がゆくまで遊ぶこめよう、コーナー設定についても配慮しており、少人数での活動が行いやすい小さな場の設定を基本としながら、その時々の場合に応じて、設定を変えるなど柔軟に取り組まれています。
3	タイトル	食育について計画的に取り組むとともにそれを支える職員の連携も図られています
	内容	食育については年間指導計画の中で検討され、計画的に取り組まれています。具体的には、区民農園や園庭(プランター)を利用した栽培活動に取り組んでいるとともに、年長児では、調理士作成のレシピによるクッキー作りやおにぎり作りが行われているほか、栽培から収穫を経て調理する一連の食事が出来るまでの流れを体験することが出来るプログラムが用意されています。これらの取り組みは職員が職種を超えて協力することによって実現しており、大変評価できます。
さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	チャレンジプランに対する理解をより深め、使いこなすことが期待されます
	内容	区では中・長期計画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションプランなどを策定しており、必要に応じ随時見直しを行っています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。現場から改善を行う取り組みとして評価できますが、さらに達成度を確保するための指標の設定や複数年度に渡る取組みの計画が期待されます。
2	タイトル	環境設定の改善を今後も継続的に行うことが望めます
	内容	環境設定については、園長が就任以来自ら先頭に立ち、子どもが落ち着いて過ごすことができる環境を目指して取り組まれています。今年度は、雑然としていた園内の清掃・片付けや掲示物、照明などの変更によって明るい雰囲気を作り出すとともに、管理人室や事務所の畳スペースなども活用することによって、子どもたちの居場所となる空間も増やすことができました。現在は、まだ改善途中という段階ではありますが、園長は、次年度も引き続きこのような環境設定の見直しを図ることを考えていることから、継続的な改善活動が期待されます。
3	タイトル	「園のルール」を明確にする園独自マニュアル作成に向けた取り組みが期待されます
	内容	園の基本的なルールや事件・事故等に対する対応方法などについては、それぞれ、区で作成した「危機管理マニュアル」「保健マニュアル」等にとりまとめられており、年間反省や半期反省などの際に保育の振り返りの際にも活用されるとともに、必要に応じて、改訂作業も行われています。しかしながら、園内の活動に対する細かいルール等については、体系的にまとめたマニュアルなどが整備されていません。園の様々なルールを明確にする意味でも、園独自のマニュアルの整備が望まれます。

大宮保育園

大宮
保育園

〔利用者調査：認可保育所〕

(事業所名：杉並区立大宮保育園)

調査対象

同一世帯で複数の子どもの子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯78世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

調査方法

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

利用者総数

78

共通評価項目による調査対象者数

78

共通評価項目による調査の有効回答者数

53

利用者総数に対する回答者割合(%)

67.9

利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の9割を大きく超える結果となっています(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が96.2%)。個別にみると、「戸外遊びの機会」、「体調変化への対応」、「家庭と保育園との信頼関係」、「子どもは大切にされている」、「職員は礼儀正しく丁寧」の5項目について肯定的な回答が9割を超えている他、「提供される食事への配慮」、「急な変更への柔軟な対応」、「職員の聞く姿勢」、「プライバシーの守秘」の4項目についても肯定的な回答が8割を超えており、園における基本的な生活について保護者は大変満足している様子がうかがえます。一方、「安全対策が十分とられている」をはじめ「要望や不満の言いやすさ」、「要望や不満などへの対応」、「行事日程の設定」などについては肯定的な回答が比較的低い結果となりました。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	45	8	0	0
肯定的な回答は約8割を占めているとともに否定的な回答がない結果となっており、大きな不満はなく安定的な評価を受けている項目といえます。自由回答については、本項目が最も多くの回答が寄せられており、保護者の関心が高い分野であることがうかがえます。また、回答内容については、「メニューが単調」等の否定的な意見も一部見られますが、「手作りですごい」「バランスがよい」等の食事メニューに関するもののほか、「刻み具合や硬さが参考になる」「レシピを教えてくれる」等、家庭での食事に応用できることを評価する意見も見られます。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	48	4	1	0
肯定的な回答は9割を超え、否定的な意見もほとんどみられない大変評価される結果となっています。しかし、自由回答では肯定的な意見もある一方で、「子どもの体力があるのでもっと散歩に連れて行って欲しい」とする意見も見られます。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	44	4	0	5
肯定的な回答は8割強ですが、無回答の比率が高いとともに否定的な回答がなく、また、自由意見において、「変更したことがないのかわからない」との意見も見られることから、利用したことがなく答えられない保護者も相当数いたと推測されます。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	51	2	0	0
肯定的な回答は9割を大きく超えており、満足する人が大変多く保護者から評価されている項目です。自由意見でも、肯定的な意見のみが寄せられています。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	32	18	3	0
肯定的な回答は6割にとどまり、他の設問に比べ満足度が低い項目です。自由回答では、園舎の老朽化や門の鍵、入り口前の道路に関する事など様々な意見が寄せられています。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	36	15	2	0
肯定的な意見は7割弱にとどまり、他の設問に比べ満足度が低い項目です。特に0～2歳の子どもの持つ保護者の回答の方がより肯定的な意見が少なくなる傾向が見られます。自由意見は、非常に少ないですが、面談が平日に設定されることに対する不満や夕方設定して欲しいとの要望が寄せられています。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	50	3	0	0
肯定的な意見は9割を超えるとともに否定的な意見は寄せられておらず、他の設問に比べ満足度が非常に高い項目です。自由意見は、数が少ないものの「相談にのってもらっている」「アドバイスをいただける」と肯定的に意見が寄せられており、自由意見からも保護者が満足している様子がうかがえます。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	47	6	0	0
肯定的な回答は9割弱を占めるとともに、否定的な回答は寄せられていません。職員の姿勢については、安定した評価が得られていることがうかがえます。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	47	3	0	3
肯定的な回答は9割弱を占めるとともに、否定的な回答は寄せられていません。また、無回答も一部見られます。否定的な回答があるわけではないため、「どちらともいえない」と回答する理由としては、「どのように守っているかわからない」ということが主な理由であると考えられます。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	49	3	0	1
肯定的な回答は9割を超え、大切にされていることに疑問をもつ声はみられません。子どもが大切にされていることについては、安定した評価が得られていることがうかがえます。				

11. 職員の対応は丁寧か	48	5	0	0
肯定的な回答は9割を超えるとともに、否定的な回答は寄せられておらず、職員の礼儀正しさや丁寧さは概ね認められている様子が見えます。なお、自由意見では、非常勤職員の対応に関する意見が複数見られます。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	35	15	1	2
肯定的な回答は7割弱にとどまっており、他の設問に比べ満足度が低い項目ですが、否定的な回答はほとんど見られません。本設問は、言いやすいかいいづらいかを一律で設問のため、寄せられた意見の中には「要望、不満を持ったことがないのでわからない」等の意見も見られ、答えづらい設問であったことがうかがえます。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	35	13	0	5
肯定的な回答は7割強にとどまっており、前問に引き続き満足度が低い項目です。本設問も、きちんと対応しているかを一律で設問のため、答えづらい設問であるといえますが、否定的な意見はほとんど見られないことから、数字ほど満足率が低いことはないと思えます。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	12	2	39	0
否定的な回答(知らない)が7割以上を占め、全設問中最も否定的な回答が高く、肯定的な回答が低い項目となりました。園全体との満足率との相関が薄いことを考慮すると、保護者にとって関心が薄い項目であるとも考えられます。				
15. [過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に] サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	16	0	1	0
1年以内に利用を開始した17人中16人が肯定的な回答をしており、否定的な回答はわずかです。自由意見では、「わかりやすくとてもよかった」との意見も寄せられており、全般として保護者が満足している様子が見えます。				

組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

共通評価項目	
カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定
サブカテゴリ1	
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	

評価項目3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし

カテゴリー1の講評

園の目指しているもの(園目標等)は周知されています

園目標「こころもからだもすこやかに」は、区の保育園紹介のホームページや入園時に保護者に配付される「入園のしおり」などに掲載しているほか、事務所への掲示などを通じて、職員や保護者がいつでも確認できるようになっています。また、区では新保育指針施行に向けたプロジェクトの中で杉並区立保育園全体の保育目標について現在検討しており、来年度、これを受けて園の保育目標についても改定することが期待されます。

園長は、職員の士気が高く明るい職場であることを大事にしています

園長は、子どもと保護者に寄り添い、あたたかい対応ができる園でありたいと考えています。そのためには、職員一人ひとりが組織の一員であることを自覚し、自らの役割を果たすとともに、多様なスタッフが協力し、保育のチームワークをよくしていくことが必要であると認識しており、職員の士気が高く、明るい職場をつくることが自らの役割と責任であると考えています。その成果は、職員自己評価において「職員のチームワークがよい」「職場の雰囲気がい」との意見が多数寄せられていることから着実にあらわれてるといえます。

職員会議を中心に意思決定と周知を行っています

園の重要な案件については、毎週水曜日に開催される職員会議で検討して決定していますが、検討に際しては、前半の1時間でグループ討議を行い、後半の1時間で全体討議を行う手法を採用しており、限られた時間の中で検討をより効果的に行うための工夫を行っています。また、重要な意思決定についても、職員会議の場で全体に説明・周知しています。保護者に対しては、保護者懇談会や事務所だよりを通じて、重要な案件に関する決定事項や経緯を伝えています。

2			カテゴリ-2		
経営における社会的責任					
サブカテゴリ-1					
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる					
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		○非該当	
●あり ○なし		2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる		○非該当	
●あり ○なし		2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					
サブカテゴリ-2					
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている					
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)		○非該当	
●あり ○なし		2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					

評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

カテゴリ-2の講評

遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます
 児童憲章が掲載された区の保育園のしおり、都や区の職員ハンドブック、処務規程を始めとした区の規則やマニュアル、保育所保育指針等が事務所に常備され、公務員倫理や関係法令の規定がいつでも確認できるようになっています。これら法・規範・倫理については、職員の入職時に研修が行われているほか、経験や職種に応じた各種研修の中でも取り上げられています。また、職員の綱紀の保持に関する通知等、本庁からの配布文書は、園内で回覧したり、職員会議や打ち合わせで周知を行っています。

園の機能や専門性を活かし、地域福祉に役立つ取り組みを行っています
 園では「地域の子育ての支援」することを大切に考えており、地域子育てネットワーク事業の一環として松ノ木小学校で行われる「あかちゃんとのふれあい授業」に協力しているほか、園で開催する離乳食講習会に地域の方々も参加できるようにするなど、地域の子育て支援活動を行っています。その他、すぎなみ地域大学に医療面についての講師として看護師を派遣する、児童館まつりへの協力を行うなど、園の機能や専門性を地域に活かし、地域福祉に役立つ取り組みを行っています。

ボランティアや体験授業・インターンシップなど積極的に受け入れています
 園では、園の子どもたちが色々な人と交流し、豊かな経験を積むことも大事であると考え、中学生の体験授業や高校生のインターンシップを積極的に受け入れています。これらボランティアの受け入れに際しては、園で作成したボランティアの受入れ手順書に基づき行われており、オリエンテーションでは、「ボランティアに参加する皆さんへ」を用いて留意事項などの説明を行っています。

カテゴリ-3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリ-1

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリー3の講評

保護者の苦情を把握し、解決を図っています

苦情解決制度としては、区の苦情調整委員制度があり、毎月、所定の場所にポスターを掲示して保護者に周知しています。しかし、利用者調査では、外部の苦情相談窓口についての認識度は2割強にとどまっており、周知方法の再検討が望まれます。保護者懇談会や個人面談、日々の保護者とのコミュニケーションで出た苦情については、内容によっては、園長・主査も入って迅速に話し合いを行い解決策を検討するとともに、結論についても内容に応じて園長が対応するなど、苦情や要望に応じた適切な対応がなされています。

保護者の意向を把握するために、保護者との「会話」を大切にしています

園では、保護者に寄り添うことを大切に考えておりますが、この実現のために様々な形で保護者とのコミュニケーションを図ることに力を入れて取り組んでいます。日々の送り迎えの際の会話を大事にしていることはもちろんのこと、保育室の一部を開放し、保護者の方にお茶を飲んでゆっくりしていただく「ティータイムサービス」も10年前から継続的に実施しており、保護者が「ほっと」する機会をつくり、子どものことや園のことについて気軽に話すことができる雰囲気づくりができています。

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワーク連絡会や行政連絡会、区立保育園の園長会、保育部会等に参加することで、収集・把握しています。区からの通知のほか新聞や雑誌などからも情報を集め、職員間で回覧を行っています。地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行い、園長会等を通じて伝達されていますが、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

カテゴリ-4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ-1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点(A)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点(A)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(B)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている	○非該当
○あり ●なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
サブカテゴリー2		
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		評点(A)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
カテゴリー4の講評		
<p> チャレンジプランを作成し、年度の重要課題に計画的に取り組んでいます 区では中・長期計画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションプランなどを策定しており、必要に応じ随時見直しを行っています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接遇向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。ただし、取り組み成果を判断する指標の設定に改善の余地が見られます。今後はわかりやすい指標の設定のための検討が期待されます。 </p> <p> 災害等から子どもを守る各種訓練を計画的に行っています 災害等が発生した場合に子どもを守るための取り組みについては、区の危機管理マニュアルを活用しているほか、災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練が年間を通じて計画的に実施されています。特に毎月実施している避難訓練については、保護者も参加する訓練を実施する、併設している児童館と合同で行う、職員が救命救急の訓練を行うなど、より現実的、実践的な訓練にも取り組んでおり、いざというときに確実に対応できるよう備えられています。 </p> <p> 子どもの安全確保に努めています 子どもの安全確保に向けた取り組みについては、区の危機管理マニュアルを活用しているほか、万が一、事故が発生した場合には、その経緯や内容を「事故報告書」に記録し、職員全体に周知して改善策を話し合う、再発防止の仕組みも設けられています。こうした取り組みは、利用者調査で「病気やけがに対する対応」について9割を大きく超える保護者から肯定的な回答が寄せられる結果にもつながっており、保護者に園の取り組みが伝わるとともに取り組み内容についても認められている様子がうかがえます。 </p>		

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金・昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

園に必要な人材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています

常勤職員は配置基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で面接採用していますが、園長には園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように努めています。クラス担任については、毎年度末、職員から希望をとり、ベテランや新人などの配置、クラスや業務負担のバランスを考慮した上で園長が決定しており、概ね職員の希望に沿った配置ができています。

個人用チャレンジプランを基に職員の質の向上に取り組んでいます

職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成してもらい、園長が個人面談を行う中で把握しています。研修については、個人用チャレンジプランや各自の経験年数・力量に応じて派遣を決めており、個人の研修歴カードや研修実施状況一覧に記録し、実績を把握・確認できるようにしています。研修受講後は、レポートを作成して研修成果を自己評価し、園長が確認した上で区に提出しているほか、1人5～10分程度の報告の機会を設けて、研修成果を職員間で共有しています。

職員のやる気と働きがいの向上に取り組んでいます

休暇等については、職員間の応援体制がしっかりとしているため比較的取得がしやすい状況となっています。職員の就業状況は、園長が把握しており、必要に応じて声かけを行ったり、休暇取得を促すなど、職員のモチベーションを下げないように心がけられています。職員自己評価においても、自由記述欄に数多くの意見が寄せられているほか、「改善が必要な点」でも、待遇に関する不満は見られないことから、仕事に対して非常に前向きに取り組む職員の姿が感じられます。

カテゴリ-7		
7	情報の保護・共有	
サブカテゴリ-1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリー7の講評

園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットに管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使いやすく更新しています。児童票や保育日誌等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるキャビネットに保管し、退出時には事務所自体も施錠管理しています。電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を徹底しています。

個人情報の利用・保護について、保護者の理解を得る取り組みが行われています

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。園で取扱う個人情報の利用目的については、区の入園申込関係書類の一部記載は見られるとともに、園においても、写真やビデオの撮影に関しては、書類を作成、配付して説明するなど、保護者の理解を得るための取り組みが行われています。

職員が個人情報保護を理解し行動するための取り組みを行っています

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、採用時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修の中で個人情報保護に関する研修も開催されています。実習生やボランティアに対しては、文書を配布して個人情報保護等の留意事項を伝えています。

カテゴリ-8

8 カテゴリ-1～7に関する活動成果

サブカテゴリ-1

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」

A+ A B C

改善の成果

地域の子育て支援に対する取り組みをより一層充実させました

・園では、離乳食に悩みを抱えている保護者がいたことから離乳食に関する保護者向けの研修等を行いたいと考えていましたが、近隣地域の子育て世代にも同様の悩みを抱えている方々がいることがわかったことから、地域の方々も参加できる「離乳食講習会」というオープンな取り組みとして実施し、よい評価を得ることができました。

サブカテゴリ-2

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」

A+ A B C

改善の成果

用務業務の委託化や延長保育を混乱なく開始することができました

・本年度より用務業務の委託がはじまりましたが、業務の引継ぎの際に用務業務の中身について他の職員が理解していないことがわかり、委託に出すことによって従来業務とのギャップが出ることも同時にわかったことから、職員が協力し合い、みんなでカバーすることによって、これまでと同様の水準を維持することができました。
 ・延長保育やスポット保育を実施するにあたって、職員シフトの複雑化や業務伝達の複雑化が想定されましたが、他園で延長保育経験がある職員がリードすることによって、未経験の職員の不安を軽減するとともに、大きな不都合もなく延長保育やスポット保育を実施することができています。

サブカテゴリ-3

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」

A+ A B C

改善の成果

延長保育等を本年度より開始するとともに、わかりやすい情報提供に努めました

・新規事業として、4月から延長保育を、6月よりスポット保育を開始し、保護者のニーズに応えました。
 ・保護者と保育情報を共有するため、日々の子どもの姿や行事の様子などを写真入りで紹介する「保育速報」を通じて、生き活きた子どもたちの姿を保護者に紹介するようにしました。
 ・幼児クラスでは父親による保育参加を通じて、母親だけではなく父親に対しても園での子どもの様子や園のことをより知ってもらうことができました。

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+ A B C

改善の成果

行財政改革を着実に実行しています

・区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年度までに6割の事業を委託・民営化・協同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げています。この中で、区立保育園の事業委託等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」という3つが掲げられており、区の保育分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+ A B C

改善の成果

保護者の要望に沿って、運動会を例年どおりケヤキ広場で行いました

・年度当初は、ケヤキ広場の指定管理者制度導入に伴い、これまで継続して行ってきたケヤキ広場を会場とした運動会開催が難しい状態でしたが、保護者からの要望を受け、父母会と園とが協力して働きかけを行った結果、例年どおり、ケヤキ広場での運動会開催が可能となりました。

サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

共通評価項目	
サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している <p style="text-align: right;">評点(A)</p>	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している
[A+の取り組み] <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
サブカテゴリ-1の講評	
<p>わかりやすく、読みたくなる、園だより・クラスだよりを発行しています</p> <p>園だよりでは、保護者や保育士のリレーコラムを設けるなど参加型の園だよりの発行に取り組んでいます。また、各クラスだよりでは、写真や地図を使ったお散歩コース・おもちゃ・行事の紹介など、わかりやすく、読みたくなる、様々な取り組みをしています。</p> <p>地域にも情報発信をしています</p> <p>区のホームページでの園紹介のページについては、公立園で統一された情報が提供されています。また、園独自の取り組みとしては、近隣の小学校、児童館、私立保育園、園医等に、地域版の園だよりである「オレンジ通信」を発行し、広く情報を発信する取り組みが行われています。その他、同じ建物内にある児童館を利用している親子に対しては、ふれあい保育の案内なども行われています。</p> <p>見学希望者に対しては、いつでも対応しています</p> <p>園の見学は、入園を希望する親子ともに、いつでも見学希望者を受け入れられる体制を整えています。入園希望者に対しては、園長・主査が中心となって対応し、施設案内や園での生活体験などは、見学者の状況や要望に合わせてきめ細かく対応しています。</p>	

サブカテゴリー2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリー2の講評

分かりやすくまとめた園のしおりを活用し、入園説明会を実施しています

入園前には、入園説明会を実施し、区の資料のほかに、園独自の「園のしおり」を活用し、詳しく説明する機会を設けています。園のしおりは、区の資料と重複しないようにまとめられ、園での生活や入園までに準備をするものなどについて、イラストや表でわかりやすく解説しています。利用者調査において9割を越える保護者の方からわかりやすかったと支持される結果に結びついています。

入園前の面接により、子どもや家庭の状況を把握しています

入園時に面接を行い、家庭での入園前の生活リズム、保護者の仕事の状況を把握しています。面談結果については、区で統一された「児童票」及び「家庭連絡票」に記録するとともに、入園後の児童の発達や保護者の意向などを時系列に記録し、保育の最重要書類として活用されています。

一人ひとりの状況に合わせた慣れ保育を実施しています

入園直後の子どもの不安やストレスを軽減するため、乳児については、一人ひとりの子どもの状況に応じて「慣れ保育」を行っています。また、新年度には、乳児クラス担任の持ち上がり制や、進級児と新入児を分けて保育をするなど、子どもが園や保育士に慣れる工夫を行っています。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

サブカテゴリー3の講評

勤務時間が異なる職員間の情報共有の充実に取り組んでいます

職員間での子どもの情報の共有に関しては、毎週の定例会議やグループ討議、複数担任制のクラスにおいてはクラスでの話し合いなどを通じ、口頭で伝え合っている他、各クラスノート、朝夕保育ノート等の書類を活用し、職員間での情報共有が行われています。また、延長保育のサービス開始にともない、勤務時間が異なる職員間での情報共有がますます重要になってきています。このような保育の情報共有に関する課題については、情報リーダーを中心に検討を行い、その充実に向けて取り組んでいます。

保育に関する計画については、3段階で作成され、状況に応じて変更も行われます

保育に関する計画については、クラスごとに年間指導計画・月の指導計画・週案の大きく3段階の計画があり、それぞれの計画は、計画の終了時に反省をおこない、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。なお、保護者に対しては、年間指導計画を保護者会等の場で伝えており、保護者が保育について理解する場も設けています。

子ども一人ひとりの記録は区統一様式の「児童票」に記され、大事に管理されています

子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。この「児童票」は、杉並区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分けされています。また、次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、より子どもの成長について保護者とわかち合えるような内容とするべく検討が行われています。

サブカテゴリー5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		
サブカテゴリ5の講評		
<p>毎日の着替えなどで、子どもの羞恥心に配慮しています</p> <p>子どもの羞恥心やプライバシーへの配慮については、オムツ替えを視線が遮られる場所で行う、また、トイレの失敗の際にはついたてを置き他の子どもから着替えているところを見えないようにするなどといった形で実践されています。また、プールに入った後は、タオルをまく対応しており、子どものプライバシーへ配慮すると同時に羞恥心を育む配慮も行われています。</p> <p>プライバシーへの配慮については、保護者の同意を基本としています</p> <p>卒園児が入学した小学校をはじめ、他機関等との子どもや家庭に関する情報のやり取りについては、保護者の同意を基本としています。利用者調査では、プライバシーに関しては約9割が肯定的な意見であることから、日常の取り組みをうかがうことができます。</p>		
サブカテゴリ6		
6	事業所業務の標準化	
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリー6の講評

日常及び研修等を通じて、保育水準の向上に取り組んでいます

子どもとの接し方や声かけ、保護者との接し方、クラスだよりの作成等、職員同士で気づいたことを伝えあう様にしている他、ベテラン保育士による助言、園長・主査による個別指導により充実が図られています。また、各保育士の知識や技術の向上を図るために、区職員としての研修の他、保育士の専門研修等を通じて、保育水準の向上に取り組んでいます。一方、職員自己評価によると、業務水準に関する項目は、他の項目と比較すると、評価が低いことから、さらに積極的な取り組みが期待されます。

マニュアルの内容は定期的に見直しが行われています

マニュアルの内容は、年に1回、年間の反省の際に見直しの検討が行われるほか、問題が発生した都度、話し合いが行われ、必要に応じ、内容の見直しが行われています。

業務に対する標準化のさらなる充実が望まれます

区では公立園共通の「危機管理マニュアル」の中で、緊急避難、防犯対策、園外活動の注意等基本的な対応についての手順をまとめています。共通マニュアルで不十分な点については、園が独自に作成したマニュアルで補足しています。園マニュアルには、非常勤や用務用なども作成しています。共通マニュアルは、各クラスに置かれており、いつでも確認できるようにしています。一方、職員自己評価では、「業務の標準化」に対する評価は十分とは言えないことから、さらなる取組みが望まれます。

サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	○非該当
	◎あり ○なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	○非該当
	◎あり ○なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	○非該当
	◎あり ○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当
[A+の取り組み] ○あり ◎なし			
評価項目1の講評			
<p>恵まれた自然環境をいかし、散歩や外遊びを充実させています 恵まれた自然環境をいかし、散歩の機会を充実させています。時には、異年齢で散歩に行く機会を設け、いつもとは違う子どもたちとの活動や保育士の違いによる新鮮さを体験する様な工夫もしています。また、散歩組と園庭組をお互いに調整するなど、園庭の使い方にも工夫し、外遊びの機会を充実させています。散歩に関する情報は、地図を使ってわかりやすく保護者に伝えていきます。こうした取り組みは、利用者調査においても肯定的な回答が9割以上を占めるなど、保護者からも高く評価されています。</p> <p>リズム体操や造形活動に取り組んでいます 楽器を使ったリズム体操では、自然と異年齢が集まり出すこともあり、園内の交流にもなっています。これらの取り組みの成果は保護者会等で発表しています。また、散歩の際に集めたどんぐりをはじめ、様々な素材を使った造形活動が行われています。自然素材を使った作品は、クラスに飾られ、それらがクラスの表情となり、落ち着きを感じさせています。</p> <p>関係機関との連携により、障害がある子どもの保育に取り組んでいます 障害がある子どもの保育については、担任保育士が中心となり、障害児担当の非常勤職員などを含む園の職員全体が連携して行っています。また、区としては、発達センターの専門家が巡回指導を行い、保育士が自分自身の子どもの接し方を客観的に見るなど、現場の事例から学ぶ機会を用意しています。巡回指導に際しては、非常勤職員も参加するなど、障害がある子どもの保育の充実に取り組んでいます。</p>			

2	評価項目2 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		評点(A+)
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	○非該当
	◎あり ○なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	○非該当
	◎あり ○なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	○非該当	
【A+の取り組み】 ◎あり ○なし			
園では、子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうために、食べ物を育て、収穫し、調理するという食事ができるまでの一連のプロセスを体験する取り組みを行っています。幼児クラスでは、夏野菜を栽培、収穫し、味わうとともに年長児は、サツマイモの収穫と調理体験(今年度はスイートポテトづくり)を行っています。また、おにぎりづくりやさんまの塩焼き、えだまめもぎ、トウモロコシの皮むきを体験するなど年齢に合わせた多彩な体験ができるプログラムを用意しています。			
評価項目2の講評			
<p>野菜の栽培など、体験型の食育に取り組んでいます</p> <p>園では、子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうために、食べ物を育て、収穫し、調理するという食事ができるまでの一連のプロセスを体験する取り組みを行っています。幼児クラスでは、夏野菜を栽培、収穫し、味わうとともに年長児は、サツマイモの収穫と調理体験(今年度はスイートポテトづくり)を行っています。また、おにぎりづくりやさんまの塩焼き、えだまめもぎ、トウモロコシの皮むきを体験するなど年齢に合わせた多彩な体験ができるプログラムを用意しています。</p> <p>食事がしやすい環境を整えています</p> <p>食事の際に子どもたちが食べやすいよう、0～2歳児クラスでは、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。また、0歳児については、背もたれを使用するなど、子どもが食べやすい姿勢で食事できるよう配慮されています。</p> <p>区で統一された献立により食事を提供し、アレルギー等は個別に対応しています</p> <p>献立は区で統一のメニューとなっています。調理員による食事量や子どもの嗜好のチェックが行われています。なお、アレルギーの配慮が必要な子どもについては、保護者との打ち合わせのもと、除去食、代替食で対応しています。また、保護者の食品に関する考え方に配慮しています。</p>			
3	評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	○非該当
	◎あり ○なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	○非該当
	◎あり ○なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ◎なし			

評価項目3の講評

子どもの健康状態は、看護師が毎日把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況の確認、常駐の看護師が毎日各クラスを巡回しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診(0才児は週1回、以後は年2回)をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の年1回の健診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申込書を用いた対応等を行っています。

保健だよりや園内の掲示により、情報提供を行っています

保健分野に関する保護者への情報提供は、月1回発行の保健だよりを通じて行っているほか、近隣医療機関リストにより情報提供をおこなっています。また、特に感染症に注意が必要な時期は、おたよりの他に園内の掲示板を利用して注意を喚起するなど、予防対策に取り組んでいます。

保育中の発熱や怪我の対応については、ほぼ全ての保護者が肯定的な評価をしています

保育中の発熱や怪我の対応は、常駐の看護師が対応し、必要に応じて医務室で安静にしながら、保護者のお迎えを待つ体制を整えています。これらは、利用者調査において、「保育中の発熱や怪我」に対する対応は、ほぼ全員(0～2歳では全員、3歳以上では9割強)が肯定的な意見であることから、その取り組みを確認することができます。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点(A)

4

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目4の講評

落ち着きのある環境づくりに取り組んでいます

園では、優しさや温もりを大切に子ども達が落ち着ける環境・空間づくりに取り組んでいます。具体的には、木製遊具や木製の柵から生まれる木の温もりや布カバーなど布が醸し出す柔らかさを積極的に取り入れるとともに、季節ごとの模様替えやコーナー設定の変更、クラスや園内の所々に手作りの小物や装飾を施すといった取り組みが実践されています。

様々な交流を通じて、子どもたちが楽しめる工夫をしています

各種交流の機会を通じて楽しめる工夫として、異年齢の散歩、リトミックなどをはじめとした日常保育の中での様々な取り組み、行事等では、七夕会食、縁日ごっこをはじめとした季節行事などを行っています。また、お誕生会を個別に実施しているなど、一人ひとりの子どもが主役となれる様な工夫をしています。

一人ひとりのリズムに合わせ、睡眠をとっています

睡眠は、0歳児クラスでは一人ひとりの子どものリズムに合わせて、また、1歳児クラスでは、必要な子どもは午睡のほか午前中にも睡眠をとるなど、子ども一人ひとりのリズムに合わせた対応をしています。

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし			
評価項目5の講評			
<p>保護者と交流する機会を大切にしています 保護者との交流の機会の特徴のひとつとして、隔月で「ティータイムサービス」を実施し、お茶を飲みながら、一緒におしゃべりをする機会を設けています。また、園だよりでは、保護者の感想欄を設けるなど参加型の園だよりの発行、各クラスだよりでは、写真を活用し、保育園での生活の様子を、分かりやすく伝えています。また、行事等では、写真入りの保育速報を発行するなど、新鮮な情報伝達を心がけています。</p> <p>公開している日誌は、「今日は何をやったのか」読みたくなるような工夫を重ねています 従来のクラスだより等に加え、保護者に情報を伝える方法として、日誌の公開が行われています。このことにより、保護者が、「今日は何をやったのか」読みたくなるような要点を絞った記載にするなど、工夫を重ねています。保護者とのコミュニケーションのひとつとして、この試みが少しずつ実を結んでいくことが期待されます。</p> <p>保護者の意見を汲み取り、反映する取り組みが望まれます 運動会については、アンケートの声をいかし、日程を設定しています。一方、利用者調査においては、「行事等の日程の配慮」については、他の項目と比べて評価が低いことから、全ての保護者の意向を反映した設定は難しいものの、意見交換の場や機会を継続的にもつなど、これらの評価を改善させるための取り組みが期待されます。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし			

評価項目6の講評

区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援に取り組んでいます

虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、『虐待防止マニュアル』の実践をはじめ、区の保育課、家庭支援センター、児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見時の対応などが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。

研修等に参加することによって、職員能力の向上を図っています

該当する子どもがない場合であっても、区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の向上を図るとともに、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされるよう取り組まれています。継続的な園全体のスキルアップによって、様々なケースに対応できる体制づくりが期待されます。

発達に関する保護者との情報共有を図っています

子どもの発達等に関しては、現在、虐待防止のポスターなどの情報提供をしていますが、さらに、保護者会場の場を利用し、離乳食相談会などを実施し、子どもの発達についての保護者と共通理解を深めています。

評価項目7

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(A)

7

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ◎なし		

評価項目7の講評

子育てに役立つ地域の情報を保護者に提供しています

子育て応援券利用可能な行事ファイル、口コミお医者さん情報等、子育てに役立つ情報をファイルにまとめ、入り口に設置し、いつでも見られるようにしています。これらの情報の中には、父母会の力でとりまとめているものもあり、地域の生きた子育て情報となっているのも特徴です。この他、児童館などの地域施設や機関から依頼があった場合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供を行っています。

近隣の保育園同士も交流を行っています

近隣の区立保育園とは、合同で鬼ごっこなど、子ども達同士の交流を行っています。また、私立保育園とは、オレンジ通信(地域版園だより)などの情報提供を行う一方で、催し物に招かれるなどの交流が行われているとともに、大宮児童館の「トトロの会」との交流、松の木小学校の「赤ちゃんふれあい事業」への協力など、様々な地域交流を行っています。

地域における交流の充実が望まれます

地域の横の連携が充実している一方で、世代間交流は少ない状況です。特に、職員自己評価においても、地域交流に関する評価は、低い状況です。こうしたことから、保育園や児童館との交流に加え、様々な地域交流をさらに広げていくことが望まれます。

〔全体の評価講評：認可保育所〕

(事業所名：杉並区立大宮保育園)

特に良いと思う点		
1	タイトル	恵まれた環境をいかした保育に取り組んでいます
	内容	恵まれた自然環境をいかし、お散歩の機会を充実させています。時には、異年齢でお散歩に行く機会を設け、いつもとは違う子どもたちとの活動や保育士の違いによる新鮮さを体験する様な工夫もしています。また、お散歩組と園庭組をお互いに調整するなど、園庭の使い方にも工夫し、外遊びの機会を充実させています。お散歩に関する情報は、地図を使ってわかりやすく保護者に伝えていきます。こうした取り組みは、利用者調査においても肯定的な回答が9割以上を占めるなど、保護者からも高く評価されています。
2	タイトル	保護者とのコミュニケーションと情報共有を大切にしています
	内容	保護者との交流の機会の特徴のひとつとして、隔月で「ティータイムサービス」を実施し、お茶を飲みながら、一緒におしゃべりをする機会を設けています。また、園だよりでは、保護者の感想欄を設けるなど参加型の園だよりの発行、各クラスだよりでは、写真を活用し、保育園での生活の様子を、分かりやすく伝えていきます。また、行事等では、写真入りの保育速報を発行するなど、新鮮な情報伝達に心がけています。
3	タイトル	保育は、士気が高く、チームワークのよい職員によって支えられています
	内容	園長は、保育のチームワークをよくすることが必要であると認識しており、職員の士気が高く、明るい職場をつくるが必要と考え実践しています。また、職員自己評価において「職員のチームワークがよい」との意見が多数寄せられていることから職員もチームワークの良さを肯定的に受け止めているとともに、会議における話し合い、職員間での情報共有に見られる伝えあい、延長保育開始に伴い経験者が未経験者をリードし不安を軽減させている等、様々な形で保育の実践においてもチームワークの良さが良い形となっており、大変評価できます。
さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	非常勤職員や業務委託先の職員を含めた職員チームワークの充実に期待します
	内容	園には、正規職員のほか、一般嘱託員やアルバイト・朝夕の短時間パートの職員、用務委託に伴い派遣されている職員など、様々な雇用形態、勤務形態の職員が集まって、大宮保育園の保育を支えています。特に用務委託などは本年度から実施されており、これらの職員との関係作りはこれから徐々に構築されていくものと推察されます。今現在の保護者からの高い評価に満足することなく、より充実した大宮保育園の保育に向けて、全ての関係者を巻き込んだチームワークの確立を期待します。
2	タイトル	チャレンジプランをより有効に機能させるためにわかりやすい指標の設定が望めます
	内容	園では、区の行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、待遇向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。これらの取り組みは、大変評価できますが、取り組み成果を判断する園が設定する指標に改善の余地が見られます。今後は誰もが取り組み内容を評価しやすく、わかりやすい指標の設定に向けた検討が期待されます。
3	タイトル	延長保育・スポット保育へ対応した情報共有のさらなる充実が望めます
	内容	園では、延長保育のサービス開始にともない、非常勤職員等のシフトが異なる職員間での情報共有がますます重要になる中で、情報リーダーを中心に、情報共有や情報提供の充実に取り組んできました。細かい情報伝達のミスなどがありながらも話し合いを通じて改善してきましたが、この延長保育にともなう情報共有については、本年度初めて取り組んだ分野であることから、今後の年間反省を踏まえ、より充実した仕組みとなるよう振り返りと改善を行うことが望めます。

本天沼保育園

本天沼
保育園

〔利用者調査：認可保育所〕

(事業所名：杉並区立本天沼保育園)

調査対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯78世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

調査方法

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

利用者総数

78

共通評価項目による調査対象者数

78

共通評価項目による調査の有効回答者数

49

利用者総数に対する回答者割合(%)

62.8

利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の9割に迫る結果となっています(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が87.8%)。個別にみると、「子どもは大切にされている」について肯定的な回答が約9割を占める他、「提供される食事への配慮」、「戸外遊びの機会」、「体調変化への対応」、「家庭と保育園との信頼関係」、「職員の聞く姿勢」、「職員は礼儀正しく丁寧」などについても肯定的な回答が8割を超えており、園における基本的な生活について保護者は満足している様子がうかがえます。一方、「要望や不満などへの対応」をはじめ「要望や不満の言いやすさ」、「行事日程の設定」などについては肯定的な回答が比較的低い結果となりました。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	40	9	0	0
肯定的な回答は約8割を占めているとともに否定的な回答がない結果となっており、大きな不満はなく安定的な評価を受けている項目といえます。自由回答については、「野菜が入っていて助かる」、「サンプルを見るとおいしそう」等の肯定的な意見が寄せられている一方で、「変化に乏しい」、「土曜日のメニューがいまいち」といった意見もみられます。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	42	6	1	0
肯定的な回答は8割を大きく超えています。しかし、自由回答では肯定的な意見もある一方で、散歩が少ないとする意見も多い状況です。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	32	9	1	7
肯定的な回答は7割弱ほどですが、無回答の比率が高いとともに否定的な回答がほとんどなく、また、自由意見において、「変更したことがないのでわからない」との意見も見られることから、利用したことがなく答えられない保護者も相当数いたと推測されます。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	41	7	0	1
肯定的な回答は8割を占め、満足する人が多い項目です。自由意見では、「とても丁寧」とする肯定的な意見がある一方、「かかりつけ医が休診日時への対策」、「建屋が狭く別室看護ができない」、「担当がいなくなるときの不十分なことがある」など様々な意見が寄せられています。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	31	15	3	0
肯定的な回答は6割強にとどまり、他の設問に比べ満足度が低い項目です。自由回答では、園舎の老朽化や怪我への対応が不十分とする意見のほか、「親川の認識がバラバラなため、園で十分と判断しても不十分と感ずることがある」との意見も寄せられています。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	28	19	2	0
肯定的な意見は6割を下回り、他の設問に比べ満足度が低い項目です。特に3歳以上の子どもを持つ保護者の回答の方がより低く、行事等が増えるにつれて「配慮が十分である」とする保護者が減る傾向が見られます。自由意見は、平日の行事を不満に感じるものが多いほか、「アンケートをとってほしい」「掲示板ではなく手紙で知らせて欲しい」などの意見も見られます。その一方で、「親子遠足がなくなったのは残念」とするものもあり、多種多様な意見が寄せられている状況です。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	43	6	0	0
肯定的な意見は9割に迫っており、他の設問に比べ満足度が高い項目です。自由意見では、「普段は話す時間がない」とする意見も見られますが、その他は肯定的な意見が占めており、自由意見からも保護者が満足している様子が見えられます。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	42	6	0	1
肯定的な回答は8割を大きく超え、否定的な回答は寄せられていません。職員の姿勢については、安定した評価が得られていることがうかがえます。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	39	9	0	1
肯定的な意見は約8割を占めています。年齢別で見ると、0～2歳では6割強、3歳以上では9割強と、その率にはかなりの開きが見られます。否定的な回答があるわけではないため、「どちらともいえない」と回答する理由としては、「どのように守っているかわからない」ということが主な理由であると考えられます。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	44	5	0	0
肯定的な回答は約9割を占め、大切にされていることに疑問をもつ声はみられません。子どもが大切にされていることについては、安定した評価が得られていることがうかがえます。				

11. 職員の対応は丁寧か	41	8	0	0
肯定的な回答は約8割を占め、職員の礼儀正しさや丁寧さは概ね認められている様子が見えられます。なお、自由意見では、先生によって対応が異なる、と言う意見も複数見られます。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	23	18	5	3
肯定的な回答は5割弱にとどまっており、他の設問に比べ満足度が低い項目です。年齢別で見ると0～2歳では6割強なのに対し、3歳以上では4強弱と、その率にはかなりの開きが見られます。本設問は、言いやすいかいいづらいかを一律で設問のため、寄せられた意見の中には「特にない」等の意見も見られ、答えづらい設問であるともいえますが、一方で否定的な意見も1割を超えていることもあるため、何らかの対応をとることが望まれます。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	22	23	1	3
肯定的な回答は7割強にとどまっており、前問に引き続き満足度が低い項目です。本設問も、きちんと対応しているかを一律で設問のため、答えづらい設問であるといえますが、否定的な意見はほとんど見られないことから、数字ほど満足率が低いことはないと思えます。なお、自由意見では、「直接討論を行いたい」とする意見も寄せられています。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	15	5	28	1
否定的な回答(知らない)が6割弱を占め、全設問中最も否定的な回答が高く、肯定的な回答が低い項目となりました。自由意見も寄せられていない状況や園全体との満足率との相関が薄いことを考慮すると、保護者にとって関心が薄い項目であるとも考えられます。				
15. [過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に] サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	8	1	0	0
1年以内に利用を開始した9人中8人が肯定的な回答をしており、否定的な回答もありません。自由意見では、「区役所より説明がよかった」との意見も寄せられており、全般として保護者が満足している様子が見えられます。				

組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

共通評価項目	
カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定
サブカテゴリ1	
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	

評価項目3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点(A)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ◎なし

カテゴリー1の講評

園目標や保育目標を明示しています

園目標「元気いっぱい 笑顔いっぱい 輝く明日へ」、「大切にしようひとりひとりの育ち 大切にしよう仲間の育ち 大切にしよう協力の輪」は、園のしおりや区の園紹介のホームページに掲載され、事務所内にも掲示されています。また、園目標に沿って保育目標が設定され、保育計画が展開されています。これらは現在、保育所保育指針の改定に伴い、プロジェクトや職員会議において見直しを進めており、今後の整理・再構築が期待されます。保護者に対しては、入園説明会や年度初めの保護者会で園のしおりを用いて園目標の説明を行っています。

園長は、明るい職場づくりに努めています

園長は、子どもが楽しいと思って来てくれる園、保護者が安心して子どもを預けられる園でありたいと考えています。そのためには、職員一人ひとりが個性と能力を発揮し、生き生きと仕事ができることが必要であり、職員同士が何でも言い合える、明るい職場をつくるのが自らの役割と責任であると考えています。園長は、各プロジェクトの活動に率先して参加し、アドバイスや軌道修正を行う中で、職員間の調和とコミュニケーションを深めることに努めています。職員自己評価では、「職場の雰囲気が明るい」との意見が数多く寄せられています。

職員会議を中心に意思決定と周知を行っています

園の重要な案件については、クラス討議を経て、打ち合わせや職員会議で検討して決定しています。また、重要な意思決定についても、職員会議や打ち合わせの場で全体に説明・周知しています。園では、会議の時間には制約があり、十分に話し合うゆとりがないことが課題となっており、有意義な話し合いが効率良く進められるよう、職員が理解しやすい資料を準備するなどの工夫を行っていきたく考えています。保護者に対しては、保護者会や園だよりを通じて、重要な案件に関する決定事項や経緯を伝えています。

2			カテゴリ-2		
経営における社会的責任					
サブカテゴリ-1					
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる					
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		○非該当	
●あり ○なし		2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる		○非該当	
●あり ○なし		2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					
サブカテゴリ-2					
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている					
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)		○非該当	
●あり ○なし		2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					

評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

カテゴリ-2の講評

遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます

児童憲章が掲載された区の保育園のしおり、都や区の職員ハンドブック、処務規程を始めとした区の規則やマニュアル、保育所保育指針等が事務所に常備され、公務員倫理や関係法令の規定がいつでも確認できるようになっています。これら法・規範・倫理については、職員の入職時に研修が行われているほか、経験や職種に応じた各種研修の中でも取り上げられています。また、職員の綱紀の保持に関する通知等、本庁からの配布文書は、園内で回覧したり、職員会議や打ち合わせで周知を行っています。

園の機能や専門性を活かし、地域福祉に役立つ取り組みを行っています

施設見学や小・中・高校生の保育体験を積極的に受け入れているほか、毎月2回、「あそぼう会」として、園の子ども達の日常活動に地域の親子が参加できる機会を設けるなど、地域の子育て支援活動を行っています。昨年度から地域版の園だよりを作成・配布したり、ポスターや掲示を増やして、園の活動や行事をお知らせしてきたことで、「あそぼう会」の参加者も増えてきているようです。その他、児童館の子育て支援行事に看護師を派遣し、身長体重測定や健康相談に応じるなど、園の機能や専門性を地域に活かし、地域福祉に役立つ取り組みを行っています。

一番身近な存在である児童館との交流・連携を深めていきたいと考えています

地域子育てネットワーク会議に参画しており、情報交換を行いながら地域の子どもに関する課題について話合っています。しかし、どちらかと言うと、学童の話題が中心となっているため、保育に関わる内容を取り上げてもらえるよう要望しています。また、児童館が園に隣接しており、合同の避難訓練等は実施していますが、現在は職員・子どもともに日常的な交流はあまり行われていません。園では、地域の子育ての実態を把握する上でも、今後、一番身近な関係機関である児童館との交流・連携をさらに深めていきたいと考えています。

カテゴリ-3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリ-1

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-3の講評

保護者の苦情等を把握し、解決を図っています

苦情解決制度としては、区の苦情調整委員制度があり、毎月、入口付近の所定の場所にポスターを掲示して保護者に周知しています。しかし、利用者調査結果では、外部の苦情相談窓口についての認識度は3割程度となっており、周知方法の再検討が望まれます。保護者会や個人面談で出た要望等については、その場で話し合い、解決できない場合は改めて個別に対応しており、受け付けた内容や対応経過を「意見・要望等の受付書」に記録しています。子どもの受け入れに対する園側の対応の不備について謝罪し、解決を図った事例も確認することができました。

アンケートを活用して保護者の意向を集約し、サービス向上につなげています

夏祭りや運動会、「大きくなったね会」などの行事の後に保護者アンケートを実施したり、父母の会が実施したアンケート結果について意見交換を行ったりして、保護者の意向を把握することに努めています。保護者アンケートの結果は、園だよりで保護者全体にお知らせしているほか、職員会議で問題点を整理し、反省を行っています。反省点については、次回の行事プロジェクトの際に取り上げ、改善するようにしています。保護者からの意見を受けて、保護者会の内容の工夫に取り組んでおり、今後、開催時間の見直しについても検討したいとしています。

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワークや地域懇談会、町会、区立保育園の園長会等に参加したり、毎月の「あそぼう会」に参加してくれた地域の親子にアンケートを実施することで、収集・把握しています。保育や子育てに関する新聞・雑誌等の記事も小まめに集め、区からの通知とともに職員間で回覧を行っています。地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行い、園長会等を通じて伝達されていますが、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

カテゴリ-4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ-1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(B)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている	○非該当
○あり ◎なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
◎あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ◎なし		
サブカテゴリー2		
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		評点(A)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
◎あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ◎なし		
カテゴリー4の講評		
<p> チャレンジプランを作成し、年度の重要課題に計画的に取り組んでいます 区では中・長期計画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションプランなどを策定しており、必要に応じ随時見直しを行っています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接遇向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。現場から改善を行う取り組みとして評価できますが、さらに園の複数年度に渡る取組みを方向付ける中期計画に発展していくことが期待されます。 </p> <p> 複数のプロジェクトを組織し、チャレンジプランの実行に取り組んでいます 園では、区の意向や園の課題に沿って年度始めにプロジェクトを組み、園のチャレンジプランの推進に取り組んでいます。プロジェクトには行事や情報共有、危機管理、保育計画、保育環境等があり、構成メンバーは、職員各層の意向が反映できるよう、クラスや経験年数を考慮して選出しています。各プロジェクトでは、半期ごとに活動状況を確認し、見直しを行いながら積極的に課題の改善に取り組んでいます。事前にプロジェクト活動の方針や計画を明確にし、達成度合いを測りやすいようにした上で、取り組んでいくことが望まれます。 </p> <p> 危機管理プロジェクトを中心に、園内の安全確保に努めています 子どもの安全確保に関しては、区の危機管理マニュアルを活用しているほか、災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練が計画的に実施されています。地域の見回りを行う安全パトロール隊や学校警備員との連絡・連携も行われています。また、危機管理プロジェクトを中心に園内の安全チェックや危険箇所の改善を行っているほか、事故が発生した場合は、その経緯や内容を「事故報告書」に記録し、職員全体に周知して改善策を話し合う、再発防止の仕組みも機能しています。さらに、現場でのひやりとした事例を日々収集し、予防対策につなげる取り組みが望まれます。 </p>		

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金・昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

園に必要な人材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています

常勤職員は配置基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で面接採用していますが、園長には園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように努めています。クラス担任については、毎年度末、職員から希望をとり、ベテランや新人などの配置のバランスを考慮した上で園長が決定しており、概ね職員の希望に沿った配置ができています。係分担についても、各職員から希望を出してもらい、クラスや業務負担が偏らないように調整して決定しています。

個人用チャレンジプランを基に職員の質の向上に取り組んでいます

職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成してもらい、園長が個人面談を行う中で把握しています。研修については、個人用チャレンジプランや各自の経験年数・力量に応じて受講を進めており、個人の研修歴カードや研修実施状況一覧に記録し、実績を把握・確認できるようにしています。研修受講後は、レポートを作成して研修成果を自己評価し、園長が確認した上で区に提出しているほか、毎月第3週の昼の打ち合わせを研修報告の日と決め、1人5～10分程度の報告の機会を設けて、研修成果を職員間で共有しています。

就業状況を把握し、職員のやる気と働きがいの向上に取り組んでいます

時間外労働は、土曜の午後等に生じることがあるものの、あまり発生していません。有給休暇の取得については、不公平が生じないよう職場全体で話し合って取得するようにしていますが、クラスや職員間で差が出ているのが実情です。園長は、職員にやりがいを持ってもらえるよう個々の目標や成果に対して、どんな小さなことでも声をかけて応援・評価する姿勢で臨んでおり、終業後の自主勉強会にも多くの職員が参加するなど、職員の仕事への意欲は高いようです。職員自己評価では、保育に関する話し合いの時間を多く持ちたいとの声も数多く挙がっています。

カテゴリ-7		
7	情報の保護・共有	
サブカテゴリ-1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリー7の講評

園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットに管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使いやすく更新しています。児童票や保育日誌等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるキャビネットに保管し、退出時には事務所自体も施錠管理しています。電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を徹底しています。

個人情報の利用・保護について、保護者の理解を得る取り組みが望まれます

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。園で取扱う個人情報の利用目的については、区の入園申込関係書類の一部記載は見られますが、園においても、園のしおりに具体的に利用目的を明示したり、写真やビデオの撮影や他機関への情報提供が必要な場合には保護者から書面で同意を得るなどの取り組みが望まれます。

職員が個人情報保護を理解し行動するための取り組みの充実が期待されます

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、入職時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修の中で個人情報保護に関する研修も開催されています。実習生やボランティアに対しては、文書を配布して個人情報保護等の留意事項を伝えています。さらに、園内においても、プライバシー保護を含めた個人情報の保護について職員が具体的に行動できるよう、園内研修で取り上げたり、職員間で定期的に確認を行う機会を設けるなどの取り組みが期待されます。

カテゴリ-8

8 カテゴリ-1～7に関する活動成果

サブカテゴリ-1

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」

A+ A B C

改善の成果

プロジェクトを中心にチャレンジプランの実現に向けて取り組みました

・年度初めにプロジェクト(情報共有、危機管理、保育計画、保育環境、チャレンジプラン等)を設置し、園のチャレンジプランに位置付けた年度の目標や課題に取り組みました。特に、保育所保育指針の改定に伴う保育計画の見直しに関しては、保育計画プロジェクトを中心に、職員会議や園内研修、勉強会で学び話し合いながら、保育課程の作成や指導計画の見直し・改善を進めており、園目標の見直しも視野に入れて取り組んでいます。

・危機管理プロジェクトを中心に、園内の危険箇所の改善を進めました。保護者の出入口を一本化したことで、危機管理がしやすくなっています。

・昨年度から地域版の園だよりを作成し、小学校や児童館、園の嘱託医等に配布しています。今年度は裏面に保健だよりを印刷するなど内容を拡充し、配布部数も増やしました。地域子育て支援の活動「あそぼう会」も毎月2回に増やし、地域版園だよりの配布先にポスターの掲示もお願いするなど、地域への情報発信に力を入れて取り組んだことで、「あそぼう会」の参加者は昨年度に比べ2倍以上に増加しています。

サブカテゴリ-2

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」

A+ A B C

改善の成果

プロジェクト活動や自主勉強会への参加により、職員の意欲と能力が高まっています

・全職員がいずれかのプロジェクト(情報共有、危機管理、保育計画、保育環境、チャレンジプラン等)に参加し、積極的に担当分野の課題解決に取り組みました。職員が活発に意見交換を行い、工夫することで、各プロジェクトともに成果を挙げることができました。また、必要に応じて園内研修を実施したり、ベテラン職員を講師とした自主勉強会を終業後に定期的に開催したりするなど、職員がともに学び合う機会を持ち、多くの職員が参加しています。職員個々の意欲と能力が高まってきている様子が見えます。

サブカテゴリ-3

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」

A+ A B C

改善の成果

情報公開、保護者との情報共有に向けて改善に取り組みました

・保育の情報公開と情報共有を園のチャレンジプランの目標に掲げ、情報共有プロジェクトを中心に課題に取り組みました。園のしおりイラストを入れたり、レイアウトを変更したりして、より見やすく分かりやすい内容にしたほか、「わくわくニュース」を作成・掲示して園の行事や子ども達の様子を写真でタイムリーに提供しました。その他、クラスだよりや園だより、保健だよりの掲示を一区画に整理したり、子育て支援関係の掲示版を設置し、区からの情報や新聞・雑誌等の記事を掲示したり、ホワイトボードを活用して幼児クラスの保育日誌や指導計画を公開したりするなど、積極的に情報を公開し、保護者との情報共有に向けて様々な改善に取り組みました。

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+ A B C

改善の成果

行財政改革を着実に実行するとともに、省エネ活動を推進しています

・区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年度までに6割の事業を委託・民営化・協同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げています。この中で、区立保育園の事業委託等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」という3つが掲げられており、区の保育分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。

・区の環境マネジメント活動の一環として、省エネ活動を推進しており、毎月の電気、水道、ガスの使用量を把握するとともに、毎年度の実績の推移をグラフ化して園内に掲示しています。平成11年度を利用量を100%とすると、平成19年度の実績は、電気115%、水道103.9%、ガス98.1%、用紙は55.3%となっております。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+ A B C

改善の成果

保護者アンケートを実施し、結果を保護者全体に知らせました

・夏祭りや運動会、「大きくなった会」などの行事の後に保護者アンケートを実施したり、父母の会が実施したアンケート結果について意見交換を行ったりして、保護者の意向を把握することに努めました。保護者アンケートの結果は、園だよりで保護者全体にお知らせしたほか、職員会議で問題点を整理し、反省を行いました。反省点については、次回の行事プロジェクトの際に取り上げ、改善するようにしています。保護者からの意見を受けて、保護者会の内容の工夫に取り組んだほか、今後、開催時間の見直しについても検討したいとしています。

・毎月の「あそぼう会」に参加してくれた地域の親子にアンケートを実施し、地域ニーズの収集・把握に努めました。

サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

共通評価項目	
サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている ○非該当
●あり ○なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している ○非該当
●あり ○なし	3. 保護者の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	
サブカテゴリ-1の講評	
各種情報を園内に工夫をして掲示しています 園だより、保健便りなど園の情報、区からの情報に加え、子育てに関する新聞記事等を入り口や廊下、階段の踊り場等の壁を利用し、多くの情報提供がされています。入り口の一番目立つところには、園の催し物等を模造紙にまとめたわくわくニュースが掲示されている他、沢山の情報の中で、優先順位を考慮しながら掲示するとともに、常に情報更新に意識的に取り組んでいます。また、子育てに関するチラシ等については、限られた場所の中で、情報が埋もれてしまわないように、置き方にも工夫がされています。	
保護者だけでなく、地域にも情報発信をしています 区のホームページでの園紹介のページについては、公立園が統一された情報が提供されています。また、園独自の取組としては、学校、園医、児童館などの地域の関係者に対して、「地域版園便り」を発行し、広く情報を発信する取り組みが行われています。	
見学希望者に対しては、いつでも対応しています 園の見学は、園児の保護者、入園を希望する親子ともに、いつでも見学希望者を受け入れられる体制を整えています。入園希望者に対しては、園長・主査が中心となって対応し、施設案内や園での生活体験など、見学者の状況や要望に合わせてきめ細かく対応しています。	

サブカテゴリー2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリー2の講評

入園前の面接により、子ども一人ひとりの状況を把握しています

入園説明会の開催前に個別に園長・栄養士・看護師等と面接を行い、家庭での入園前の生活リズムをはじめとする子どもの様子のほか、保護者以外の養育の協力者など必要に応じて家庭の状況を把握しています。面談結果については、区で統一された「児童票」及び「家庭連絡票」に記録するとともに、入園後の児童の発達や保護者の意向などを時系列に記録し、保育の最重要書類として活用しています。

入園説明会を実施し、園での生活について詳しく説明しています

入園前には、入園説明会を実施し、区の資料のほかに園独自の「園のしおり」等を活用し、園での生活や入園までに準備をするものなどについて、詳しく説明する機会を設けています。また、入園説明会等で活用している「園のしおり」を、より分かりやすくするための見直し作業をしているなどの取り組みもみられます。

入園直後は慣れ保育を実施しています

入園直後の子どもの不安やストレスを軽減するため、乳児については、一定期間「慣れ保育」を行っています。「慣れ保育」期間中は可能な範囲で保護者と子どもと一緒に保育園で過ごし、子どもが園での生活に慣れ、保護者も保育の様子を知ること、安心して子どもを預けられるようにするための配慮をしています。また、新年度には、進級する子どもと、新たに入園してくる子どもとの間においても、子ども同士が慣れる工夫をしています。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリ-3の講評

会議やクラスノートを活用して情報共有に取り組んでいます
 職員間での子どもの情報の共有に関しては、毎週の定例会議の他、グループ討議、複数担任制のクラスにおいてはクラスでの話し合いなど、口頭で伝え合っている他、各クラスノート、朝夕児童ノート等の書類を活用し、非常勤職員等のシフトが異なる職員間での情報共有が行われています。延長保育等の実施により、職員のシフトが多様化する中で、さらに効率的で効果的な情報共有の仕組みを充実していくことが期待されます。

入園から現在までの状況は、児童票等に記録され、厳重に管理されています
 子ども及び保護者の情報は、区で共通様式の児童票等に、入園から現在に至るまでの子どもの発達・健康の状況、保護者の意向、留意点等が記録されています。児童票には、入園後の子どもの発達や健康状態の情報が追加されるほか、保護者とのコミュニケーション(口頭・連絡帳等)や個人面談で話し合われた内容についても追加される仕組みとなっています。

指導計画を計画的に作成し、保育の充実を図っています
 指導計画は、年間と月間、さらに週単位で作成されています。年間指導計画の作成にあたっては、保護者会を通じて保育の骨子を説明しています。また、月間指導計画の策定にあたっては、子どもの発達段階や精神的な状況に応じた対応や、保護者からの日頃の要望等を含め、取り組みをふり返りながら、職員間で話し合いを行い作成する仕組みとなっています。

サブカテゴリ-5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		
サブカテゴリ5の講評		
<p> 家庭での生活習慣に配慮し、園での生活を支援しています 家庭での生活習慣等に充分配慮し、一人ひとりを尊重した保育を実施していますが、近年では家庭での食事や睡眠の習慣が園での生活パターンに合致しないケースも見られるようになってきています。こうした状況の中で、対応が難しい部分もありますが、自主的な改善を促すような働きかけを継続して行っていくことを基本姿勢としています。 </p> <p> 外部からの視線の遮断の他、毎日の着替えなどで、子どもの羞恥心に配慮しています 子どもの羞恥心やプライバシーへの配慮としては、失敗を責めない言葉かけや、トイレの失敗の際の目立たない着替え場所の設定などに心がけています。また、プールやシャワーの際に目隠しをつけることにより外部から見えない様にするのと同時に、室内においては、毎日の着替えなど、子ども同士の間でも、羞恥心を養うことにも取り組んでいます。 </p> <p> プライバシーへの配慮については、保護者の理解を得る取り組みが望まれます 日常の子どもや保護者とのコミュニケーションについては、職員会議やミーティングの中で常に振り返り、不適切な言動等がなかったか確認しあっています。一方、利用者調査や職員自己評価においては、プライバシーに関する評価では、プライバシーに対する配慮が十分浸透しているとは言いきれない状況がうかがえます。プライバシーへの配慮の具体的な対応については、個々のケース、環境や時代にあわせて柔軟に方法を考えていく必要があります。 </p>		
サブカテゴリ6		
6	事業所業務の標準化	
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリー6の講評

外部講師による園内研修や職員の自主的な勉強会が行われています

会議等を通じて日常業務の改善や、定期的に研修報告が行われている他、経験豊かな職員が、経験の浅い職員を育成する為の自主的な勉強会を就業後に行っています。自主的な勉強会ではあるものの、年間計画を作成し、獲得目標等を明確にし、体系的に行われています。また、園内研修では、外部講師を迎えて行った際には、他園にも参加を呼びかけるなど、積極的に研修に取り組んでいます。こうした研修や勉強会を継続していくことにより、保育水準のさらなる向上が期待できます。

子どもの安全性に配慮した支援の充実策が望まれます

子どもの安全性に配慮した支援については、職員会議やプロジェクト会議等で話し合い、環境改善等が行われています。しかし、利用者調査によると、「安全対策」に対する評価は十分とは言えないことから、ヒヤリハット等により、日常の気づき等を蓄積し、業務や環境の改善に結びつけるなどの仕組みの充実が望まれます。

業務に対する標準化の充実が望まれます

区では公立園共通の『危機管理マニュアル』の中で、緊急避難、防犯対策、園外活動の注意等基本的な対応についての手順をまとめています。共通マニュアルで不十分な点については、園独自のマニュアルで補足するとともに、会議を通じて基本事項の確認や、問題が生じた時の改善に取り組んでいます。一方、職員自己評価では、「業務の標準化」に対する評価は十分とは言えないことから、さらなる取り組みが望まれます。

サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	○非該当
	●あり ○なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	○非該当
●あり ○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし			
評価項目1の講評			
<p>異年齢交流、各種催し物など、多様な保育活動に取り組んでいます</p> <p>園内活動として、異年齢児交流をはじめ、野菜の栽培、お店やさんごっこ、キャンプごっこ、もちつき会など、子どもの発達を促す活動や催し物を取り入れられています。また、成長を表現する機会として、おおきくなった会(発表会)などがあります。園外活動では、地域の高齢者デイサービスとの交流など、子どもの発達を促すための様々な保育活動に取り組んでいます。</p> <p>子どもの発達を促すための保育の充実が期待されます</p> <p>子どもの発達や家庭での生活状況については、保護者との面談・連絡帳のやりとり・登降園時のコミュニケーションなどにより把握し、保育計画に反映し、保育に取り組んでいます。職員自己評価の結果においては、子どもの発達を促すための保育に関しては、他の項目に比し評価が低かったことから、一層の充実が期待されます。</p> <p>関係機関との連携により、障害がある子どもの保育に取り組んでいます</p> <p>障害がある子どもや気になる行動がみられる子どもの保育については、専門機関と連携を密に図りながら対応しています。区としては、発達センターの専門家による、特別な保育指導が行われています。巡回指導では、ビデオを活用し、保育士が自分自身の子どもとの接し方を客観的に見るなど、現場の事例から学ぶ機会を用意し、子どもの特性に配慮した保育の提供の体制を整えています。</p>			

2	評価項目2 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		評点(A+)
	評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input type="radio"/> 非該当	
[A+の取り組み] <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし			
毎月1回の栄養士による食事の話、子ども達自身の栽培活動(にんじん、なす、トマト、米、その他)、献立の中から参加が可能な作業の手伝い(トウモロコシの皮むきなど)を行っています。また、年度行事としては、年長を中心に、クッキーやカレー作り、もちつき会の他、キャンプごっこでは、買い出しから包丁を使った調理も行うなど、食育に関する取り組みを積極的に行っています。			
評価項目2の講評			
参加、体験型による食育が行われています 毎月1回の栄養士による食事の話、子ども達自身の栽培活動(にんじん、なす、トマト、米、その他)、献立の中から参加が可能な作業の手伝い(トウモロコシの皮むきなど)を行っています。また、年度行事としては、年長を中心に、クッキーやカレー作り、もちつき会の他、キャンプごっこでは、買い出しから包丁を使った調理も行うなど、食育に関する取り組みを積極的に行っています。			
楽しみながら、おいしく食事をできる工夫をしています 毎週金曜日の4・5歳児(年度後半からは3歳児も参加)が一緒になって食事をする「わくわくランチ」、自分で選べる「お好みおやつ」など、食事を楽しむ工夫が行われています。また、食事環境については、いすの高さを子どもの体に合わせて微調整をしています。			
区で統一された献立により食事を提供し、アレルギー等は個別に対応しています 献立は区で統一のメニューとなっています。調理員による食事量や子どもの嗜好のチェックが行われています。なお、アレルギーの配慮が必要な子どもについては、保護者との打ち合わせのもと、除去食、代替食で対応しています。また、保護者の食品に関する考え方にも配慮した食事が提供されています。一方、改善点として、調理員と保育士等の連携の強化を課題にあげていることから、これらの取り組みを進めることにより、さらなる充実が期待できます。			
3	評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当	
[A+の取り組み] <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし			

評価項目3の講評

子どもの健康状態は、看護師が毎日把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、保育士が登園時の状況確認、看護師が毎日各クラスを巡回しているほか、乳児の午睡時には「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診(0才児は週1回、以後は年2回)をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の年1回の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申込書を用いた対応や医療機関に関する情報提供等を行っています。

保健だよりや園内の掲示により、情報提供を行っています

保健分野に関する保護者への情報提供は、月1回発行の保健だよりを通じて行っているほか、特に感染症に注意が必要な時期は、おたよりのほかに園内の掲示板(ホワイトボード)を利用して注意を喚起するなど、予防対策に取り組んでいます。

病児の保育体制のさらなる充実が望まれます

保育中の発熱や怪我の対応は、常駐の看護師が対応し、必要に応じて医務室で安静にしながら、保護者のお迎えを待つ体制を整えています。これらは、利用者調査においては、「保育中の発熱や怪我」に対する対応については、8割強が肯定的な意見であることから、その取り組みを確認することができますが、一方で、改善を求める声も聞かれることから、病児の保育体制のさらなる充実が望まれます。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点(A)

4

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目4の講評

様々な交流を通じて、子どもたちが楽しめる工夫をしています

各種交流の機会を通じて楽しめる工夫として、異年齢で一緒にランチやお散歩を楽しむ機会を設けています。また、地域交流としては、ボランティアによる手品やピアノの披露を行っています。お誕生会を個別に実施しているなど、一人ひとりの子どもが主役となれる様な工夫をしています。

プロジェクトチームによる園内の環境改善に取り組んでいます

0歳、1歳児のクラスには、子どもたちが落ち着いて過ごせる様に家庭的な雰囲気を感じられる置コーナーを設けるなど、限られた空間の中での工夫が見られます。さらに、現場の視点を活かして、職員で構成する環境プロジェクトチームで話し合いを行いながら、園庭や教室の改善を積極的に推進しています。なお、利用者調査では、子どもたちの安全対策に対する評価が他の項目と比べて低いことから、安全性と快適性の両立した環境の整備が望まれます。

午睡については、個々の状態に合わせた配慮を行っています

食事、睡眠、運動、排泄などは子どものリズムにできるだけあわせる配慮を行い、午睡については、早く寝たい子、目が覚めてしまう子がそれぞれ快適に過ごせる場所の確保に努めています。

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし 			
評価項目5の講評			
<p>掲示物を積極的に活用し、情報提供を行っています</p> <p>保護者への園からの情報は、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健等の各種おたよりを発行しています。情報提供に関する園の特徴でもある模造紙版の「わくわくニュース」は、園全体の行事等の様子をタイムリーにまとめ、入り口に掲示し、全ての保護者に伝わるように工夫をしています。一方、掲示の方法を工夫しているものの、保護者に伝わっていない情報も少なくないことから、さらに掲示の方法を工夫するなど、保護者への情報提供やコミュニケーションの充実が期待されます。</p> <p>保護者に日誌を公開し、情報を伝えています</p> <p>従来のクラスだより等に加え、保護者に情報を伝える方法として、日誌の公開が行われています。このことにより、保護者に伝わりやすいような要点を絞った記載にするなど、工夫を重ねています。保護者からの反応はまだ少ない状況ですが、保護者とのコミュニケーションのひとつとして、この試みが少しずつ実を結んでいくことが期待されます。</p> <p>主な行事についてはアンケート調査を実施しています</p> <p>運動会等、主な行事については、アンケート調査を実施し、反省点を整理するとともに、次回の開催に役立てる取り組みを行っています。一方、利用者調査においては、「行事等の日程の配慮」については、他の項目と比べて評価が低いことから、全ての保護者の意向を反映した設定は難しいものの、意見交換の場や機会を充実していくことにより、これらの評価が改善することが期待できます。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし 			

評価項目6の講評

区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援に取り組んでいます

虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、『虐待防止マニュアル』の実践をはじめ、区の保育課、家庭支援センター、児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見時の対応などが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。

研修等に積極的に参加し、職員間の情報共有を図っています

区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の向上を図るとともに、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされるよう取り組まれています。継続的な園全体のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりが期待されます。

保護者と共通理解を深めるための情報提供・交換の充実が望まれます

子どもの発達等に関しては、現在、虐待防止のポスターなどの情報提供をしていますが、さらに、保護者会場の場を利用し、栄養指導や年齢にあった発達・育児の目安など、子どもの発達についての保護者と共通理解を深めるための情報提供・交換の充実が望まれます。

評価項目7

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(A)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目7の講評

チラシ等で地域の情報を保護者に提供しています

児童館などの地域施設や機関から依頼があった場合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供をおこなっています。一方、園からの地域への情報については、地域版園だよりを発行し、関係機関(児童館、小学校、園医など)に配布をしています。

近隣の高齢者デイサービス等との地域交流を行っています

地域の交流は、4、5歳児の高齢者デイサービスの訪問し、歌や踊りを披露したり、小学校の展示会等の訪問・見学等を行っています。一方、地域からは、実習生やボランティア等の受け入れを積極的に行っている他、毎月第1・3水曜日には「遊ぼう会」を実施、地域の親子が各クラスで直接交流を持てる機会を設けたり、夏まつりには、地域の子どもたちも参加をすることができるなど、様々な地域交流を行っています。

小学校との連携の強化が期待されます

地域交流については、前述のように積極的に行われているものの、職員自己評価の結果においては、他の項目に比し評価が低かったことから、地域交流のより一層の発展が期待できます。特に、併設されている児童館との連携や、小一問題への対応が求められる中で、年長児にとってはもっとも関係が深い小学校との連携を強化していくことが期待されます。

特に良いと思う点		
1	タイトル	プロジェクトを中心にチャレンジプランの実現に取り組み、多くの成果を挙げています
	内容	年度初めにプロジェクト(情報共有、危機管理、保育計画、保育環境等)を設置し、園の重点目標と実行計画であるチャレンジプランの実現に向けて取り組んできました。全職員がいずれかのプロジェクトに参加して、積極的に担当分野の課題解決に取り組み、活発な意見交換と工夫により、各プロジェクトとも具体的な成果を挙げています。時には園内研修を実施したり、ベテラン職員を講師とした自主勉強会を開催したりするなど、職員がともに学び合う機会を持ち、職員個々の意欲と能力を活かし、高めながら、改善を行ってきた点は、高く評価できます。
2	タイトル	保護者への情報伝達の工夫に取り組んでいます
	内容	模造紙版の「わくわくニュース」の発行をはじめ、子育てに関する情報を優先順位を配慮し、園内の廊下や階段等の壁を利用し掲示しています。園や区からの情報だけでなく、子育てに関する新聞記事等を紹介しているのは、園の特徴であり、職員の思いが感じられます。さらに、地域の関係機関等のチラシの置き方ひとつをとっても、情報が埋もれてしまわない様、工夫と配慮がされています。情報が保護者に十分に伝わっているとは言えませんが、こうした取り組みの積み重ね、常に改善に取り組んでいる点は、高く評価できます。
3	タイトル	子ども一人ひとりの主体性を活かした保育について、工夫を重ねています
	内容	園目標のひとつに「大切にしよう一人ひとりの育ち」を掲げています。その実践の一例として、野菜の栽培、給食調理のお手伝い、キャンプごっこなどの年間行事における調理などの食育では、一人ひとりの主体性を活かすために参加する機会を多く設けていることなどがあげられます。また、月単位で実施していたお誕生会を、個別の誕生会に見直すなど、一人ひとりの育ちを大切に保育を充実するために、大小を問わず、できることから工夫を積み重ね、常にふり返り、見直し・改善を行っていることは、高く評価できます。
さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	職員一人ひとりの気付きを活かし、さらなる安全対策の充実が望まれます
	内容	延長保育の開始にあたり、防犯性を向上するため、出入口の一本化を図り、外部からの訪問者を把握しやすくするなど、危機管理の強化に取り組んでいます。一方、利用者アンケートでは、子どもの安全対策については、他の項目と比較すると、評価が低くなっています。建物などハード面で課題に対する抜本的な改善は困難であるものの、ソフト面で安全対策が可能なのは残されています。プロジェクトチーム等で検討を行うだけでなく、職員一人ひとりの日常の気付きを、ヒヤリハット等で蓄積し、安全性確保の改善に反映させていくことが期待されます。
2	タイトル	保護者の要望や意見を把握し、対応する仕組みを充実させることが望まれます
	内容	保育の情報公開と情報共有をチャレンジプランの目標に掲げ、プロジェクトを中心に、見やすく分かりやすい掲示方法や紙面等の工夫、保育日誌や指導計画の公開など、様々な改善を行いました。一方で、利用者調査では、職員とのコミュニケーションや行事内容の変更に対する不満や意見が多く寄せられ、保護者との関係にまだ多くの課題を残していることもうかがえます。園の取り組みの意図や理由を丁寧に説明する、意見箱を設置する、保護者に対応策や回答を示す等、保護者の要望や意見を日常的に把握し、対応する仕組みを充実させていくことが望まれます。
3	タイトル	会議運営を工夫し、さらなる職員間の情報共有に取り組むことが期待されます
	内容	園では「職員間の情報共有により丁寧な保育を行うこと」をチャレンジプランに掲げ、職員会議やカリキュラム会議、昼の打ち合わせ、各プロジェクト会議など、様々な話し合いの場を設けて実践しています。職員自己評価では、職員間のコミュニケーションが良く、お互いの保育を話し合える関係ができていくことがうかがえる一方、保育に関する話し合いの時間が少ないとの声や会議の進め方を課題とする意見も数多く寄せられています。有意義な会議を効率的に進めていくための工夫を実践するとともに非常勤職員との情報共有にも着手することが期待されます。

荻窪南保育園

荻窪南
保育園

〔利用者調査：認可保育所〕

(事業所名：杉並区立荻窪南保育園)

調査対象

同一世帯で複数の子どもの子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯71世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

調査方法

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

利用者総数

71

共通評価項目による調査対象者数

71

共通評価項目による調査の有効回答者数

51

利用者総数に対する回答者割合(%)

71.8

利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の9割を大きく超える結果となりました(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が96.1%)。個別にみると、「戸外遊びの機会」、「急な変更への柔軟な対応」、「子どもは大切にされている」について肯定的な回答が9割を超えている他、「提供される食事への配慮」、「体調変化への対応」、「参加しやすい行事日程」、「家庭と保育所との信頼関係」、「職員の聞く姿勢」、「職員は礼儀正しく丁寧」などについても肯定的な回答が8割を超えており、園における基本的な生活について保護者は満足している様子がうかがえます。一方、「要望や不満の言いやすさ」をはじめ、「要望や不満への対応」などについては肯定的な回答が比較的低い結果となっています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	45	5	0	1
肯定的な回答は約9割を占めているとともに否定的な回答がない結果となっており、大きな不満はなく安定的な評価を受けている項目といえます。ただし、1～2歳児の保護者の肯定的な回答は、3歳以上児の保護者よりも2割ほど低い結果となっているため、注意が必要です。また、自由回答については、アレルギー対策に感謝する意見が複数寄せられています。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	48	3	0	0
肯定的な回答は9割を大きく超え、否定的な回答もまったくみられません。また、自由回答でも肯定的な意見のみで占められており、保護者から大変評価される結果となっています。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	46	3	1	1
肯定的な回答は約9割を占めており、保護者もおおむね満足している様子がうかがえますが、自由回答においては、延長保育が実施されていないことに対する不満の声が多く寄せられています。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	42	6	1	2
肯定的な回答は8割を超えており、否定的な回答もほとんど見られません。保護者もおおむね満足している様子が見えませんが、保護者への連絡については伝え忘れを指摘する声など否定的な意見がある一方で、「すぐに来てくださいというのではなく、経過も報告してくれます」との肯定的な意見も寄せられています。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	36	12	2	1
肯定的な回答は約7割と他の項目に比べると比較的満足とする率が低い結果となっています。年齢別では、3歳以上児の保護者の肯定的な回答は、1～2歳児の保護者よりも約2割ほど低い結果となっているため、子どもの行動範囲が広がることによって、また、職員体制の変化に伴って、危険、不安を感じる保護者が増える傾向がみられます。自由意見では、玄関の施錠等防犯面に対する不安の声が寄せられています。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	42	6	2	1
肯定的な回答は8割を超えており、多くの保護者から支持されている結果となっています。年齢別では、1～2歳児の保護者の肯定的な回答は、3歳以上児の保護者よりも約1割ほど低い結果となっているため、注意が必要です。自由意見では、保護者会や面談の土曜日対応を求める声が複数寄せられています。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	44	5	1	1
肯定的な回答は9割に迫っており、多くの保護者から支持されている結果となっています。自由意見では、肯定的な意見も否定的な意見もありますが、先生によって異なるとの意見も複数寄せられています。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	41	9	0	1
肯定的な回答は約8割を占めており、保護者はおおむね満足している姿が見えます。自由意見では、肯定的な意見も否定的な意見もありますが、先生によって異なるとの意見も複数寄せられており、前問と同様の傾向が見られます。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	40	6	1	4
肯定的な回答は8割に迫っており、保護者はおおむね満足している姿が見えますが、年齢別では、1～2歳児の保護者の肯定的な回答は、3歳以上児の保護者よりも1割以上低く、また、少数ながら3歳以上児の保護者では見られない否定的な回答があるなど、年齢別で異なる傾向が見られます。自由意見では、プライベートな内容の話に対する職員の対応について、不満を示す声が複数寄せられています。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	48	2	0	1
肯定的な回答は9割を大きく超え、大切にされていることに疑問をもつ声はみられません。子どもが大切にされていることについては、安定した評価が得られていることがうかがえます。				

11. 職員の対応は丁寧か	45	6	0	0
肯定的な回答は約9割を占めるとともに、否定的な回答は寄せられておらず、職員の礼儀正しさや丁寧さが保護者に認められている様子が見えます。なお、自由意見でも、職員の対応に関する肯定的な意見が寄せられています。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	31	15	3	2
肯定的な回答は6割ほどにとどまっており、他の設問に比べ満足度が低い項目です。本設問は、言いやすいかいいづらいかを一律でなく設問のため、寄せられた意見の中には「特に不満はない」等の意見も見られ、答えづらい設問であったことがうかがえます。ただし、自由意見では、職員による差や言いやすくないといった否定的な意見も寄せられています。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	32	14	1	4
前問同様、肯定的な回答は6割ほどにとどまっており、他の設問に比べ満足度が低い項目ですが、本問では、否定的な回答がほとんど見られません。本設問は、対応しているか否かを一律でなく設問のため、寄せられた意見の中には「特に不満はない」等の意見も多数見られ、答えづらい設問であったことがうかがえます。ただし、自由意見では、職員による差を指摘する否定的な意見もありますが、いったん受け止めてくれる対応への感謝や言ったことはないがきちんと対応してくれると思う等肯定的な意見も複数寄せられています。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	14	8	25	4
否定的な回答(知らない)が約半数を占め、全設問中最も否定的な回答が高く、肯定的な回答が低い項目となりました。園全体との満足率との相関が薄いことを考慮すると、保護者にとって関心が薄い項目であるとも考えられます。自由回答では、知らなかった、必要性を感じないとする意見のほか、「知っているが、「どこへ、誰に？」があいまい」とする意見も見られ、ポスター等による周知のわかりにくさも指摘されています。				
15. [過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に] サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	11	1	0	0
1年以内に利用を開始した12人中11人が肯定的な回答をしており、否定的な回答はありません。自由意見では、「こと細かく説明を受けた」「園の方針から設備、おもちゃの説明まで大変丁寧でした」との意見も寄せられており、全般として保護者が満足している様子が見えます。				

組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

共通評価項目	
カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定
サブカテゴリ1	
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	

評価項目3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点(A)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ◎なし

カテゴリー1の講評

保育目標やチャレンジ目標を明示しています

園のチャレンジ目標「受けとめよう、手わたそう、気持ちと言葉のキャッチボール」や保育目標は、園のしおりや区の保育園紹介のホームページに掲載しているほか、玄関に掲示し、職員や保護者がいつでも確認できるようにしています。保育目標は、年間保育計画や指導計画に展開され、毎月の職員会議の中で職員全体で反省・確認を行っています。現在、新保育指針の改定に伴うプロジェクトにおいて保育課程も含めた保育の計画の見直しを進めており、今後の整理・再構築が期待されます。

園長は、自らの役割と責任に基づいて行動しています

園長や主任の役割と責任は、区のマニュアルに規定されているほか、年度の事務分担表に全職員の役割分担を記載しています。園長は、園の総括を行う中で、子どもにはゆったりと温かい見守りを行うことを心がけ、保護者が安心できるよう、職員間のチームワークを大切にしています。特に、職員が他のクラスの状況も知り、一緒に考え、他のクラスにも意見・提案できるような関係作りに努めています。打ち合わせでは、園長会の報告を行い、職員に区の方針を周知しているほか、毎月、事務室だより「あんず」を自ら作成し、保護者にメッセージを伝えています。

打ち合わせと職員会議を中心に、意思決定と周知を行っています

重要な案件については、園長・主査で方向性を話し合った上で、毎週の打ち合わせや毎月の職員会議に提案し、検討・決定しています。打ち合わせで指導計画の検討を行う際は、事前に全員が資料を読んだ上で課題を出してもらい、1日目は個人の様子を話し、2日目は質問と提案を行うようにするなど工夫していますが、職員調査結果では会議の在り方を改善点に上げる意見が複数見られ、引き続き効率的な運営に取り組むことが期待されます。保護者には、年2回の保護者会で園の方針や決定事項を説明しているほか、随時お知らせを配布して伝えています。

2			カテゴリ-2		
経営における社会的責任					
サブカテゴリ-1					
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる					
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		○非該当	
●あり ○なし		2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる		○非該当	
●あり ○なし		2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					
サブカテゴリ-2					
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている					
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)		○非該当	
●あり ○なし		2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					

評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点(B)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

カテゴリ-2の講評

遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます

区の例規集やマニュアル、保育所保育指針等の書籍を事務所に常備し、職員が公務員倫理や服務規律、関係法令の規定を確認できるようにしています。これら法・規範・倫理については、職員の入職時に研修が行われているほか、経験や職種に応じた各種研修の中で取り上げられています。保育指針の改定に関する研修が実務研修で実施されていることも確認できました。また、職員の綱紀の保持に関する通知等、本庁からの配布文書は、園内で回覧したり、打ち合わせで周知を行っています。

保育所体験を実施し、園の機能や専門性を地域に還元しています

地域の親子の保育所体験(ふれあい保育)や中学生の体験学習を受け入れたり、来園者からの相談にも都度対応するなど、園の機能や専門性を地域に還元しています。ふれあい保育は、今年度2件の受け入れ実績がありますが、園ではさらに、育児相談に力を入れるとともに、子育て情報誌の発行等にも取り組んでいきたいとしています。また、他の区立園職員にも参加を呼びかけ、「運動機能を高める保育」について園内研修を実施したり、地域子育てネットワークの主催する子ども祭りに園の保育士を派遣し、小麦粉粘土遊びの企画を担当したりしています。

小学校地域の子育てネットワークに参画しています

小学校地域の子どもに関わる施設・関係者(小・中学校の校長、PTA、保育園、児童館、幼稚園、民生委員、住民代表等)で組織された地域子育てネットワークに参画し、行政も交えた連絡会に参加するなど、地域の情報交換を行っています。毎年、ネットワークの主催する子ども祭りやウォークラリーの運営にも参加・協力しています。親の会とも、会場を提供したり、プレゼント(貸出文庫)をいただいたりと、良好な関係が築かれています。園では今後、地域の幼稚園や小学校との連携を強めていく必要があると考えています。

カテゴリ-3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリ-1

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリー3の講評

保護者一人ひとりの意向を把握し、解決を図っています

区の苦情調整委員制度があり、入口付近の所定の場所にポスターを掲示して保護者に周知するようにしています。しかし、利用者調査結果では、外部の苦情相談窓口について認識している保護者は3割未満となっており、周知方法の再検討が望まれます。把握した苦情や意見については、園長を中心に園全体で検討し、電話相談や個人面談で解決を図っています。ケースに応じて区の担当課に相談して対応しており、児童票の開示請求やかみつきに関する問い合わせに対応した事例も確認することができました。

保護者の意向を把握・集約し、サービス向上につなげています

夏祭りや「みんなで遊ぼう会」の後には感想アンケートを取っています。収集した結果は、園だよりの号外に掲載したり、園内に掲示したりして保護者に伝えているほか、各行事プロジェクトで検討し、次回や次年度の取り組みに反映させるようにしています。親子で一日体を動かして遊ぼうというコンセプトの「みんなで遊ぼう会」では、子どもの走る姿が見たいとの保護者の意向を受けて、年齢ごとの発達の様子を見せられるよう工夫したり、狭い園庭でもタッチリレーを取り入れたりするなど、サービスの向上につなげ、好評を得ているようです。

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワークの連絡協議会や区立保育園の園長会、外部研修等への参加により収集・把握しています。また、ふれあい保育での感想アンケートや、民生・児童委員との話し合い、区や他機関の広報等からも情報収集を行って、回覧や報告により職員に周知しています。地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行い、園長会等を通じて伝達されていますが、今後、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

カテゴリ-4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ-1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(B)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている	○非該当
○あり ●なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
[A+の取り組み] ○あり ●なし		
サブカテゴリー2		
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		評点(A)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
[A+の取り組み] ○あり ●なし		
カテゴリー4の講評		
<p>チャレンジプランを作成し、年度の重要課題に計画的に取り組んでいます</p> <p>区では中・長期計画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションプランなどを策定しており、必要に応じ随時見直しを行っています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。現場から改善を行う取り組みとして評価できますが、さらに達成度を確保するための指標の設定や複数年度に渡る取り組みの計画が期待されます。</p> <p>年度の行事計画や行事計画書を作成し、計画的に行事運営を行っています</p> <p>園では、年度の係・担当や確認事項を明確にした一覧表や、年度の保育行事を記載した「平成20年度行事計画」、年間の園外行事予定をまとめた「園外保育実施計画書」を作成しています。個々の行事についても、ねらいや実施内容、感想等を明確にした「行事計画書」を作成した上で取り組んでいます。これらは、係の担当やプロジェクトを中心に、打ち合わせや職員会議の中で検討を重ねて計画しており、実施後には「行事実施報告書」を作成して反省を職員間で共有化しています。園運営全体の計画や係・プロジェクトの活動計画の作成が期待されます。</p> <p>子どもの安全の確保・向上に計画的に取り組んでいます</p> <p>子どもの安全確保に関しては、区の危機管理マニュアルに基づき、定期的に安全点検を実施しているほか、災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練を計画的に行ったり、交通安全教育のため、企業の交通安全キャラバンを受け入れたりしています。地域の見回りをを行う安全パトロール隊や学校警備員との連絡・連携も密に行われています。事故が発生した場合は、その状況や原因、経過を「事故報告書」に記録し、全体に周知して改善策を話し合う、再発防止の仕組みも機能しています。現場でのひやりとした事例を日々収集し、予防対策につなげる取り組みが望まれます。</p>		

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金・昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

園に必要な人材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています

常勤職員は配置基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で面接採用していますが、園長には園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように努めています。クラス担任については、毎年度末、職員から希望をとり、経験や能力、全体のバランスを考慮して園長が決定しており、概ね職員の希望に沿った配置ができています。係やプロジェクトについては、各クラスから1名という制約はありますが、本人の希望を重視して決定しています。

個人用チャレンジプランを基に職員の質の向上に取り組んでいます

職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成してもらい、これを基に園長が半期ごとに個人面談を行う中で把握しています。研修は、勤務時間中の受講が保障されており、個人用チャレンジプランや各自の職種や経験年数に応じて受講を進めています。研修受講後は、個人の研修歴カードに実績を記録するとともに、研修の理解度や満足度、仕事にどのように活かすか等について研修報告書を作成し、園長が確認した上で区に提出しています。研修成果を共有するため、職員会議での研修報告の徹底に取り組んでいます。

就業状況を把握し、職員のやる気と働きがいの向上に取り組んでいます

就業状況に関しては、時間外労働は夜の職員会議や行事開催前に少し発生する程度であるほか、有給休暇も年平均15日程度取得できており、就業状況は比較的良好であると言えます。職員調査でも労働環境に対する不満等は特に挙げられていません。園長は、職員にやる気と働きがいを持ってもらえるよう、職員が実務研修に満遍なく参加できるようにしたり、チャレンジプランに設定した個々の目標の実現を応援・協力したりしています。時には、プロジェクトやリーダーに推薦して、その人の持ち味が発揮されるような環境を作ることに努めています。

カテゴリ-7

7 情報の保護・共有

サブカテゴリ-1

情報の保護・共有に取り組んでいる

評価項目1

事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ7の講評

園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットで管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使いやすく更新しています。児童票等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるファイリングキャビネットや引き出しに保管しています。電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を徹底しています。

区の個人情報保護条例に基づいて保護・共有しています

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。園では、個人情報の開示方法を保護者に伝えているほか、写真やビデオの撮影についても保護者から同意書面を得て意向を確認する等の配慮を行っています。個人情報の利用目的については、区の入園申込関係書類の一部記載は見られますが、園においても、園のしおりに具体的に明示するなどの取り組みが望まれます。

職員が個人情報保護を理解し、行動できるよう取り組んでいます

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、入職時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修の中で個人情報保護に関する研修も実施されています。園内では、何か問題があった場合には打ち合わせや職員会議等で職員に注意を喚起するようにしており、パート・アルバイトの職員にも中間ヒヤリング時に再確認を行っています。実習生やボランティアに対しては、オリエンテーション時に口頭で留意事項を説明していますが、配布文書に個人情報保護の内容も明記するなど、対応方法の再検討が望まれます。

カテゴリ-8	
8 カテゴリ-1～7に関する活動成果	
サブカテゴリ-1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」	<input type="radio"/> A+ <input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C
改善の成果	
<p>チャレンジプランを人材育成に活用しています</p> <p>・園長は、チャレンジプランに設定した職員個々の目標の実現に応援・協力し、個人のやる気や能力を引き出して、人材育成に活用しています。パソコンの苦手な職員がクラスだよりをパソコンで作成・発行できるようになった事例や、職員の持ち味が発揮されるように会議のリーダーに推薦し、都度アドバイスしながら会議運営を進めてきた事例がありました。</p> <p>区立保育園全体の取り組みとして、「保育の向上を目指すリーダー会議」を継続的に開催しました。園として選出した若手の情報リーダーが中心となって、保護者と情報共有を行うための工夫について検討を行いました。</p> <p>・新保育指針プロジェクトを中心に、指導計画の見直しと保育課程の作成について検討を進めています。</p>	
サブカテゴリ-2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」	<input checked="" type="radio"/> A+ <input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C
改善の成果	
<p>職員間で十分な意見交換ができるよう、職員会議の運営方法を改善しました</p> <p>・職員会議では、事前にレジュメやまとめの資料を作成・配布するようにしたほか、小グループでの話し合いを取り入れ、各グループ内で職員がそれぞれ司会や記録の担当を受け持ち、全員が意識を持って話し合いに参加できるようにするなど、十分な意見交換を行うための工夫・改善を行いました。</p>	
サブカテゴリ-3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」	<input checked="" type="radio"/> A+ <input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C
改善の成果	
<p>保護者と保育情報を共有するため、保育日誌等の改良・工夫を行いました</p> <p>・保護者と保育情報を共有するため、保護者が読みやすく分かりやすいように、幼児クラスの保育日誌にはタイトルをつけたり、月のねらいを入れるなどの改良・工夫を行いました。また、クラスだよりも月のねらいを入れ、何を大切にしているかが分かるようにしました。</p>	

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+ A B C

改善の成果

行財政改革を着実に実行するとともに、省エネ活動を推進しています

・区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年度までに6割の事業を委託・民営化・協同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げています。この中で、区立保育園の事業委託等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」という3つが掲げられており、区の保育分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。
 ・区的环境マネジメント活動の一環として、省エネ活動を推進しており、毎月の電気、水道、ガスの使用量を把握するとともに、毎年度の実績の推移をグラフ化して園内に掲示しています。平成11年度を100%とすると、平成19年度の実績は、電気86.8%、水道97.7%、ガス109.4%となっており、平成18年度と比べると、ガスは幼児クラスにガス式冷暖房機を増設したために増加となっていますが、電気と水道は低下しており、経費削減効果は、31,649円と算定されています。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+ A B C

改善の成果

保護者の意向を把握・集約し、サービス向上につなげました

・夏祭りやみんなで遊ぼう会等の行事について、子ども達の行事実施に向けての準備や練習の様子を、間を置かずにタイムリーに、園だよりや掲示で保護者に伝えました。何回かに渡って取り上げ、一連の流れが分かるように工夫している様子がうかがえました。また、行事終了後には、アンケートで保護者の感想・意見を収集し、締切の2、3日後には結果を園だよりの号外等でお知らせしています。

サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

		共通評価項目	
		サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供		
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点(A)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
サブカテゴリ-1の講評			
<p>見学等は、個別の状況に応じて対応しています</p> <p>見学等については、次年度の入園申し込みに向けた見学をはじめ、ふれあい保育等、年間を通じて受け入れております。見学の際は、見学者の時間的な都合だけでなく、見学者の目的に応じた時間設定(園児の活動しているところを見たいのであれば午前中がよいです等)を提案するなど、「よりよい見学」につながるような配慮も行われています。</p> <p>園の情報は、さまざまな形で提供されています</p> <p>園の情報は、園で独自に作成されたリーフレットを配付しているほか、区のホームページ上でも提供されています。このホームページは、杉並区立園共通のフォーマットで作成されており、「所在地」「園の概要」「保育目標」「年間行事」などのほか、「園内の見取り図や写真」「地域向けのサービス」「園の特色」も掲載されており、園の様子が伝わりやすいよう工夫されています。</p>			

サブカテゴリ-2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2の講評

入園直後は子どもへの影響を考えた保育を保護者とともにすすめています

初めての園生活を迎える子どもたちにとっては、環境変化に伴う心身の負担が大きいことから、少人数の集団での保育や特定の保育士による保育など職員の人員配置を手厚くする体制で臨んでいます。また、保護者の方々にも、初日から数日は短時間保育を行う「なれ保育」にご協力いただいております。なお、これまでの保育経験(初日から1日預かるような保育をすると子どもによっては疲れからその後体調を崩し、結果何日も休むようになる事もある)等も交えながらお話しし、保護者の方々も納得し、ご協力いただけるように努めています。

早めに面談を行い、保護者の不安を解消するよう努めています。

1歳児クラスについては、早めに面談を行うとともに面談日には保育参加も行ってまいり、園でのお子さんの様子を確認していただいています。その後面談を行って、保育士から見たお子さんの様子をお伝えし、安心して園に預けていただけるよう支援を行っています。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

サブカテゴリー3の講評

保育に関する計画については、3段階で作成され、状況に応じて変更も行われます

保育に関する計画については、クラスごとに年間計画(年間カリキュラム)・月間計画(月案)・週間計画(週案)の大きく3段階の計画があり、それぞれの計画は、計画の終了時に反省を行い、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。この計画の作成の際には日々の子どもの状況を踏まえるほか、保護者からの要望についても考慮して作成され、計画途中の段階であっても必要に応じて、改定が行われることがあります。

子ども一人ひとりの記録は統一様式の「児童票」に記され、大事に管理されています

子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。この「児童票」は、杉並区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分けされています。また、次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、より子どもの成長について保護者とわかち合えるような内容とするべく検討が行われております。

子ども一人ひとりの状況は保育にあたる職員間で共有されています

各クラスでの情報共有は、主に各クラスを担当する正職員の間で行われており、クラスごとに定期的に行われるカリキュラム会議や月案・週案・日誌・連絡ノート等の書類を通じて共有されています。また、日々の情報共有については、毎日行われる昼のミーティングと打合せノートと用いて行われ、口頭と記録のセットで伝達することにより漏れが発生しないよう配慮されています。

サブカテゴリー5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
サブカテゴリー5の講評		
<p>子ども自身にも心身ともに一人ひとりを尊重する気持ちを育てています</p> <p>園では、オムツ換えは特定の先生が目隠しのある所定の位置で行うようにしており、また、トイレにおける配慮や着替えを行う際の着替えコーナーに対する配慮など、子どものプライバシーに配慮した取り組みを行っています。また、こうした取り組みを通じて子ども自身にも心身ともに一人ひとりを尊重する気持ちが育まれるよう、配慮しています。</p> <p>子どもとの接し方について、不適切なことが無い様、定期的に振りかえりを行っています</p> <p>園では、言葉遣い等に関してカリキュラム会議や職員会議において話し合いを行い、不適切な対応について議論し、改善してきました。現在は、園独自のマナーに関するチェックリストを作成しており、完成し次第、活用される予定となっています。なお、この成果は利用者調査において9割を超える保護者から「子どもは大切にされている」と、また、8割を超える保護者から「礼儀正しく丁寧に対応している」と肯定的に捉える回答となって現れていると考えられ、着実に成果に結びついている活動と評価できます。</p>		
サブカテゴリー6		
6	事業所業務の標準化	
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		
評価項目3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		
サブカテゴリ6の講評		
<p>園で定めた基本事項は保育園マニュアルとしてまとめられ全職員に活用されています</p> <p>園で定めた基本的なルールは、保育園マニュアルにとりまとめられており、各クラスに配付されています。このマニュアルはパート職員も活用できるものとして作成されており、パート職員も含めた全職員が1つのマニュアルを通じて、共通理解の下に保育が進められる素地を作るものとして、大変評価できます。</p> <p>マニュアルの内容は定期的に見直しが行われています</p> <p>マニュアルの内容は、年に1回、年間の反省の際に見直しの検討が行われるほか、問題が発生した都度、話し合いが行われ、必要に応じ、内容の見直しが行われています。見直しを行った際には、マニュアルへ最終確認日を入れるルールとなっているため、どのマニュアルがいつ検討され、見直しされたかが一目でわかるよう工夫されています。</p> <p>マニュアルは必要な場所に必要なものを配置しています</p> <p>クラスに配付されているマニュアルもありますが、日常よく確認等で使用するマニュアルについては、その確認する場所に必要部分のみ抜き出した形で貼り付け、無駄なく効率的に確認ができるよう工夫されています。この貼り付けについては、担当者がそれぞれ必要と思う場所に行っています。</p>		

サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	○非該当
	●あり ○なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	○非該当
	●あり ○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし	
評価項目1の講評			
<p>多様な保育活動に取り組んでいます</p> <p>園内活動としては、マンダラぬりえや年賀状製作などの制作活動のほか、わらべうたや体力の向上などにも貢献するリズム、さらに七夕等の伝統行事やおじいちゃんおばあちゃんと遊ぼう会といった異世代交流も行っております。また、園外活動では、日々活発に行われている(時として異年齢でも行われる)散歩活動をはじめ、芋ほりや遠足などイベント的なものも行われており、様々な経験をつむことができる多様なプログラムが用意されています。</p> <p>障害児の受入れ体制が整えられており、状況に応じた保育が展開されています</p> <p>障害児指定園であることから、施設的にも障害児保育用の「特別室」があり、また、障害の内容により補助者となる人員も配置されていることから、保育環境としては他園に比べ恵まれた状況といえます。また、専門家による定期的な巡回指導を受けることができ、子ども一人ひとりの状況に応じた対応方法を学ぶ機会も用意されており、これらを有効に活用した充実した保育が展開されています。</p>			

2	評価項目2 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		評点(A+)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input checked="" type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし			
作物の栽培活動や芋ほりなどの収穫活動、掘った芋を調理する活動など、栽培から調理に至る流れを食育としてとらえ、子どもたちの成長を促す活動と位置づけて展開されています。特に栽培活動については、2歳児より取り組んでおり、今年は、トマトやゴーヤを栽培し、収穫するなど小さいうちから土や野菜に触れる機会が設けられており、大変評価できます。			
評価項目2の講評			
食事がより一層楽しくなる環境整備を行っています 年に数回ある行事食の際には、ランチ皿を使用してパイキング形式での会食とするなど、特別な日には、食事のメニューだけではなく、環境設定も変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。また、普段の食事においても、テーブルに花を飾るなど、彩を大切に、落ち着いて食事ができるよう配慮するとともに、食事の量を予め調整したり、場合によっては食事を残してもよいこととするなど、「食事を楽しむ」ことに主眼が置かれた取り組みが行われています。			
個別に対応した食事を提供しています アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供されています。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳が行われるとともに、調理と保育の両者でクロスチェックをかけるなど、間違いが起こらないよう、様々な工夫が凝らされています。			
食事がしやすい環境を整えています 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、なるべく高さの合うイスやテーブルを用意するとともに、必要に応じて足マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい体制で食事ができるよう配慮されています。			
3	評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし			

評価項目3の講評

子どもの健康状態は、看護師が毎日把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況の確認、常駐の看護師が毎日各クラスを巡回しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の年1回の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申込書を用い対応しています。

保健だよりや園内の掲示により、情報提供を行っています

保健分野に関する保護者への情報提供は、月1回発行の保健だよりを通じて行っているほか、特に感染症に注意が必要な時期は、おたよりのほかに園内掲示をして注意を喚起するなど、予防対策に取り組んでいます。また、保護者からの相談にも応じており、担任を介しての相談のほか、連絡ノートを用いた相談や直接相談を受けるなど、様々な形で対応を行っています。

健康教育に取り組んでいます

月に1回以上の頻度で、年長児を中心として健康教育を実施しています。テーマは、「かぜ」や「ばいきん」といった病気に関するものから、4歳児から参加する「かんで食べる」などがあり、成長の度合いや季節なども考慮しながら何を行うか、決定しています。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点(A)

4

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし

評価項目4の講評

プロジェクトチームを組んで環境設定に取り組んでいます

園では、環境設定の改善に力を入れており、環境プロジェクトを中心として取り組まれています。室内については、園全体で取り組むような大掛かりな環境改善はひと段落している状態です。各クラスでは、乳児が落ち着いた環境の中でじっくりと活動を展開できるよう、小集団で活動する小さい環境の設定を行い、遊びを引き出している事例などもあり、現在の室内環境は保育の狙いに沿う環境設定が行いやすい素地ができあがった状態であるといえます。今後は、園庭の環境改善を行う予定となっており、その取り組み成果が期待されます。

子どもたちが楽しめる工夫をしています

園では、個別配慮を細かく行うことによって、子どもたちが楽しめる場を提供したいと考えており、誕生日については子ども一人ひとりの気持ちを大切に誕生日の日にお祝いを行うようにしています。

午睡については、個々の状態に合わせた配慮を行っています

午睡については、子どものリズムにできるだけあわせる配慮を行っています。乳児クラスについては、食事前に布団を敷き、食事が終わったらすぐに眠ることができる体制作りを行っているとともに、食事する場所や寝る場所を固定とし、落ち着いて休めるように配慮されています。また、幼児クラスについても、早く寝たい子、目が覚めてしまう子がそれぞれ快適に過ごせる場所を確保して対応しています。

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし	

評価項目5の講評

たよりや日誌、写真なども活用して、情報提供を行っています

保護者への園からの情報は、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健等の各種おたよりを発行しています。また、その日の出来事をお知らせしている日誌などもクラスごとのイーゼルを用いた掲示スペースに掲示されており、写真なども活用しながら、日々のクラスの様子が保護者に伝わるように工夫をしています。

保護者会や面談は他の行事とセットで行うよう設定しています

個人面談については、保育参観(参加)と組み合わせるようにして園での普段のお子さんの様子や成長を確認することができるようにしており、後半の保護者会については、保護者会後に子どもたちと劇や歌などを通じて交流する形としています。また、後半の保護者会をお休みしたときは、個別対応にも応じており、必ず年1回は参加できるように配慮されています。

6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
	●あり ○なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし	

評価項目6の講評

区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援に取り組んでいます

虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、『虐待防止マニュアル』の実践をはじめ、区の保育課、家庭支援センター、児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見時の対応などが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。

研修等に積極的に参加し、職員間の情報共有を図っています

区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の向上を図るとともに、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされるよう取り組みを行っています。継続的な園全体のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりが期待されます。

評価項目7

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(A)

7

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	○非該当
●あり ○なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目7の講評

地域の情報を保護者に提供しています

杉並区の子育て応援券に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域施設や機関から依頼があった場合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供をおこなっています。

夏祭りや運動会等の行事を通じて、地域との交流を図っています

職員以外との交流については、職場体験や実習生との交流のほか、園で開催される夏祭りや運動会の際には、多くの家族や卒園児、地域の方々の参加があり、交流を図るよいチャンスとなっている。

特に良いと思う点		
1	タイトル	入園直後は子どもへの影響を考えた保育を保護者とともにすすめています
	内容	初めての園生活を迎える子どもたちにとっては、環境変化に伴う心身の負担が大きいことから、少人数の集団での保育や特定の保育士による保育など職員の人員配置を手厚くする体制で臨んでいます。また、保護者にも、初日から数日は短時間保育を行う「なれ保育」にご協力いただいております。1歳児クラスについては、早めに面談を行うとともに面談日には保育参加も行ってもらい、園でのお子さんの様子を確認していただいています。その後面談を行って、保育士から見たお子さんの様子をお伝えし、安心して園に預けていただけるよう支援を行っています。
2	タイトル	プロジェクトチームを組んで環境設定に取り組んでいます
	内容	園では、環境設定の改善に力を入れており、環境プロジェクトを中心として取り組まれています。室内については、園全体で取り組むような大掛かりな環境改善はひと段落している状態です。各クラスでは、乳児が落ち着いている環境の中でじっくりと活動を展開できるよう、小集団で活動する小さい環境の設定を行い、遊びを引き出している事例などもあり、現在の室内環境は保育の狙いに沿った環境設定が行いやすい素地ができあがった状態であるといえます。今後は、園庭の環境改善を行う予定となっており、その取り組み成果が期待されます。
3	タイトル	チャレンジプランの仕組みが定着し、人材育成に活かされています
	内容	毎年度、園の重点目標と実行計画であるチャレンジプランを作成し、これに基づいて職員が個人用チャレンジプランを作成して、半期ごとに取り組む状況や成果の評価、見直しを行う仕組みが定着化しています。今年度は、「受けとめよう、手わたそう、気持ちと言葉のキャッチボール」を園のチャレンジプランの名称に掲げ、保育環境の見直しや保護者との情報の共有、互いに助け合う職場環境づくりに取り組みました。園長は、チャレンジプランに設定した職員の目標の実現を応援・協力し、個々のやる気や能力を引き出して、人材育成に積極的に活用しています。
さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	地域に向けた情報発信と地域との交流の充実が望まれます
	内容	現在のところ、園と地域との交流については、夏祭りや運動会の際に地域の方々を園を訪れるということが中心となっており、園の方から地域に出て行く活動については小学校訪問等にとどまっている。学校区や自治会の境界付近に立地している等、地理的に不利な部分はあるものの、公立保育園としては、地域に根ざした活動が求められていることから、地域との結びつきを強固にする様々な取り組みが今後展開されることに期待したい。
2	タイトル	園全体の目標実現に向けた取り組みと成果が見えるように
	内容	職員個々の目標実現を応援し、自主的な取り組みを促進している当園ですが、園全体での組織的な取り組みや成果がやや見えにくいように思われます。保育面でのクラス間の連携に力を入れているものの、利用者調査では、職員の対応のバラツキを指摘する意見も見られました。園のチャレンジプランと個人のチャレンジプランとの運動性を高めるとともに、園の目標の達成度をより具体的に確認できることが望まれます。現在、新保育指針の改定に伴い、保育課程も含めた計画の見直しを進めており、園の理念・方針の整理・再構築に期待したいと思えます。
3	タイトル	安全対策をさらに充実させ、保護者の不安感を払拭していくこと
	内容	子どもの安全確保に関しては、区の危機管理マニュアルに基づき、定期的に安全点検を実施しているほか、災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練を計画的に行っています。しかし、利用者調査では、園の安全対策に不安を感じる意見が複数寄せられていました。不審者対策に取り組んでいることを保護者に伝えていくとともに、散歩マップをリニューアルして危険箇所や留意事項を明確にしたり、現場でのひやりとした事例を日々収集し、予防対策につなげるなどの取り組みにも期待したいと思えます。また、オートロックの導入についても、今後の検討が望まれます。

高井戸東保育園

〔利用者調査：認可保育所〕

(事業所名：杉並区立高井戸東保育園)

調査対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯81世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

調査方法

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

利用者総数

81

共通評価項目による調査対象者数

81

共通評価項目による調査の有効回答者数

67

利用者総数に対する回答者割合(%)

82.7

利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の約9割を占める結果となりました(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が89.5%)。個別にみると、「職員の対応は丁寧」についてはすべて肯定的な意見で占められている他、「提供される食事への配慮」、「体調変化への対応」、「子どもは大切にされている」などについても肯定的回答が9割を超えており、園における基本的な生活について保護者は満足している様子がうかがえます。一方、「行事日程の設定」をはじめ「要望や不満の言いやすさ」、「要望や不満への対応」などについては肯定的な回答が比較的低い結果となっています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	65	2	0	0
食事やおやつへの満足度は非常に高く、栄養バランスを考えたメニューや子どもに合わせた調理方法など、肯定的な意見が寄せられており、否定的な意見は見られませんでした。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	59	5	2	1
肯定的な回答は約9割を占めており、保護者の大多数が満足している姿がうかがえます。ただし、自由意見においては、概ね満足とする意見が見られるほか、「昨年度より少なくなった」「園庭が狭い」などの否定的な意見もみられます。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	54	7	1	5
肯定的な回答は約8割を占め、満足する人が多い項目です。延長利用(スポット保育)が導入され、制度的に柔軟な対応が可能なことなどが満足度を高める要因となっていると予想されます。自由回答でも、柔軟な対応に満足するものが多くみられます。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	65	1	1	0
肯定的な回答は9割を大きく超えており、ほとんどの保護者が満足している項目です。園での活動が保護者に伝わり、よく理解されている状況がうかがえます。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	52	8	5	2
肯定的な回答は8割弱で、特に0～2歳児の保護者の満足率が2割近く低い結果となっています。自由意見では、人の出入りなど防犯面での不安を訴える意見が多くみられるとともに、子ども同士のけがに対する意見も複数寄せられています。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	45	13	8	1
肯定的な意見は7割を下回っており、特に0～2歳児の保護者の満足率が3歳以上の保護者の満足率の約半分という結果となっています。自由意見では、平日の行事を不満に感じるもの、さらに早い予定の周知を望むものなど様々な意見が寄せられています。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	58	8	1	0
肯定的な意見は8割を大きく超えています。自由回答では、相談のしやすさを評価するものが多数を占めていますが、タイミングが合わない、相談できる保育士が少ない、という意見も少数ながらみられます。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	59	6	1	1
肯定的な回答は約9割を占め、否定的な回答はほとんどありません。職員の姿勢については、安定した評価が得られていることがうかがえます。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	58	8	0	1
肯定的な意見は8割を大きく超えており、否定的な回答はみられません。“どちらともいえない”と回答する理由としては、「どのように守っているかわからない」ということが主なものと考えられます。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	63	4	0	0
肯定的な回答は9割を大きく超え、大切にされていることに疑問をもつ声はみられません。とてもかわいがってもらい大切にしてもらっていると感じます、といった肯定的な意見が寄せられています。				

11. 職員の対応は丁寧か	67	0	0	0
すべて肯定的な回答で占められており、否定的な回答はありません。職員の丁寧さについては、安定した評価が得られていることがうかがえます。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	37	22	4	4
対応については、肯定的な回答は5割を超えた程度ですが、否定的な回答は少数です。自由意見では、不満は言いづらいといった意見の他、不満がないといった意見も寄せられています。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	43	16	2	6
対応については、肯定的な回答は6割を大きく超え、否定的な回答は少数です。自由意見は少ないですが、要望は受け付けているが具体的な対応が示されないとする意見も寄せられています。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	21	6	36	4
知らない人が多勢で、全体の5割強を占めており、ポスター等が園内や公共施設に掲示してあるにもかかわらず、関心を持って見られていない状況が結果となって現れています。				
15. [過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に] サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	13	1	0	0
1年以内に利用を開始した14人中13人が肯定的な回答をしています。否定的な回答はなく、自由意見もないため、園の説明に対してはおおむね満足している状況がうかがわれます。				

組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

共通評価項目	
カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定
サブカテゴリ1	
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	

評価項目3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし

カテゴリー1の講評

園の保育理念、保育基本方針、園目標を周知しています

保育の理念や保育ビジョン、保育基本方針「私たちは子どもの育ちを支えます / 保護者の子育てを支えます / 子どもと子育てにやさしい社会を作ります」や、園目標「心身ともに健康で元気に遊べる子ども」を作成し、体系的に整理した上で職員会議で全体に周知するとともに、玄関に掲示しています。園のしおりや区の園紹介のホームページには、園目標が掲載されています。保護者に対しては、入園説明会や年度初めの保護者会で園目標や各クラスの目標について説明を行っているほか、保育理念や保育基本方針については、園だよりに掲載して伝えています。

園長は、自らの方針、役割と責任を職員に伝えています

園長は、園の代表として、子どもの安全確保(受け入れ時と同じ状況で返すこと)、職員の管理(民意を反映すること)、保護者に対する説明責任、が自らの役割と責任であると考えています。職員会議において、これらの役割と責任について言及し、園の保育理念や基本方針を全体に周知するとともに「保育園と家庭と地域の中で、子どもを真ん中にして協力して子育てをする」という自らの方針も強く示しています。また、園長としての年間計画と半期ごとの反省を職員に公開することで、現在の園の課題の解決に自ら率先して取り組む意思を伝えています。

職員会議を中心に意思決定と周知を行っています

園会議の決定手順書が作成され、園の会議体(リーダー会議、職員会議、乳児打ち合わせ、幼児打ち合わせ、係・プロジェクト担当者会議)が明確になっています。重要な案件は、クラスごとの討議を経て、職員会議で全体に報告し、検討・決定しています。また、重要な意思決定についても、職員会議の場で全体に説明・周知しています。特に、年度末及び年度始めの職員会議では、一年間の園運営や保育の反省・総括と新年度の計画の確認を行っています。保護者に対しては、保護者会や園だより等を通じて、重要な案件に関する決定事項や経緯を伝えています。

カテゴリ-2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
サブカテゴリ-2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2
ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3
地域の関係機関との連携を図っている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-2の講評

遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます
 児童憲章が掲載された区の保育園のしおり、都や区の職員ハンドブック、処務規程を始めとした区の規則やマニュアル、新保育所保育指針等を事務所に常備し、公務員倫理や関係法令の規定がいつでも確認できるようになっています。これら法・規範・倫理については、職員の入職時に研修が行われているほか、経験や職種に応じた各種研修の中でも取り上げられています。また、職員の綱紀の保持に関する通知等、本庁からの配布文書は、園内で回覧したり、職員会議で周知しています。個人情報保護や職員の服務に関するプリント等の配布も行っています。

園の機能や専門性を活かし、地域福祉に役立つ取り組みを行っています
 園庭開放(毎週火～金曜)や身体計測(毎月第3水曜)、ふれあい保育(保育所体験)を実施し、園の子ども達の日常活動に地域の親子が参加できる機会を設けています。近隣の児童館や医院に園の概要や案内リーフレットを設置しているほか、区の子育て支援の広報誌やインターネットサイトに掲載してお知らせしています。このサイトには、園長によるリサイクルおもちゃや手作りおもちゃの紹介も掲載しています。また、児童館の地域向けイベントに職員を派遣し、子どもの発達について懇談を行うなど、園の機能や専門性を活かした取り組みを行っています。

小学校区を中心とした地域子育てネットワークに参画しています
 園は、児童館など小学校区を中心とした地域子育てネットワーク会議に積極的に参画しており、関係機関と情報交換を行いながら、地域の子どもに関する課題について話し合いを行っています。職員をネットワークの講習会に派遣しているほか、防犯や行事の開催についても協働体制がとられており、相談や連絡調整等もスムーズに展開することができています。

カテゴリ-3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリ-1

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ3の講評

保護者の苦情等を把握し、解決を図っています

苦情解決制度としては、区の苦情調整委員制度があり、毎月、入口付近の所定の場所にポスターを掲示して保護者に周知しています。しかし、利用者調査結果では、外部の苦情相談窓口についての認識度は3割程度となっており、周知方法の再検討が望まれます。日々の連絡帳で出されたクレームや意見については、保育検討委員会で都度話し合いを行っています。土曜日の受け入れ対応に関する苦情に対し、職員会議や園内研修で取り上げ、解決を図った事例を確認することができました。一言カードと意見箱を設置し、保護者が投書できる仕組みも導入しています。

アンケート等を活用して保護者の意向を集約・分析することが望まれます

保護者の意向は、連絡ノートや一言カード、保護者会等で把握し、リーダー会議やチャレンジプラン検討会、職員会議等で報告、検討して保護者に回答するようにしています。遠足に関する意見や園生活のビデオ撮影・上映の要望に対し、園だよりに改善策を掲載して保護者に回答している事例も確認できました。しかし、利用者全体から見た園のサービスの傾向や課題を集約・分析するためには必ずしも十分な仕組みとは言えません。行事ごとや年度始めに保護者アンケートを実施することも検討しているとのことなので、今後の取り組みに期待したいと思います。

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワーク会議や区立保育園の園長会等への参加、新聞・雑誌の保育や子育てに関する記事から収集・把握しています。新聞や保育雑誌等は園で購読していませんが、園長が個人的に記事を収集し、区からの通知などとともに職員に回覧を行っています。地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行い、園長会等を通じて伝達されていますが、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

カテゴリ-4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ-1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
◎あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ◎なし

サブカテゴリー2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
◎あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ◎なし

カテゴリー4の講評

チャレンジプランを作成し、年度の重要課題に計画的に取り組んでいます
 区では中・長期計画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションプランなどを策定しており、必要に応じ随時見直しを行っています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接遇向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。現場から改善を行う取り組みとして評価できますが、さらに園の複数年度に渡る取組みを方向付ける中期計画に発展していくことが期待されます。

五つ星推進プロジェクトを組織し、チャレンジプランの実行に取り組んでいます
 園では、区の意向や園の課題に沿って年度始めに五つ星推進プロジェクトチームを組み、園のチャレンジプランの推進に取り組んでいます。プロジェクトメンバーは、職員各層の意向が反映できるよう、クラスや経験年数を考慮して選出しています。プロジェクトでは、情報共有や環境整備、危機管理等、設定した目標について、さらに具体的な目標やスケジュール、責任の所在を明確にして活動を進め、毎月、チャレンジプラン検討会で活動状況の確認と見直しを行いながら、目標の達成に取り組んでいます。各種園行事も、プロジェクトを選出して実施しています。

子どもの安全確保に計画的に取り組んでいます
 子どもの安全確保に関しては、区の危機管理マニュアルを活用しているほか、園独自の防犯マニュアルや安全マニュアルを作成しています。災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練を計画的に実施するとともに、地域の見回りを行う安全パトロール隊や学校警備員との連絡・連携、保護者向けに危機管理情報の掲示も行っています。事故が発生した場合は、その経緯や内容を「事故報告書」に記録し、職員全体に周知して改善策を話し合う、再発防止の仕組みも機能しています。さらに、現場でのひやりとした事例を日々収集し、予防対策につなげる取り組みが望まれます。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

園に必要な人材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています

常勤職員は配置基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で面接採用していますが、園長には園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように努めています。クラス担任については、毎年度末、職員から異動希望のヒヤリングを行い、クラスのバランスや業務負担を考慮した上で園長が決定しており、概ね職員の希望に沿った配置ができています。係や担当についても、各職員の希望や家庭状況等を考慮して調整して決定しています。

個人用チャレンジプランを基に職員の質の向上に取り組んでいます

職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成(年度の目標を設定)してもらい、園長が個人面談を行う中で把握しています。研修については、個人用チャレンジプランや各自の経験年数・力量に応じて個人別の研修予定表を作成して受講を進めており、個人の研修歴カードに記録し、実績を把握・確認できるようにしています。研修受講後は、レポートを作成して研修成果を自己評価し、園長が確認した上で区に提出しているほか、職員会議で1人10～15分程度の研修報告を行い、研修成果を職員間で共有しています。

就業状況を把握し、職員のやる気と働きがいの向上に取り組んでいます

就業状況に関しては、個々にパソコンに入力した内容を園長が把握・確認しています。時間外労働は月平均4時間程度、有給休暇は1人年平均11日程度取得することができていますが、職員調査では、休暇が気持ちよく取れるようになったとの意見がある一方で、休憩が取りにくいという意見も一部見られました。園長は、チャレンジプランの面談では、職員にやりがいを持ってもらえるよう個々の目標を応援することに努めています。職員調査では、「働きやすい、気持ち良い人間関係」や「職員間で自分の思いを述べられる良い環境」等の意見が上がっています。

カテゴリ-7		
7	情報の保護・共有	
サブカテゴリ-1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリー7の講評

園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットに管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使いやすく更新しています。児童票や保育日誌等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるキャビネットに保管し、園長が施錠管理しています。電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を徹底しています。

個人情報の取り扱いを園のしおりに明記しています

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。園の入園のしおりに園の個人情報の取り扱いに関する基本方針や写真等の取り扱い方法を明示し、入園説明会等で保護者に説明した上で、同意書の提出を求めています。園で取扱う個人情報の利用目的は、区の入園申込関係書類や園のしおりに一部記載が見られますが、さらに全般的な個人情報の利用目的についても明示することが期待されます。

職員が個人情報保護を理解し行動できるための取り組みを行っています

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、入職時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修の中で個人情報保護に関する研修も開催されています。実習生やボランティアに対しては、文書を配布して個人情報保護等の留意事項を伝えています。園内においても、職員が具体的に理解し行動できるよう、園独自のマニュアルを作成しているほか、個人情報保護に関する雑誌の記事等を職員に配布しています。パートやアルバイト職員に対する指導・教育の徹底が今後の課題となっています。

カテゴリ-8	
8 カテゴリ-1～7に関する活動成果	
サブカテゴリ-1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」	
<input checked="" type="radio"/> A+ <input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C	
改善の成果 園の理念やビジョン、基本方針を明示しました ・職員会議で園の理念、ビジョン、基本方針を職員に明示し、事務室内に掲示するとともに、園だよりに掲載して保護者にも周知しました。 ・区の五つ星運動によるチャレンジプランを実施し、職員間の情報共有、環境整備(園舎・園庭)、安心安全の保育園、危機管理意識の徹底、地域や保護者に向けた情報の提供や発信を目標に掲げ、プロジェクトチームを中心に職員全体で取り組み、成果を上げることができました。「みんなの掲示板」を作り、園の行事や日常の保育の姿を伝えるようにしたほか、各クラスにも掲示板を設置して情報を分けし、分かりやすく情報を提供することに取り組みました。また、電灯やミラーを設置するなど、安全を意識した環境整備を行ったり、保護者が園に投書するための一言カードと意見箱を設置し、保護者の意見や要望を把握し、取り入れることに努めました。	
サブカテゴリ-2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」	
<input checked="" type="radio"/> A+ <input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C	
改善の成果 チャレンジプラン検討会と保育向上検討会により、職員と組織の能力向上が図られました ・個人のチャレンジプラン作成に伴い、年2回の園長面接を実施したことにより、職員との意思疎通が図られ、職員の意識を把握することができています。また、任意の職員提案制度を導入し、個人の日常の保育の気付きを全体に活かすことに取り組みました。月1回、チャレンジプラン検討会を開催して、チャレンジプランに設定した目標や課題に対する活動を実施するとともに、全体で進捗を確認する機会を設けるなど、PDCAを意識しながら取り組みを進めました。また、月1回、保育向上検討会を開催し、委員を中心にケース検討や研修を実施したことにより、保育の向上が見られました。	
サブカテゴリ-3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」	
<input checked="" type="radio"/> A+ <input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C	
改善の成果 地域や保護者に向けた情報の提供や発信に取り組みました ・情報リーダーを中心に、地域や保護者に対する情報の提供や発信に取り組みました。「みんなの掲示板」を作り、園の行事や日常の保育の姿を写真等で素早く見やすく伝えるようにしたほか、各クラスにも掲示板を設置して情報を分けし、分かりやすく情報を提供することに取り組みました。また、入園案内の冊子を新たに作成しました。 ・食教育に取り組み、年長児を中心とした幼児がおにぎり作りやクッキー作りを行いました。 ・隣接する高齢者の娯楽施設との交流に計画的に取り組み、子どもと高齢者とのつながりが深まりました。	

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+ A B C

改善の成果

行財政改革を着実に実行するとともに、省エネ活動を推進しています

・区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年度までに6割の事業を委託・民営化・協同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げています。この中で、区立保育園の事業委託等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」という3つが掲げられており、区の保育分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。

・区の環境マネジメント活動の一環として、省エネ活動を推進しており、毎月の電気、水道、ガスの使用量を把握するとともに、毎年度の実績の推移をグラフ化して園内に掲示しています。また、使用後のペットボトルや紙コップをリサイクルした手作りおもちゃの制作に取り組んでいます。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+ A B C

改善の成果

一言カードと意見箱の仕組みを設置・導入しました

・チャレンジプラン検討会で検討して、保護者が園に投書するための一言カードと意見箱を導入・設置、保護者の意見や要望を把握し、取り入れることに努めました。保護者からの遠足に関する意見や園生活のビデオ撮影・上映の要望に対し、園だよりに改善策を掲載して保護者に回答するとともに、実行に移すなど、保護者の声が反映されるようになっていきます。

サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

共通評価項目	
サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている ○非該当
●あり ○なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している ○非該当
●あり ○なし	3. 保護者の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	
サブカテゴリ-1の講評	
園の情報をさまざまな形で発信しています 園の情報は、区役所で配付している保育園の概要資料のほか、区のホームページ上でも提供されています。このホームページは、杉並区立園共通のフォーマットで作成されており、「所在地」「園の概要」「保育目標」「年間行事」などのほか、「園内の見取り図や写真」「地域向けのサービス」「園の特色」も掲載されており、園の様子が伝わりやすいよう工夫されています。また、園においてもコンパクトに園の概要をまとめた「高井戸東保育園に遊びに来ませんか」を作成し、配付しています。 園で行われている様々な活動を見学・体験できるメニューを用意しています 園では、見学や保育相談、身体測定、園庭開放、ふれあい保育、各種行事(運動会、夏祭り)等、地域の子育て世代や入園希望者などに対して、一人ひとりのニーズにあわせた内容で園を見学・体験等行うことができる様々なメニューを用意しています。園では、これら見学者等の受け入れに際しては、体制を工夫するなどスムーズに行われるよう配慮されています。	

サブカテゴリ-2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2の講評

初めて保育園を利用する保護者も安心できる入園説明会を実施しています

保育園を利用することが初めての保護者の不安を軽減するため、入園説明会は保育開始前に行うよう日程を組んでいます。入園説明会では、園での基本的なルール、園生活に必要なもの、園での保育の様子等について、「高井戸東保育園のしおり」等を用いて丁寧に説明されています。利用者調査においても入園時の説明はわかりやすかったと支持する意見が9割を超えており、園の取り組みが保護者に指示されている様子がうかがえます。なお、園では次年度の説明会ではよりわかりやすい説明となるようPCを使った説明なども検討されています。

入園前の面接により、子どもや家庭の状況を把握しています

入園時に面接を行い、家庭での入園前の生活リズム、保護者の仕事の状況等を把握しています。また、食事面については栄養士が、健康面については看護師が、それぞれ対応し聞き取りや説明等を行うなどの配慮も行われています。面談結果については、区で統一された「児童票」及び「家庭連絡票」に記録するとともに、入園後の子どもの発達や保護者の意向などを時系列に記録し、保育の最重要書類として活用されています。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み]		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

サブカテゴリー3の講評

保育に関する計画については3段階で作成しています
 保育に関する計画については、クラスごとに年間カリキュラム・月間カリキュラム・週案の大きく3段階の計画があり、それぞれの計画は、計画の終了時に反省を行い、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。この計画の作成の際には日々の子どもの状況を踏まえるほか、保護者からの要望についても考慮して作成され、計画途中の段階であっても必要に応じて、改定が行われることがあります。なお、カリキュラムは園内に掲示すること等により、保護者に内容を伝えていきます。

子ども一人ひとりの記録は統一様式の「児童票」に記録しています
 子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。この「児童票」は、杉並区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分けされています。また、次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、より子どもの成長について保護者とわかち合えるような内容とするべく検討が行われております。

口頭と記録をセットにした情報の伝達や共有を行っています
 各クラスでの情報共有は月のカリキュラムや毎月のクラス会議を通じて行われているとともに、必要なケースでは職員会議を通じて全園で情報を共有しています。また、日々の情報共有については、毎日の朝の打ち合わせのほか朝夕ノートを通じて行われており、口頭と記録のセットで伝達することにより漏れが発生しないよう配慮されています。

サブカテゴリー5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み]		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		
サブカテゴリ-5の講評		
<p>プール実施時や排泄時等におけるプライバシーへの配慮を徹底しています 園では、プールでの活動を行う際は、水着になった際にバスタオルで巻くなど外からの視線をさえぎるなどの配慮を行うとともに、排泄時時においてもトイレを失敗してしまった際などは、目立たないところで着替えを行うなど、プライバシーに配慮した活動を行っています。なお、園で行っているこうした活動は、子どもたちの羞恥心を育むことにもつながっており評価できます。</p> <p>「子どもの権利マニュアル」を用いた振りかえりを実施しています 園では、職員の会議の場において、園独自に作成した「子どもの権利マニュアル」を取り上げることによって、日常の言動を振りかえる機会を設けています。また、パート・アルバイト等の職員に対しても年2回園長ミーティングを実施しており、この中で守秘義務に関することや子どものプライバシーの尊重についても指導しています。</p>		
サブカテゴリ-6		
6 事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリ6の講評

園でのルールはマニュアルを通じて明示されています

区では公立園共通の『危機管理マニュアル』の中で、緊急避難、防犯対策、園外活動の注意等基本的な対応についての手順をまとめており、園でもこの考え方を踏襲しています。また、マニュアルは必要に応じて見直しや新規追加等が行われており、マニュアルが生きた内容として活用できるよう、配慮されています。

業務改善につながる提案等を職員や保護者から収集しています

園では、園長をはじめとした経営層や区からの通知だけでなく、職員の気づきや保護者からの要望や提案も重要であると認識しており、職員からは「あなたの改善提案」を通じて、保護者からは「一言カード」を通じて、それぞれ提案等を受け付けています。この取り組みの成果は、今のところ「あなたの改善提案」が1件提出されたにとどまっておりますが、取り組み自体は非常に評価できるため、今後、さらに職員からも保護者からも意見を出しやすい方法について検討し、より多くの声を業務に反映できるよう改善していくことが期待されます。

安全性に配慮した支援を可能とするためヒヤリハット事例の収集に取り組んでいます

園では、園庭に係る様々な活動について、ヒヤリハット事例を収集することに取り組んでいます。事例は、発生した都度書き込み、関係する職員全員で確認を行っており、事故を未然に防ぐことが取り組みとして評価できます。なお、このヒヤリハット事例については、今後、園庭以外の分野、例えば散歩等についても拡大、発展させ、園で行う多くの分野をカバーする取り組みとなることが期待されます。

サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	○非該当
	◎あり ○なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	○非該当
	◎あり ○なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	○非該当
◎あり ○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当	
【A+の取り組み】		○あり ●なし	
評価項目1の講評			
<p>自然に恵まれた環境を活かし、戸外での活動を重視した保育が展開されています 園周辺の恵まれた環境を活かし、戸外での活動を大事にして保育を展開しています。天気の良い日は0歳から戸外に出て散歩に親しむとともに、幼児クラスでは、柏の宮公園において3～5歳児合同でウォークラリー(異年齢混合のチームに設問が配られゴールを目指すもの)を行うなどイベントも取り入れており、年齢に応じて、様々な活動が行われるよう配慮されています。こうした取り組みは、利用者調査において約9割の保護者から戸外遊びが十分に行われているという評価されており、園の活動が支持されていることがうかがえます。</p> <p>外国語での読み聞かせなど、多様な取り組みを行っています 園では、豊かな心と身体をつくることを大切に考えており、前述の戸外での活動のほかリズム遊びなど音楽や身体を使った活動も取り入れているほか、豊かな心につながる活動として絵本に親しむ活動も保護者を巻き込んで行っています。園の絵本コーナーからの貸し出しを通じて家庭でも絵本に親しむことを進めているほか、外国人の保護者に協力していただき、それぞれの母国語での絵本の読み聞かせを行っていただく機会を予定しているなど、絵本という題材を使いながら、異なる文化を体験する機会につなげるなど幅の広い活動が展開されています。</p> <p>関係機関と連携しながら展開される障害児保育への取り組んでいます 障害や特別な配慮が必要な子どもを保育する際は、区の制度として定期的に専門家による巡回指導を受けることができる制度が用意されており、子ども一人ひとりの状況に応じた対応方法を保育士が専門家から直接学ぶことができる機会が保障されています。また、障害のある子どもに対しては、1対1での保育も取り入れ、お昼寝にも個別に対応するなど一人ひとりの障害の特性に応じた保育も展開されています。</p>			

2	評価項目2 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		評点(A+)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	○非該当
	●あり ○なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	○非該当	
【A+の取り組み】 ●あり ○なし			
園では、食育に積極的に取り組んでおり、計画を立てて狙いはっきりとさせた上で、3歳児クラスより様々な活動を展開しています。野菜(トマト・きゅうり・なす・ピーマン等)の栽培などは3歳児から取り組んでおり、年長児では、栽培～調理までの食事ができるまでの一連のサイクルを体験できるようにプログラムが組まれています。また、サツマイモの調理体験などは異年齢で取り組む(3～4歳児は洗い作業担当、5歳児はアルミホイル包みを担当)形をとっており、食育においてもクラスにとらわれない活動が展開されています。			
評価項目2の講評			
<p>食事がより一層楽しくなるような食事環境への配慮を行っています</p> <p>季節の行事の際には、異年齢で食事を行うこともあるなど、特別な日には食事のメニューだけではなく、環境設定やちょっとした見た目を変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。</p> <p>個別に対応した食事を提供しています</p> <p>アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども等特別の配慮が必要な場合などは、保護者や栄養士、保育士との間で打ち合わせを行って、個々の内容に応じた食事が個別に提供されるようになっていきます。また、配膳についても調理と保育の両方でクロスチェックをかけるなど、間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。</p> <p>食事がしやすい環境を整備しています</p> <p>食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラスでも子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。</p>			
3	評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	○非該当
	●あり ○なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし			

評価項目3の講評

子どもの健康状態をきめ細かく把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況の確認、常駐の看護師が毎日各クラスを巡回しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申請書を用いて対応しています。

感染症予防と感染症発生時の対応を効果的に行うための取り組んでいます

感染症予防に関しては、月1回発行の保健だよりを通じて感染症が発生しやすい時期に情報提供を行っているほか、園内掲示をして注意を喚起するなどの活動が行われています。また、感染症の発生時には、決められた場所に処置用のグッズを配置して、いざというときにきちんと対応できるよう備えています。なお、感染症が発生した際は、台紙の色を変えて注意喚起の掲示を行い、より人目を引くような工夫のもと、感染の拡大が起こらないよう取り組まれています。

子どもたちが自らの体や健康について学ぶ健康教育を取り入れています

園では、看護師が子どもたちに自らの体のことや健康について学ぶ「健康教育」を定期的実施しています。手洗いやうがい、歯磨きなどの日々の生活で実践してもらいたいことは、3歳児において学びます。説明の際は3歳児でも理解できるわかりやすさに配慮しており、模造紙にからだの絵を描きそれを使って説明するなど子どもたちの心に残るよう工夫されています。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着いた環境・空間になっている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目4の講評

子どもたちの満足を引き出す環境設定を心がけています

園では、年齢や集団の発達に度合いに合わせて環境設定を行うよう心がけており、乳児クラスでは、小集団でじっくりと遊びこめるコーナー設定を行う、幼児クラスでは、遊びこめるだけでなく、積み木遊び等で製作した「作品」を金曜日まではそのまま飾っておけるようにするなど、遊び終わった後も子どもたちが満足できるようなコーナー設定が行われています。また、おもちゃについても積み木などの想像性を育むもののほか、乳児クラスでは、布やペットボトルなどを使った手作りおもちゃを採用するなど年齢や発達に応じた適切なおもちゃが用意されています。

子どもたちが園生活を楽しめるよう行事や交流に取り組んでいます

行事については、七夕や節分などの季節の行事を取り入れているほか、柏の宮公園で行われるウォーキングラリー、抹茶をいただくお茶会のほか、近隣の保育園の子どもたちと一緒に人形劇などを鑑賞するミニシアター、発達センターの「たんぼぼ園」との交流や保護者や地域の住民も参加する運動会や夏祭りなど、子どもたちが行事や様々な人々との交流を通じて保育園の生活を楽しめるような工夫がされています。

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	[A+の取り組み] <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
評価項目5の講評			
<p>子どもたちの様子や園の活動をわかりやすく伝える取り組みが行われています</p> <p>保護者に対する園からの情報提供については、定期的かつ目的別に発行される、クラス・園・保健等の各種おたよりがあります。また、日々の保育の様子については、日誌の公開を通じて行うとともに写真も撮影し同時に公開することにより、園での子どもたちの様子をよりわかりやすく伝えることができています。また、子ども一人ひとりの様子については、朝夕の送迎時に保護者との会話の中で伝えるようにしていますが、朝夕の送迎時に保護者と担任が会えない場合は、連絡ノート作成し、このノートを通じて子どもの様子などを伝えています。</p> <p>行事等の日程へのさらなる配慮が望まれます</p> <p>行事日程の配慮に関する利用者調査の結果は、他の設問に比べ満足率が低い結果が出ており(67.2%)、特に0～2歳児の保護者からは、4割強(44.8%)の満足率しか獲得できていない状況です。運動会は土曜日に開催しており、園側でも保護者に対して配慮している姿がうかがえますが、自由意見をみると特に平日に開催される保護者会の日時の設定に不満が多く、また、父母ともにフルタイムで働いている方が8割を超えている状況を鑑みれば、保護者の意見にも耳を傾けながら保護者会の日程等について検討するなどの取り組みが期待されます。</p> <p>保護者との信頼関係を大切に考え、会話を大事にしています</p> <p>園では、保護者との信頼関係を構築することを大事に考えており、日頃の送り迎えの際の会話も、職員一人ひとりが丁寧にそして誠実に対応するよう心がけられています。こういった姿勢は、利用者調査において「家庭と保育園との信頼関係」「保護者の考えを聞く姿勢」「職員の対応は丁寧か」について肯定的な回答がいずれも8割を大きく超えており、日頃の職員の保護者に接する際の姿勢が受け入れられていることが利用者調査にも現れています。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
	[A+の取り組み] <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目6の講評

区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援に取り組んでいます

虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、『虐待防止マニュアル』の実践をはじめ、区の保育課、家庭支援センター、児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見時の対応などが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。

研修等に積極的に参加し、職員間の情報共有を図っています

該当するケースがない場合でも区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の向上を図るとともに、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされるよう取り組んでいます。継続的な園全体のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりが期待されます。

評価項目7

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(A)

7

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

[A+の取り組み] あり なし

評価項目7の講評

地域に関する情報の提供を行っています

杉並区の子育て応援券に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域の施設や機関から依頼があった場合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供をおこなっています。

豊かな経験をもたらす地域の人たちとの交流に取り組んでいます

地域との交流は、実習生などの学生の受け入れのほか、園庭開放やふれあい保育に参加する親子との交流、近隣の保育園の子どもたちと一緒に人形劇などを鑑賞するミニシアター、発達センターの「たんぼぼ園」との交流や保護者や地域の住民も参加する運動会や夏祭りなど、様々な交流が意欲的に行われています。今後は一つのひとつの交流について多くの方に参加していただけるようより深く取り組んでいくとともに、より様々な人たちとの交流(世代間交流等)についても検討し、取り組まれることに期待します。

特に良いと思う点		
1	タイトル	子どもたちの様子や園の活動をわかりやすく伝える取り組みが行われています
	内容	保護者に対する情報提供については、従来から行われている園だより等のほか、日誌の公開及び写真の公開を行うことによって、園での日々の子どもの様子や活動をよりわかりやすく伝えることができています。また、日頃の保育の様子はビデオカメラにも収められ、保護者会においてこの収録内容は披露されており、保護者からも好評を得ています。これら昼間の保育の様子をわかりやすく保護者に伝えることは、子どもの成長を実感できるとともに園に対する信頼の獲得にも一役買っていることが予想されます。今後も同様に取り組まれることが期待されます。
2	タイトル	チャレンジプランの目標達成に向けて着実に取り組みました
	内容	五つ星推進プロジェクトを中心に、園の重点目標と実行計画であるチャレンジプランに取り組んでいます。職員間の情報共有や環境整備、安心安全、危機管理意識の徹底、地域や保護者に向けた情報の提供や発信を目標に掲げ、プロジェクトでさらに具体的な目標やスケジュール、責任の所在を明確にした上で、毎月のチャレンジプラン検討会で全体で活動状況を確認、半期ごとに評価・見直しを行っています。PDCAサイクルを意識した取り組みにより、職員個々の意欲と能力を活かし高めながら、各目標において着実に成果を上げてきた点は高く評価できます。
3	タイトル	計画的かつ積極的に食育に取り組んでいます
	内容	園では、食育に積極的に取り組んでおり、計画を立てて狙いをはっきりとさせた上で、様々な活動を展開しています。野菜(トマト・きゅうり等)の栽培などは3歳児から取り組んでおり、年長児では、栽培～調理までの食事ができるまでの一連のサイクルを体験できるようにプログラムが組まれています。また、サツマイモの調理体験は異年齢で取り組む(3～4歳児は洗い作業担当、5歳児はアルミホイル包みを担当)など他園ではあまり見られない取り組みにもチャレンジしています。職種を超えた職員の連携が食育を通じて図られている点も高く評価できます。
さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	定期的な意向調査等により、保護者の意向を集約・分析していくことが望めます
	内容	保護者の意向は、連絡ノートや保護者会で把握して個々に対応しているほか、新たに一言カードと意見箱の仕組みも導入し、保護者からの意見や要望に対する改善策を園だよりに掲載して保護者に回答を行っています。しかし、保護者から見た園のサービスの傾向や課題を集約・分析するという点では、必ずしも十分な仕組みとは言えず、保護者全世帯を対象にした意向調査を定期的実施するなどの取り組みが望めます。行事ごとや年度始めに保護者アンケートを実施することも検討しているとのことなので、今後の取り組みに期待したいと思います。
2	タイトル	行事等の日程へのさらなる配慮が望めます
	内容	行事日程の配慮に関する利用者調査の結果は、他の設問に比べ満足率が低い結果が出ており(67.2%)、特に0～2歳児の保護者からは、4割強(44.8%)の満足率が獲得できていない状況です。運動会は土曜日に開催しており、園側でも保護者に対して配慮している姿がうかがえますが、自由意見をみると特に平日に開催される保護者会の日時設定に不満が多く、また、父母ともにフルタイムで働いている方が8割を超えている状況を鑑みれば、保護者の意見にも耳を傾けながら保護者会の日程等について検討するなどの取り組みが期待されます。
3	タイトル	地域子育て支援のさらなる充実が期待されます
	内容	園では、園庭開放(毎週火～金曜)や身体計測(毎月第3水曜)、ふれあい保育(保育所体験)を実施し、園の子ども達の日常活動に地域の親子が参加できる機会を設けています。これらの催しは、区の子育て支援の広報誌やインターネットサイトに掲載しているほか、近隣の児童館や医院に園の概要や案内リーフレットを設置してお知らせしています。さらに、園を訪れた地域の親子から意見や感想を聞いて地域のニーズを掘り起こすとともに、子育て支援の情報誌を発行したり、育児相談を充実させるなどの取り組みが期待されます。

松ノ木保育園

〔利用者調査：認可保育所〕

(事業所名：杉並区立松ノ木保育園)

調査対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯74世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

調査方法

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

利用者総数

74

共通評価項目による調査対象者数

74

共通評価項目による調査の有効回答者数

52

利用者総数に対する回答者割合(%)

70.3

利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の約8割を占める結果となっています(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が78.8%)。個別にみると、「急な変更への柔軟な対応」、「体調変化への対応」、「家庭と保育園との信頼関係」、「職員は礼儀正しく丁寧」の4項目について、肯定的回答が8割を超えており、園における基本的な生活について保護者はおおむね満足している様子が見えます。一方、「安全対策が十分とられている」をはじめ「要望や不満の言いやすさ」、「要望や不満などへの対応」などについては肯定的な回答が5割に届かず、低い結果となりました。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	40	9	2	1
肯定的な回答は3/4を占めているとともに否定的な回答がほとんどみられない結果となっており、大きな不満はなく安定的な評価を受けている項目といえます。自由回答については、食事の量に対する不満とする意見がみられるものの、アレルギー対応に対する感謝の意見や家で食べないものも食べるようになったなど肯定的に評価する意見が多くみられます。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	38	9	4	1
肯定的な回答は3/4を占めています。年齢別では、1～2歳児の保護者の方が3歳児以上の保護者よりも肯定的な割合が2割以上高い傾向が見られます。自由回答では異年齢での活動や公園へのお散歩など肯定的に捉える意見がある一方で、もっと散歩や泥遊びを行って欲しい、とする意見も見られます。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	42	3	1	6
肯定的な回答は8割強ですが、無回答の比率が高いとともに否定的な回答がほとんどなく、また、自由意見において、「変更したことがないのわからない」との意見も見られることから、利用したことがなく答えられない保護者も相当数いたと推測されます。自由意見では、柔軟に対応しており感謝しているとする意見が多数を占めています。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	43	7	0	2
肯定的な回答は8割を超えており、否定的な回答もなく、満足する人が多く保護者から評価されている項目です。自由意見では十分に対応してくれているという意見と先生からけがについての説明がないなどの意見の両者が寄せられています。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	22	24	5	1
肯定的な回答は約4割にとどまり、他の設問に比べ満足度が低い項目です。自由回答では、門の鍵、外階段に対する関することなど様々な意見が寄せられています。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	35	11	5	1
肯定的な意見は約2/3を占めています。自由意見では、行事は土曜日開催がよい、土曜日ははずしてほしい、運動会は近隣の園と調整してほしい、十分に調整してもらっている等様々な意見が寄せられています。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	43	9	0	0
肯定的な意見は8割を超えたとともに否定的な意見は寄せられておらず、他の設問に比べ満足度が高い項目です。年齢別では、1～2歳児の保護者よりも3歳児以上の保護者の方が肯定的な割合が約3割ほど高い傾向が見られます。自由意見は、「相談にのってもらっている」「連絡帳が楽しみ」と肯定的な意見が寄せられている一方、先生によるとの意見も複数寄せられています。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	41	10	0	1
肯定的な意見は約8割を占めるとともに否定的な意見は寄せられていません。年齢別では、1～2歳児の保護者よりも3歳児以上の保護者の方が肯定的な割合が約2割ほど高い傾向が見られます。自由意見は、と肯定的な意見が寄せられている一方、先生によるとの意見も複数寄せられています。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	39	5	1	7
肯定的な回答は3/4を占め、無回答が一定割合あるとともに否定的な回答がほとんどみられない結果となっています。無回答が一定割合いるということは、園で行っている活動がよくわからないとも取れることから、より一層の周知が望まれます。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	41	8	1	2
肯定的な回答は約8割を占め、大切にされていることに疑問をもつ声もほとんどみられません。子どもが大切にされていることについては、安定した評価が得られていることがうかがえます。				

11. 職員の対応は丁寧か	44	8	0	0
肯定的な回答は8割を大きく超えるとともに、否定的な回答は寄せられておらず、職員の礼儀正しさと丁寧さは概ね認められている様子が見えます。なお、自由意見では、先生によって対応が異なるという意見が複数寄せられています。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	24	22	5	1
肯定的な回答は5割にとどいておらず、他の設問に比べ満足度が低い項目です。本設問は、言いやすいかいいづらいかを一律で設問のため、寄せられた意見の中には「要望、不満を持ったことがないのでわからない」等の意見も見られ、答えづらい設問であったことがうかがえます。また、「預かってもらっているのはいえぬ」とする意見も複数寄せられています。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	25	18	2	7
肯定的な回答は5割にとどいておらず、前問に引き続き満足度が低い項目です。本設問も、きちんと対応しているかを一律で設問のため、答えづらい設問であるといえますが、否定的な回答はほとんど見られず、無回答の割合も高いことから、数字ほど満足度が低いことはないと思われれます。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	11	4	35	2
否定的な回答(知らない)が約7割を占め、全設問中最も否定的な回答が高く、肯定的な回答が低い項目となりました。園全体との満足率との相関が薄いことを考慮すると、保護者にとって関心が薄い項目であるとも考えられます。				
15. [過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に] サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	11	5	0	0
1年以内に利用を開始した16人中11人が肯定的な回答をしており、否定的な回答はありません。自由意見では、「わかりやすくとてもよかった」との意見も寄せられており、全般として保護者が満足している様子が見えます。				

組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

共通評価項目	
カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定
サブカテゴリ1	
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	

評価項目3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリー1の講評

園の目指しているもの(保育目標等)は周知されています

保育目標「健康な身体の子ども」「情緒豊かな子ども」「意欲的に遊べる子ども」「自分で考えて行動できる子ども」は、区の保育園紹介のホームページや入園時に保護者に配付される「まつのきほいくえんのしおり」などに掲載しているほか、園内への掲示などを通じて、職員や保護者がいつでも確認できるようになっています。また、経営層である園長及び主査は本年度赴任したばかりであることや区の公立園全体で区立保育園全体の保育ビジョンについて検討していることを踏まえ、来年度、園の保育目標についても再検討することが期待されます。

園長は、「保護者と一緒に子育てできる」職員であって欲しいと考えています

園長は、子どもと保護者に寄り添いながら「保護者と一緒に子育てできる」職員になってほしいと考えています。そのためには、職員一人ひとりが、組織としてのねらいを踏まえた自らの役割を果たすとともに、現在のような多様なスタッフが協力しあい、保育のチームワークがよい状態を維持することが自らの役割と責任であると考えています。この成果は、職員自己評価において「職員間で意見交換ができて」「職員の雰囲気が良い」との意見が多数寄せられていることから着実にあらわれているといえます。

職員会議を中心に意思決定と周知を行っています

園の重要な案件については、職員会議で検討して決定するとともに重要な意思決定の説明・周知についても職員会議で行っています。しかしながら、職員会議は、職員の参加が代表者による参加になるため、クラスに持ち帰っての口頭による伝え合いのほか、会議レジュメを工夫して作成し、全職員に会議の内容が伝わりやすいよう取り組まれています。また、保護者に対しては、園だよりや事務所だより等を通じて、重要な案件に関する決定事項や経緯を伝えるよう心がけられています。

2			カテゴリ-2		
経営における社会的責任					
サブカテゴリ-1					
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる					
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		○非該当	
●あり ○なし		2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる		○非該当	
●あり ○なし		2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					
サブカテゴリ-2					
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている					
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)		○非該当	
●あり ○なし		2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					

評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
カテゴリ-2の講評		
<p>遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます</p> <p>児童憲章が掲載された区の保育園のしおり、処務規程を始めとした区の規則やマニュアル等が事務所に常備され、公務員倫理や関係法令の規定がいつでも確認できるようになっています。これら法・規範・倫理については、職員採用時に行われる研修の場で学ぶほか、経験や職種に応じた各種研修の中でも取り上げられています。また、職員の綱紀の保持に関する通知等、本庁からの配布文書は、園内で回覧したり、職員会議等で周知を行っています。</p> <p>園の機能や専門性を活かし、地域の子育てを支援する取り組みを行っています</p> <p>園では「地域との交流」を図ることを大切に考えており、ふれあい保育や園庭開放、身体測定を定期的に行うとともに、来園した地域の親子の育児相談にも積極的に応じるなど、育児の専門機関として地域の親子をサポートする活動が展開されています。また、地域子育てネットワークに参画し、こどもフェスティバルの乳幼児コーナーを担当するなど、地域の関係機関とも連携して子育ての支援を行っています。園長は、今後も地域に向けての情報発信の強化や児童館との連携強化を行い、地域に向けた取り組みを充実させていきたいと考えています。</p> <p>ボランティアなどを積極的に受け入れています</p> <p>園では、中学生の職場体験や大学・短大等からのボランティアを積極的に受け入れています。これらボランティアを受け入れ前には、学校・本人の希望やねらいを会議等で確認し、より効果的な受け入れについて検討を行っています。また、実際に受け入れる際も、園で作成した事業マニュアルに定められた受け入れ手順に基づき行われており、オリエンテーションを通じて留意事項などの説明を行い、園での基本的なルールなどをもれなく伝えています。</p>		

カテゴリ-3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリ-1

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ3の講評

園に寄せられた苦情や要望は、園全体で検討・情報共有した上で解決を図っています

苦情解決制度としては、区の苦情調整委員制度があり、毎月、所定の場所にポスターを掲示して保護者に周知しています。しかし、利用者調査では、外部の苦情相談窓口についての認識度は2割強にとどまっており、周知方法の再検討が望まれます。また、保護者会や個人面談、日々の保護者とのコミュニケーションで出た苦情や要望については、園全体で情報共有し、検討するとともに、結論についても内容に応じて園長が対応するなど、苦情や要望に応じた適切な対応がなされています。

保護者ニーズを把握する取り組みのより一層の充実を目指しています

園では、保護者と一緒に子育てを共有することを大切に考えておりますが、この実現のために、現在、行事後にアンケートを行うとともに、アンケート結果については必ず保護者に報告し、保護者のニーズ把握と保護者との信頼関係構築につなげています。利用者調査では、「要望や不満のいいやすさ」など保護者とのコミュニケーションに関する項目はあまり良い評価を受けていませんが、園としては、今後、要望箱の設置や父母会との交流強化などを通じて、保護者ニーズを把握するための取り組みを充実させていくことを考えており、今後の活動が期待されます。

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワーク連絡会や行政連絡会、区立保育園の園長会、保育部会等に参加することで、収集・把握しています。区からの通知のほか新聞や雑誌などからも情報を集め、職員間で回覧を行っています。地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行い、園長会等を通じて伝達されていますが、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

カテゴリ-4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ-1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点(A)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点(A)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(B)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている	○非該当
○あり ●なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリー2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリー4の講評

チャレンジプランを作成し、年度の重要課題に計画的に取り組んでいます

区では中・長期計画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションプランなどを策定しており、必要に応じ随時見直しを行っています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接遇向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。ただし、取り組み成果を判断する指標の設定に改善の余地が見られます。今後はわかりやすい指標の設定のための検討が期待されます。

災害等から子どもを守る各種訓練を計画的に行っています

災害等が発生した場合に子どもを守るための取り組みについては、区の危機管理マニュアルを活用しているほか、災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練が年間を通じて計画的に実施されています。特に毎月実施している避難訓練については、併設している児童館と合同で行うなど、より現実的、実践的な訓練にも取り組んでおり、いざというときに確実に対応できるよう備えられています。また、近隣の住民との付き合いを深めていくことで「地域の見守り」が自然に行ってもらえるようにも取り組んでいます。

子どもの安全確保に努めています

園では、子どもの安全確保に向けて、病気や事故の際に行った対応についてとりまとめた「病気事故一覧表」を作成したり、ヒヤリハット事例や子どものかみつきに関する話し合いを定例会議で話し合うなど、看護師が常駐しない体制の中で病気や事故に対して最善の行動が行えるよう、取り組まれています。こうした取り組みは、利用者調査で「病気やけがに対する対応」について8割を超える保護者から肯定的な回答が寄せられる結果にもつながっていると推測されますが、今後はヒヤリハット事例の効果的な記録方法についても検討していくことが望まれます。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金・昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

園に必要な人材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています

常勤職員は配置基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で面接採用していますが、園長には園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように努めています。

マイチャレンジプランを基に職員の質の向上に取り組んでいます

職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初にマイチャレンジプランを作成してもらい、園長が個人面談を行う中で把握しています。研修については、マイチャレンジプランや各自の経験年数・力量に応じて派遣を決めており、個人の研修歴カードに記録し、実績を把握・確認できるようにしています。研修受講後は、レポートを作成して研修成果を自己評価し、園長が確認した上で区に提出しているほか、研修報告の機会を設けたり、研修のレジュメについては、必要に応じてコピーして配付するなど、研修成果を職員間で共有できるよう取り組まれています。

園に関わる職員全体が「学び」に取り組めるよう改善が望まれます

各クラスでの打ち合わせなど、比較的少人数での打ち合わせの機会が多く設けられており、職員間での話し合いを通じて日頃の気づきや工夫などが自然に情報交換できるようになっています。しかしながら、こうした取り組みは主に正規職員間で行われていることであり、園に多数在籍しているパート職員まで含めた全園的な取り組みとはなっていません。園長は、今後、園に関わる職員すべてが今行っている保育の「ねらい」を再確認するとともにクラス担任とパート職員との情報共有の機会も設けたいと考えており、「学び」の機会の充実が期待されます。

カテゴリ-7		
7	情報の保護・共有	
サブカテゴリ-1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリ7の講評

園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットに管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使いやすく更新しています。児童票や保育日誌等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるキャビネットに保管しています。電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を徹底しています。

個人情報の利用・保護について、保護者の理解を得る取り組みが行われています

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。園で取扱う個人情報の利用目的については、区の入園申込関係書類の一部記載は見られるとともに、園においても、写真やビデオの撮影に関しては、書類を作成、配付して説明するなど、保護者の理解を得るための取り組みが行われています。

職員が個人情報保護を理解し行動するための取り組みを行っています

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、採用時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修の中で個人情報保護に関する研修も開催されています。実習生やボランティアに対しては、オリエンテーションの中で事業マニュアルに沿った個人情報保護等の留意事項を伝えています。

カテゴリ-8	
8	カテゴリ-1～7に関する活動成果
サブカテゴリ-1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」	○ A+ ● A ○ B ○ C
改善の成果	
<p>園長は園の取り組みをリードする役割を担って、行動しています</p> <p>・園長は今年度赴任したばかりですが、自らが園の改善活動の先頭に立ち、職員をリードしていく姿がうかがえました。具体的には、特に力を入れている環境設定の改善については、他園の環境設定の写真を用いて指導・助言することにより、自らが思い描くイメージを職員に判りやすく伝え、共有する等の活動が行われました。</p> <p>・また、会議の持ち方や位置づけ、職員の会議における発言のしやすさなどについても重要であると考え、会議の方法などについて改善を行うとともに、事業マニュアルを改訂し、会議の情報の充実に努めました。</p>	
サブカテゴリ-2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」	○ A+ ● A ○ B ○ C
改善の成果	
<p>職員が自主的な研修や勉強会に参加することが増えました</p> <p>・職員が作成する「マイチャレンジプラン」を効果的に実行するため、ヒアリングを行い、職員一人ひとりが具体的に何をするのか、より明確にすることで、職員が「学び」に対して積極的に考えられるサポートを行いました。</p> <p>・来年度より施行される新保育所保育指針に関する勉強会など、園で定められた研修だけでなく、自主的に行う研修や他園で行われる勉強会に積極的に参加することによって、職員能力の向上につながりました。特に、他の公立園で行われる勉強会の際は、施設見学も同時に行き、保育室の環境設定などを学ぶ機会ももっていることから、大変効果的な取り組みとして評価できます。</p>	
サブカテゴリ-3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」	● A+ ○ A ○ B ○ C
改善の成果	
<p>保護者に対する情報提供と食育の充実を図りました</p> <p>・保護者と保育情報を共有するため、日誌(A3に拡大した公開用のもの)の公開のほか、行事の様子などを写真入りで紹介するとともに、保育のねらいを明確に理解していただけるよう、閲覧用の指導計画(年間・月間)を作成し、公開するようにしました。</p> <p>・食育については、これまでは主に5歳児を対象として展開されていましたが、より低い年齢の子ども(3歳児～)も対象にした活動に発展させるとともに、調理活動についても、その機会を増やし、子どもたちがより「食」に対して関心が高まるよう取り組みました。</p> <p>具体的には、栄養に関しては3歳児から取り組むとともに、大豆から出来る食品(豆腐や納豆など)を実物を使ってその関係について説明する活動を行いました。また、調理活動は、4歳児から取り組み始めるとともに、ご飯をお米から炊く活動やおまんじゅう作りなどを取り入れ、従来から行われていた活動をより充実させました。</p>	

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+ A B C

改善の成果

行財政改革を着実に実行しています

・区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年度までに6割の事業を委託・民営化・協同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げています。この中で、区立保育園の事業委託等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」という3つが掲げられており、区の保育分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+ A B C

改善の成果

保護者の苦情や要望に対して組織全体で対応し、情報共有の徹底を図りました

・従来より保護者の苦情や要望を把握し、対応することは行われておりましたが、場合によって職員間での情報共有がうまくいかず対応にバラツキがみられることがありました。今年度は、職員会議などで行われる苦情や要望に対する検討や検討結果について組織全体で情報を共有することを徹底するとともに、特に組織としての統一的な見解が求められる場合には、園長自らが保護者会などで説明しており、組織としてブレがない対応ができるよう取り組みました。利用者調査でも「園長が変わってからよくなった」との意見も寄せられており、着実に成果が上がっていると思われます。しかし、大掛かりな改善についての要望等は園として把握していますが、区の関係機関との調整段階でとどまっている案件もあり、その点を不満に思う保護者の自由意見も寄せられています。また、全体で話し合う会議の時間についても、より多くの時間を割きたいとの園長の意向もあることから、今後の改善に向けた継続的な取り組みが期待されます。

サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

		共通評価項目	
		サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供		
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点(A)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
サブカテゴリ-1の講評			
<p>地域にも情報発信をしています</p> <p>園の情報は、区役所で配付している保育園の概要資料のほか、区のホームページ上でも提供されています。このホームページは、杉並区立園共通のフォーマットで作成されており、「所在地」「園の概要」「保育目標」「年間行事」などのほか、「園内の見取り図や写真」「地域向けのサービス」「園の特色」も掲載されており、園の様子が伝わりやすいよう工夫されています。また、今後、地域に向けて「園だより」を発行したいと園長は考えており、今後の地域に向けた情報発信の取り組みの更なる充実が期待されます。</p> <p>見学希望者に対しては、いつでも対応しています</p> <p>園の見学は、入園を希望する親子ともに、いつでも見学希望者を受け入れられる体制を整えています。入園希望者に対しては、園長・主査を中心に全職員で対応し、施設案内や園での生活体験などについて園紹介のプリントなども使いながら説明しています。また、ふれあい保育や身体測定なども定期的に受け入れており、来園者の状況や要望に合わせて、様々な形できめ細かく対応しています。</p>			

サブカテゴリ-2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2の講評

分かりやすくまとめた園のしおりを活用し、入園説明会を実施しています

入園前には、入園説明会を実施し、区の資料のほか、園独自の「まつのきほいくえんのしおり」を活用し、詳しく説明する機会を設けています。「まつのきほいくえんのしおり」には、園での生活や入園までに準備をするものなどについて、イラストや表でわかりやすく解説されているとともに、お散歩マップや近隣医療機関マップなど、保護者からの要望が高い情報についても掲載されています。「まつのきほいくえんのしおり」については次年度以降も保護者からの要望等を取り入れ改訂することとなり、さらなる充実が期待されます。

入園前の面接により、子どもや家庭の状況を把握しています

入園時に面接を行い、家庭での入園前の生活リズム、保護者の仕事の状況を把握しています。面談結果については、区で統一された「児童票」及び「家庭連絡票」に記録するとともに、入園後の児童の発達や保護者の意向などを時系列に記録し、保育の最重要書類として活用されています。

入園直後は子どもへの影響を考えた保育を保護者とともにすすめています

入園直後の子どもの不安やストレスを軽減するため、一人ひとりの子どもの状況や保護者の要望に応じて「なれ保育」を行うとともに、職員の人員配置を手厚くする体制で臨んでいます。特に乳児については、少人数での保育や保育士の担当制を導入するなど、子どもが園や保育士になれやすくする工夫を行っています。園では、保護者に対してもより安心していただけるような声かけなどにも工夫を行いたいと考えており、今後の活動が期待されます。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

サブカテゴリ3の講評

保育に関する計画については、3段階で作成され、状況に応じて変更も行われます

保育に関する計画については、クラスごとに年間指導計画・月案・週案の大きく3段階の計画があり、それぞれの計画は、計画の終了時に反省をおこない、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。なお、保護者に対しては、年間指導計画を保護者会等の場で伝えるとともに、閲覧用の年間指導計画や月案もファイルにて用意されており、保護者が保育のねらい等について理解する場も設けています。

子ども一人ひとりの記録は区統一様式の「児童票」に記され、大事に管理されています

子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。この「児童票」は、杉並区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分けされています。また、次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、より子どもの成長について保護者とわかち合えるような内容とするべく検討が行われています。

子ども一人ひとりの状況は職員間で共有されています

各クラスでは月案やクラス会議を通じて子ども一人ひとりの状況を把握しており、園全体では、職員会議を通じて各クラスの子どもの情報を共有しているほか、気になる子の保育について事例検証の形で話し合いながら、一人ひとりの現在の状況や保育方法について共有しています。また、日々の情報共有については、朝の打ち合わせのほか朝夕保育ノートを通じて行われており、口頭と記録のセットで伝達することにより漏れが発生しないよう配慮されています。今後は、パート職員を含めた情報共有についての取り組みが期待されます。

サブカテゴリ5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

サブカテゴリ5の講評

毎日の着替えなどで、子どものプライバシーに配慮しています

子どものプライバシーへの配慮については、オムツ替えをついたてを立てた視線が遮られる場所で行う、また、プールの際には、ネットを張り、外からの視線をさえぎるなど、の活動が行われています。子どものプライバシーへ配慮すると同時に羞恥心を育む配慮も行われています。

子どもとの接し方等について、振りかえりを行っています

園では、OJTによる職員の子どもに対する接し方の指導のほか、昼寝中の時間を利用してクラスでの話し合いを持ち、子どもに対して不適切な対応を行っていないか、職員間での伝え合いを行っています。この成果は利用者調査において約8割の保護者から「子どもは大切にされている」と肯定的に捉える回答となって現れていると考えられ、着実に成果に結びついている活動と評価できますが、園では、さらに毎日の勤務終了時に本日の自らの保育を振り返りながら記録する「5分間振り返りノート」を導入したいと考えています。今後の展開が期待されます。

サブカテゴリ6

6 事業所業務の標準化

評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリー6の講評

園の基本的なルールや各種対応方法をマニュアルにまとめています

園の基本的なルールや事件・事故等に対する対応方法などについては、区で作成した「危機管理マニュアル」や園独自で取りまとめた「事業マニュアル」にとりまとめられており、年間反省や半期反省などの際に保育の振り返りの際にも活用されています。この「事業マニュアル」については3年前に職員全員が参加して作成されたもので、実用度の高い内容に仕上がっていますが、毎年、内容の見直しも行われています。年々変化する子どもや保護者、そして職員体制を踏まえながら、最適な園運営が行えるよう繰り返し改訂を行っていることは評価できます。

日常及び会議での助言・指導、研修への参加を通じて、保育水準の向上を図っています

子どもや保護者との接し方や声かけ、日誌や指導計画の作成等、職員同士で気づいたことを伝えあう様にしている他、ベテラン保育士による助言、園長・主査による個別指導や会議での指導等が行われているとともに、マイチャレンジプランを通じて職員一人ひとりの課題なども把握しやすい仕組みが設けられており、職員を指導する体制の充実が図られています。また、各保育士の知識や技術の向上を図るために、区職員としての研修の他、保育士の専門研修、自主的な勉強会への参加等を通じて、保育水準の向上に取り組んでいます。

サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
評価項目1の講評			
<p>子どもの自主性・自発性を育む環境設定を行っています</p> <p>子どもの自主性や自発性を育むためには、発達の段階に応じたコーナー設定が重要であると考え、環境設定の充実に取り組んでいます。乳児クラスでは小集団での保育を行っていることから、コーナー設定についても小集団での活動を前提とした小さな環境設定を行い、天がいなども用いて落ち着いてじっくりと活動できる場を作り出しています。また、幼児クラスでは、積み木活動について継続的に行えるよう、また、完成した作品を飾っておけるよう積み木コーナーを設定しており、創作活動を意欲的に展開できる配慮がなされています。</p> <p>多様な表現活動が屋内外で展開されています</p> <p>屋内での活動としては、絵画などの創作活動や積み木を使った遊び、絵本活動、リズム遊びや民舞に取り組むなど、音楽や踊りなどの活動も行われています。また、屋外での活動では、園外に出る散歩活動のほか、野菜などの栽培活動、近隣の公立園3園との交流など、子どもたちがいつでも新鮮な気持ちに、そして、楽しい気持ちになれるように様々な取り組みが行われています。</p> <p>関係機関との連携により、障害がある子ども等の保育に取り組んでいます</p> <p>障害がある子ども等の保育については、担任保育士が中心となり、園の職員全体が連携して行っています。また、区としては、発達センターの専門家が巡回指導を行い、保育士が自分自身の子どもとの接し方を客観的に見るなど、現場の事例から学ぶ機会を用意しています。巡回指導に際しては、より多くの職員が参加し、指導方法を共有するなど、さらに充実した保育が展開されるよう改善する計画もあり、今後の活動が期待されます。</p>			

2	評価項目2 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		評点(A+)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input checked="" type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし			
園では、子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうために、食べ物をその働きで赤・黄・緑の三つの色に分けられることを学んでもらうなど栄養に関して理解を深める活動を行っています。また、食べ物を育て、収穫し、調理するという食事ができるまでの一連のプロセスを体験する取り組みも行われています。幼児クラスでは、野菜を栽培、収穫し、味わうとともに、調理活動としては、4歳児ではピクルス作りを、5歳児ではおにぎり作りやおまんじゅう作りを行うなど年齢に合わせた多彩な体験ができるプログラムを用意しています。			
評価項目2の講評			
食事がより一層楽しくなるような配慮を行っています 季節の行事の際には、行事食が提供されるほか、食事の方法も会食形式(3・4・5歳児が合同など)としたり、お弁当散歩のように散歩先で食事をするような機会ももっており、特別な日には食事のメニューだけではなく、環境設定を変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。また、普段の食事においても、テーブルクロスを使用したり、花をテーブルの上に飾るなど環境面での配慮もしています。			
食事がしやすい環境を整備しています 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、なるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットや台を使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。また、1歳児クラスでは職員が子ども一人ひとりにきめ細かく対応できるよう、少人数のグループが時間差を設けて食事する体制を取っています。この際は、パーティションで区切った食事コーナーを設け、遊んでいるグループとは場を分けるなど、食事をするグループが落ち着いて食べられるよう配慮されています。			
区で統一された献立により食事を提供し、アレルギー等は個別に対応しています 献立は区で統一のメニューとなっています。食事の際には、栄養士・調理士による食事量や子どもの嗜好など喫食状況のチェックとその結果に基づく反省が行われており、次回同メニューの際、味付けや刻み方等改善されるよう取り組まれています。また、アレルギーの配慮が必要な子どもについては、保護者と栄養士、担任の打ち合わせのもと、除去食等に対応するとともに、配膳に関しても個別トレーによる配膳や調理と保育の両方でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。			
3	評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし			

評価項目3の講評

子どもの健康状態をきめ細かく把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況の確認、1歳児クラスの昼寝時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申込書を用いて対応しています。

感染症予防と感染症発生時の対応を効果的に行っています

感染症予防に関しては、保健だよりを通じて情報提供を行っているほか、園内掲示をして注意を喚起するなどの活動が行われています。また、感染症の発生時には、決められた場所に処置用のグッズを配置して、いざというときにきちんと対応できるよう備えています。なお、感染症が発生した場合は、注意喚起の掲示を行って、感染の拡大が起こらないよう取り組まれています。

きめ細かいマニュアルを用いた対応等により園の活動が支持されています

園には常駐の看護師が配置されていませんが、保健衛生面での細かな対応について記された詳細なマニュアルを常備しており、保育士がこのマニュアルを元に日々の保健衛生面での対応を行っているほか、いざというときには近隣園の応援看護師や園医とも連携しながら対応を行っています。このような活動は、利用者調査において8割を超える保護者から「発熱やけがの際の対応」について肯定的な意見が寄せられており、保護者からも支持されている様子がうかがえます。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点(A)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生日会、季節の行事など)	○非該当
◎あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
◎あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ◎なし

評価項目4の講評

様々な交流や行事を通じて、子どもたちが楽しめる工夫をしています

他園との3園交流や地域の高齢者との交流、職場体験や小学生・短大生との交流など日常保育の中での様々な地域交流の取り組みが行われているとともに、七夕や節分などの伝統行事や運動会や夏まつりなどの保護者も参加する行事、おたのしみ会や焼いもなどの行事など、多様な行事を開催しており、子どもたちが保育園の生活を楽しめるような工夫がされています。また、お誕生会をクラスで個別に実施しているなど、一人ひとりの子どもが主役となれる様な工夫も行われています。

落ち着きのある環境づくりに取り組んでいます

園では、子どもたち一人ひとりが落ち着いて過ごすことができる環境設定を目指し、取り組んでいます。乳児クラスでは、小集団での保育を行っているため環境も小さく設定しているほか、クラスや園内の所々に手作りの装飾が施されるとともに、植物を配置するなどの取り組みが実践されており、優しさや温もりを大切にしたい子ども達が落ち着ける環境となるよう工夫されています。

一人ひとりのリズムに合わせ、安心して昼寝ができるよう配慮しています

昼寝は、疲れている子どもは先に寝かせる等、子ども一人ひとりの当日の体調に応じた対応が行われています。また、布団の位置は子ども一人ひとりの場所が決められており、「自分の場所」で安心して眠ることができるよう配慮されています。

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
[A+の取り組み] ○あり ●なし			
評価項目5の講評			
<p>園だよりなどを通じて園の活動を伝えています</p> <p>保護者に対する園からの情報提供については、毎月発行される園だよりやクラスだより、保健だより、食育だより、事務所だより等伝える情報の中身に応じて発行されるおたよりを通じて行われています。また、保護者会では給食の試食を行うなど舌を使った情報提供も行っています。</p> <p>日々の保育の様子がタイムリーに伝わるよう配慮しています</p> <p>日々の保育の様子については、乳児クラスでは、子どもたち一人ひとりに用意されている「連絡帳」を通じて行われており、保育士が一人ひとりの子どもの様子を毎日記録して、保護者に伝えています。また、幼児クラスでは、クラスごとに毎日更新される日誌を掲示することによって日々の様子を伝えています。この日誌については、読みやすさを考慮してA3版に拡大して掲示されるとともに、園で行事などがあった際は、その様子を写真を用いて伝えており、タイムリーに、そして、わかりやすく活動内容が伝わるよう配慮がなされています。</p> <p>行事などは保護者が参加してよかったと感じられるよう取り組まれています</p> <p>行事等については、保護者が参加してよかったと感じられるよう、そして、参加しやすいように配慮を行っています。運動会については、近隣の小学校の運動会日程についてもリサーチし、開催日が重ならないよう日程の設定を行っています。また、保護者会についても、乳児クラスでは保護者同士が交流する機会を、幼児クラスでは親子と一緒に遊ぶ機会や子どもたちの発表会に保護者が参加する形を、それぞれ保護者会とセットで設定しており、保護者がきてよかったと感じられるよう配慮しています。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
	●あり ○なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	[A+の取り組み] ○あり ●なし		

評価項目6の講評

区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援に取り組んでいます

虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、『虐待防止マニュアル』の実践をはじめ、区の保育課、家庭支援センター、児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見時の対応などが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。

研修等に参加することによって、職員能力の向上を図っています

該当する子どもがない場合であっても、区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の向上を図るとともに、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされるよう取り組まれています。継続的な園全体のスキルアップによって、様々なケースに対応できる体制づくりが期待されます。

評価項目7

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(A)

7

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ◎なし

評価項目7の講評

子育てに役立つ地域の情報を保護者に提供しています

杉並区の子育て応援券に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域の施設や機関から依頼があった場合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供を行っています。また、園が利用する散歩先についてコメントを一言添えて作成されている「お散歩マップ」や地域の医療機関を地図とともに一覧にまとめた「近隣医療機関マップ」など保護者からの要望が特に高い情報については、入園時に配付される「まつのきほいくえんのしおり」に掲載しており、情報の重要度に応じた情報提供が行われています。

地域の様々な人たちとの交流は子どもたちに豊かな経験をもたらしています

地域との交流は、中学生の職場体験や小学生・短大生などとの交流のほか、地域の方も参加できる運動会や焼きも会等の行事、ふれあい保育、園庭開放などを通じた地域の親子との交流、3園交流などの同世代との交流や高齢者との世代間交流など、様々な年代の方々ととの交流が意欲的に行われています。

特に良いと思う点		
1	タイトル	栄養士を中心として「食」に関する取り組みを行っています
	内容	園では、子どもたちに「食」に対する関心を高めるため、食育パネルを使った栄養教育を行うとともに、食べ物を育て、収穫し、調理するという食事ができるまでの一連のプロセスを体験する取り組みを行っています。幼児クラスでは、野菜を栽培、収穫し、味わうとともに、調理活動として4歳ではピクルス作り、5歳ではおまんじゅう作りを行うなど年齢に応じた多彩な体験ができるプログラムを用意しています。また、保護者に対しても保護者会で行われる試食会やレシビの公開、食育だよりの発行などを通じて「食」に対する関心を高める活動を行っています。
2	タイトル	子どもの自主性・自発性を育む環境設定を行っています
	内容	園では、子どもの自主性や自発性を育むためには、発達の段階に応じたコーナー設定が重要であると考え、環境設定の充実に取り組んでいます。乳児クラスでは小集団での保育を行っていることから、コーナー設定についても小集団での活動を前提とした小さな環境設定を行い、天がいなども用いて落ち着いてじっくりと活動できる場を作り出しています。また、幼児クラスでは、積み木活動について継続的に行えるよう、また、完成した作品を飾っておけるよう積み木コーナーを設定しており、創作活動を意欲的に展開できる配慮がなされています。
3	タイトル	日常及び会議での助言・指導、研修への参加を通じて、保育水準の向上を図っています
	内容	子どもや保護者との接し方や声かけ、日誌や指導計画の作成等、職員同士で気づいたことを伝えあう様になっている他、ベテラン保育士による助言、園長・主査による個別指導や会議での指導等が行われているとともに、マイチャレンジプラン等を通じて職員一人ひとりの課題なども把握しやすい仕組みが設けられており、職員を指導する体制の充実が図られています。また、各保育士の知識や技術の向上を図るために、区職員としての研修の他、保育士の専門研修、自主的な勉強会への参加等を通じて、保育水準の向上に取り組んでいます。
さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	保護者ニーズを把握する取り組みのより一層の充実が期待されます
	内容	園では、保護者と一緒に子育てを共有することを大切に考えており、行事後にアンケートが行われています、利用者調査では、「要望や不満のいいやすさ」など保護者とのコミュニケーションに関する項目はあまり良い評価を受けていません。園としては、今後、要望箱の設置や父母会との交流強化などを通じて、保護者ニーズを把握するための取り組みを充実させていくと考えていますが、特に父母会との交流の強化は、園には言いづらい不満を父母会を通じ間接的に得ることも期待できるなど効果が大きいと考えられるため、今後の活動が期待されます。
2	タイトル	子どもの安全確保に向けた記録方法の改善が望めます
	内容	子どもの安全確保に向けては、病気や事故の際に行った対応について「病気事故一覧表」としてとりまとめたり、ヒヤリハット事例や子どものかみつきに関する話し合いを会議で検討する形で取り組まれており、利用者調査で「病気やけがに対する対応」について8割を超える保護者から肯定的に捉えられる結果にもつながっていると推測されます。しかし、これらの検討結果は、口頭のみであったり会議録の中に埋もれているなどこれからも活用しやすい情報として記録されるには至っていません。情報活用を意識した効果的な記録方法についての検討が望めます。
3	タイトル	園の目指しているもの(保育目標等)の再検討が望めます
	内容	園の保育目標「健康な身体の子ども」、「情緒豊かな子ども」、「意欲的に遊べる子ども」、「自分で考えて行動できる子ども」については、様々な方法で、職員や保護者へ周知されています。しかし、現在、区立保育園全体が保育を通じて目指すものを「保育ビジョン」として定めるべく検討していること、また、新保育所保育指針が施行され、保育課程の導入や児童票の様式が変更されるなど、来年度は保育をめぐる環境が大きく変化する年となっています。この来年度の変化をよい機会と捉え、園が保育を通じて目指すものについても再検討することが望めます。

阿佐谷北保育園

〔利用者調査：認可保育所〕

(事業所名：杉並区立 阿佐谷北保育園)

調査対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯89世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

調査方法

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

利用者総数

89

共通評価項目による調査対象者数

89

共通評価項目による調査の有効回答者数

53

利用者総数に対する回答者割合(%)

59.6

利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の9割を超える結果となりました(総合的な評価で「どちらかといえは満足」以上の回答者の合計が92.4%)。個別にみると、「戸外遊びの機会」、「子どもは大切にされている」について肯定的な回答が約9割を占める他、「提供される食事への配慮」、「体調変化への対応」、「お子さんについて職員と相談できる」、「職員の聞く姿勢」についても肯定的回答が8割を超えており、園における基本的な生活について保護者は満足している様子がうかがえます。一方、「要望や不満の言いやすさ」をはじめ、「要望や不満に対する対応」などについては肯定的な回答が低い結果となっています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	45	5	3	0
肯定的な回答は8割を大きく超える結果となっており、安定的な評価を受けている項目といえます。自由回答については食事のメニューに関する要望が寄せられているほか、体調不良時に体調に合わせた調理をしてほしいといった意見もみられます。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	48	3	2	0
肯定的な回答は9割を超えるとともに否定的な回答もほとんどみられない結果となっており、大きな不満はなく安定的な評価を受けている項目といえます。しかし、自由回答では、肯定的な意見もある一方で、小数ですが、「もっと外で遊んでほしい」、「毎日公園にいけると良い」とする意見などもみられます。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	38	12	0	3
肯定的な回答は7割を超えており、否定的な回答は見られないとともに、未回答も若干見られます。自由意見においては、皇帝的ない意見のほか、延長保育が実施されていないことに対する意見が複数見られます。また、言いづらい雰囲気があるとする意見も見られます。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	46	6	0	1
肯定的な回答は8割を大きく超えているとともに否定的な回答もみられず、満足する人が多い項目です。自由意見では、「ささいなけががでもきちんと対応していただいています」等、肯定的な意見が寄せられているほか、保護者へ連絡をとるタイミングについては「早い」、「遅い」、「どの程度で連絡をとるのか統一されていない」など様々な意見が寄せられています。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	40	10	2	1
肯定的な回答は7割を大きく超えています。自由回答では、肯定的な意見のほか、防犯面での不安を指摘する意見が複数寄せられていますが、不明とする意見も寄せられています。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	42	10	0	1
肯定的な回答が約8割を占めているほか、否定的な回答はありません。自由意見は、平日に行われる行事(保護者会)を不満に感じるものが複数寄せられている状況です。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	47	5	1	0
肯定的な意見は9割に迫っており、他の設問に比べ満足度が高い項目です。自由意見では、「時間がない」「先生による」とする意見も見られますが、その他は肯定的な意見が占めており、自由意見からも保護者が満足している様子がうかがえます。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	43	6	2	2
肯定的な回答は8割を超えており、他の設問に比べ満足度が高い項目です。自由意見では、「話しやすい」とする肯定的な意見が寄せられている一方、「先生による」とする意見も複数見られます。また、「匿名で伝えられる場が無い」との意見も見られましたが、園には匿名で意見を投書することができる「意見箱」が設置されていることから、園の取り組みが保護者に十分に伝わっていない様子もうかがえます。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	39	8	2	4
肯定的な回答は全体で7割を超えていますが、年齢別に見ると、3歳児以上の保護者からは9割近い肯定的な回答をいただいている一方で、0～2歳児の保護者からは肯定的な回答が6割に届いていません。自由意見では、面接時に保護者の仕事内容を詳しく聞くことに対しての不満や正規職員とパート職員との対応の差を指摘する意見も寄せられています。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	49	4	0	0
肯定的な回答は9割を超えており、否定的な回答もみられない結果となっています。自由意見でも、「大切にされている」と肯定的に捉える意見で占められており、保護者が満足している様子がうかがえます。				

11. 職員の対応は丁寧か	42	9	2	0
肯定的な回答は8割に迫る結果となっています。自由意見では、敬語を使わないことに対する否定的な意見が多数寄せられるとともに先生によるとする意見も複数寄せられています。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	27	16	8	2
肯定的な回答は5割にとどまっており、他の設問に比べ満足度が非常に低い項目です。本設問は、言いやすいかいいづらいかを一律でき設問のため、寄せられた意見の中には「不満はない」等の意見も見られ、答えづらい設問であるともいえますが、一方で否定的な意見も1割を大きく超えているため、何らかの対応をとることが望まれます。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	34	13	2	4
肯定的な回答は7割を下回り、前問に引き続き満足度が低い項目です。本設問も、きちんと対応しているかを一律でき設問のため、答えづらい設問であるといえますが、何らかの対応をとることが望まれます。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	12	3	36	2
否定的な回答(知らない)が約7割を占め、全設問中最も否定的な回答が高く、肯定的な回答が低い項目となりました。園全体との満足率との相関が薄いことを考慮すると、保護者にとって関心が薄い項目であるとも考えられます。				
15. [過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に] サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	9	2	0	0
1年以内に利用を開始した11人中9人が肯定的な回答をしており、否定的な回答もありません。自由意見では、「細かいルールについては手探りの状態だった」との意見も寄せられておりますが、全般として保護者が満足している様子が見えます。				

組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

共通評価項目	
カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定
サブカテゴリ1	
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	

評価項目3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点(A)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ◎なし

カテゴリー1の講評

大事にしている「楽しく笑顔ですごせる子」、「自分らしい表現のできる子」の浸透

園では、杉並区の保育園(保育)の考え方を受け、園目標を定めるとともに、この園目標に沿って、保育目標を定めています。園の保育目標「楽しく笑顔ですごせる子」、「自分らしい表現のできる子」は、園作成した「ほいくえんのしおり」や区の園紹介のホームページに掲載され、事務所内にも掲示されています。また、保護者に対しては、入園説明会や年度初めの保護者会で「ほいくえんのしおり」を用いて保育目標等の説明を行っています。なお、「ほいくえんのしおり」については毎年度更新を行うとともに全保護者への配付を行っています。

職員会議を中心に意思決定と周知を行っています

園の重要な案件については、打ち合わせや職員会議で検討して決定しています。また、重要な意思決定についても、職員会議や打ち合わせの場で全体に説明・周知しています。園では、会議の時間や出席者には制約があり、各クラスでの報告や会議録の回覧で全体に周知しようとしていますが、ニュアンスが異なる場合などもあるため、確認の徹底が必要であると考えています。保護者に対しては、保護者会や園だより、クラスだよりを通じて、重要な案件に関する決定事項や経緯を伝えています。

カテゴリ-2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
サブカテゴリ-2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		
カテゴリ-2の講評		
<p>遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます</p> <p>児童憲章が掲載された区の保育園のしおり、都や区の職員ハンドブック、処務規程を始めとした区の規則やマニュアル、保育所保育指針等が事務所に常備され、公務員倫理や関係法令の規定がいつでも確認できるようになっています。これら法・規範・倫理については、職員の採用時に研修が行われているほか、経験や職種に応じた各種研修の中でも取り上げられています。また、職員の綱紀の保持に関する通知等、本庁からの配布文書は、園内で回覧したり、職員会議や打ち合わせで周知を行っています。</p> <p>園の機能や専門性を活かし、地域福祉に役立つ取り組みを行っています</p> <p>施設見学や学生の保育体験を積極的に受け入れているほか、毎月2回開催される「いっしょにあそぼ」、ふれあい保育、園庭開放などを通じ、地域の親子が参加できる機会を設けるなど、地域の子育て支援活動を行っています。しかしながら、「いっしょにあそぼ」は参加者が少ないことから、園においても宣伝方法や内容について再検討する必要があると認識しているため、より有効な取り組みとなるよう今後の改善が期待されます。</p> <p>積極的にボランティアを受け入れています</p> <p>園では区内で統一に行われているボランティアセンターを通じた受け入れも行っていますが、地域の団体等とのつながりを活かし、ボランティアセンターを通さない独自のボランティア受け入れについても積極的に行っています。本年度は、地域の弦楽合奏団を受け入れましたが、こうした専門技能を持った地域団体をボランティアとして受け入れる取り組みは、子どもにも豊かな経験をもたらす有意義な取り組みとして、大変評価できます。</p>		

カテゴリ-3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリ-1

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリー3の講評

保護者の苦情等を把握し、解決を図っています

苦情解決制度としては、区の苦情調整委員制度があり、毎月、入口付近の所定の場所にポスターを掲示して保護者に周知しています。しかし、利用者調査結果では、外部の苦情相談窓口についての認識度は3割程度となっており、周知方法の再検討が望まれます。また、保護者会や個人面談、行事後の感想文などで把握したクレームや要望については、都度話し合いを持ち、前向きに検討されています。

保護者の意向を把握・検討するとともにフィードバックを丁寧に行っています

保護者の意向については、保護者会や個人面談のほか、行事後に書いていただく感想文や父母会などを通じて把握し、職員会議等で報告、検討しています。検討結果については、「出来ること」「出来ないこと」をしっかりと分け、丁寧に保護者に回答するように心がけています。直近では、保護者から「子育て情報を園だよりに掲載してほしい」という要望を受けた事例がありますが、園だよりにてお勤めの本を紹介したり、園医さんに執筆していただいた医療に関する文章を掲載するなど、受け入れた要望に関しては全力で取り組む姿勢がみられます。

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワーク会議や区立保育園の園長会等への参加、新聞・雑誌の保育や子育てに関する記事から収集・把握しています。新聞や保育雑誌等は園で購読していませんが、園長が個人的に記事を収集し、区からの通知などとともに職員に回覧を行っています。地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行い、園長会等を通じて伝達されていますが、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

カテゴリ-4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ-1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-4の講評

チャレンジプランを作成し、年度の重要課題に計画的に取り組んでいます

区では中・長期計画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションプランなどを策定しており、必要に応じ随時見直しを行っています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接遇向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。園では、22年度までをにらんだ目標の設定等を意識して行っており、今後も継続的に取り組まれることが期待されます。

非常に高い意識で子どもの安全確保に取り組んでいます

子どもの安全確保に関しては、区の危機管理マニュアルや園独自の事業マニュアルを活用しているほか、災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練を計画的に実施するとともに、地域の見回りを行う安全パトロール隊や学校警備員との連絡・連携も行っています。事故が発生した場合は、その経緯や内容を「事故報告書」に記録し、職員全体に周知して改善策を話し合う、再発防止の仕組みも機能しています。さらに、現場でのひやりとした事例も日々収集し、予防対策につなげており、非常に高い意識で安全確保を行っている点は大変評価できます。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金・昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

園に必要な人材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています

常勤職員は配置基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で面接採用していますが、園長には園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように努めています。クラス担任については、毎年度末、職員から希望をとり、経験や能力、バランスを考慮して園長が決定しており、概ね職員の希望に沿った配置ができています。係分担についても、各職員から希望を出してもらい、クラスや業務負担が偏らないように調整して決定しています。

リーダーが活性化する研修等を通じて職員の質の向上や意欲の向上に取り組んでいます

職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成してもらい、これを基に園長が個人面談を行う中で把握しています。また、研修については、区で実施している実務研修などのほか、今年で3年目を迎える自主研修についてもリーダーを中心として力をいれて取り組んでいます。この自主研修の定期的な開催は、職員の学ぶ意欲のより一層の高まりをもたらし、この意欲の高まりがさらに広範な職員(アルバイトやパート職員、他園の保育士等)を巻き込んだ「勉強会」開催に発展しており、今後も継続的な取り組みが期待されます。

カテゴリ-7		
7	情報の保護・共有	
サブカテゴリ-1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(A)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(A)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

カテゴリー7の講評

園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットに管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使いやすく更新しています。児童票や保育日誌等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるキャビネットに保管し、園長が施錠管理しています。電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を徹底しています。

個人情報の取り扱いを園のしおりに明記しています

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。園で取扱う個人情報の利用目的は、区の入園申込関係書類に一部記載が見られますが、さらに全般的な個人情報の利用目的についても明示することが期待されます。

職員が個人情報保護を理解し行動できるための取り組みを行っています

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、職員採用時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修の中で個人情報保護に関する研修も開催されています。実習生やボランティアに対しては、文書を配布して個人情報保護等の留意事項を伝えています。

カテゴリ-8

8 カテゴリ-1～7に関する活動成果

サブカテゴリ-1

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」

A+ A B C

改善の成果

事故やけがの要望ためヒヤリハット事例の収集と活用に取り組んでいます

昨年度より試験的に導入していたヒヤリハット事例の収集と活用の取り組みを本年度から本格的に導入し、これまで行っていた事故の再発防止の取り組み(事故発生時の職員全体に周知して改善策を話し合う)とともに機能させることによって、子どもの安全確保に関する対策が充実させることが出来た点は、大変評価できます。

サブカテゴリ-2

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」

A+ A B C

改善の成果

係活動をより効果的に行うため、係り分担の再編成を行いました

これまで細かく分けていた係りを、「外環境」「内環境」「地域関係」「えんだより」等の大きな組織に再編成し、同時に各グループに責任を持たせるかたちに変更しました。成果としては、地域関係では、夏祭りの開催方法を父母会との共催(従来は父母会主催)に変更することが父母会との話し合いの場の増加につながり、職員と保護者との相互理解を深めることに寄与する結果を生むなど、効果が表れていることがうかがえます。

サブカテゴリ-3

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」

A+ A B C

改善の成果

情報の提供内容や表現方法を変更しました

毎月発行する園だよりについては、カラー刷りで発行するように変更するとともに、写真やイラストなどわかりやすい表現を用いて日々の保育の様子をお伝える、保護者の要望により追加したお勤めの本、園医さん執筆による医療に関する情報など様々な保育情報、職員の「思い」を伝える自主研修の研修資料なども追加され、従来からある保護者の声を伝えるコーナーも含め、わかりやすい形で園に携わる人が等しく情報を発信し、共有する媒体に園だよりが成長したことは、大変評価できます。

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+ A B C

改善の成果

行財政改革を着実に実行しました

区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年度までに6割の事業を委託・民営化・協同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げています。この中で、区立保育園の事業委託等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」という3つが掲げられており、区の保育分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+ A B C

改善の成果

幼児通用門や幼児用トイレの環境改善を行いました

幼児用通用門(園庭側の門)や幼児用トイレについては、その危険性やあまり良くない環境であることが職員間で話し合われていましたが、ペンキを塗ったり、ウサギやシャボン玉・鉛筆などのデザインを施すことなどにより、環境が改善され、清潔感あふれる場になりました。

サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

共通評価項目	
サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している 評点(A)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし	
サブカテゴリ-1の講評	
<p>園の情報をさまざまな形で発信しています</p> <p>園の情報は、区役所で配付している保育園の概要資料のほか、区のホームページ上でも提供されています。このホームページは、杉並区立園共通のフォーマットで作成されており、「所在地」「園の概要」「保育目標」「年間行事」などのほか、「園内の見取り図や写真」「地域向けのサービス」「園の特色」も掲載されており、園の様子が伝わりやすいよう工夫されています。</p> <p>見学等は、個別の状況に応じて対応しています</p> <p>見学等については、次年度の入園申し込みに向けた見学をはじめ、地域の親子を対象とした毎月2回開催される「いっしょにあそぼ」、ふれあい保育、園庭開放等、年間を通じて受け入れています。見学の際は、見学者の時間的な都合だけでなく、見学者の目的に応じた時間設定(園児の活動しているところを見たいのであれば午前中がよいです等)を提案するなど、「よりよい見学」につながるような配慮も行われています。</p>	

サブカテゴリ-2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2の講評

入園時の各種説明はわかりやすいよう配慮しています

入園説明会では、園で独自に作成した「ほいくんのしおり」を用いて、園での基本的なルール、園生活で必要なもの等が丁寧に説明されています。この「ほいくんのしおり」は、イラストや表、図、写真などがふんだんに使われ、説明文もポイントなどをおさえた形で記述されており、非常にわかりやすい内容となっています。このような取り組みは利用者調査において8割を超える保護者の方からわかりやすかったと支持される結果に結びついていると考えられます。これに満足することなく、より充実した内容となるような継続的に取り組むことが望まれます。

入園直後は子どもへの影響を考えた保育を実践しています

初めての園生活を迎える子どもたちにとっては、環境変化に伴う心身の負担が大きいことから、小グループでの保育を行うとともに乳児については担当制を採用するとともにパートやアルバイト職員の人員配置を手厚くして対応しています。また、保育開始初日から1週間程度を目処として短時間保育を行う「なれ保育」も保護者の都合も勘案しながら実施しています。この「なれ保育」に関しては「ほいくんのしおり」にも実施する理由や実施内容、ポイントなどを記載しており、保護者の方々に理解いただけるよう努めています。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み]		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

サブカテゴリ3の講評

保育に関する計画については3段階で作成し、より良い保育を計画的に実施しています

保育に関する計画については、クラスごとに年間計画(年間カリキュラム)・月間計画(月案)・週間計画(週案)の大きく3段階の計画があり、それぞれの計画は、計画の終了時に反省を行い、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。この計画の作成の際には日々の子どもの状況を踏まえるほか、保護者からの要望についても考慮して作成され、計画途中の段階であっても必要に応じて、改定が行われることがあります。なお、保護者に対しては、年間計画は保護者会で、月案は毎月のクラスだよりで、週案は園内掲示によって伝えられています。

子ども一人ひとりの記録は統一様式の「児童票」に記録しています

子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。この「児童票」は、杉並区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分けされています。また、次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、より子どもの成長について保護者とわかち合えるような内容とするべく検討が行われております。

口頭と記録をセットにした情報の伝達や共有を行っています

各クラスでの情報共有は月案会議や月案を通じて行われています。また、日々の情報共有については、ミーティングのほか朝夕保育ノート等を通じて行われており、口頭と記録のセットで伝達することにより漏れが発生しないよう配慮されています。

サブカテゴリ5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み]		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		
サブカテゴリ-5の講評		
<p>プール実施時やおむつ交換時等におけるプライバシーへの配慮を徹底しています</p> <p>園では、プールでの活動を行う際は、水着になった際にバスタオルで巻く、外からの視線をさえぎるなどの配慮を行うとともに、おむつ交換時は決められた場所で行うなど、プライバシーに配慮した活動を行っています。なお、園で行っているこうした活動は、子どもたちの羞恥心を育むことにもつながっており評価できます。</p> <p>マニュアルを用いた振りかえりを実施しています</p> <p>園では、園独自に作成したマニュアルを用いて定期的に振りかえりを行うとともに、必要に応じて、緊急に話し合いの場を持つなど、子どもや保護者に対して不適切な対応を行っていないか、自らを見つめ直す機会やその対応を検討する場を設けています。この成果は利用者調査において9割を超える保護者から「子どもは大切にされている」と、また、約8割の保護者から「職員は礼儀正しく丁寧」と肯定的に捉える回答となって現れていると考えられ、着実に成果に結びついている活動と評価できます。</p>		
サブカテゴリ-6		
6 事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリー6の講評

園の基本的なルールや各種対応方法はマニュアルを定めて明確化しています

園の基本的なルールや事件・事故等に対する対応方法などについては、それぞれ、区で作成した「危機管理マニュアル」、園で作成した「事業マニュアル」「保育マニュアル」にとりまとめられており、年間反省や半期反省などの際に保育の振り返りの際にも活用されるとともに、必要に応じて、改訂作業も行われています。

職員一人ひとりの学びを組織として共有し、業務水準の確保を行っています

研修については、区で実施している実務研修などのほか、自主研修等も行われており、職員の希望に沿った、そして、組織として必要な研修メニューの確保ができています。また、研修に参加しやすい体制作りが行われているとともに、研修で学んだ内容については、打ち合わせにおいて確認されており、職員一人ひとりの学びが組織として共有され、園として一定水準の保育レベルが維持できる環境が整っています。

研修や会議はリーダーが中心となり活発に行われています

今年度より指名された2名のリーダーは、園の会議や研修などで主導的な役割を果たし、議論の活性化や研修の積極的な開催などに寄与しています。特に会議の運営については、区のリーダー会議で学んだことを積極的に取り入れたほか、経験の浅い職員が発言しやすいよう、会議の進め方などにも配慮した結果、ベテランから若手まで意見を出し合えるようになり、すべての職員が積極的に会議にかかわるようになった点は、大変評価できます。

サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	○非該当
	●あり ○なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	○非該当
	●あり ○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当
[A+の取り組み] ○あり ●なし			
評価項目1の講評			
<p>異年齢保育などによって子どもの自主性・自発性を育てています 異年齢保育などの活動については、泥団子作りを異年齢で一緒に行う活動からはじめ、最終的には幼児クラス(5・4・3歳児)や障害児等と一緒にリズム体操を行うところまで発展させています。この活動を行う際は、職員がリズム対応の指導研修を受ける等、より効果的に活動が展開できるよう配慮されています。また、ブロックや積み木を用いた活動については、その作品を週末までは壊さずに飾っておくことができるルールを作り、意欲的に活動ができるような配慮も行われています。</p> <p>多様な表現活動が屋内外で展開されています 屋内での活動としては、芋ほりの際に採取した芋づるを利用したリース作りなどの製作活動やブロックや積み木を使った遊び、絵本活動、からだを使ったものでは、リズム体操や側転の練習などが行われています。また、屋外での活動では、園外に出る散歩活動のほか、野菜などの栽培活動など、子どもたちがいつでも新鮮な気持ちに、そして、楽しい気持ちになれるように様々な取り組みが行われています。</p> <p>障害児の受け入れ体制が整えられており、状況に応じた保育が展開されています 障害児指定園であることから、施設のにも障害児保育用の「特別室」があり、また、障害の内容により補助者となる人員も配置されていることから、保育環境としては他園に比べ恵まれた状況といえます。また、専門家による定期的な巡回指導を定期的に受けることができ、子ども一人ひとりの状況に応じた対応方法を学ぶ機会も用意されているとともに、障害児指定園の園長のみで構成される園長会での情報交換などもあることから、これらを有効に活用した充実した保育が展開されています。</p>			

2	評価項目2 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		評点(A+)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	○非該当
	●あり ○なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	○非該当	
【A+の取り組み】 ●あり ○なし			
園では、栄養士の食育教室が開かれているほか、3歳児クラスからミニトマトを育てるなど栽培活動に取り組んでいるとともに、年長児では、栽培から収穫を経て調理する一連の食事が出来るまでの流れを体験することが出来るプログラムが用意されています。また、年長児では、図書館で本を借りてきてスイートポテト作りに取り組んだり、クッキーづくりで作ったクッキーをお茶会で食べるなど、食育と他の活動を組み合わせた取り組みも行われています。これらの取り組みは職員が職種を超えて協力することによって実現しており、大変評価できます。			
評価項目2の講評			
<p>食事がより一層楽しくなるような食事環境への配慮を行っています</p> <p>季節の行事の際には、ビュッフェスタイルで会食したり、ビュッフェスタイルでの会食を異年齢で行う等、特別な日には食事のメニューだけではなく、環境設定を変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。また、異年齢で取り組む際などは、家庭の雰囲気や継続するように心がけられており、ビュッフェで並んでいる食べ物を年長児が年少時のために取り分けてあげるなど、年下の子どもをいたわる気持ちや年上を敬う気持ちがそれぞれ育まれることにもつながっています。</p> <p>個別に対応した食事を提供しています</p> <p>アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、障害などで食事に際し刻み等特別な配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供されています。また、配膳についても個別トレーによる配膳が行われるとともに、調理と保育の両方でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないように、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。</p> <p>食事がしやすい環境を整備しています</p> <p>食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、1歳児以上のクラスについてもなるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。</p>			
3	評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	○非該当
	●あり ○なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし			

評価項目3の講評

子どもの健康状態をきめ細かく把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況の確認、常駐の看護師が毎日各クラスを巡回しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診(0才児は週1回、以後は年2回)をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の年1回の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申請書を用いて対応しています

感染症予防と感染症発生時の対応を効果的に行っています

感染症予防に関しては、月1回発行の保健だよりを通じて情報提供を行っているほか、園内掲示をして注意を喚起するなどの活動が行われています。また、感染症の発生時には、決められた場所に処置用のグッズを配置して、いざというときにきちんと対応できるよう備えています。なお、感染症が発生した該当クラスにおいては、注意喚起の掲示を行って、感染の拡大が起らないよう取り組まれています。

園医さんも積極的に園の活動へ参加しています

園と園医さんとの関係は、非常に良好であり、園で行う保育や保護者に対する支援について積極的に関わっていただいています。園医としての本来業務である定期健診などへの対応のほか、園だよりに病気やけがに対する対応方法等について執筆し、家庭での病気等に対する対応方法の支援を行うとともに、毎年保護者会等で子育てに関する講演を行っており、保育士や看護師とはまた違う角度から様々なお話をうかがうことが出来る機会が用意されています。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点(A)

4

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着いた環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし

評価項目4の講評

落ち着いて過ごせる環境設定に力を入れて取り組んでいます

環境設定については、特に園が力を入れている分野であり、園長が先頭に立ち、子どもが落ち着いて過ごすことが出来る家庭的な雰囲気を目指して取り組まれています。この取り組みでもっとも大きく寄与している活動は期間や場所を限定して毎年少しずつ行われている壁などのペンキ塗りであり、ある期間、職員総出で取り掛かることによって園の雰囲気を大きく変えることに成功しています。さらに、床に近い場所への観葉植物の配置や階段の踊り場を飾るテーマ展示なども少ない予算をやりくりしながら行っており、大変評価できます。

子どもたちが園生活を楽しめるよう行事や交流などに取り組んでいます

誕生日は子ども一人ひとりが特別な気持ちになれるよう、誕生日当日にクラスでお祝いを行う形式となっています。また、行事については、七夕や節分などの季節の行事を取り入れているほか、ルンルン秋祭り(運動会)や幼児集会、地域のお年寄りとの敬老交流会や学校訪問、弦楽合奏団の音楽鑑賞など、子どもたちが保育園の生活を楽しめるような工夫がされています。

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】			<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
評価項目5の講評			
<p>園だよりなどのたよりで子どもたちの様子や園の活動をわかりやすく伝えています</p> <p>保護者に対する園からの情報提供については、毎月発行されるクラスだよりや園だより等のたよりがあります。特に園だよりについては、カラー刷りで発行されており、園長の言葉のほか、子どもたちの保育の様子、保護者の声を伝えるコーナー、職員が取り組んでいる自主研修の資料や様々な子育て情報などが、写真やイラストなどでわかりやすく紹介されています。また、クラスだよりでは、園だよりと同様写真など使ったわかりやすい表現のほか、特にクラスの子ども一人ひとりを大切にして活動を伝えるよう配慮されています。</p> <p>日誌の公開を通じて日々の保育の様子をタイムリーに伝えています</p> <p>従来の園だより等に加え、日々の園での様子をタイムリーに保護者へ伝える取り組みとして、日誌の公開が行われています。保護者が、「今日は何をやったのか」読みたくなるような文章表現が心がけられているとともに日々の活動がなぜ行われているのか明確になるよう、週案も同時に公開しており、その時々に行われる活動の意味も保護者と共有できるように配慮しています。</p> <p>保護者との情報交換をより密に行うことができる取り組みが期待されます</p> <p>利用者調査における各設問の満足率はほとんどの項目が7割を超えており、園で行っている活動が保護者に変な支持されていることがうかがえる結果となっています。園では、保護者の意見や要望、苦情に真摯に耳を傾け、対応してきた結果が今の評価につながっていることがわかりますが、「要望や不満の言いやすさ」という設問については約5割の満足率にとどまっています。この結果を見ればまだ顕在化していない要望や不満があることも想定されることから、保護者との情報交換をより密に行うことができるよう取り組むことが期待されます。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
	【A+の取り組み】		

評価項目6の講評

区、関係機関との連携して虐待防止、育児困難家庭を支援できるよう取り組んでいます

虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、『虐待防止マニュアル』の実践をはじめ、区の保育課、家庭支援センター、児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見時の対応などが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。

研修内容の職員間での情報共有と園全体の対応能力の底上げを図っています

該当するケースがない場合でも区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の向上を図るとともに、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされるよう取り組まれています。継続的な園全体のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりが期待されます。

評価項目7

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(A)

7

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目7の講評

地域の情報を保護者へ提供しています

杉並区の子育て応援券に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域の施設や機関から依頼があった場合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供をおこなっています。

地域の様々な人たちとの交流は子どもたちに豊かな経験をもたらしています

地域との交流は、学生の職場体験などの受け入れや実習生などのほか、地域の方も参加できる運動会等の行事、毎月2回開催される「いっしょにあそぼ」、ふれあい保育、園庭開放などを通じ、地域の親子との交流、敬老館との世代間交流や弦楽団等のボランティアなど、様々な年代の方々との交流が意欲的に行われています。

特に良いと思う点		
1	タイトル	落ち着いて過ごせる環境設定に力を入れて取り組んでいます
	内容	環境設定については、特に園が力を入れている分野であり、園長が先頭に立ち、子どもが落ち着いて過ごすことが出来る家庭的な雰囲気を目指して取り組まれています。この取り組みでもっとも大きく寄与している活動は期間や場所を限定して毎年少しづつ行われている壁などのペンキ塗りであり、ある期間、職員総出で取り掛かることによって園の雰囲気を大きく変えることに成功しています。さらに、床に近い場所への観葉植物の配置や階段の踊り場を飾るテーマ展示なども少ない予算をやりくりしながら行っており、大変評価できます。
2	タイトル	園だよりなどのたよりで子どもたちの様子や園の活動をわかりやすく伝えていきます
	内容	保護者に対する園からの情報提供については、毎月発行されるクラスだよりや園だより等のたよりがあります。特に園だよりについては、カラー刷りで発行されており、園長の言葉のほか、子どもたちの保育の様子、保護者の声を伝えるコーナー、職員が取り組んでいる自主研修の資料や様々な子育て情報などが、写真やイラストなどでわかりやすく紹介されています。また、クラスだよりでは、園だよりと同様写真など使ったわかりやすい表現のほか、特にクラスの子ども一人ひとりを大切に活動を伝えるよう配慮されています。
3	タイトル	リーダーが活性化する研修等を通じて職員の質の向上や意欲の向上に取り組んでいます
	内容	職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成してもらい、これを基に園長が個人面談を行う中で把握しています。また、研修については、区で実施している実務研修などのほか、今年で3年目を迎える自主研修についてもリーダーを中心として力をいれて取り組んでいます。この自主研修の定期的な開催は、職員の学ぶ意欲のより一層の高まりをもたらし、この意欲の高まりがさらに広範な職員(アルバイトやパート職員、他園の保育士等)を巻き込んだ「勉強会」開催に発展しており、今後も継続的な取り組みが期待されます。
さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	チャレンジプランに対する理解をより深め、使いこなすことが期待されます
	内容	園では、行政改革の一環として、年度ごとチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接遇向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。園では、22年度までをにらんだ目標の設定等を意識して行っていますが、目標や指標の設定については、改善の余地があります。よりわかりやすく誰もが理解できるような設定をできるよう、スキルアップしたうえで継続的に取り組まれることが期待されます。
2	タイトル	園の機能や専門性を活かし、地域福祉に役立つ取り組みを行っています
	内容	施設見学や学生の保育体験を積極的に受け入れているほか、毎月2回開催される「いっしょにあそぼ」、ふれあい保育、園庭開放などを通じ、地域の親子が参加できる機会を設けるなど、地域の子育て支援活動を行っています。しかしながら、「いっしょにあそぼ」は参加者が少ないことから、園においても宣伝方法や内容について再検討する必要があると認識しているため、より有効な取り組みとなるよう今後の改善が期待されます。
3	タイトル	不満についても気軽に言える保護者との関係構築に向けた取り組みが期待されます
	内容	利用者調査における各設問の満足率はほとんどの項目が7割を超えており、園で行っている活動が保護者に大変支持されていることがうかがえる結果となっています。園では、保護者の意見や要望、苦情に真摯に耳を傾け、対応してきた結果が今の評価につながっていることがわかりますが、「要望や不満の言いやすさ」という設問については約5割の満足率にとどまっています。この結果を見ればまだ顕在化していない要望や不満があることも想定されることから、不満についても気軽に言える保護者との関係構築に向けた取り組みが期待されます。

久我山保育園

〔利用者調査：認可保育所〕

(事業所名：杉並区立 久我山保育園)

調査対象

同一世帯で複数の子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯86世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

調査方法

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

利用者総数

86

共通評価項目による調査対象者数

86

共通評価項目による調査の有効回答者数

56

利用者総数に対する回答者割合(%)

65.1

利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の約9割を占める結果となりました(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が89.3%)。個別にみると、「一人ひとりの子どもは大切にされていると思う」について肯定的な回答は9割を超えている他、「提供される食事への配慮」、「職員の対応は丁寧」についても肯定的な回答が多い結果となっています。一方、「要望や不満の言いやすさ」、「要望や不満への対応」、「行事日程の設定」、「保育時間の変更への柔軟な対応」については6割を下回っています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	50	4	1	1
食事やおやつへの満足度は高く、メニューや子どもに合わせた調理方法の調整などに概ね肯定的な意見が寄せられています。一方で、「和食中心がよい」、「離乳食のペースが速いのではないかな」などの意見もみられます。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	40	13	2	1
肯定的な回答は7割ほどで、幼児クラスではより「外で遊んでほしい」という要望が強くなります。園庭遊びだけではなく、散歩や外の公園などで遊ぶといった機会を望む意見が、複数みられます。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	32	15	2	7
肯定的な回答は6割を下回っています。変更の経験がない利用者には回答しづらい設問でもあったと考えられます。意見の中には、スボット延長について、「利用しづらい(受付時間)」、「柔軟に対応してくれる」など様々なものがみられます。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	45	9	1	1
肯定的な回答は約8割を占めています。何かあったときに、看護師のアドバイスがあることを評価する意見がみられます。また、保護者へ連絡をとるタイミングについては「早い」、「遅い」など両方の意見があげられています。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	38	17	0	1
肯定的な回答は7割を下回っています。乳児に比べ幼児で肯定的な率は低く、行動範囲が広がることによって、危険、不安を感じる保護者が増える傾向がみられます。園の対策について「十分(神経質)すぎるほどだ」、「頻繁な避難訓練で安心」というものがある一方、耐震や不審者、ペランダのつくりなどを不安に感じるという意見も寄せられています。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	31	16	8	1
肯定的な回答は6割を下回っています。日程の配慮について不満を持つ保護者は、幼児クラスより乳児クラスでその割合が多くみられます。保護者の勤務日程により、平日の行事を不満に感じる人、満足な人がおり、様々な意見が寄せられています。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	46	6	3	1
肯定的な回答は8割を超えています。乳児クラスにおいて、職員に相談しやすいと感じる保護者の割合が多くみられます。体制の面からも、幼児クラスでは話づらさを感じる保護者が増える傾向がみられます。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	44	9	2	1
肯定的な回答は8割ほどですが、話す機会や、内容について不満を感じる意見もみられます。中には、保育士の意見の強さについて言及するものもみられます。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	44	9	0	3
肯定的な回答は8割ほどです。乳児クラスでは9割を超え、幼児クラスでは7割を超える程度と、その率には開きがみられます。否定的な回答があるわけではなく、「どちらともいえない」と回答する理由としては、「どのように守っているかわからない」ということが主なものと考えられます。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	51	4	0	1
肯定的な回答は9割を超え、大切にされていることに疑問をもつ声はみられません。「とても良くしてもらっている」という意見が寄せられています。				

11. 職員の対応は丁寧か	48	6	1	1
8割を大きく超える人が、職員の礼儀正しさや丁寧さを認めています。意見の中には「笑顔であいさつがある」、「礼儀正しすぎる」のほか、「保育士によって異なる」などもみられます。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	30	21	3	2
肯定的な回答は5割強にとどまり、言いやすいとは感じていない保護者も多数みられます。言いやすいかいいづらいかを一律できく設問なので、寄せられた意見の中には「保育士によっては・・・」、「不満の内容によっては・・・」などもみられます。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	31	18	2	5
対応についても前問同様で、肯定的な回答は5割強にとどまります。否定的な回答が多いわけではなく、要望や不満があった場合に園がするであろう対応に確信がもてない、という要素が反映されている様子がうかがえます。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	14	1	38	3
知らない人が多勢で、全体の3分の2を占めています。園内や公共施設に掲示してあるポスター等での周知率は4分の1にとどまっています。				
15. [過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に] サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	10	3	0	43
1年以内に利用を開始した13人中10人が肯定的な回答を寄せています。否定的な回答はありませんが、自由意見には「持ち物の作り方を別途聞いた」、「説明会の時間が限定されている(仕方ないと理解しているが)」などもみられます。				

組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

共通評価項目	
カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定
サブカテゴリ1	
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	

評価項目3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし

カテゴリー1の講評

大事にしている「心身の健全」、「情緒の安定」、「信頼関係の構築」の浸透

園の目標及び保育で大事にしていることは、園内掲示や入園のしおりを通じて職員も保護者も確認できるようになっています。保育指針の改定を受け、今年度はこれらを見直しを図っていますが「心身の健全」「情緒の安定」「信頼関係(子ども同士・大人同士・子どもと大人)の構築」の視点は変わらず大事にしていきたいと考えています。利用者調査では「人との関わり方の基礎が育てられている」(区の独自項目)ことを肯定的に捉えている人が9割を大きく超え、園が大事に考えていることが子どもの発達を通じて保護者にも伝わっている様子がうかがえます。

園運營業務の重要性の高さを考慮してまとめられた「事業マニュアル」

経営層は自ら「事業マニュアル」をまとめ、職員に配布しています。アレルギー除去食の対応、防犯対策、散歩時の注意点など子どもの安全に関わるもの、係分担表や開錠・施錠、掃除当番など園運営に関する確認頻度の高いもの、個人情報管理、保健衛生管理など、一定の対応を求められるものが網羅されています。いずれもすべての職員が熟知すべきことで、今後は職員の手による継続的な改訂、使いやすさの工夫なども期待されます。

経営層の求心力、チームワークのよさを活かした組織づくり

園長をはじめ職員の異動による入れ替わりが続いています。園運営に関わる確認や見直し業務が多くを占めますが、これを機会と捉えて職員間の意思疎通や情報共有に積極的に取り組んでいます。今年度の始めに掲げた業務改善点のひとつである「チームワークの向上」が職員の中に浸透するとともに、職員自己評価では職員全員が「経営層は役割と責任を実践している」ことを認めているなど、着実な組織づくりも進んでいるといえます。

2			カテゴリ-2		
経営における社会的責任					
サブカテゴリ-1					
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる					
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		○非該当	
●あり ○なし		2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる		○非該当	
●あり ○なし		2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					
サブカテゴリ-2					
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている					
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)		○非該当	
●あり ○なし		2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている		○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					

評価項目2
ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3
地域の関係機関との連携を図っている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-2の講評

職員の法・規範・倫理に対する意識の高さ

全職員が所持する公務員倫理に関する区のハンドブックには、子どもの人権尊重や個人情報保護をはじめ、福祉サービス従事者として守るべきことが明示されています。また、平成21年度より施行される新保育所保育指針の検討は、倫理法令等の遵守について再確認する機会にもなっています。職員自己評価では職員全員が「法・規範・倫理について周知している」と回答するなど、意識の高さがみられ頼もしさを感じます。制度や社会、人々の関心のもち方の変化も激しいことを意識し、今後も定期的に確認しあうことが望まれます。

地域に開かれた園づくりを目指し、遊びに来た子どもが楽しめる工夫

“いつでも遊びにきてね”の看板を掲げ、園庭開放は土曜・休日を除く毎日、身体測定も随時実施しています。遊びに来た子どもには、園のシンボルマークでもあるひまわりをかたどった名札を用意するなど、仲間意識の醸成や楽しい気分の演出に努めています。現在は希望者を受け入れるにとどまっていますが、今後は地域の親子が保育園に何を望んでいるのかを探るとともに、地域密着の保育園としてのさらなる取り組みが期待されます。

実習生やボランティアの保育園への円滑な受け入れ態勢

実習生の受け入れは、区が受付けて園へ割振り、実習時のオリエンテーションから園で行うという役割分担となっています。今年度は1名の実習生のほか、5名の中学生の職場体験を受け入れています。次世代育成の観点もあり、乳幼児と触れ合う際の中学生の新鮮な驚きや感動といった反応は、子どもたちだけでなく保育士にもよい刺激となっていることがうかがえます。ボランティアについては、土曜のみや夏期のみなど不定期の希望者も受け入れており、短期間であっても園生活を理解してもらうため、わかりやすいオリエンテーションに努めています。

カテゴリ-3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリ-1

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ3の講評

望まれる利用者意向の効果的なフィードバック

保護者会、面談のほか、連絡帳や日常的な保護者とのコミュニケーションからの意向把握を重視しています。また、意向については全職員での共有や改善策の話し合いを定期的に行っています。一方で、利用者調査では「要望等の言いやすさ」「要望等への対応」について肯定的な回答はそれぞれ6割を下回り、園として検討すべき余地が残されている状況がうかがえます。園でも、要望や不満に対してできる限り保護者の立場に立った検討や対応の必要性を感じていることから、把握した意向の効果的なフィードバックの方法についてはさらなる工夫が望まれます。

関係機関と連携した利用者意向への対応

利用者の意向のうち、園独自の判断での対応が困難なことについては、区の担当課や併設する施設等との意見交換を行い、利用者への説明責任を果たしています。区の決定に従わざるを得ないことについても、園は利用者の意向や不満の窓口となることから、園として継続的な対応が必要であると考えられます。利用者により近い立場ということ意識し、利用者が納得できる議論、対応が期待されます。

苦情解決制度の周知

区の保健福祉サービス全般を対象に行われている「保健福祉サービス苦情調整委員制度」については、その概要と委員の氏名を記載したポスターを掲示して、利用者にも周知を行っています。

カテゴリ-4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ-1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(B)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
サブカテゴリー2		
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
カテゴリー4の講評		
子どもに関わるすべての人が共有する保育の指導計画 子どもに関する活動については、保育目標を定めた保育計画に基づき、年・月・週ごとの指導計画を作成しています。毎月の計画は各クラスに掲示するだけでなく園だよりにも掲載し、園と家庭で子どもの育ちの共有に取り組んでいます。また、パートタイムの保育士にも周知するなど、子どもの心身の発達を、子どもに関わるすべての人がサポートできる下地づくりに努めています。		
安全対策のさらなる充実と、利用者への周知 安全については、園独自のヒヤリハットマップや散歩、園庭遊びマニュアルを完備するなど対策に取り組んでいます。また、職員が行う防犯訓練や避難訓練などの実施については家庭にもお知らせし、保護者の不安軽減にも努めています。一方、安全対策についての利用者調査では、肯定的な意見は幼児クラスで6割強にとどまるなど、園の取り組みが十分伝わっていない様子もうかがえます。また、子どもや保育士の移動が多い夕保育中のアクシデントについては、保育室の使い方を工夫するなどの対策を立てており、今後はその効果を見極めることが望まれます。		
区のチャレンジプランに則った計画的な業務改善・接客向上・人材育成 杉並区役所が区民満足度向上のために実施しているチャレンジプランでは、前年度を振り返り、今年度取り組む改善点を組織全体で確認・実行する仕組みができています。園ではケーススタディを継続して実施することなどを決め、保育内容をはじめ様々な課題を職員全体で話し合い、理解を深める取り組みを行っています。また、室内や遊具などの環境改善や幼児クラスの縦割り保育など、単年度では取り組みづらいものも計画的・継続的に扱うことでより大きな成果が期待できるため、わかりやすい目標や指標設定した取り組みが期待されます。		

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金・昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

積極的かつ着実な職員の育成

職員の質及びやる気の向上については、区の研修制度や個人のチャレンジプランなどによってサポートする仕組みがあります。園ではさらに独自の「CSチェックシート(自己振り返りシート)」の活用を模索しています。実際の意識や行動を細かく自己評価することで、潜在的な問題に気づき、改善のための主体的な思考・実行につなげる狙いがあります。今後は、CSチェックについての職員の理解をさらに深めることやチェック項目の見直しなどを継続的に行うことで個人及び組織の能力向上を自ら実感できる取り組みに発展させることが期待されます。

きめ細かい組織のケア

区が行った「保育チームワーク等検討会」の調査や、園独自のアンケートをもとに、園長はパートタイム保育士の面接を実施しています。勤務時間や業務に制約はあるものの、子どもの成長や園全体の課題などを共有することは、個人のやる気の向上につながると共に、円滑な園運営にとっても大事なことでと考えています。このような組織のケアは、間接的ではありますが利用者への影響も大きいと考えられるので、継続的な取り組みが期待されます。

実践的なケーススタディの実施

これまでも行っていたケーススタディの実施方法を見直し、毎月1回の開催とすることで、職員は取り上げた内容を保育の実践の場で活かす、という意識を強く持つようになりました。新たな意識で取り組むことで、OJTとしての効果が大きくなったこともうかがえます。今後はモチベーションを維持するためにも、この取り組みが形骸化しないような工夫が求められます。

7			カテゴリ-7		
情報の保護・共有					
サブカテゴリ-1					
情報の保護・共有に取り組んでいる					
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している			○非該当
●あり ○なし		2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している			○非該当
●あり ○なし		3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している			○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している					
評点(A)					
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している			○非該当
●あり ○なし		2. 個人情報の保護に関する規定を明示している			○非該当
●あり ○なし		3. 開示請求に対する対応方法を明示している			○非該当
●あり ○なし		4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている			○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし					

カテゴリー7の講評

徹底した管理・運用

個人情報については、園長・主査がリーダーとなり、パソコンの管理をはじめ書庫の鍵の管理などを徹底しています。個人情報管理マニュアルでは個人情報の種類と管理方法が明記され、アンケートからも職員の理解度は高いことがうかがえます。また、利用者に対しては、園内のビデオや写真撮影等について、個人情報保護の観点から、園の方針を周知し理解を求める取り組みを行っています。利用者からは撮影やデータに関する要望があげられることもあるので、画一的ではない対応に向けた検討も望まれます。

カテゴリ-8

8 カテゴリ-1～7に関する活動成果

サブカテゴリ-1

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」

A+ A B C

改善の成果

チームワーク向上を意識した組織づくり

H19年度からH20年度にかけて職員の大幅な異動があり、園運営について確認しあう機会が頻発しました。必要に迫られる形とはいえ、様々なことを職員間で協働、共有する、という意識の高まりがみられます。今年度の始めに掲げた業務改善点のひとつである「チームワークの向上」が職員の中に浸透するとともに、アンケートでは職員全員が「経営層は役割と責任を実践している」ことを認めているなど、着実な組織づくりが進んできたといえます。

職員自己評価で「昨年と比べてよくなったと思う点」についての記述には、16意見のうち10意見中に情報や認識の“共有”に取り組んでいることがあげられています。経営層の掛け声だけでなく、職員一人ひとりに浸透している様子も十分うかがえます。

サブカテゴリ-2

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」

A+ A B C

改善の成果

実践的なケーススタディの実施

これまでも行っていたケーススタディについて、不定期だった実施方法を見直し、毎月1回の開催としました。会議で取り上げた内容を保育の実践の場で活かす、という積極的な姿勢が以前にも増して定着し、職員調査からはOJTとしての効果が表れていることがうかがえます。保育課題を職員間で相談・検討しあう時間が定期的にあるだけでなく、その後の積極的な実践につなげる体制が確保されていることは、職員の経験値を上げる確実な方法といえます。

サブカテゴリ-3

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」

A+ A B C

改善の成果

多様なサービスの提供

昨年度は試行段階であった延長スポット保育(1回500円、8回まで有料)を本年度より本格実施し、利用者の利便性の向上を図りました。

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+ A B C

改善の成果

行財政改革の着実な実行

区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年度までに6割の事業を委託・民営化・協同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げています。この中で、区立保育園の事業委託等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」という3つが掲げられており、区の保育分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+ A B C

改善の成果

園と保護者、保護者同士の交流

通常保育の後に、子どもを預けたまま保護者がお茶を飲みながら情報・意見交換できる場となっている、保護者支援事業(ほっとほっとタイム)を開催しています。保護者の要望を取り入れる形で、開催回数の増加と開催時間の延長を行い好評を得ています。

サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

共通評価項目	
サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している 評点(A)	
評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている ○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している ○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している ○非該当
[A+の取り組み] ○あり ◎なし	
サブカテゴリ-1の講評	
園の情報をさまざまな形で発信 園の情報は、区役所で配付している保育園の概要資料のほか、区のホームページ上でも提供されています。このホームページは、杉並区立園共通のフォーマットで作成されており、「所在地」「園の概要」「保育目標」「年間行事」などのほか、「園内の見取り図や写真」「地域向けのサービス」「園の特色」も掲載されており、園の様子が伝わりやすいよう工夫されています。また、園庭開放の「いつでもあそびにきてね!」の案内を園の前と近隣の2つの公園に設置して地域の方々への周知を図っています。	

サブカテゴリー2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリー2の講評

入園時の各種説明はわかりやすいよう配慮

入園前の面接や入園説明会では、園での基本的なルール、園生活に必要なもの等が、イラストや表、地図などでわかりやすく解説されている「久我山保育園のしおり」を用いて丁寧に説明されています。このような取り組みは利用者調査において8割弱の保護者の方からわかりやすかったと支持される結果に結びついており、否定的な回答ありませんが、自由意見には「持ち物の作り方を別途聞いた」、「説明会の時間が限定されている(仕方ないと理解しているが)」などもみられるため、より充実した内容となるような検討も望まれます。

入園直後は子どもへの影響を考えた保育を実施

初めての園生活を迎える子どもたちにとっては、環境変化に伴う心身の負担が大きいことから、小グループでの保育を行うとともに、パートやアルバイトの配置を増やし、フリー保育士や主査・園長も応援できる体制を組むことで職員の人員配置を手厚くして対応しています。また、一人ひとりの子どもの状態を把握し、保護者との連絡をより密にして子どもの情報を共有し、少しでも早く環境になれるよう努めています。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(A)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリー3の講評

保育に関する計画については3段階で作成
 保育に関する計画については、クラスごとに年間指導計画・月の指導計画・週案の大きく3段階の計画があり、それぞれの計画は、計画の終了時に反省を行い、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。この計画の作成の際には日々の子どもの状況を踏まえるほか、保護者からの要望についても考慮して作成され、計画途中の段階であっても必要に応じて、改定が行われることがあります。なお、保護者に対しては、年間計画は保護者会で、月案は毎月の園だよりで、週案は園内掲示によって伝えられています。

子ども一人ひとりの記録は統一様式の「児童票」に記録
 子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。この「児童票」は、杉並区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分けされています。また、次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、より子どもの成長について保護者とわかち合えるような内容とするべく検討が行われています。

口頭と記録をセットにした情報の伝達や共有
 子どもの情報については、月の指導計画やクラス会議での議論、さらに園全体でのカリキュラム会議を通じて共有されるとともに、特に配慮を行わなければならない子どもについては、ケーススタディーとして個別に指導の検討と子どもの変化などについて話合われ、記録されており、全園で情報共有できる仕組みとなっています。また、日々の情報共有については、昼礼や夕礼のほかパート・アルバイトも確認できる連絡体制表やクラスの朝タノートを通じて行われており、口頭と記録のセットで伝達することにより漏れが発生しないよう配慮されています。

サブカテゴリー5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(A)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

サブカテゴリ5の講評

<p>プール実施時や排泄時等におけるプライバシーへの配慮</p> <p>園では、プールの着替えは屋内で行い、シャワーを浴びる際も外からの視線をさえぎるなどの配慮を行うとともに、排泄時やおむつ交換時においても子どものプライバシーに配慮した活動を行っています。</p> <p>CSチェックリストを用いた振りかえりの実施</p> <p>園では、園独自に作成したCSチェックリスト(自己振り返りシート)を用いて半期に一度振りかえりを行っており、子どもや保護者に対して不適切な対応を行っていないか、自らを見つめなおす機会を設けています。この成果は利用者調査において9割を超える保護者から「子どもは大切にされている」と、また、8割を超える保護者から「職員は礼儀正しく丁寧」と肯定的に捉える回答となって現れていると考えられ、着実に成果に結びついている活動と評価できます。</p>
--

サブカテゴリ6

6 事業所業務の標準化

評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリ6の講評

園の基本的なルールや各種対応方法を定めたマニュアル

園の基本的なルールや事件・事故等に対する対応方法などについては、それぞれ、区で作成した「危機管理マニュアル」、園で作成した「事業マニュアル」「保健マニュアル」にとりまとめられており、年間反省や半期反省などの際に保育の振り返りの際にも活用されるとともに、必要に応じて、改訂作業も行われています。

OJTを活用した保育水準の維持・向上に向けた取り組み

新採用の職員や若い職員がいる本園では、実務研修等への派遣と平行して、ベテラン職員との組み合わせによるOJTにも取り組んでいます。これによって、日々の保育のしかたや記録のつけ方など、自分以外の職員の行う保育や記録を見る機会が多くなり、若い職員のレベルアップに寄与するだけでなく、ベテラン職員にとっても「見られる」という緊張感が良い刺激となっており、園全体の職員の活性化やレベルアップにつながっていると考えられます。

サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
[A+の取り組み]		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
評価項目1の講評			
<p> 子どもの自主性・自発性を大事にした「ゆるやかな縦割り保育」 園では、クラスでの年齢別の活動のほか、昨年度より幼児クラス(3・4・5歳児)を対象として「ゆるやかな縦割り保育」に取り組んでいます。この取り組みを行うにあたっては、おもちゃや絵本の配置場所、室内装飾や棚などの配置など環境設定を変更し、子どもたちが、クラスの区切りを意識せずに遊びの選択ができるよう配慮されています。 また、ブロックや積み木を用いた活動については、その作品を週末までは壊さずに飾っておくことができるルールを作り、意欲的に活動ができるような配慮も行われています。 </p> <p> 音楽活動や製作活動など多様な表現活動 園内活動としては、リズム遊びや楽器遊び、歌などの表現活動、芋ほりの際に採取した芋づるを利用したリース作りや卒園児の胸に着けるコサージュを作成する指編み、玄関前的小スペースを年長児が装飾する活動、絵画制作や粘土細工などが行われています。また、園外活動では、芋ほりや幼児を対象とした遠足などイベント的なもののほか、園周辺に点在する公園に出かける散歩活動も時には異年齢で行うなど、子どもたちがいつでも新鮮な気持ちに、そして、楽しい気持ちになれるように様々な取り組みが行われています。 </p> <p> 関係機関と連携した障害児保育への取り組み 障害がある子どもの保育については、担任保育士はもちろんのこと職員全員が連携して行っています。また、区としては、発達センターの専門家が巡回指導を行う機会を設けているとともに、園でも必要に応じて担任保育士が専門機関に出向き指導を受けるなど、個々の事例を通じて保育方法等について学ぶ機会が保障されており、障害がある子どもによりよい保育に向けた様々な取り組みが展開されています。 </p>			

2	評価項目2 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		評点(A+)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input type="radio"/> 非該当	
[A+の取り組み] <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし			
園では、栄養士が配置されており、月に1回「食育たより」を発行する、保護者にレシピを配付するなど、保護者や子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、サツマイモの収穫と調理体験(ぼんでぼと、焼き芋など)を行うとともに、おにぎりづくりやクッキーづくり、3枚におろした生のさんまをさわる体験をするなど様々な体験ができるプログラムを用意しています。			
評価項目2の講評			
「食」について考えてもらう食育活動 園では、栄養士が配置されており、子どもたちに「食」についての関心を持ってもらうための様々な取り組みが行われています。年長児では、サツマイモの収穫と調理体験(ぼんでぼと、焼き芋など)を行うとともに、おにぎりづくりやクッキーづくり、3枚におろした生のさんまをさわる体験をするなど様々な体験ができるプログラムを用意しています。なお、食物の栽培等については、栄養士と保育士との連携を密にして、今後も継続的に行うことができるよう取り組むことが望まれます。			
個別に対応した食事の提供 アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供されています。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳だけでなく名前の札・除去食材の札を用いた内容の明確化が行われるとともに、調理と保育の両方でクロスチェックをかけるなど、間違いが起きないよう、細心の注意と様々な工夫が凝らされています。			
食事がしやすい環境の整備 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを、1～2歳児クラスでは高さの調整が行える机をそれぞれ採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、3歳児以上のクラスについてもなるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事できるよう配慮されています。			
3	評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし			

評価項目3の講評

子どもの健康状態のきめ細かな把握

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況の確認、看護師が毎日各クラスを巡回しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診(0才児は月2回、以後は春と秋の年2回)をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の年1回の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申請書を用いて対応しています。

感染症予防と感染症発生時の対応を効果的に行うための取り組み

感染症予防に関しては、月1回発行の保健だよりを通じて情報提供を行っているほか、感染症発生時には、全クラスに園内掲示をして注意を喚起するなど感染の拡大が起こらないよう取り組まれています。また、感染症の発生時にパート職員を含めた全職員が嘔吐などに対応できるよう、年に1回、園内研修(感染症マニュアルとおりに動けるように行う実地訓練)を行うとともに決められた場所に処置用のグッズを配置して、いざというときにきちんと対応できるよう備えています。

子どもたちが自らの体や健康について学ぶ健康教育

園では、看護師が子どもたちに自らの体のことや健康について学ぶ「健康教育」を定期的実施しています。また、健康教育で特に日々気をつけてほしいことや身につけて欲しいことは、関連する手作りポスター(「かぜにまけない」「うがい」「手洗い」等)を各クラスにも掲示しており、子どもたちが忘れないように、そして、自ら確認できるように配慮がなされています。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点(A)

4

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
◎あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
◎あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ◎なし

評価項目4の講評

落ち着いて過ごせる環境設定

環境設定については、「子どもの目線に合わせたレイアウト」を基本とし、設定しており、クラス担任を中心として全園を挙げて取り組んでいます。幼児クラスについては、ホールを含めた4つの部屋を異年齢交流の場と位置づけ、おもちゃや本などを配置するとともに、落ち着いた雰囲気にし活動に集中できるよう、室内装飾も控えめにしています。乳児クラスでは、少人数での保育を基本としているため、小集団が集中して活動できる小さい場の設定を行えるよう配慮されています。また、園庭についても皆が楽しく過ごせるよう環境設定を行っています。

最後の一人まで落ち着いて過ごすことができるための延長保育時の配慮

これまでは、延長保育を行う場とお迎えの保護者が通る動線が、同じ教室の中に設定されており、子どもが落ち着いて活動することが難しい場面もみられました。これを踏まえ、今年度は、延長保育時にお迎えの保護者が通る場所(動線)を4歳児クラスに定めて、保育中の子どもたちが活動するクラス(3歳児クラス)と分けるようにし、最後の子どもが帰るまで落ち着いて過ごせるような環境を確保するよう改善しました。

子どもたちが園生活を楽しめるよう取り組む行事や交流

誕生日は子ども一人ひとりが特別な気持ちになれるよう、誕生日当日にクラスでお祝いを行う形式となっています。また、行事については、七夕や節分などの季節の行事を取り入れているほか、乳児を対象として年3回の30分程度行われる「ニコニコランド」や幼児を対象としてうたやゲームを楽しむ「わくわくタイム」のほか、近隣の公立保育園4園で行う交流をはじめ、ゆうゆう久我山館との交流や学校訪問、ボランティアによる腹話術や紙芝居、手品など、子どもたちが保育園の生活を楽しめるような工夫がされています。

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし			
評価項目5の講評			
<p>園が大切に考えている保護者との交流</p> <p>保護者交流の特徴的な取り組みとしては、約5年前から実施されている「ほっとほっとタイム」が挙げられます。この取り組みは、保護者がゆっくりお茶を飲みながらおしゃべりをするもので、現在では、年3回、16:30～19:30の時間設定で行われています。参加する保護者は回によっては60名を数えるなど、保護者にとっても非常に楽しみにしている活動に成長しており、園においても保護者の方と気軽にそしてゆっくり会話ができる場として非常に大切に考え、なるべく多くの職員が対応できるよう特別な体制で臨んでいます。</p> <p>子どもたちの様子や園の活動をわかりやすく伝える取り組み</p> <p>保護者への園からの情報提供については、日々の記録以外に定期的かつ目的別に発行される、クラス・園・保健・食育等の各種おたよりがあります。これらについては、写真などを積極的に取り入れ、園での子どもたちの様子をよりわかりやすく伝えていきます。また、給食についても日々の食事・おやつについて、幼児食と乳児食をそれぞれ展示しているほか、年に1回、試食会を行っており、目だけではなく舌も使って園の活動を伝えていきます。</p> <p>日々の活動をタイムリーに伝える日誌の公開</p> <p>従来の園だより等に加え、保護者に情報を伝える方法として、日誌の公開が行われています。当園では特に見易さ、わかりやすさにこだわって、文章についてはスケッチブックを使うとともに、スクラップブックに日々の活動の様子を写した写真を貼り、公開しています。特に文章表現については、要点を絞った記載にするなど、職員一人ひとりが読みやすい文章とは何かを考え、工夫を重ねています。また、日々の活動がなぜ行われているのか明確になるよう、週案も同時に公開しており、その時々に行われる活動の意味も保護者と共有できるように心がけています。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし			

評価項目6の講評

区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援

虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、『虐待防止マニュアル』の実践をはじめ、区の保育課、家庭支援センター、児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見時の対応などが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。

研修内容の職員間での情報共有と園全体の対応能力の底上げ

該当するケースは無いものの、区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の向上を図るとともに、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされるよう取り組まれています。継続的な園全体のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりが期待されます。

評価項目7

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(A)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

[A+の取り組み] あり なし

評価項目7の講評

保護者の希望する地域情報の提供

杉並区の子育て応援券に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域の施設や機関から依頼があった場合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供をおこなっています。また、保護者から望まれる情報として、地域の医療機関の情報を配付するなど、関係機関から回ってくる情報だけでなく、保護者からのニーズを捉え必要と思われる情報についても提供しています。

豊かな経験をもたらす地域の様々な人たちとの交流

地域との交流は、中学生の職場体験などの受け入れや実習生などのほか、地域の方も参加できる乳児を対象として年3回、30分程度行われる「ニコニコランド」や園庭開放「いつでもあそびにきてね！」に参加する親子との交流、近隣の公立保育園4園(久我山・久我山東・上高井戸・高井戸)で行う交流、ゆうゆう久我山館との世代間交流や地域の学校訪問、ボランティアによる腹話術や紙芝居、手品など、様々な年代の方々との交流が意欲的に行われています。

地域ニーズの再発掘や新たな交流先の開拓とそれを実行できる職員能力の向上

上記のように様々な交流が行われている当園ですが、異動して3年未満の職員集団であることから、従来行われてきた活動を継続的に行うととどまっておらず、地域ニーズの掘り起こしや新しい交流先の発掘など、地域社会に積極的に飛び出し活動を行うまでには至っていません。今後は、地域活動を行うことができる能力(情報収集やコミュニケーションの能力)を職員一人ひとりが身につけるとともに、園(職員)がより地域との結びつきを深めるためには何が必要かを考え、より効果的な活動が行われることを期待します。

〔全体の評価講評：認可保育所〕

(事業所名：杉並区立 久我山保育園)

特に良いと思う点		
1	タイトル	より良い子どもの活動を引き出す環境設定
	内容	環境設定は、「子どもの目線に合わせたレイアウト」を基本としています。幼児クラスについては、ホールを含めた4つの部屋を活動の場と位置づけ、落ち着いた雰囲気の中で活動に集中できるよう、室内装飾も控えめにしています。乳児クラスでは、少人数での保育を基本としているため、小集団が集中して活動できる小さい場の設定としています。また、園庭については基本的なルールを定め、時には大胆な活動が行えるようにしています。延長保育時には、お迎えの保護者の動線と保育の場を分け、子どもが落ち着いて過ごすことができるような環境に改善しました。
2	タイトル	保育の情報を共有し、子どものことを全職員で見守る姿勢
	内容	毎月開催しているケーススタディ会議では、保育課題を職員間で相談・検討しています。担当外のクラス、子どものについても情報を共有し、何かあれば全体で解決するという意識がとても強く、また、勤務時間や業務に制約のあるパートタイムの保育士とも、子どもの成長の様子や園全体の課題などを共有しようとする姿勢がみられます。こういった姿勢が利用者調査の「子どもが大事にされている」及び「人との関わり方の基礎が育てられている」(区の独自項目)ことを9割を大きく超える人が肯定的に捉えているという結果につながっていると想定されます。
3	タイトル	積極的なサービス向上・職員の能力向上のためのCSチェックの実践
	内容	区の研修制度や個人のチャレンジプランなどによる職員育成の取り組みとあわせて、園ではさらに独自の「CSチェックシート(自己振り返りシート)」の活用を進めています。一人ひとりの意識や行動を細かく自己評価・分析することで、潜在的な問題に気づき、改善のための主体的な思考・実行につなげる狙いがあります。難しい取り組みに挑戦する姿勢は大きく評価できます。チェックの項目も、園や保育の実状にあわせて作成するなど、“自らの手で気づいて変える”という積極性が感じられ、継続的・発展的な取り組みが期待されます。
さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	時間の有効活用の工夫
	内容	園の特徴でもあるチームワーク力の基盤となる、情報の共有、業務の協働には多くの会議や話し合いの時間が必要です。職員の異動が続いたこともあり、園運営について再確認を図る必要があるなど、実際に多くの時間が割かれてきました。時間の使い方には職員それぞれの感じ方や考え方もあるので、それぞれの意見を確認しあう時期にきたといえるのではないのでしょうか。話し合いの時間帯や議題の優先順位を検討し、効率的な時間管理をすることで生まれたゆとりが、職員それぞれのアイデアや工夫の結実につながることが期待されます。
2	タイトル	より積極的な子どもの安全対策の推進
	内容	定期的な避難訓練や不審者対策の訓練の実施、保健衛生の管理をはじめ園庭での遊具の使い方や散歩時の注意をまとめたマニュアルの完備など、子どもの安全確保のための様々な取り組みを行っており、現状、事故や怪我の件数が増加してはいません。しかし、利用者調査では安全対策について肯定的に捉えている保護者は3分の2ほどにとどまっています。園でも、人の出入り、子どもの移動が増える夕方の時間帯の安全対策の強化についての必要性を感じていることから、園の取り組みについての利用者への周知も含め、さらなる対策の推進が望まれます。
3	タイトル	地域ニーズの再発掘や新たな交流先の開拓とそれを実行できる職員能力の向上
	内容	当園では、様々な地域との交流が行われていますが、異動して3年未満の職員集団であることから、従来行われてきた活動を継続的に行うところまでとどまっており、地域ニーズの掘り起こしや新しい交流先の発掘など、地域社会に積極的に飛び出し活動を行うまでには至っていません。今後は、地域活動を行うことができる能力(情報収集やコミュニケーションの能力)を職員一人ひとりが身につけるとともに、園(職員)がより地域との結びつきを深めるためには何が必要かを考え、より効果的な活動が行われることを期待します。

浜田山保育園

〔利用者調査：認可保育所〕

(事業所名：杉並区立 浜田山保育園)

調査対象

同一世帯で複数の子どものが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯89世帯を調査対象としました。(複数の子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

調査方法

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

利用者総数

89

共通評価項目による調査対象者数

89

共通評価項目による調査の有効回答者数

56

利用者総数に対する回答者割合(%)

62.9

利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の9割を大きく超える結果となりました(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が94.7%)。個別にみると、「保育時間の変更への柔軟な対応」、「体調変化への対応」について肯定的な回答が約9割を占める他、「職員の聞く姿勢」、「子どもは大切にされている」、「提供される食事への配慮」、「家庭と保育園との信頼関係」などについても肯定的回答が8割を大きく超えており、園における基本的な生活について保護者は満足している様子がうかがえます。一方、「安全対策」をはじめ「要望や不満の言いやすさ」、「行事日程の設定」などについては肯定的な回答が比較的低い結果となっています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	47	7	0	2
食事やおやつへの満足度は高く、季節感を取り入れたメニューや子どもに合わせた調理方法などに概ね肯定的な意見が寄せられています。また、食事について栄養士や保育士からのアドバイスを評価する意見もみられます。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	45	10	1	0
肯定的な回答は8割ほどで、公園や園庭での遊びについては概ね満足する意見が多く見られます。日ごろの遊んでいる様子が、保護者によく伝わっていることがうかがえます。中には、散歩や外の公園で遊ぶ機会を増やしたい、と望む意見もみられます。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	50	3	1	2
肯定的な回答は約9割を占め、満足する人が多い項目です。延長利用(スポット保育)の枠が比較的多く設定されていること、枠の予約がある程度可能なことなどが満足度を高める要因となっていると予想されます。自由回答でも、柔軟な対応に満足するものが多いとみられます。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	50	6	0	0
肯定的な回答は約9割を占め、満足する人が多い項目です。保護者へ連絡をとるタイミングについては「早い」、「遅い」、「親の就業状況に配慮してくれた」など様々な意見が寄せられています。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	30	25	1	0
肯定的な回答は5割強にとどまり、他の設問に比べ満足度が低い結果となっています。ただし、否定的な回答が多いというわけではないため、園の安全対策が保護者に十分伝わっていないことも要因のひとつと考えられます。年齢別では、乳児に比べ幼児で肯定的な率は低く、行動範囲が広がることによって、危険、不安を感じる保護者が増える傾向もみられます。また、人の出入り、園舎の老朽化などについても、様々な意見が寄せられています。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	37	16	3	0
肯定的な回答は7割を下回っています。「予定に幅があり、スケジュールを組みやすい」や「よその園にくらべたら(参加しやすい)」など肯定的な意見のほか、平日の行事を不満に感じるもの、さらに早い予定の周知を望むものなど様々な意見が寄せられています。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	46	8	2	0
肯定的な回答は8割を超えています。乳児クラスにおいて、職員に相談しやすいと感じる保護者の割合が多い傾向が見られます。自由回答では、相談のしやすさを評価するもの、機会はあるが十分時間がとれないというもの、機会自体がないというもの、等様々な意見が寄せられています。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	48	8	0	0
肯定的な回答は8割を大きく超え、否定的な回答はありません。職員の姿勢については、安定した評価が得られていることがうかがえます。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	38	18	0	0
肯定的な回答は7割を下回っており、年齢別に見ると、乳児クラスでは6割強、幼児クラスでは7割程度と、その率にはやや開きがみられます。否定的な回答があるわけではなく、「どちらともいえない」と回答する理由としては、「どのように守っているかわからない」ということが主なものと考えられます。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	48	8	0	0
肯定的な回答は8割を大きく超え、大切にされていることに疑問をもつ声はみられません。子どもが先生を大好きなことや、担任の様子から、子どもが大切にされていることをうかがい知ることができる、といった意見が寄せられています。				

11. 職員の対応は丁寧か	45	10	1	0
肯定的な回答は約8割を占め、職員の礼儀正しさや丁寧さは概ね認められています。自由意見の中には「子どもが丁寧な言葉を使うようになった」というもののほか、「職員によって異なる」とする意見は複数みられます。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	35	16	4	1
肯定的な回答は6割強にとどまっています。言いづらさは、乳児クラスに比べ幼児クラスで感じる人の割合が多くみられます。言いやすいか言いづらいかを一律でき設問なので、寄せられた意見の中には「言いたいことはまだないが、先生が好きなので言いにくい」などもみられます。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	43	12	0	1
対応については、肯定的な回答が7割を大きく超え、否定的な回答はみられません。自由意見では、実際のアンケートなどへの迅速なフィードバックの例をあげ、園の前向きな姿勢を評価する意見も寄せられています。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	11	7	36	2
知らない人が多勢で、全体の6割強を占めており、ポスター等が園内や公共施設に掲示してあるにもかかわらず、関心を持って見られていない状況が結果となって現れています。				
15. [過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に] サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	13	5	0	0
1年以内に利用を開始した18人中13人が肯定的な回答をしています。否定的な回答はありませんが、自由意見では、「初めての子どもで頭がいっぱい」、「説明は全体的なこと、子の年齢による細かいことはわかりづらかった」、「初めての入園で基本的な流れがそもそもわからなかった」などもあげられています。				

組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

共通評価項目	
カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定
サブカテゴリ1	
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	

評価項目3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点(A)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ◎なし

カテゴリー1の講評

「健康なこども」、「心豊かな子ども」、「自分で考えて行動する子ども」の周知と理解
園が保育で大事に考え利用者に発している3つのメッセージは、園内の掲示やパンフレット等を通じて職員も保護者も確認できるように
なっています。利用者調査では「食事」、「外遊び」、「病気や怪我への対応」、「人との関わり方の基礎育成(区の独自調査項目)」、「子ども
は大切にされている」ことを肯定的に捉えている人がいずれも8割を大きく超え、子どもの心身の健康づくりと自立心の育成に必要な温か
い人間関係の基礎づくりといった、園のメッセージに関連する取り組みは、子どもの発達を通じて保護者にも理解されている様子がうかが
えます。

会議内容についての周知徹底
保育内容の検討、環境の整備、園の管理運営など、職員の役割分担により様々な構成の会議体があり、開催時間も日中、夜間など様々
です。きめ細かい検討を行うために必要な構成となっていますが、検討経緯や決定事項について、全体への周知が十分とは言いきれな
い状況です。経営層も会議の持ち方について見直しの必要性を感じていることから、周知の方法も含めた工夫が望まれます。

大事にしている「仲間に伝える」、「みんなで考える」
園長をはじめ職員の異動による入れ替わりが多く、各場面で確認や見直し業務が発生しています。何事も模索中であるという認識を持ち、
職員同士相手の気持ちを尊重しつつ情報を伝え合う、意見を出し合うことを意識的に取り組む姿がうかがえます。
また、今年度の業務改善点のひとつに「異職種の業務内容を知る」を掲げ、各職種(保育士・栄養士・看護師など)がお互いにより知り合う
ことで円滑な運営を目指しています。知る過程も、園の目指していることや基本方針を確認しあう機会となっているのではないですか。

カテゴリ-2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
サブカテゴリ-2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

カテゴリ-2の講評

遊びに来た地域の親子が心地よく過ごせるような雰囲気づくり

“あそびにきませんか？”のパンフレットを用意し、園庭開放やふれあい保育、毎月の身体測定や育児相談を実施しています。遊びに来た子どもには、測定結果を記録できるカードを用意するなど、親子がまた来園したくなるような雰囲気づくりに努めるとともに、家庭ではできない体験の提供を心がけています。

現在は希望者を受け入れるにとどまりますが、園では地域の親子が保育園に何を望んでいるかを改めて探る必要性を感じていることから、地域の子育てへのより積極的な関係づくりの実践に期待が寄せられます。

職員の法・規範・倫理に関する理解

園に常備している公務員倫理に関する特別区のハンドブックには、子どもの人権尊重や個人情報保護をはじめ、福祉サービス従事者として守るべきことが明示されています。また、平成21年度より実施される新保育所保育指針の検討は、倫理法令等の遵守について再確認する機会にもなっています。一方、職員自己評価では「法・規範・倫理の周知」の肯定的な回答は半数ほどにとどまります。職員は法令順守に則った保育の実践を行いながらも、法律等を十分に理解するには至っていない状況がうかがえるため、これらの理解を深める取り組みも期待されます。

地域の関係機関との連携

行政連絡会をはじめ、地域子育てネットワーク連絡会のメンバーとして、地域の子育てや教育の課題などについて情報・意見交換を行っています。また、保育士は児童館で乳児向けの保育の話をしたり、行事に関わったり、育児支援者として地域に出向いています。さらに、中学校の授業に講師として出向くなど、公立園として関係機関と協働する体制はできていますが、このような園としての取り組みは全職員に十分伝わってはいないのではないのでしょうか。職員同士で仕事内容を知りあうことも大事にしていることから、伝え合うことができるとよいと思われれます。

カテゴリ-3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリ-1

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリー3の講評

きめ細かい利用者意向への対応

保護者会、面談のほか、連絡帳や日常的な保護者とのコミュニケーションからの意向把握を大事にし、また行事後にはアンケートを実施するなど積極的な取り組みがみられます。職員自己評価からも利用者の意向は全園で検討している姿勢がうかがえ、行事のアンケートを例にすると、日程調整の早期化や行事開催の場所や園外の行事との兼ね合いなど、出された意見は次年度以降に反映させるべく調整を進めています。このような姿勢は利用者調査にも肯定的な結果として表れているといえます。

保育を取り巻く社会・地域のニーズを収集・把握する意識

保育業界に関する情報などは「保育サービス検討会議報告」、「杉並区保健福祉計画」をはじめ保育関係の本を園に常備することで、職員がいつでも閲覧できる環境ができています。また、現在行っている保育所保育指針の改定に伴う確認作業は、保育を取り巻く社会環境やニーズを改めて客観的に見直す機会にもなっています。しかしながら、これらの情報の収集や把握などについては職員一人ひとりの意識に大きな開きがあることから、経営層は関心を喚起することも必要ではないでしょうか。

苦情解決制度の周知

区の保健福祉サービス全般を対象に行われている「保健福祉サービス苦情調整委員制度」については、その概要と委員の氏名を記載したポスターを掲示して、利用者には周知を行っています。しかし、利用者調査では制度についての認知率は2割を下回ることから、引き続きの周知活動が必要といえます。

カテゴリ-4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ-1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点(A)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点(A)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(B)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることなどの取り組みを行っている	○非該当
○あり ●なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-4の講評

区のチャレンジプランに則った計画的な業務改善・接客向上・人材育成

杉並区役所が区民満足度向上のために実施しているチャレンジプランでは、前年度を振り返り、今年度に取り組む改善点を組織全体で確認・実行する仕組みができています。園では家庭との子育て情報の共有意識を新たにすることや地域の親子のニーズの探求、研修成果の着実な実践などを園全体の目標として取り組んでいます。年度途中では達成状況を確認して課題を再確認するなど、PDCAサイクルが定着しているといえますが、目標に応じた適切でわかりやすい指標の設定には改善の余地があると思われるため、これらの改善に向けた取り組みが期待されます。

危機管理意識の維持と安全対策の継続

安全については、危機管理マニュアルの完備や事故簿の記録、職員の防犯訓練や避難訓練の実施などに取り組んでいます。事故が起きた場合はその重要度に応じた園や区の対策を保護者に明示するなど、説明責任を果たし、保護者の不安軽減に努める姿勢が顕著にみられます。また、課のマニュアルの散歩時の安全対策グッズに、園では使いやすさを付加するなどの工夫もみられます。しかしながら、利用者調査では安全対策について肯定的な意見は5割強にとどまることから、引き続き高い危機管理意識の維持や対策の継続が必要であると思われます。

家庭と共有することを大事にしている保育指導計画

子どもに関する活動については、保育目標を定めた保育課程に基づき、年・月・週ごとの指導計画を作成しています。クラスの指導計画は担任を中心とした職員が子どもの発達や興味関心にあわせて月(週)ごとに作成し、幼児クラスでは毎月のクラスだよりにも掲載しています。家庭と子どもの育ちを共有することを大事に考えているので、クラスだよりには計画や目標に向けた保育士の思いも綴られています。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金・昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

研修報告の定期的な実施

保育士の経験年数などに応じた研修があり、職員は受講後にレポートを提出し、その後も研修成果をどのように現場で実践しているか等について区に報告する仕組みがあります。

園ではこれとは別に研修内容を職員に報告する機会を設けています。特に若手の職員が研修内容を実践したり、新しい試みを始めるきっかけとなる効果に期待が寄せられ、これまで滞りがちだった報告会を月に1回程度は実施するようになったことは、着実な取り組みとして評価できます。

相談・提案しやすい会議の工夫

職員の異動が近年続いたことにもよりますが、職員がみなで考えて伝え合うチームワークの大切さを再確認しています。事務室には議題用紙を設置し、議事を思いついた職員はいつでも提案・発表したいことを記入できる仕組みがあります。難しい仕組みではないが、いつでも閲覧・記入できることは、日ごろの気づきや工夫の輪を広げ、互いが学びあう機会を逃さない重要なものといえます。相談や提案のしやすさは多くの職員が感じていることでもあり、組織力を支える基盤でもあることから、意識的に維持することが大切といえるのではないのでしょうか。

チームワークで補いあう人員配置

常勤職員については配置基準による区の採用があり、園には人材構成を踏まえた実質的な人事権はありません。園は必要な人員の確保を区に要求していますが、突発的ともいえる人員不足には経営層をはじめ園内で補いあってきました。利用者へ大きな影響を与えることなくサービスが提供できたのは、チームワークの成果ともいえます。職員にかかる負担は決して小さくない中、職員がお互いの業務を知り合うことも人材育成の一環と考え対応してきました。本来のあるべき姿とはいえないが、実績は組織の自信となって蓄積されたと考えられます。

カテゴリ-7		
7	情報の保護・共有	
サブカテゴリ-1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリー7の講評

個人情報保護法や区の条例等の再確認

個人情報については、園長・主査及びフリーの保育士がリーダーとなり、パソコンの管理をはじめ書庫の鍵の管理などを行っています。情報の管理はマニュアルに則って行われ、利用者の理解が必要な子どもの写真の扱いなどは保護者会で説明しています。一方、情報管理のもとになる区の規定などについては、職員による認識に開きがあることがうかがえます。今後は、法や条例の理解を深めることも大事に考えて取り組めるとよいのではないのでしょうか。

カテゴリ-8

8 カテゴリ-1～7に関する活動成果

サブカテゴリ-1

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」

A+ A B C

改善の成果

園の理念や方針の再確認

園長をはじめ職員の異動による入れ替わりが多く、各場面で確認や見直し業務が発生しています。何事も模索中であるという認識を持ち、職員同士相手の気持ちを尊重しつつ情報を伝え合う、意見を出し合うことに意識的に取り組んでいます。これまで慣例として行っていたことも、明文化しながら理解を深めてきました。

また、チャレンジプランでは「職種ごとの仕事をお互い知り合い、それぞれの仕事がスムーズにいくようにする」を目標のひとつに掲げ、各職種(保育士・栄養士・看護師など)がお互いより知り合うことで円滑な運営を目指してきました。

これらの取り組みの過程で、職員は園の目指していることや基本方針を改めて確認しあうことができたといえます。

サブカテゴリ-2

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」

A+ A B C

改善の成果

研修成果の実践の場づくり

保育士の経験年数などに応じた研修があり、職員は受講後にレポートを提出し、その後も研修成果をどのように現場で実践しているか等について区に報告する仕組みがあります。また、これまでも受講後に園内で報告する場は設定されていましたが、研修報告の優先度はどうしても低くなりがちであり、継続的な報告会の開催は困難な状態でした。

そこで、園では「研修成果を保育の実践でお互いに学びあう」ことをチャレンジプランの目標に掲げ、今年度から報告会の開催日を毎月固定に設定しました。

研修成果の実践の場、特に若手職員の活躍の場づくりにつながる、計画的で着実な取り組みといえます。

サブカテゴリ-3

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」

A+ A B C

改善の成果

多様なサービスの提供

昨年度までは試行段階であった延長スポット保育を本年度より本格実施し(1回500円、月の利用回数が9回以上は無料)、利用者の利便性に向上を図りました。

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+ A B C

改善の成果

行財政改革の着実な実行

区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年度までに6割の事業を委託・民営化・協同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げています。この中で、区立保育園の事業委託等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」という3つが掲げられており、区の保育分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+ A B C

改善の成果

利用者意向を園全体で検討し改善につなげる姿勢

保護者会、面談のほか、連絡帳や日常的な保護者とのコミュニケーションからの意向把握を大事にし、また行事後にはアンケートを実施するなど積極的な取り組みをしています。行事のアンケートを例にすると、日程調整の早期化や行事開催の場所や園外の行事との兼ね合いなどについて出された意見は、次年度以降に反映させるべく調整を進めています。相談や提案をしやすい組織体は、利用者の意向を園全体で受け止め、改善に向けて検討する基盤となっています。

サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

共通評価項目	
サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している 評点(A)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし	
サブカテゴリ-1の講評	
<p>園の情報をさまざまな形で発信</p> <p>園の情報は、区役所で配付している保育園の概要資料のほか、区のホームページ上でも提供されています。このホームページは、杉並区立園共通のフォーマットで作成されており、「所在地」「園の概要」「保育目標」「年間行事」などのほか、「園内の見取り図や写真」「地域向けのサービス」「園の特色」も掲載されており、園の様子が伝わりやすいよう工夫されています。また、園においてもコンパクトに園の概要をまとめた「ほいくえんのしおり」を作成し、園見学者や散歩先で配布するほか、児童館や園医などのところに置かせてもらい配布しています。</p> <p>園で行われている様々な活動を見学・体験できるメニューを用意</p> <p>園では、見学や保育相談、「大きくなったかな(身体測定)」、「あそびにきませんか!？」(園庭開放)、ふれあい保育(10:00～給食終了まで)、各種行事(運動会、焼き芋)等、地域の子育て世代や入園希望者などに対して、一人ひとりのニーズにあわせた内容で園を見学・体験等行うことができる様々なメニューを用意しています。園では、これら見学者等の受け入れに際し、体制を工夫するなど各クラスでの受け入れ等がスムーズに行われるよう配慮されており、無理なく対応することができています。</p>	

サブカテゴリ-2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2の講評

入園時の各種聞き取りや説明はわかりやすく漏れがないよう配慮

入園前の面接や入園説明会では、園での基本的なルール、園生活に必要なもの等について資料等を用いて丁寧に説明されています。また、食事面については栄養士や調理士が、健康面については看護師が、それぞれ対応し聞き取りや説明等を行うなどの配慮も行われています。しかし、利用者調査においては入園時の説明はわかりやすかったと支持する意見が7割強にとどまるとともに、「入園初日の基本的な流れがわかりづらい」等の意見も寄せられており、今後、さらに多くの保護者からわかりやすいと感じられるように説明等を工夫していくことが望まれます。

入園直後は子どもへの影響を考えた保育を実施

初めての園生活を迎える子どもたちにとっては、環境変化に伴う心身の負担が大きいことから、小グループでの保育を行うとともに、職員の人員配置を手厚くして、子ども一人ひとりの入園前の状況を踏まえた柔軟な保育が行えるよう対応しています。また、保育開始初日から数日は短時間保育を行う「なれ保育」を可能であれば実施しており、子どもが園や担当保育士になれ、無理なく園生活をおくることができるよう、また、保護者が安心して園に預けていただけるよう努めています。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

サブカテゴリー3の講評

保育に関する計画については3段階で作成

保育に関する計画については、クラスごとに年間及び月の指導計画・週ごとの計画(週案)の大きく3段階の計画があり、それぞれの計画は、計画の終了時に反省を行い、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。この計画の作成の際には日々の子どもの状況を踏まえるほか、保護者からの要望についても考慮して作成され、計画途中の段階であっても必要に応じて、改定が行われています。なお、保護者に対しては、年間計画は保護者会で、月案は毎月のクラスだよりでそれぞれ伝えられています。

子ども一人ひとりの記録は統一様式の「児童票」に記録

子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。この「児童票」は、杉並区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分けされています。また、次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、より子どもの成長について保護者とわかち合えるような内容とするべく検討が行われています。

口頭と記録をセットにした情報の伝達や共有

各クラスでの情報共有は月の指導計画や保育日誌、職員会議を通じて行われているとともに、日々の情報共有については、毎日のミーティングのほか朝夕保育表やクラスの朝夕ノート、延長保育日誌を通じて行われており、口頭と記録のセットで伝達することにより漏れが発生しないよう配慮されています。また、朝夕パートなどの非常勤職員との情報共有については、必要な情報については口頭で伝えるとともに、仕事を依頼する際は理由も同時に伝え、制約がある中での最大限の配慮を行っています。

サブカテゴリー5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得ようとしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		
サブカテゴリ5の講評		
<p>保護者の同意を経て子どもに関する情報を提供</p> <p>子どもに関する情報については、子ども一人ひとりの状況に応じた保育を行うため、また、子どもたちの成長した姿や園での様子を保護者に伝えるため、日々記録を行い、蓄積していますが、これらの記録を外部に提供する必要がある場合は、目的外に情報を使用することとなるため必ず保護者の同意を得てから行うようにしています。以前、園に雑誌の取材が来た際もお知らせや個別確認等を通じて保護者の同意を得てから、取材協力を行うなどこの考え方をしっかりと実践している姿も確認できました。</p> <p>プール実施時や排泄時等におけるプライバシーへの配慮</p> <p>園では、プールの着替えは屋内で行い、シャワーやプール遊びを行う際も外からの視線をさえぎる目隠しを設けるなどの配慮を行うとともに、おむつ交換時においても、「おむつ交換コーナー」を設け、おむつ交換時は必ずここで行うなど、子どものプライバシーに配慮した活動を行っています。</p> <p>事例検討等を通じて行われる振りかえりの実施</p> <p>園では、毎月行われる指導計画の検討の際、日ごろの保育中の子どもや職員の姿を事例を通して検討しているとともに、「保育マニュアル」として職員が日ごろから心がけるべき基本的な姿勢を取りまとめ、文章として明示するなど、子どもに対する接し方や言葉遣い等が適切に行っているかを振りかえり、よりよい対応につなげていく取り組みを行っています。この成果は利用者調査において8割を大きく越える保護者から「子どもは大切にされている」と肯定的に捉える回答が寄せられており、着実に成果に結びついている活動と評価できます。</p>		
サブカテゴリ6		
6	事業所業務の標準化	
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリ6の講評

園の基本的なルールや各種対応方法を定めたマニュアル

園の基本的なルールや事件・事故等に対する対応方法などについては、区で作成した「危機管理マニュアル」に取りまとめられているとともに「危機管理マニュアル」では不十分な領域については園の実情にあわせた園独自の「マニュアル」を作成しています。このマニュアル群は、日々の保育の振りかえりに活用されるとともに、内容の見直しについては、年間反省や半期反省などの際の定期的なもののほか、必要に応じて随時改定も行われています。直近では「園外保育の手順」についてその内容が見直しされました。

マニュアルを日々の保育で活用

マニュアルは、必要ときにすぐに参照できてこそ作成した意味がありますが、園では事務室において「マニュアル集」として保管されているもののほか、乳児を受け渡す場所には「検温の方法」を貼り出す、延長保育日誌には、ケアが必要な子どもの名簿と対応方法を掲載するなど、マニュアルが必要とされる場面・場所に応じてすぐに参照できるよう工夫しています。

サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし			
評価項目1の講評			
<p>恵まれた周辺環境の中で展開される充実した戸外遊び</p> <p>園では、恵まれた周辺環境を生かし、散歩など戸外で行う活動を充実させています。地域の方からいただいた竹を使って製作したおもちゃ(竹ぼっくり等)や丸太をスライスしただけの遊具など自然のものを上手に利用して展開される遊び、区民農園を利用した野菜作り、製作活動の際に使う松ぼっくりやどんぐり、枯れ枝や枯葉を採集に出かける、時にはお弁当やおやつを持ってお出かけする「お弁当持ち散歩」「おやつ持ち散歩」なども行われており、子どもたちが様々な刺激を受けるとともに、楽しい気持ちで活動を行えるよう、様々な工夫が施されています。</p> <p>自主的、自発的な遊びを引き出す様々な配慮</p> <p>園では、子どもたち一人ひとりが遊びに対して積極的に取り組めるよう、年齢に応じた様々なおもちゃを用意するとともに、外遊び等で空いているクラスやホールも有効に使いながら、遊びこめる環境づくりを行っています。また、積み木遊び等で遊びこんでいる際に、クラスの活動のために中断しなければならない場合などは、積み木で製作中の作品をそのままにして、また遊びを再開できるよう配慮するなど、子どもが自分の好きな活動を継続的にできることを大事に考えて園の遊びのルールが定められています。</p> <p>関係機関と連携した保育への取り組み</p> <p>障害や特別な配慮が必要な子どもを保育する際は、区の制度として定期的に専門家による巡回相談を受けることができる制度が用意されており、子ども一人ひとりの状況に応じた対応方法を保育士が専門家から直接学ぶことができる機会が保障されています。こうした巡回相談で得られた情報や対応方法については、職員間で伝え合うことによって、共有されており、組織としてより充実した保育を行っていきたいとする姿勢が強く感じられます。</p>			

2	評価項目2 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		評点(A+)
	評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input type="radio"/> 非該当	
【A+の取り組み】 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし			
園では、「食」について考え、学ぶことを大切に考えており、年長児では、区民農園にてサツマイモの栽培・収穫と調理体験(焼き芋など)を行うとともに、行事に合わせてクッキーを作ったり、おにぎり作りを体験するなど、栽培から調理に至る食事ができるまでの一連の流れを体験を通して学ぶことができるプログラムを用意しています。また、調理師の協力の下、園庭で栽培した野菜や庭木の実(ブルーベリー等)を収穫し食べたり、給食を食べる前に保育士がその日の食材についてお話しする等、職種を越えて協力しながら食育に取り組んでいる点は評価できます。			
評価項目2の講評			
食事がより一層楽しくなる環境配慮 お楽しみ会などの行事の際には、会食形式で食事を行うほか、誕生日当日には、ランチマットやランチ皿を使用する、雪の日におにぎりを「雪だるまおにぎり」にして提供する、また、散歩の際にお弁当やおやつを持って出かける「お弁当持ち散歩」や「おやつ持ち散歩」が行われるなど、特別な日には食事のメニューだけではなく、環境設定やちょっとした見た目を変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。			
個別に対応した食事を提供 アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども等特別の配慮が必要な場合などは、保護者や栄養士、保育士との間で打ち合わせを行って、個々の内容に応じた食事が個別に提供されています。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳が行われるとともに、調理と保育の両方でクロスチェックをかけるなど、間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。			
食事がしやすい環境の整備 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスでは座面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせた高さに調整するほか、それ以外のクラスでも子どもの高さに合わせてイスやテーブルを用意し、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。			
3	評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当	
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし			

評価項目3の講評

子どもの健康状態のきめ細かな把握

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況を確認しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診(0才児は週1回、以後は年2回)をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の年1回の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申込書を用いた対応等を行っています。

感染症予防の取り組み

感染症予防に関しては、感染症が流行する時期には、園内掲示をして注意を喚起するなどの活動が行われています。また、感染症の発生時には、嘔吐などに対処できるよう決められた場所に処置用のグッズを配置して、いざというときにきちんと対応できるよう備えています。なお、感染症が実際に発生した場合は該当クラスだけではなく他クラスも含め注意喚起の掲示を行い、感染の拡大が起こらないよう取り組まれています。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点(A)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生日会、季節の行事など)	○非該当
◎あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
◎あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ◎なし

評価項目4の講評

年齢別で配慮された環境設定

0・1歳児クラスについては、窓の位置が低く、子どもたちでも外が見えるようになっており、1歳児クラスでは、出入りの業者との挨拶を楽しみにしているなど、室内にいながら外部との交流を楽しめるようになっていきます。また、室内にはキルティングの手作り壁掛けなど、手作りで温かみのあるおもちゃなどが配置されており、柔らかな雰囲気が漂うクラスで落ち着いて活動ができるよう配慮されています。また、2歳児以上のクラスでは、製作活動や絵画活動で作成した作品が展示されており、日々の活動の成果を保護者も共有できるよう配慮されています。

子どもたちが園生活を楽しめるよう取り組む行事や交流

誕生日は、誕生日当日にクラスでお祝いを行う形式となっており、誕生日であることを示すリボンをつけ、食事もランチマットにランチ皿で食べるなど子ども一人ひとりが特別な気持ちになれるよう配慮しています。また、行事については、七夕や節分などの季節の行事を取り入れているほか、保護者参加行事である運動会や夏祭り、発達センターの子どもたちとの交流(障害児との交流)やゆうゆう館との交流などを行い、子どもたちが保育園の生活を楽しめるような工夫がされています。

子どもたち一人ひとりの生活リズムを大事にした睡眠

延長保育を行っている本園では、長時間お預かりしている子どももいるため、個々の生活リズムをより大切に考え、お昼寝についても特に配慮をしています。0歳児クラスでは、子ども一人ひとりのリズムに合わせ眠いときには寝かせるとともに、1歳児クラスでは必要な子どもには午前寝もとるなど配慮しています。また、その他のクラスでもお昼寝は長時間保育の中での休息の時間と捉え、食事が終わったらすぐに睡眠が取れるよう布団をあらかじめ敷いておくなど、ぐっすりとお休めるよう配慮しています。

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	○非該当
	◎あり ○なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当
	◎あり ○なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当
	◎あり ○なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	○非該当
	◎あり ○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
[A+の取り組み] ○あり ◎なし			
評価項目5の講評			
<p>子どもたちの様子や園の活動をわかりやすく伝える取り組み</p> <p>保護者に対する園からの情報提供については、定期的かつ発行されるクラスだよりや園だより等の各種おたよりがあります。また、日々の保育の様子を保護者に伝える方法として、日誌の公開や写真の公開が行われています。特に写真の公開については、保護者の方が参加していない行事やイベント(避難訓練の様子・おみせやさんごっこ等)を中心として撮影するよう心がけており、日誌の文章と合わせ「今日は何をやったのか」を効果的に伝える工夫が行われています。</p> <p>行事等の日程への配慮</p> <p>保護者が参加する主な行事については、運動会は土曜日開催、夏祭りは平日夕方開催、卒園式は保護者の予定を考慮して調整し決定、という状況ですが、運動会は近隣の保育園や小学校などと開催日が重ならないように情報収集してから決定するなど、配慮しながら決定していますが、保護者会については、平日に開催されています。利用者調査では、肯定的な意見が7割を切っており、高い支持を受けるには至っていません。平日等の参加しにくい日程であっても園にきて良かったと感じられるような設定について検討するなど、今後の取り組みが期待されます。</p> <p>いつでも対応している保護者からの相談</p> <p>保護者からの相談については、常時受け入れられるよう体制を取っています。また、日頃の送り迎えの際の会話も大事にしており、職員一人ひとりが誠実に対応するよう心がけられています。こういった姿勢は、利用者調査において「家庭と保育園との信頼関係」について肯定的な回答が8割を大きく超えており、日頃の園の活動が保護者に受け入れられていることが利用者調査にも現れています。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当
	◎あり ○なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
	◎あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	[A+の取り組み] ○あり ◎なし		

評価項目6の講評

区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援

虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、『虐待防止マニュアル』の実践をはじめ、区の保育課、家庭支援センター、児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見時の対応などが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。

研修内容の職員間での情報共有と園全体の対応能力の底上げ

該当するケースがない場合でも区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の向上を図るとともに、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされるよう取り組みを行っています。継続的な園全体のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりが期待されます。

評価項目7

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(A)

7

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	○非該当
●あり ○なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目7の講評

保護者の希望する地域情報の提供

杉並区の子育て応援券に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域の施設や機関から依頼があった場合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供をおこなっています。

豊かな経験をもたらす地域の様々な人たちとの交流

地域との交流は、中学生の職場体験などの受け入れや実習生などのほか、地域の方も参加できる運動会や夏祭りなどの行事、園庭開放やふれあい保育に参加する親子との交流、発達センターとの交流、ゆうゆう館との世代間交流など、様々な年代の方々との交流が意欲的に行われています。しかしながら、園庭開放やふれあい保育等に気軽に参加してくれる親子が少ないため、園が地域の子育て支援施設として地域に根ざしているとまではいえない状況であると園では考えています。今後の園の取り組みが期待されます。

特に良いと思う点		
1	タイトル	家庭と園でともに子育てを進める姿勢
	内容	「保護者と連携して子育てを進めていく」ことを今年度の業務改善の最上位に掲げています。幼児クラスの保育計画は保育士の想いを綴って毎月のクラスだよりに掲載し、遊びの場面が多くなりがちだった乳児クラスの写真は生活の様子も取り入れるなど、子どもの興味や関心をより細かく伝え、多くの情報を共有するよう努めることで、家庭での会話を広げる効果ももたしています。 また、園内にある職員の顔写真掲示や園の協力のもと父母会が作成・配布する職員の顔写真入りおたよりは、利用者が園をより身近に感じる一助となっていることがうかがえます。
2	タイトル	恵まれた周辺環境の中で展開される充実した戸外遊び
	内容	園では、恵まれた周辺環境を生かし、散歩など戸外で行う活動を充実させています。地域の方からいただいた竹を使って製作したおもちゃ(竹ぼっくり等)や丸太をスライスしただけの遊具など自然のものを上手に利用して展開される遊び、区民農園を利用した野菜作り、製作活動の際に使う松ぼっくりやどんぐり、枯れ枝や枯葉を採集に出かける、時にはお弁当やおやつを持ってお出かけする「お弁当持ち散歩」「おやつ持ち散歩」なども行われており、子どもたちが様々な刺激を受けるとともに、楽しい気持ちで活動を行えるよう、様々な工夫が施されています。
3	タイトル	「仲間に伝える」「みんなで考える」ことを大事にする姿勢
	内容	職員がみんで考えて伝え合うチームワークの大切さを再認識しています。今年度の業務改善点のひとつに「異職種の業務内容を知る」を掲げ、各職種(保育士・栄養士・看護師など)がお互いにより理解し合うことで円滑な運営に取り組んできました。 また、職員室には議題予定ノートを設置し、議事を思いついた職員はいつでも提案・発表したいことを記入できる仕組みがあります。日ごろの気づきや工夫の輪を広げ、互いが学びあう機会を逃さない重要なものといえます。情報を伝え合う、意見を出し合うことを意識的に取り組む姿が評価できます。
さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	地域の親子との一歩進んだ関係づくり
	内容	地域の親子に向けて“あそびにきませんか?!”のパンフレットを用意し、園庭開放やふれあい保育、毎月の身体測定や育児相談を実施しています。遊びに来た子どもには、測定結果を記録できるカードを用意するなど、親子がまた来園したくなるような雰囲気づくりに努めるとともに、家庭ではできない体験の提供を心がけています。現在は希望者を受け入れるにとどまりますが、園では地域の親子が保育園に何を望んでいるかを改めて探る必要性を感じていることから、一歩進んだ関わり方の実践に期待が寄せられます。
2	タイトル	行事等の日程への配慮
	内容	保護者が参加する主な行事のうち、保護者会については、平日に開催されており、このことが、利用者調査において、行事日程について肯定的な意見が7割を切る結果につながっている主要因となっていることが予想されます。すべての行事を土日に開催することは大変難しいことを考慮すれば、平日等の参加しにくい日程であっても園にきて良かったと感じられるような設定について保護者の意見を踏まえて検討するなど、保護者を巻き込んだより踏み込んだ検討が期待されます。
3	タイトル	危機管理意識と迅速な対応
	内容	安全について、マニュアル完備や各種訓練とあわせ、事故等が起きた場合のその重要度に応じた園や区の対策を保護者に明示しています。説明責任を果たし、保護者の不安軽減に努める危機管理の姿勢がうかがえます。 また、子どもの安全を最優先とし、例えば園舎内で頭をぶつけた子がいればその日のうちに緩衝材を設置したり、落ちて針がささらない形状の画鋲に取り替える、散歩時の安全対策グッズには独自に使いやすさを付加する、などの実績もあります。継続した取り組みにより、園の安全対策への利用者の認知がさらに高まることが期待されます。

今川保育園

〔利用者調査：認可保育所〕

(事業所名：杉並区立今川保育園)

調査対象

同一世帯で複数の子どもの子どもが園を利用しているケースがあり、回答者(保護者)の負担を軽減する観点から、調査時点における全利用世帯78世帯を調査対象としました。(複数の子どもの子どもが園を利用している世帯は、一番年齢の低い子どもの例で回答を依頼)

調査方法

回答者(保護者)へ園より手渡しで調査票を配付し、回答票は郵送により回収しました。

利用者総数

78

共通評価項目による調査対象者数

78

共通評価項目による調査の有効回答者数

54

利用者総数に対する回答者割合(%)

69.2

利用者調査全体のコメント

園に対して総合的に満足している人は、回答者全体の9割を大きく超える結果となりました(総合的な評価で「どちらかといえば満足」以上の回答者の合計が92.6%)。個別にみると、「提供される食事への配慮」、「体調変化への対応」、「子どもは大切にされている」について肯定的な回答が約9割を占める他、「戸外遊びの機会」、「職員の聞く姿勢」、「職員は礼儀正しく丁寧」などについても肯定的な回答が8割を超えており、園における基本的な生活について保護者は満足している様子がうかがえます。一方、「安全対策」をはじめ「要望や不満の言いやすさ」、「行事日程の設定」などについては肯定的な回答が比較的低い結果となっています。今回のアンケートが様々な要望の把握や分析、さらに今後の満足度をあげる取り組みのきっかけとなることが望まれます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	49	5	0	0
食事やおやつへの満足度は高く、概ね肯定的な回答が寄せられています。また、補食に対する意見(ごはんやパン等であることがうれしい)や自分で食べるように挑戦させている点が良いなど、食事に対する姿勢について評価する意見もみられます。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	44	5	5	0
肯定的な回答は8割ほどで、年齢別でみると特に3歳以上の子どもを持つ保護者の方が満足率が低い傾向が見られます。自由意見では、公園や園庭での遊びについては、概ね満足する意見が多くみられますが、もっと外遊びをさせて欲しいという、意見も多い状況です。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	37	9	3	5
肯定的な回答は約7割ほどで、延長利用(スポット保育)が利用しやすいという意見が多く見られます。また、それ以外では、少数ながら電話がつながりづらい等の意見も見受けられます。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	51	2	1	0
肯定的な回答は9割を超え、満足する人が多い項目です。保護者へ連絡をとるタイミングについては「早い」「人によって異なる」など様々な意見があげられています。また薬を与えてくれるので助かるという意見も寄せられています。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	32	17	3	2
肯定的な回答は約6割にとどまっており、他の設問に比べ満足度が低い項目です。ただし、否定的な回答は少ないことから、園で行っている安全対策が保護者に十分伝わっていないことが要因のひとつとも考えられます。子ども同士での怪我に対するご意見や人の出入り、園近くの公園に関する事などについて、様々な意見が寄せられています。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	29	18	7	0
肯定的な回答は5割ほどです。平日開催の懇談会に関する不満が大多数を占めているが、乳児クラスの運動会参加がないことに対する不満も挙げられています。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	43	11	0	0
肯定的な回答は約8割です。自由回答では、相談のしやすさを評価するもの、機会自体がないというものなど様々ですが、幼児クラスになり連絡帳がなくなり相談しづらくなったという意見も挙げられています。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	44	9	0	1
肯定的な回答は約8割ほどで、否定的な回答もなく、多くの保護者から支持を受けている項目といえます。自由回答では、相談しやすい、相談しにくい、相談してもいい回答がかえってこない、今後相談したい等様々な意見が寄せられています。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	41	7	2	4
肯定的な意見は8割弱ですが、少数ながら0～2歳児の保護者から否定的な回答もみられます。自由回答では、配慮に欠けることがあるという意見が複数寄せられています。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	50	3	0	1
肯定的な回答は9割を超え、否定的な回答もなく、ほとんどの保護者から支持を受けている項目といえます。また、自由回答では、大切にされているという肯定的な意見のほか、少数ながら朝の出迎えがほとんどないとの否定的なコメントも寄せられています。				

11. 職員の対応は丁寧か	48	5	1	0
肯定的な回答は約9割で、否定的な回答もほとんどなく、多くの保護者から支持を受けている項目といえます。ただし、自由回答では、パート職員の対応について否定的な意見が複数寄せられています。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	28	20	4	2
肯定的な回答は5割強にとどまり、言いやすいとは感じていない保護者も一部みられます。言いやすいか言いづらいかを一律できく設問なので、寄せられた意見の中には「言う必要がない」なども多くみられ、回答方法に苦慮した姿も垣間見られます。なお、自由意見の中には、「言える要望と言えない不満がある」等の不満は言いづらいとの意見や言っても変わらないといった意見も少数ながら寄せられています。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	36	16	0	2
肯定的な回答は7割弱にとどまっています。ただし、否定的な回答はなく、わからないとの自由意見も寄せられていることから、前問同様、回答しづらかった方も多い設問であったと想定されます。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	16	4	32	2
知らない人が多勢で、全体の6割を占めています。また、0～2歳児の保護者のほうが約2割ほど否定的な回答が多い結果となっています。ポスター等が園内や公共施設に掲示してあるにもかかわらず、関心を持って見られていない状況が結果となって現れています。				
15. [過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に] サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	10	0	0	1
1年以内に利用を開始した11人中10人から肯定的な回答を得ているとともに、否定的な回答や自由意見もないことから多くの保護者から支持されていることがうかがえます。				

組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

共通評価項目	
カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定
サブカテゴリ1	
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(A)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	

評価項目3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし

カテゴリ1の講評

園の目指しているもの(保育目標等)は周知されています

園の保育目標は、区の保育園紹介のホームページや入園時に保護者に配付される「園のしおり」に掲載しているほか、事務所への掲示、各クラスに配付されているマニュアル集などを通じて、職員や保護者がいつでも確認できるようになっています。また、区では新保育指針施行に向けたプロジェクトの中で杉並区立保育園全体の保育目標について現在検討しており、来年度、これを受けて園の保育目標についても再検討する予定となっています。

経営層(園長・主査)は、自らの役割と責任に基づいて行動しています

園長や主任の役割と責任は、区のマニュアルに規定されているほか、年度の事務分担表に全職員の役割分担を記載しています。園長は、園の総括を行う中で、園長・主査や一般の保育士、看護師、調理員等、役職や職種間に垣根を作らず、自由に意見を言いやすい雰囲気作りを心がけ、職員間のチームワークが最大限に発揮される環境を整えることを大切にしています。また、地域に向けた活動については、経営層が中心となって行っており、園の対外的なアピール役として活躍しています。

各種定例会議により、意思決定過程が明確になっています

園での最高意思決定会議である職員会議を頂点として、クラスリーダー会議や各種行事の会議等の目的に合わせた様々な会議が設定されており、目的別の会議で話し合われた重要な内容については、最終的に職員会議に報告され、承認されるというスタイルが浸透しています。また、保護者に対する重要事項の伝達については、年2回の保護者会で説明を行っているほか、随時お知らせを配付して伝えています。

カテゴリ-2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
サブカテゴリ-2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2

ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

地域の関係機関との連携を図っている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-2の講評

遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます

全職員が所持する公務員倫理に関するハンドブックには、子どもの人権尊重や個人情報保護をはじめ、福祉サービス従事者として守るべきことが明示されています。また、平成21年度から施行される新保育所保育指針の検討は、倫理法令等の遵守について再確認する機会にもなっています。また、職員の綱紀の保持に関する通知等、本庁からの配付文書は、園内で回覧したり、打ち合わせで周知を行っています。

園庭開放や保育所体験を実施し、園の機能や専門性を地域に還元しています

園庭開放・身体測定を毎月実施しているほか、地域の親子の保育所体験(ふれあい保育)や中学生の体験学習を受け入れ、来園者からの育児相談にも都度対応するなど、園の機能や専門性を地域に還元しています。特に身体測定やふれあい保育については、来園者一人ひとりに個別のカード作成し配付するなど、1回限りの利用で終わらせず継続的に園に足を運ぶようなきっかけとなるような配慮も行われています。また、子育てサポートセンターが併設されていることから、こちらとの交流も頻繁に行われています。

小学校地域の子育てネットワークに参画しています

小学校地域の子どもに関わる施設・関係者(児童館、小学校、保育園、民生委員等)で組織された地域子育てネットワークに参画し、行事等への協力等を行っています。この地域との連携や交流に関しては、現在、経営層が主に行い、一般の保育士等あまり関わっていない状況ですが、職員自己評価結果では、経営層・一般保育士の双方から職員全体が関わっていくべきである、という意見が多数寄せられており、園全体で今後の課題であるという認識ができています。

カテゴリ-3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリ-1

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリー3の講評

保護者一人ひとりの意向を把握し、解決を図っています

苦情や意見、要望の把握については、現状、ノートや保育士との会話、保護者会を通じた要望、区への投書(メール)等、多様な手段を用いて行われています。ここで把握した内容については、朝のミーティング等を通じて全職員に周知し、内容を確認するとともに園長を中心として園全体で検討し、ケースに応じて区の担当課に相談して対応しています。

苦情解決制度を設けており、第三者に相談できる体制を整えています

区の保健福祉サービス全般を対象に行われている「保健福祉サービス苦情調整委員制度」については、定期的にその概要と委員の氏名を記載したポスターを掲示して、利用者に周知を行っています。

しかし、利用者調査では制度についての認知している保護者は3割に満たないことから、引き続きの周知活動が必要といえます。

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、地域子育てネットワークの連絡協議会や区立保育園の園長会、外部研修等への参加により収集・把握しています。園では専門誌の定期購入は行っていませんが、区の保健福祉計画等の資料や通知を掲示、回覧するなどして、職員への情報の周知を図っています。地域の動向の整理・分析については、主に区の担当課が行い、園長会等を通じて伝達されていますが、今後、園においてもこれらの情報を分析し、具体的に活用していくことが期待されます。

カテゴリ-4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ-1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
サブカテゴリー2		
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
カテゴリー4の講評		
<p> チャレンジプランを作成し、年度の重要課題に計画的に取り組んでいます 区では中・長期計画として杉並区基本計画や保健福祉計画、子ども子育てアクションプランなどを策定しており、必要に応じ随時見直しを行っています。また、行政改革の一環として、年度ごとに各部門(園)においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して取り組み計画を作成、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。今後は、さらにわかりやすい目標や指標を設定するなど、職員が身近に感じられるよう運用されることが期待されます。 </p> <p> 各種の年間計画や行事計画を作成し、計画的に園運営を進めています 園では、年度の役割分担等を取りまとめた「事務分担表」「職員係分担」や、保護者会・個人面談予定、避難訓練、防犯訓練の予定等を記載した個別の「年間計画」を作成しているほか、行事や外出等の短期の活動についても、プログラムや配置、準備物を記載した「行事計画書」、散歩についても「保育園散歩計画」を作成しています。これらは、年間・期の反省を行う打ち合わせ等の中で検討を重ねて作成しており、現場の意向や保護者の意向を踏まえて、計画的に園運営を進めていることが理解できます。 </p> <p> 子どもの安全の確保・向上に計画的に取り組んでいます 子どもの安全確保に関しては、区の危機管理マニュアルに基づき、定期的に安全点検を実施しているほか、災害・緊急時の避難訓練や防犯訓練を計画的に実施しています。防犯訓練では、警察官を招いて子どもに対する教育等も実施しています。また、事故が発生した場合は、その状況や原因、経過を「事故報告書」に記録し、全体に周知して改善策を話し合う、再発防止の仕組みも機能しています。しかし、利用者調査では安全対策について肯定的な意見は6割弱にとどまることから、保護者も巻き込んだ訓練を企画する等新しい取り組みも必要であると思われます。 </p>		

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

園に必要な人材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています

常勤職員は配置基準に応じた区での採用となっており、本庁で採用試験が実施されています。非常勤職員については園で面接採用していますが、園長には園全体の人材構成を踏まえた実質的な人事権はないため、都度担当課に要望を出し、欠員のないように努めています。クラス担任については、毎年度末、職員から希望をとり、経験や能力、バランスを考慮して園長が決定しており、概ね職員の希望に沿った配置ができています。係分担についても、各職員から希望を出してもらい、クラスや業務負担が偏らないように調整して決定しています。

個人用チャレンジプランを基に職員の質の向上に取り組んでいます

職員個々の能力向上に関する希望は、年度当初に個人用チャレンジプランを作成してもらい、これを基に園長が個人面談を行う中で把握しています。特に本園では職員が記入しやすいように独自に作成した自己評価シートを用いることによって、より職員が記入しやすい形にしたことは評価できます。また、研修は、勤務時間中の受講が保障されており、個人用チャレンジプランや各自の経験年数・力量に応じて受講を進めています。研修受講後は、個人の研修歴カードに実績を記録するとともに、レポートを作成して、園長が確認した上で区に提出しています。

職員一人ひとりの経験が組織の経験になるよう取り組んでいます

園では、職員一人ひとりが受講した研修の内容について、研修報告会を設けたり、資料の回覧等を行うことによって、その成果を職員間で共有できるよう仕組みを整備しています。特に障害指定園である本園では、障害児に対する対応も非常に重要であることから、定期的に行われる専門家による巡回指導などは、障害児の支援を直接行っている保育士だけではなく会議の中に取り込んで多くの職員が参加できるようにするなど、園全体で共通認識が醸成されるよう工夫しています。なお、今後は現状では手薄になっている園内研修を充実させていくことが望まれます。

カテゴリ-7		
7	情報の保護・共有	
サブカテゴリ-1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(A)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリー7の講評

園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットで管理しており、区で定めた文書分類及び保存年限に従って整理しています。また、園に到達した文書や新たに作成された記録も随時フォルダに追加し、年度末には中身を入れ替えるなど、使いやすく更新しています。児童票等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるファイリングキャビネットやロッカーに保管しています。電子データの場合も、パソコンに職員個人別のID・パスワードが設定され、職位別にアクセス管理を徹底しています。

個人情報の利用・保護について、保護者の理解を得るより一層の取り組みが望まれます

個人情報保護制度については、区の個人情報保護条例や関連規則により、保護の方法や本人に開示する際の手続きが詳細に定められており、区のホームページ等を通じて一般区民に対して明示されています。園で取扱う個人情報の利用目的については、区の入園申込関係書類に一部記載は見られますが、園においても、園のしおりに具体的に利用目的を明示したり、写真撮影や他機関への情報提供が必要な場合には保護者から書面で同意を得るなどの取り組みが望まれます。

個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています

個人情報の保護について職員の理解を促す取り組みとしては、職員採用時に守秘義務についての誓約書を取得しているほか、区の研修の中で個人情報保護に関する研修も実施されています。園内では、何か問題があった場合に打ち合わせ等で職員に注意を喚起しています。実習生やボランティアに対しては、個人情報保護等の留意事項を伝えています。個人情報の取り扱いについては、保管場所や掲示の仕方、写真データの保管方法などに細心の注意を払って対応しています。

カテゴリ-8

8 カテゴリ-1～7に関する活動成果

サブカテゴリ-1

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」

A+ A B C

改善の成果

園を訪れる地域の方々が着実に増えています

地域の親子を対象とした身体測定やふれあい保育については、来園者一人ひとりに個別のカード作成し配付するなど、1回限りの利用で終わらせず継続的に園に足を運ぶようなきっかけとなるような配慮を行った結果、特に身体測定を目的に訪れる親子が増加(昨年度のべ74名 今年度11月末までで72名)したことは大変評価できます。また、園を訪れる親子が増えたことに伴って、育児相談などの件数も増加(昨年度10名 今年度10月末までで25名)するなど、相乗効果も生まれています。

サブカテゴリ-2

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」

A+ A B C

改善の成果

チャレンジプランに独自のアレンジを行うことにより、職員の意欲が高まっています

区では共通の様式による個人のチャレンジプランを作成することになっていますが、本園では、職員から「わかりづらい」等の声もあったことから、より回答しやすい独自の自己評価シートを作成しました。これによって、経営層においては職員個々の能力向上に関する希望等を把握しやすくなり、また、職員においても、「自分が行っている保育について見直し、向上を図る機会ができた」と捉える意見が職員自己評価においてあげられるなど、経営層にとっては指導しやすく、職員にとっては意欲の向上を導いた取り組みとして大変評価できます。

サブカテゴリ-3

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」

A+ A B C

改善の成果

園で定めた基本事項を「確認事項」という1つの冊子にまとめ利便性を向上させました

これまでは、会議などでその都度個別に検討・確認され、配付されていた園で定めた基本的なルール(保育目標等の各種目標、行事・保健・散歩等の各種計画、事務分担表・職員係分担等の各種分担表、アレルギー対応・緊急対応・散歩等の各種マニュアル等)を「確認事項」という一冊の冊子にまとめ、各教室に配付しました(従来は事務室のみ)。これにより、職員の身近なところで各種手順や目標などをチェックすることができるようになり、各種計画の立案や振りかえり、反省、手順確認などが即座にできる基礎が整いました。

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+ A B C

改善の成果

スマートすぎなみ計画に沿った行財政改革を着実に実行しています

区では、「スマートすぎなみ計画」という第4次行財政改革実施プランが実行されており、「平成22年度までに6割の事業を委託・民営化・協同化する」「経常収支比率を80%以下」「平成20年度に100名の人員削減」という目標を掲げています。この中で、区立保育園の事業委託等の目標としては「指定管理者制度の推進」「調理業務の委託の推進」「用務業務の委託の推進」という3つが掲げられており、区の保育分野全体として計画通りに進んでいることが確認できました。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+ A B C

改善の成果

地域の苦情や要望等について区役所の他部門からも聴取するようになりました

園の近隣には、多くの公園が設置されており、園で行う散歩等の保育活動にも組み込み、積極的に利用しています。しかし、この中の「原っぱ広場」について、園での利用が苦情となって区役所の他部門である公園課に寄せられていることがわかったことから、園での公園利用の方法について見直しを行い、苦情を小さな芽のうちに摘むことができました。園では、これを機に区役所の他部門へ寄せられる苦情や要望にも注意して情報を集めるよう心がけられています。きっかけは偶然ですが、これを契機として地域に対する情報収集の手段が増やしたことは、評価できます。

サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

		共通評価項目	
		サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供		
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点(A)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
サブカテゴリ-1の講評			
<p>見学等は、個別の状況に応じて対応しています</p> <p>見学等については、次年度の入園申し込みに向けた見学をはじめ、地域の親子を対象とした身体測定やふれあい保育等、年間を通じて受け入れており、11月末までで延べ72名の方々を受け入れています(身体測定のみ)。見学の際は、見学者の時間的な都合だけでなく、見学者の目的に応じた時間設定(園児の活動しているところを見たいのであれば午前中がよいです等)を提案するなど、「よりよい見学」につながるような配慮も行われています。</p> <p>園の情報は、さまざまな形で提供されています</p> <p>園の情報は、区役所で配付している保育園の概要資料のほか、区のホームページ上でも提供されています。このホームページは、杉並区立園共通のフォーマットで作成されており、「所在地」「園の概要」「保育目標」「年間行事」などのほか、「園内の見取り図や写真」「地域向けのサービス」「園の特色」も掲載されており、園の様子が伝わりやすいよう工夫されています。</p>			

サブカテゴリー2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリー2の講評

入園時の各種説明は、わかりやすいよう配慮しています

入園前の面接や入園説明会では、園での基本的なルール、園生活に必要なもの、園生活の様子等が、「保育園のしおり」や前年度の保育の様子を撮影した写真等を用いて丁寧に説明されており、利用者調査において9割を越える保護者の方からわかりやすかったと支持される結果に結びついています。しかし、利用者調査より「説明時間が短い」といったご意見があるとともに、「保育園のしおり」以外の配付資料については、項目ごとに1枚もののプリントで配付しているなど、まだまだ改善の余地があると思われるため、今後の取組みが期待されます。

入園直後は子どもへの影響を考えた保育を保護者とともにすすめています

初めての園生活を迎える子どもたちにとっては、環境変化に伴う心身の負担が大きいため、少人数の集団での保育や特定の保育士による保育など職員の人員配置を手厚くする体制で臨んでいます。また、保護者の方々にも、初日から数日は短時間保育を行う「なれ保育」にご協力いただいております。なお、これまでの保育経験(初日から1日預かるような保育をすると子どもによっては疲れからその後体調を崩し、結果何日も休むようになる事もある)等も交えながらお話しし、保護者の方々も納得し、ご協力いただけるように努めています。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み]		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

サブカテゴリー3の講評

保育に関する計画については、3段階で作成され、状況に応じて変更も行われます

保育に関する計画については、クラスごとに年間計画(年間カリキュラム)・月間計画(月案)・週間計画(週案)の大きく3段階の計画があり、それぞれの計画は、計画の終了時に反省を行い、それを踏まえて、翌期(翌月・翌週)の計画が作成されます。この計画の作成の際には日々の子どもの状況を踏まえるほか、保護者からの要望についても考慮して作成され、計画途中の段階であっても必要に応じて、改定が行われることがあります。なお、保護者に対しては、年間計画は保護者会で、月案は毎月の園だよりで、週案は園内掲示によって伝えられています。

子ども一人ひとりの記録は統一様式の「児童票」に記され、大事に管理されています

子どもの成長の記録や発達の様子については、「児童票」に記入され、施錠できる棚において大事に管理されています。この「児童票」は、杉並区立保育園共通の様式が用いられており、組織として必要と考える子どもに関する事項が記入しやすいよう項目分けされています。また、次年度の新保育指針の施行に向けて、「児童票」の様式の改定について区全体で取り組んでおり、より子どもの成長について保護者とわがち合えるような内容とするべく検討が行われています。

子ども一人ひとりの状況は保育にあたる職員間で共有されています

障害児指定園であることもあり、個別に配慮を行わなければならない子どもが多く在籍しているため、子どもに接する意識、対応方法について共通理解が得られるよう、専門家が訪問する巡回指導の際は会議形式を取り、多くの職員が参加できるようにするなど配慮されています。また、各クラスでの情報共有は月案やクラス会議を通じて、日々の情報共有については、ミーティングのほかクラスノートや朝タレントを通じて行われており、口頭と記録のセットで伝達することにより漏れが発生しないよう配慮されています。

サブカテゴリー5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得ようとしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み]		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

サブカテゴリ5の講評

子どものプライバシーに配慮するとともに、「恥ずかしい」と思う気持ちを育てています
 園では、オムツ換えは所定の位置で行うようにしており、また、プールの着替えは屋内で行い、シャワーを浴びる際も外からの視線をさえぎる、トイレのドアは閉める、裸のままうろうろさせないなど、子どものプライバシーに配慮した活動を行っています。また、こうした活動を通じて子どもたちに「恥ずかしい」と思う気持ちを育ませることも取り組んでいます。

子どもや保護者との接し方について、定期的に振りかえりを行っています
 園では、園独自に作成したチェックリストを用いて毎月振りかえりを行っており、子どもや保護者に対して不適切な対応を行っていないか、自らを見つめなおす機会を設けています。この成果は利用者調査において9割を超える保護者から「子どもは大切にされている」と、また、8割を超える保護者から「保護者の考えを聞いてくれる」と肯定的に捉える回答となって現れていると考えられ、着実に成果に結びついている活動と評価できます。

サブカテゴリ6

6 事業所業務の標準化

評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし		

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

サブカテゴリー6の講評

園で定めた基本事項は「確認事項」という1つの冊子にまとめられ活用されています

園で定めた基本的なルール(保育目標等の各種目標、行事・保健・散歩等の各種計画、事務分担当表・職員係分担当等の各種分担当表、アレルギー対応・緊急対応・散歩等の各種マニュアル等)は「確認事項」という一冊の冊子にとりまとめられており、各教室に配付されています。これにより、職員の身近なところで各種手順や目標などをチェックすることができるようになっており、各種計画の立案や振りかえり、反省、手順確認などが即座にできる基礎が整っています。

マニュアルの内容は定期的に見直しが行われています

マニュアルの内容は、年に1回、年間の反省の際に見直しの検討が行われるほか、問題が発生した都度、話し合いが行われ、必要に応じ、内容の見直しが行われています。なお、話し合いにおいて職員一人ひとりの意見が反映できるよう、普段から職種・役職に関係なく意見がしやすい雰囲気作りが行われており、職員自己評価の自由記述でも「意見が出しやすい」等の意見が多数寄せられています。

今川保育園の保育は職員の「学び」によって支えられています

研修に行きやすい体制作りが行われているとともに、巡回研修を会議形式にしていること、定期的に行われる研修報告会より職員一人ひとりが学んだことを組織として共有することができるようにしているなど、職員は多くの「学び」に触れる機会を提供されています。また、前述のように経営層と職員との間で意見が言いやすい雰囲気作りができていることから、経営層からの声かけばかりでなく、職員からの質問や相談も気軽に行うことができるようになっており、職員の成長を促す環境が整えられているといえます。

サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	○非該当
	◎あり ○なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	○非該当
	◎あり ○なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	○非該当
	◎あり ○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当
[A+の取り組み] ○あり ●なし			
評価項目1の講評			
<p>行事などを通じた多様な保育活動に取り組んでいます 園内活動としては、七夕や節分、お店やさんごっこなどの行事活動、健常児と障害児との交流をはじめ、裏庭での栽培活動、カブトムシマシオンなどの飼育活動など、子どもの発達を促す活動や行事が取り入れられています。また、成長を表現する機会として、おおきくなった会(発表会)などもあります。また、園外活動では、芋ほりや年長児を対象とした遠足などイベント的なもののほか、近隣の原っぱ広場をはじめとして周囲に点在する多くの公園をめぐる散歩活動も充実しており、これらを生かした保育活動として取り組んでいます。</p> <p>障害児の受入れ体制が整えられており、状況に応じた保育が展開されています 障害児指定園であることから、施設的にも障害児保育用の「特別室」があり、また、障害の内容により補助者となる人員も配置されていることから、保育環境としては他園に比べ恵まれた状況といえます。また、専門家による定期的な巡回指導を受けることができ、子ども一人ひとりの状況に応じた対応方法を学ぶ機会も用意されており、これらを有効に活用した充実した保育が展開されています。</p> <p>障害児を含む活動についてより一層の充実に期待します 障害を持つ子どもであっても、可能な限り、同年齢のクラスの子もたちと一緒に活動が行われています。訪問調査時もホールでの活動と一緒に、食事を共にするなど、細心の注意を図りながらも様々な活動と一緒に行動を確認することができました。しかしながら、狭いクラスでの活動の際は、クラスの担任や障害児の補助者など大きな大人が複数入ることから、主役である子どもたちの活動が窮屈になってしまうことも想定されます。これらにも配慮したより充実した活動が期待されます。</p>			

2	評価項目2 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		評点(A+)	
	評価	標準項目		
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input type="radio"/> 非該当	
【A+の取り組み】 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし				
裏庭を中心に展開されている作物の栽培活動や芋ほりなどの収穫活動、掘った芋を焼き芋にする調理活動など、栽培から調理に至る流れを食育としてとらえ、子どもたちの成長を促す活動と位置づけて展開されており、大変評価できます。				
評価項目2の講評				
食事がより一層楽しくなる環境整備を行っています お楽しみ会などの行事の際には、バイキング食で提供される、毎月のカレーの際には幼児クラス3クラス混合でカレーパーティーとして楽しむなど、特別な日には、食事のメニューだけではなく、環境設定も変えて、より一層食事を楽しむことができるよう工夫されています。また、普段の食事においても、テーブルに花を飾るなど、彩を大切に、落ち着いて食事ができるよう配慮されています。				
個別に対応した食事を提供しています アレルギーを持つ子どもや離乳食の子ども、食事に際し刻み等特別の配慮が必要な場合などは、個々の内容に応じた食事が個別に提供されています。また、配膳に関しても個別トレーによる配膳が行われるとともに、調理と保育の両方でクロスチェックをかけるなど、間違いが無いよう、様々な工夫が凝らされています。				
食事がしやすい環境を整えています 食事の際に子どもたちが食べやすいよう、イスやテーブルの高さについても配慮がなされています。イスやテーブルについては既製品を利用していますが、0歳児クラスまでは座面の調整がきくイスを採用し、子ども一人ひとりに合わせて調整するほか、1歳児以上のクラスについてもなるべく合う高さのイスやテーブルを用意するとともに、マットを使って足の高さの微調整を行うなど、全ての子どもが食べやすい姿勢で食事ができるよう配慮されています。				
3	評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		評点(A)	
	評価	標準項目		
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている		<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし				

評価項目3の講評

子どもの健康状態は、看護師が毎日把握しています

日々の子どもの健康状態の把握は、登園時の状況の確認、常駐の看護師が毎日各クラスを巡回しているほか、乳児の午睡時には、「午睡チェック表」を用いて一定時間毎の状態確認を行い記録しています。また、園医による定期健診(0才児は週1回、以後は年2回)をはじめ、耳鼻科・歯科など各診療科の年1回の検診を行っています。身体測定は毎月行い、健診や身体測定等の結果は「健康カード」に記載して保護者へ報告しています。その他、アトピー等の医療ケアが必要な子どもに対しては、与薬申込書を用いた対応等を行っています。

保健だよりや園内の掲示により、情報提供を行っています

保健分野に関する保護者への情報提供は、月1回発行の保健だよりを通じて行っているほか、特に感染症に注意が必要な時期は、おたよりのほかに園内掲示をして注意を喚起するなど、予防対策に取り組んでいます。また、地域の医療機関の場所を地図に落とした医療マップを作成するなど、保護者が必要とする地域の情報についても情報提供を行っています。

保育中の発熱や怪我の対応は看護師を中心として行っています

保育中の発熱や怪我の対応は、常駐の看護師が対応し、必要に応じて医務室で安静にしながら、保護者のお迎えを待つ体制を整えています。こういった取り組みは、保護者から「保育中の発熱や怪我」への対応について9割強の肯定的な回答を得る結果に結びついており、園の活動について保護者から支持されている様子がうかがわれます。

評価項目4

4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点(A)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

[A+の取り組み] ○あり ●なし

評価項目4の講評

静かに過ごしたい場合には、特別室など開いている場所を確保して保育を行います

体調が優れず、落ち着いて過ごしたい子がいる場合や一人になりたい子がいる場合には、出来る限り人員配置を見直して保育士を確保し、特別室等の開いている場所を確保して、子どもの気持ちに添う保育を行うことも行われています。

子どもたちが楽しめる工夫をしています

七夕や節分などの季節の行事を取り入れているほか、誕生会は、一人ひとりの誕生日のその日に個別に行う形で開催されています。誕生日の日は、その日一日、ひとり一人の子どもが主役となり特別な気持ちでいられるように工夫されています。

午睡については、個々の状態に合わせた配慮を行っています

食事、睡眠、運動、排泄などは子どものリズムにできるだけあわせる配慮を行い、午睡については、早く寝たい子、目が覚めてしまう子がそれぞれ快適に過ごせる場所(特別室等)を確保して対応しています。

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	[A+の取り組み] <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
評価項目5の講評			
<p>掲示物を積極的に活用し、情報提供を行っています</p> <p>保護者に対する園からの情報提供は、定期的かつ目的別に、クラス・園・保健等の各種おたよりの発行を通じて行われています。また、クラスの週の活動予定である週案やその日の出来事をイラスト入りでお知らせしている日誌などもクラスごとの掲示スペースに掲示されており、クラスの保護者全員に園の様子が伝わるように工夫をしています。一方、掲示の方法を工夫をしているものの、保護者に伝わっていない情報も少なくないことから、さらに掲示方法について検討するなど、保護者への情報提供やコミュニケーションの充実に向けた取り組みが期待されます。</p> <p>保護者に日誌を公開し、日々の園の様子を伝えています</p> <p>従来のクラスだより等に加え、保護者に情報を伝える方法として、日誌の公開が行われています。日誌を公開するに当たっては、保護者に伝わりやすいような要点を絞った記載にする、イラストをいれるなど、職員一人ひとりが工夫を重ねており、保護者とのコミュニケーションのひとつとして、この試みが少しずつ実を結んでいくことが期待されます。</p> <p>主な行事についてはアンケート調査を実施しています</p> <p>運動会等、主な行事については、アンケート調査を実施し、反省点を整理するとともに、次回の開催に役立てる取り組みを行っています。一方、利用者調査においては、「行事等の日程の配慮」については、他の項目と比べて評価が低いことから、全ての保護者の意向を反映した設定は難しいものの、意見交換の場や機会を充実していくことにより、これらの評価を改善することが望まれます。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
	[A+の取り組み] <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目6の講評

区、関係機関との連携による虐待防止、育児困難家庭への支援に取り組んでいます

虐待については、区全体として取り組んでいます。具体的には、『虐待防止マニュアル』の実践をはじめ、区の保育課、家庭支援センター、児童館等の関係機関のネットワークを構築し、未然防止や早期発見、継続的な支援につながるよう配慮されているほか、発見時の対応などが統一マニュアルとして整備されており、緊急時に行うべき手順や連絡先などが詳細に決められています。

研修等に積極的に参加し、職員間の情報共有を図っています

該当する子どもがない場合であっても、区の実務研修などに職員を派遣し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けた職員能力の向上を図るとともに、研修報告を会議で発表し、研修で得た情報を職員間で共有することによって、組織として対応能力の底上げがなされるよう取り組みを行っています。継続的な園全体のスキルアップによって、多様化・深刻化するケースに対応できる体制づくりが期待されます。

評価項目7

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(A)

7

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ◎なし		

評価項目7の講評

地域の情報を保護者に提供しています

杉並区の子育て応援券に関する情報を一冊にまとめ冊子にして提供しているほか、児童館などの地域施設や機関から依頼があった場合は、ポスターの掲示やチラシを配布するなど、地域の情報提供をおこなっています。また、保護者から望まれる情報として、地域の医療機関の地図(医療マップ)を看護師が中心となって作成するなど、関係機関から回ってくる情報だけではなく、園独自で編集・加工し作成した資料についても提供しています。

中学生の職場体験などを積極的に受け入れ、地域との交流を図っています

地域の交流は、中学生の職場体験などの受け入れや実習生・ボランティアの受け入れ、子育て支援センターに預けられている子どもたちとの交流、身体測定やふれあい保育にきた親子との交流など、園に招き入れる形での交流を中心として行われています。

特に良いと思う点		
1	タイトル	障害児と健常児がともに育ちあう保育
	内容	本園は障害児指定園であり、施設的にも「特別室」が設けられるとともに、障害の内容により補助者となる人員も配置されています。また、専門家による定期的な巡回指導を受けることができ、子ども一人ひとりの状況に応じた対応方法を学ぶ機会も用意されており、障害児であっても、可能な限り、同じクラスの子どもたちと一緒に活動が行われています。訪問調査時もホールでの活動と一緒に、食事を共にするなど、障害児・健常児とも楽しそうに活動する姿が見られ、細心の注意を図りながらも様々な活動と一緒にいる様子を確認することができました。
2	タイトル	恵まれた周辺環境で展開される保育
	内容	園の近隣は、自然を感じられる公園や遊具等がなく一面原っぱで広々と遊ぶことができる原っぱ広場など、散歩と組み合わせ様々な活動が展開できる公共的なスペースが点在しています。また、園庭自体はそれほど広くないものの、園敷地内では、栽培やカブトムシマシモンを設置するスペースがある裏庭など、環境がそろうっており、これらを生かした栽培活動や飼育活動等を通じて、子どもに豊かな経験をもたらし、発達を促す効果が期待されます。
3	タイトル	職種の枠を超えて展開される食育
	内容	裏庭を中心に展開されている作物の栽培活動や芋ほりなどの収穫活動、掘った芋を焼き芋にする調理活動など、栽培から調理に至る流れを食育としてとらえ、子どもたちの成長を促す活動と位置づけて展開されています。また、調理員においても庭で取れた収穫物の調理を行うなど、職種を超えて連携し、食育に取り組んでおり、園を挙げての活動として大変評価できます。
さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	保護者の意見や要望に対する対応方法の振りかえり
	内容	保護者の意見や要望に対しては、園内で確認した後、対応策を検討し、必要があれば区の保育課にも相談して対応しています。しかしながら、対応した後は、そのままであることが多く、園からの一方的な対応と受け取られていないか等、追跡して調査を行うことも重要です。今後は、意見・要望への対応後について定期的に検証を行えるよう、園としての体制を整えるとともに、保護者会に対して協力を求めるなど、より効果的な方策を検討することも必要と思われる。
2	タイトル	障害児補助者等の動きの工夫
	内容	本園では、障害を持つ子どもであっても、可能な限り、同年齢のクラスの子どもたちと一緒に活動が行われていますが、狭いクラスでの活動の際は、クラスの担任や障害児の補助者など大きな大人が複数人入ることから、主役である子どもたちの活動が窮屈になってしまうことも想定されます。これら大人たちが限られたスペースの中でどのように動けばよいのか、今一度検討し、工夫することによって、現在よりも充実した活動になることが期待されます。
3	タイトル	チャレンジプランの目標・指標の設定方法
	内容	年度ごとに各園においてチャレンジプランを作成し、政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の3分野に関する目標を設定して、半期ごとに取り組み状況や成果を評価・見直しする制度が定着しています。しかしながら、中期的な目標設定やわかりやすい指標設定など、目標や指標の設定についてまだまだ改善の余地があると思われます。組織運営上の問題については職員の監視が薄い分野だと思われそうですが、職員がチャレンジプランをより身近に感じられるよう改善を行い、運用されることが期待されます。

巻末 付属資料

付属資料1: 杉並区立保育園 利用者調査 調査票

付属資料2: 経営層合議シート(事業プロフィール・組織マネジメント・サービス分析)

付属資料3: 職員用シート(組織マネジメント・サービス分析)

平成20年度
保育園サービス
利用者調査
(保護者用)

調査のお願い

このたび、園では、よりよい保育サービスの実施をめざして、東京都福祉サービス第三者評価を実施することになりました。この評価は、東京都福祉サービス評価推進機構によって認証されているひょう株式会社が実施いたします。

第三者評価にあたって、園を利用されている保護者の方が、日常の保育サービスに対して、どのように感じていらっしゃるかを把握するため、アンケート調査を実施することになりました。

調査結果は、園のサービスを評価をするために使用し、定められた項目については、インターネットを通じて公表されることになっています。

また、調査結果は統計的に処理したうえで使用しますので、記入者を特定したり、第三者評価の目的以外に使用したりすることは絶対にいたしません。

お忙しいところたいへん申し訳ありませんが、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひご協力いただきま

すようお願いいたします。

記入に当たって

- ・この調査は、園を利用されている保護者の方がご回答ください。
- ・あてはまる番号に をつけてください。
- ・質問内容が、ご自身にとって「経験がない」「認識がない」など該当しない場合には、記入しないで次の質問に進んでください。
- ・質問ごとにご意見などがある場合は、(自由意見)欄にご記入ください。
- ・この調査票は、別添の返信用封筒をご利用のうえ、平成20年10月24日までに投函してください。

この調査に関してのお問い合わせは、下記をお願いします。

問合せ先

評価機関： ひょう株式会社

〒145 - 0072

東京都大田区田園調布本町24 - 12 - A101

電話 03 - 3722 - 5099

現在ご利用の保育園についておたずねします

あなたの気持ちに最も近い番号を1つだけ選び、印をお付けください。

複数のお子さんがいらっしゃる場合は、一番年齢の低いお子さんの例でご回答ください。

毎日の保育サービスについてお聞きします

	はい	どちらとも いえない	いいえ
問1. 食事（給食）・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか	1	2	3
(自由意見)			
問2. 戸外遊びの機会は十分ですか	1	2	3
(自由意見)			
問3. 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか	1	2	3
(自由意見)			
問4. 保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか	1	2	3
(自由意見)			
問5. 安全対策が十分取られていると思いますか	1	2	3
(自由意見)			
問6. 保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか	1	2	3
(自由意見)			
問7. お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができますか	1	2	3
(自由意見)			
問8. 保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか	1	2	3
(自由意見)			
問9. 友達とのふれあいなど、人とのかかわり方の基礎が育てられていると思いますか	1	2	3
(自由意見)			

お子さんや保護者の尊重についてお聞きします

	はい	どちらとも いえない	いいえ
問10. 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー（秘密）を守っていますか	1	2	3
(自由意見)			
問11. お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	1	2	3
(自由意見)			
問12. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか	1	2	3
(自由意見)			

要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします

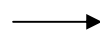
	はい	どちらとも いえない	いいえ
問13. 要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか	1	2	3
(自由意見)			
問14. 保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	1	2	3
(自由意見)			
問15. 要望や不満があったとき、第三者委員（保育所外の苦情解決相談員）などにも相談できることを知っていますか	1	2	3
(自由意見)			

利用前の保育園の対応についてお聞きします

過去1年以内にこの施設を利用し始めましたか

1. はい

2. いいえ



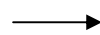
総合的な感想へお進みください



保育所の利用を始める前に、保育所から保育内容などの説明がありましたか

1. はい

2. いいえ



総合的な感想へお進みください



問16へお進みください

	はい	どちらとも いえない	いいえ
問16. 入園に際し保育所から受けた説明は、わかりやすかったですか	1	2	3
(自由意見)			

《総合的な感想についてお聞きします》

〔1〕 現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか。

(1つに○)

大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満
1	2	3	4	5

〔2〕 日頃お感じになっている保育園に対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。

〔3〕 今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。

最後に保護者の方についておたずねします

F 1. 調査票記入者 (1つに○)

1. 父	2. 母	3. 父母一緒に	4. その他 ()
------	------	----------	-----------------------

F 2. 調査票記入者の年齢 (主に中心になって回答した方) (1つに○)

1. 20歳未満	2. 20～25歳未満	3. 25～30歳未満	4. 30～35歳未満
5. 35～40歳未満	6. 40～50歳未満	7. 50歳以上	

F 3. 保護者の勤務形態 (○は各1つ)

①父
1. 常勤 (フルタイム) 2. パート、アルバイト 3. 自営業 4. 無職 5. その他 ()
②母
1. 常勤 (フルタイム) 2. パート、アルバイト 3. 自営業 4. 無職 5. その他 ()
③その他の保護者(主にお迎えに行かれる方)
1. 常勤 (フルタイム) 2. パート、アルバイト 3. 自営業 4. 無職 5. その他 ()

F 4. 保育園を利用してるお子さんの年齢 (複数のお子さんがいらっしゃる場合は、該当する全部に○)

1. 0歳	2. 1歳	3. 2歳	4. 3歳
5. 4歳	6. 5歳以上		

ご協力ありがとうございました。

この調査票は、別添の返信用封筒をご利用のうえ、平成20年10月24日までに投函してください。

評価機関：ひょう株式会社

〒145-0072

東京都大田区田園調布本町24-12-A101

電話 03-3722-5099

付属資料2

事業プロフィール

- 1 事業所名（サービス種別）： ()
- 2 (1) 運営主体（法人名等）：
 (2) 設置主体：
- 3 事業所所在地：
- 4 事業所の長の氏名（施設長等）：
- 5 連絡先

T e l		F a x	
Eメール		ホームページ	

- 6 同一運営主体が同じ敷地内で連携して実施している主な福祉・医療サービスを利用者数からみて上位5つ以内（例：特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスなど、評価対象事業を含む。）
- (1)
 (2)
 (3)
 (4)
 (5)

- 7 定員および現在の利用者
 内訳は別紙のとおり

8 職員の状況

(1) 職員数

職 員 数	計	男性	女性
常 勤 職 員 数			
非 常 勤 職 員 数			
計			

（常勤換算 _____ 人）

（計算式：非常勤職員のそれぞれの勤務延べ時間数の総数 ÷ 当該事業所の常勤職員が勤務すべき時間数）

(2) 専門職員の人数

専門職の名称	人数	専門職の名称	人数	専門職の名称	人数

(3) 非常勤職員の勤務形態と業務内容

*職員種別は、パート、アルバイト、派遣、契約等、施設で通常使用している呼称でご記入ください。

職員種別	人数	勤務形態 (勤務時間、シフト)	業務内容

(4) 前年度採用・退職の状況

	計	常勤	非常勤
採用			
退職			
計			

(5) 常勤職員の平均年齢

(6) 常勤職員の平均在職年数 _____ 年（現在の事業所での在職年数とする）

(7) 直接支援に携わっている職員（非常勤は常勤換算）1人当たりの利用者数 _____ 人
 （計算式：定員 ÷ 直接支援に携わっている職員数）

9 平面図等施設の状況がわかるものを添付

- 7 定員及び現在の利用者（ 年 月 現在）
 ※下記の利用者の状況が分かる表を添付するか、下の空白部分に書き込んでください。

(1) 一般保育

	定員（人）	利用者児（人）
0歳児		
1歳児		
2歳児		
3歳児		
4歳児		
5歳児		
計		

(2) 多様な保育サービス

	定員（人）	利用者児（人）	料金（円）	備考
産休明け保育				
延長保育				() 時間延長
夜間保育				
障害児保育				
休日保育				
学童児童受け入れ				
一時・特定保育				
子育て広場※1				事業内容番号
在宅子育て支援※2				事業内容番号
その他()				
計				

※1 子育て広場には、つどいの広場を含む。

※2 「在宅子育て支援」欄は、在宅子育て家庭を対象とした子育て支援事業を実施している場合に、備考欄に下記の事業内容番号を記入すること。

- ①育児相談 ②育児講座 ③保育所体験 ④出産を迎える親の体験学習
 ⑤子育てサークル支援 ⑥子育て情報誌の発行 ⑦家庭訪問 ⑧出前保育

事業プロフィールⅡ

- 1 理念・方針
事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン・使命など)のうち、特に重要なもの(上位5つ程度)を簡潔に記述(関連 カテゴリー1リーダーシップと意思決定)
 - 1)
 - 2)
 - 3)
 - 4)
 - 5)
- 2 サービス提供の考え方について記述
日々の業務の考え方、利用者ニーズに合わせた事業者独自の取組、利用者や家族との関係、地域との関係を含む(関連 カテゴリー6 サービス提供のプロセス)
- 3 期待する職員像(関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上)
 - (1) 職員に求めている人材像や役割

 - (2) 職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)
- 4 現在のサービス提供能力と利用者数(関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上)
(以下のどれかに○をつける)
 - 1) サービスを希望しながら待っている人(事業所に登録している待機者)がかなりいる
 - 2) ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない(ほぼ定員を満たしている)
 - 3) サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい
- 5 3年後の見通し(関連 カテゴリー3 利用者の意向や地域・事業環境などの把握と活用、
カテゴリー4 計画の策定と着実な実行)
(以下、〔契約による利用〕、〔措置など契約以外による利用〕のどちらかを選んだうえで、
一つに○をつける)
〔契約による利用〕
 - 1) 利用者数の増加を見込んでサービス提供能力を拡大する計画がある
 - 2) サービス提供能力を拡大する計画はないが、ほぼ現在のサービス提供能力に見合う利用者数は維持できると思う
 - 3) 現在の利用者数を維持するのは余程経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい情勢になっているのではないかと思う
 - 4) その他()〔措置など契約以外による利用〕
 - 1) 施設規模の拡大または新たなサービス提供を行う計画がある
 - 2) 現在の施設規模、サービス提供能力を維持する方向で考えている
 - 3) 現在のサービス提供能力を維持するのは、経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい情勢になっているのではないかと思う
 - 4) その他()
- 6 評価対象としているサービス事業に関して事業者として力を入れて取り組んでいる点を、人的サービス面と設備面に分けて、重要な順に各3つ以内で記述
(関連 カテゴリー4 計画の策定と着実な実行)
〈人的サービス面〉
 - 1)
 - 2)
 - 3)〈設備・環境面〉
 - 1)
 - 2)
 - 3)

[平成20年度]

組織マネジメント分析シート 【自己評価用】

経営層合議用

作成日 (完成日)	平成	年	月	日
施設・事業所名				
作成関係者 (役職名) (氏名)				

カテゴリー
1.リーダーシップと意思決定
2.経営における社会的責任
3.利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
4.計画の策定と着実な実行
5.職員と組織の能力向上
6.サービス提供のプロセス
7.情報の保護・共有
8.1～7に関する活動成果

網掛け部が組織マネジメント分析シートに該当します

■組織マネジメント分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順

- 1 評点は「評価項目」ごとにつけます。「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、〔ねらい〕を確認のうえ「カテゴリー」及び「サブカテゴリー」の趣旨から外れないように合議します。
- 2 「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「私たちの実践例」欄に、その取り組みの記録等にあたるものを「その実践の記録等」欄にそれぞれ記入します。記録等と実践例が同じである場合、「その実践の記録等」欄は省略できます。
- 3 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。
(1 事業者が当該事項を実施していること 2 その実施が継続的(必要性を認識し、計画的)であること
⇒「私たちの実践例」欄に記入する内容です。
3 その根拠が示せること
⇒「その実践の記録等」欄に記入する内容です。)
- 4 評価項目ごとに、すべての「標準項目」を上記2により記入後、上記3により評点をつけてください。評価項目の評点は、次のとおりです。該当する評点を記入してください。
カテゴリー1～7
A：標準項目をすべて満たした状態 B：標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態
C：標準項目をひとつも満たしていない状態
カテゴリー8
A：改善傾向が確認できる状態 B：取り組んでいるが改善結果は確認できない状態
C：取り組んでいない状態
- 5 すべての評価項目を記入した後に「カテゴリー」全体を通じて、「良いと思う点」「改善する必要があると思う点」を記述します。

※参考

「A+の取り組み」とは、標準項目をすべて満たしたうえで、下記のすべてを満たした取り組みです。A+は自己評価では使いません。

- (ア 当該評価項目のねらいに合致していること イ 事業所の理念・方針に合致していること
ウ 事業所の独自性または現状を改善するプロセスが認められること)

* 標準項目を満たしたうえでの取り組みを対象としますので、標準項目に含まれる取り組みはA+の対象にはなりません。

カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

評価項目 1-1-1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している [ねらい]・理念、基本方針を達成するためにそれをわかるように示しているか ・それを職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行なっているか			評点 ()
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している		
<input type="checkbox"/>	2 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている		
<input type="checkbox"/>	3 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている		
<input type="checkbox"/>	4 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)		
評価項目 1-1-2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている [ねらい]・経営層は、理念等を実現するため、自らの役割と責任を職員にわかりやすく伝えているか ・経営層は、理念、基本方針を実現するために、自ら率先垂範しているか			評点 ()
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている		
<input type="checkbox"/>	2 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している		
評価項目 1-1-3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している [ねらい]・重要な案件については、組織として決定する手順をあらかじめ定めているか ・職員に意思決定過程の透明性を図っているか			評点 ()
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている		
<input type="checkbox"/>	2 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している		
<input type="checkbox"/>	3 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている		
カテゴリー1 について リーダーシップと意思決定			
良いと思う点		改善する必要があると思う点	

カテゴリー 2 経営における社会的責任

サブカテゴリー1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目 2-1-1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している [ねらい]・組織の社会的責任として遵守すべき法・規範・倫理などについて明確にしているか ・さらにそれを遵守できるように理解を深めているか			評点 ()
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		
<input type="checkbox"/>	2 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる		
評価項目 2-1-2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている [ねらい]・組織の社会的責任として、透明性の確保のために外部の目を活用しているか ・地域社会に情報発信することで透明性を高めているか			評点 ()
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる		
<input type="checkbox"/>	2 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している		

サブカテゴリー2 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

評価項目 2-2-1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある [ねらい]・組織の社会的責任として、地域の一員として事業所の機能を還元しているか ・地域社会に専門性をいかした取り組みをしているか			評点 ()
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)		
<input type="checkbox"/>	2 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている		
評価項目 2-2-2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している [ねらい]・組織の社会的責任として、ボランティアを受入れるための考え方をはっきりさせているか ・そのための体制を整備しているか			評点 ()
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している		
<input type="checkbox"/>	2 ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)		
<input type="checkbox"/>	3 ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている		
評価項目 2-2-3 地域の関係機関との連携を図っている [ねらい]・地域の一員として関係機関とのネットワーク化に貢献しているか ・地域の一員として、地域での共通課題の解決に協働しているか			評点 ()
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		
<input type="checkbox"/>	2 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		

カテゴリー2 について 経営における社会的責任

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

カテゴリー 3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリー 1 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目 3-1-1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) [ねらい]・事業所のサービスの利用者一人ひとりの苦情等についてどのように把握しているのか ・その苦情等についてどのように解決に取り組んでいるのか			評点 ()
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		
<input type="checkbox"/>	2 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる		
評価項目 3-1-2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる [ねらい]・利用者の意向をどのように集約・分析しているのか ・その結果をサービス向上に活用しているか			評点 ()
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる		
<input type="checkbox"/>	2 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している		
<input type="checkbox"/>	3 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる		
評価項目 3-1-3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している [ねらい]・サービス・経営改善のために地域の福祉ニーズについてどのように把握分析しているのか ・また福祉事業の動向についてどのように把握分析しているのか			評点 ()
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる		
<input type="checkbox"/>	2 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる		
<input type="checkbox"/>	3 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している		

カテゴリー3 について 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

良いと思う点	改善する必要があると思う点

カテゴリー 4 計画の策定と着実な実行

サブカテゴリー 1 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる

評価項目 4-1-1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している [ねらい]・理念、基本方針実現のため実践的な課題・計画を策定しているか ・計画の立て方も取り組み期間に応じているか		評点 ()	
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している		
<input type="checkbox"/>	2 年度単位の計画を策定している		
<input type="checkbox"/>	3 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる		
評価項目 4-1-2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している [ねらい]・理念、基本方針実現のため、課題の明確化、計画策定の時期や手順が定められているか ・その計画は現場の意向や利用者の意向等を踏まえたものとなっているか		評点 ()	
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている		
<input type="checkbox"/>	2 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている		
<input type="checkbox"/>	3 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している		
<input type="checkbox"/>	4 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している		
評価項目 4-1-3 着実な計画の実行に取り組んでいる [ねらい]・理念、基本方針実現のため、計画に基づき効果的に実行しているか ・進捗状況に応じ、見直ししながら、着実に成果を上げられるような取り組みを進めているか		評点 ()	
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している		
<input type="checkbox"/>	2 計画推進にあたり、より高い成果が待られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている		
<input type="checkbox"/>	3 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している		
<input type="checkbox"/>	4 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		

サブカテゴリー 2 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目 4-2-1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる [ねらい]・利用者の安全確保のための体制は整備されているか ・組織的に再発防止・予防対策やその徹底が図られているか		評点 ()	
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している		
<input type="checkbox"/>	2 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している		
<input type="checkbox"/>	3 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている		

カテゴリー4 について 計画の策定と着実な実行

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

カテゴリー5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目 5-1-1 事業所にとって必要な人材構成にしている [ねらい]・理念、基本方針を実現するのに適した人事制度が定められているか ・それに基づき、人材の確保や配置が行われているか			評点 ()
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している		
<input type="checkbox"/>	2 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている		
<input type="checkbox"/>	3 適材適所の人員配置に取り組んでいる		
評価項目 5-1-2 職員の質の向上に取り組んでいる [ねらい]・理念、基本方針実現のため、職員一人ひとりの意向を把握し育成計画を策定しているか ・その計画に基づき、職員が研修等育成に向けての取り組みが行われているか			評点 ()
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している		
<input type="checkbox"/>	2 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している		
<input type="checkbox"/>	3 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている		
<input type="checkbox"/>	4 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している		
<input type="checkbox"/>	5 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している		

サブカテゴリー2 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目 5-2-1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる [ねらい]・職員一人ひとりの力と組織力の発揮、理念等実現のため、どのように取り組んでいるか ・そのために職員一人ひとりが学びに取り組むようにしているか			評点 ()
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している		
<input type="checkbox"/>	2 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる		
<input type="checkbox"/>	3 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる		

評価項目 5-2-2 職員のやる気向上に取り組んでいる [ねらい]・理念、基本方針実現のため、職員の意識や就業状況を的確に把握しているか ・把握した上で、職員のやる気と働きがいの満足に影響を及ぼす要因改善に取り組んでいるか			評点 ()
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている		
<input type="checkbox"/>	2 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる		
<input type="checkbox"/>	3 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる		
<input type="checkbox"/>	4 福利厚生制度の充実に取り組んでいる		

カテゴリ5 について 職員と組織の能力向上

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

カテゴリ7 情報の保護・共有

サブカテゴリ1 情報の保護・共有に取り組んでいる

評価項目 7-1-1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる [ねらい]・事業所をより良くするためにどのような情報が必要であるかの検討がなされているか ・経営に関して必要な情報が適切に収集・整理・分析された上で、保護・共有されているか			評点 ()
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している		
<input type="checkbox"/>	2 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している		
<input type="checkbox"/>	3 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している		

評価項目 7-1-2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している [ねらい]・保護法の基本的概念等を踏まえ、事業所が有する個人情報の保護方法を定めているか ・その方法が行き渡るようにしているか			評点 ()
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している		
<input type="checkbox"/>	2 個人情報の保護に関する規定を明示している		
<input type="checkbox"/>	3 開示請求に対する対応方法を明示している		
<input type="checkbox"/>	4 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている		

カテゴリ7 について 情報の保護・共有

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

カテゴリ-8 カテゴリ-1～7に関する活動成果

サブカテゴリ-1 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目 1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」 [ねらい]・前年度と比べて成果を上げることができたか			評点 ()
自由記述	成果のあった取り組み	具体的な成果	その成果の記録等

サブカテゴリ-2 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目 1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」 [ねらい]・前年度と比べて成果を上げることができたか			評点 ()
自由記述	成果のあった取り組み	具体的な成果	その成果の記録等

サブカテゴリ-3 前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目 1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」 [ねらい]・前年度と比べて成果を上げることができたか			評点 ()
自由記述	成果のあった取り組み	具体的な成果	その成果の記録等

サブカテゴリ-4 事業所の財政等において向上している

評価項目 1 財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている [ねらい]・主体的な取り組みにより財政等で成果を上げることができたか			評点 ()
【自由記述】	改善に向けて取り組んでいること	取り組んだ成果	その成果の記録等

サブカテゴリ-5 前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目 1 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している ・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」 [ねらい]・前年度と比べて成果を上げることができたか			評点 ()
【自由記述】	成果のあった取り組み	具体的な成果	その成果の記録等

事業所の特に良いと思う点 特に改善したいと思う点

特に良いと思う点	特に改善したいと思う点

注)これは「サービス分析シート(カテゴリ6 サービス提供のプロセス)」の評価結果を含めて記述してください。

[平成20年度]
認可保育所

サービス分析シート
(6. サービス提供のプロセス)
【自己評価用】

経営層合議用

作成日 (完成日)	平成	年	月	日
施設・事業所名				
作成関係者	(役職名)	(氏名)		

カテゴリー
1.リーダーシップと意思決定
2.経営における社会的責任
3.利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
4.計画の策定と着実な実行
5.職員と組織の能力向上
6.サービス提供のプロセス
7.情報の保護・共有
8.1～7に関する活動成果

網掛け部がサービス分析シートに該当します

■サービス分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順

- 1 評点は「評価項目」ごとにつけます。「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、【ねらい】を確認のうえ「サブカテゴリー」の趣旨から外れないように合議します。
- 2 「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「私たちの実践例」欄に、その取り組みの記録等に当たるものを「その実践の記録等」欄にそれぞれ記入します。記録等と実践例が同じである場合、「その実践の記録等」欄は省略できます。
- 3 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。
(1 事業者が当該事項を実施していること 2 その実施が継続的(必要性を認識し、計画的)であること
⇒「私たちの実践例」欄に記入する内容です。
3 その根拠が示せること
⇒「その実践の記録等」欄に記入する内容です。)
- 4 評価項目ごとに、すべての「標準項目」を上記2により記入後、上記3により評点をつけてください。
評価項目の評点は、次のとおりです。該当する評点を記入してください。
A：標準項目をすべて満たした状態 B：標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態
C：標準項目をひとつも満たしていない状態
- 5 すべての評価項目を記入した後に、「良いと思う点」「改善する必要があると思う点」を記述します。
・サブカテゴリー1～3及び5、6は、サブカテゴリーごとに記述します。
・サブカテゴリー4「サービスの実施」は、評価項目ごとに記述します。

※参考

「A+の取り組み」とは、標準項目をすべて満たしたうえで、下記のすべてを満たした取り組みです。A+は自己評価では使いません。

- (ア 当該評価項目のねらいに合致していること イ 事業所の理念・方針に合致していること
ウ 事業所の独自性または現状を改善するプロセスが認められること)

* 標準項目を満たしたうえでの取り組みを対象としますので、標準項目に含まれる取り組みはA+の対象にはなりません。

カテゴリー6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリー1 サービス情報の提供

評価項目 6-1-1 保護者等に対してサービスの情報を提供している			評点 ()
[ねらい]・サービスを選択するための情報が、利用者に届くように工夫して提供しているか ・パンフレットやホームページ等の存在のみを評価するものではない			
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		
<input type="checkbox"/>	2 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		
<input type="checkbox"/>	3 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		

サブカテゴリー1 サービス情報の提供 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
---------------	----------------------

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目 6-2-1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている			評点 ()
[ねらい]・サービス開始時に、保護者の状況に応じたサービス内容の説明をしているか ・十分な説明をしたうえで、保護者の意向を確認し、納得を得ているか			
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		
<input type="checkbox"/>	2 サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		
<input type="checkbox"/>	3 サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		

評価項目 6-2-2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

[ねらい]・サービス開始時の環境変化による影響を緩和する取り組みをしているか ・子どもがサービスを終了する場合、子どもや保護者の不安を軽減するための取り組みをしているか			評点 ()
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		
<input type="checkbox"/>	2 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している		
<input type="checkbox"/>	3 サービス利用前の生活をふまえた支援をしている		
<input type="checkbox"/>	4 サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている		

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
---------------	----------------------

サブカテゴリー3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目 6-3-1 必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している [ねらい]・支援をするうえで必要な子ども個人の情報をどのように把握しているか ・子どもの状況に応じたアセスメントの手順や改訂基準が確立しているか			評点 ()
標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等	
<input type="checkbox"/> 1	子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		
<input type="checkbox"/> 2	子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		
<input type="checkbox"/> 3	アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		
評価項目 6-3-2 必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している [ねらい]・子どもの様子や保護者の希望をどのように取り入れ、計画を作成しているか ・個人の状況に応じた計画となるよう作成し、見直しをしているか			評点 ()
標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等	
<input type="checkbox"/> 1	計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている		
<input type="checkbox"/> 2	計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている		
<input type="checkbox"/> 3	計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている		
<input type="checkbox"/> 4	計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している		
評価項目 6-3-3 必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している [ねらい]・職員が、子どもの状況の変化等をどのように記録しているか ・具体的な支援の内容や子どもの変化等が適切に記録されているか			評点 ()
標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等	
<input type="checkbox"/> 1	子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある		
<input type="checkbox"/> 2	計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		
評価項目 6-3-4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している [ねらい]・子どもに関わる情報を職員間でどのように共有化しているか ・日々の子どもの変化等をどのような方策で共有化しているか			評点 ()
標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等	
<input type="checkbox"/> 1	計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している		
<input type="checkbox"/> 2	申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している		
サブカテゴリー3 個別状況に応じた計画策定・記録 について			
良いと思う点		改善する必要があると思う点	

サブカテゴリー4 サービスの実施

評価項目 6-4-1 子どもの発達を促すための保育を行っている			評点 ()
[ねらい]・一人ひとりの子どもの発達の過程をどのように把握しているか ・発達過程に配慮した保育がされているか			
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している		
<input type="checkbox"/>	2 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている		
<input type="checkbox"/>	3 多様な表現活動や園外活動を計画している		
<input type="checkbox"/>	4 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている		
<input type="checkbox"/>	5 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している		
評価項目 6-4-1 について			
良いと思う点		改善する必要があると思う点	

評価項目 6-4-2 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している			評点 ()
[ねらい]・子どもの状態や意向に配慮した食事提供がされているか ・子どもが食事を楽しむことができるか			
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		
<input type="checkbox"/>	2 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している		
<input type="checkbox"/>	3 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している		
<input type="checkbox"/>	4 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている		
<input type="checkbox"/>	【0歳児を受け入れている保育所のみ】 5 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている		
評価項目 6-4-2 について			
良いと思う点		改善する必要があると思う点	

評価項目 6-4-3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている			評点 ()
[ねらい]・子どもの日々の健康状態をどのように把握しているか ・医療機関との連携を基に、子どもの健康維持策を講じているか			
標準項目		私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している		
<input type="checkbox"/>	2 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある		
<input type="checkbox"/>	3 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している		
<input type="checkbox"/>	4 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている		

評価項目 6-4-3 について	
良いと思う点	改善する必要があると思う点

評価項目 6-4-4 園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている			評点 ()
[ねらい]・子どもの意向をどのように引き出しているか ・子どもにとっての望ましい環境が整備されているか			
標準項目		私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生日会、季節の行事など)		
<input type="checkbox"/>	2 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている		
<input type="checkbox"/>	3 お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている		

評価項目 6-4-4 について	
良いと思う点	改善する必要があると思う点

評価項目 6-4-5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている			評点 ()
[ねらい]・家庭との連絡を緊密に取っているか ・家庭との信頼関係を構築しているか			
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 保護者などが常時参観できるしくみがある		
<input type="checkbox"/>	2 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している		
<input type="checkbox"/>	3 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている		
<input type="checkbox"/>	4 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている		
<input type="checkbox"/>	5 保護者からの相談に応じる体制を整えている		
評価項目 6-4-5 について			
良いと思う点		改善する必要があると思う点	

評価項目 6-4-6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている			評点 ()
[ねらい]・虐待の早期発見・未然防止に取り組んでいるか ・育児困難家庭への支援を行っているか			
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		
<input type="checkbox"/>	2 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている		
<input type="checkbox"/>	3 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている		
<input type="checkbox"/>	4 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		
評価項目 6-4-6 について			
良いと思う点		改善する必要があると思う点	

評価項目 6-4-7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている			評点 ()
[ねらい]・地域との交流により、子どもの生活の幅を広げているか ・家庭と地域との関係作りについても支援しているか			
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している		
<input type="checkbox"/>	2 保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		
評価項目 6-4-7 について			
良いと思う点		改善する必要があると思う点	

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目 6-5-1 子どものプライバシー保護を徹底している			評点 ()
[ねらい]・日常の中で、どのように子どものプライバシーの保護をしているのか ・組織としての規定やしきみに則って行動しており、属人的な対応になっていないか			
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている		
<input type="checkbox"/>	2 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている		
評価項目 6-5-2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している			評点 ()
[ねらい]・日常の中で、子どもの権利を擁護し、不適切な対応を排除しているか ・保護者の価値観等による子どもの生活習慣を考慮したうえで保育をしているか			
	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		
<input type="checkbox"/>	2 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している		
<input type="checkbox"/>	3 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている		

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 について

良いと思う点		改善する必要があると思う点	
---------------	--	----------------------	--

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

評価項目 6-6-1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている			評点 ()	
[ねらい]・業務の一定水準を確保するため、手引書等を整備し、実施しているか ・業務の標準化は、対人援助の単純化や画一化をめざすものではない				
	標準項目		私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		
<input type="checkbox"/>	2	手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている		
<input type="checkbox"/>	3	提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している		
<input type="checkbox"/>	4	職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		
評価項目 6-6-2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている			評点 ()	
[ねらい]・業務の標準レベルを見直す仕組みを確立しているか ・よりよいサービスをめざし、どのようなタイミングで見直しているか				
	標準項目		私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1	提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている		
<input type="checkbox"/>	2	提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		
<input type="checkbox"/>	3	職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる		
評価項目 6-6-3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している			評点 ()	
[ねらい]・職員全体が、一定のサービス水準を確保する取り組みをしているか ・業務の標準化を図るためのOJT等多様な手段を評価する				
	標準項目		私たちの実践例	その実践の記録等
<input type="checkbox"/>	1	打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている		
<input type="checkbox"/>	2	職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している		
<input type="checkbox"/>	3	職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている		
<input type="checkbox"/>	4	職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している		
<input type="checkbox"/>	5	職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている		
サブカテゴリー6 事業所業務の標準化 について				
良いと思う点			改善する必要があると思う点	

〔平成20年度〕

職員用組織マネジメント分析シート

記入の手引き

分析シートの構成

「組織マネジメント分析シート」は、8つの大きな「カテゴリー（評価の領域）」で構成されています。

ただし、6番目のカテゴリー「6. サービス提供のプロセス」は、巻末「職員用サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」で評価し、このシートは使用しません。

評価の進め方

(1) まず「標準項目」の内容を確認し、その結果を考慮しながら「評価項目」の評価を行っていただきます。

(2) カテゴリー1～7の評価は次の評点基準で行います。当てはまると思うところに 印をつけてください。

A 標準項目をすべて満たした状態

B 標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態

C 標準項目をひとつも満たしていない状態

第三者評価の評点はA+、A、B、Cの4つですが、自己評価ではA、B、Cの3つの評点を使います。

(3) 職員用シートでは成果が上がったと思うことを記入していただき、それを参考に評価機関が第三者評価を行います。

<参考>

カテゴリー8の評価は次の評点基準で行います

A+ 計画的な取り組みによる改善傾向が確認できる状態

A 改善傾向が確認できる状態

B 取り組んでいるが改善傾向は確認できない状態

C 取り組んでいない状態

回答シート

この「組織マネジメント分析シート」で評価したうえで、回答シートに転記し、回答シートのみ提出してください。

回答シートに記入していただいた内容は、第三者評価以外には使用しません。

なお、回答シートには事業所全体として 特によいと思う点、特に改善したいと思う点（各3つ以内）を記入する欄があります。

この欄は、「職員用サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」も終わってから一番最後に記述してください。

カテゴリー 1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

評価項目		評点			標準項目
		A	B	C	
1-1-1	事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している	○	○	○	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している
					事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
					事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
					重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)
1-1-2	経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	○	○	○	経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている
					経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している
1-1-3	重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	○	○	○	重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている
					重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
					利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている

カテゴリー 2 経営における社会的責任

サブカテゴリー1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目		評点			標準項目
		A	B	C	
2-1-1	社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	○	○	○	福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している
					全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる
2-1-2	第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている	○	○	○	第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる
					透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している

サブカテゴリー2 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

評価項目		評点			標準項目
		A	B	C	
2-2-1	事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある	○	○	○	事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)
					地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている
2-2-2	ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	○	○	○	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している
					ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)
					ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている
2-2-3	地域の関係機関との連携を図っている	○	○	○	地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している
					地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている

カテゴリー 3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリー1 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目		評点			標準項目
		A	B	C	
3-1-1	利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)	○	○	○	苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている
					利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる
3-1-2	利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	○	○	○	利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる
					事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している
					利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる
3-1-3	地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	○	○	○	地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる
					福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる
					事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している

カテゴリー 4 計画の策定と着実な実行

サブカテゴリー1 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる

評価項目		評点			標準項目
		A	B	C	
4-1-1	取り組み期間に応じた課題・計画を策定している	○	○	○	理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している
					年度単位の計画を策定している
					短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる
4-1-2	多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	○	○	○	課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている
					課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている
					計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している
					計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している
4-1-3	着実な計画の実行に取り組んでいる	○	○	○	計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している
					計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている
					計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している
					計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる

サブカテゴリー2 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目		評点			標準項目
		A	B	C	
4-2-1	利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	○	○	○	利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している
					発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している
					再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている

カテゴリー 5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目		評点			標準項目
		A	B	C	
5-1-1	事業所にとって必要な人材構成にしている	○	○	○	事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している
					事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている
					適材適所の人員配置に取り組んでいる
5-1-2	職員の質の向上に取り組んでいる	○	○	○	職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している
					職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している
					個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている
					職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している
					職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している

サブカテゴリー2 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目		評点			標準項目
		A	B	C	
5-2-1	職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	○	○	○	職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している
					職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる
					職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる
5-2-2	職員のやる気向上に取り組んでいる	○	○	○	事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている
					就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる
					職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる
					福利厚生制度の充実に取り組んでいる

カテゴリー 7 情報の保護・共有

サブカテゴリー1 情報の保護・共有に取り組んでいる

評価項目		評点			標準項目
		A	B	C	
7-1-1	事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	○	○	○	情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している
					収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している
					保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している
7-1-2	個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	○	○	○	事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している
					個人情報の保護に関する規定を明示している
					開示請求に対する対応方法を明示している
					個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている

カテゴリ－8 カテゴリ－1～7に関する活動成果

○カテゴリ－8は、カテゴリ－1～7と評点のつけ方が異なり、以下のようになっています。

- 「A+」 ……計画的な取り組みによる改善傾向が確認できる状態
- 「A」 …… 改善傾向が確認できる状態
- 「B」 …… 取り組んでいるが改善傾向は確認できない状態
- 「C」 …… 取り組んでいない状態

このカテゴリ－での評価は、事業所の皆様に成果の上まったことを記入して頂き、それに基づいて評価機関が評点をつけます。

昨年と比べて成果が上がったと思う点をご記入ください。

→ こちらのカテゴリ－は「職員用 回答シート」にご記入ください。

貴事業所の特に良いと思う点、特に改善したいと思う点

○上記について3つ以内でご自由にお答え下さい。

(組織マネジメント分析シート・サービス分析シートの記入を終えてから、事業所全体としてご記入下さい。)

→ こちらは「職員用 回答シート」にご記入ください。

○ 組織マネジメント分析シート(カテゴリー1～5、7)
 (あてはまるもの一つに"○"をつけてください)

NO.	評点		
	A	B	C
1-1-1			
1-1-2			
1-1-3			
2-1-1			
2-1-2			
2-2-1			
2-2-2			
2-2-3			
3-1-1			

NO.	評点		
	A	B	C
3-1-2			
3-1-3			
4-1-1			
4-1-2			
4-1-3			
4-2-1			
5-1-1			
5-1-2			
5-2-1			

NO.	評点		
	A	B	C
5-2-2			
7-1-1			
7-1-2			

○ 昨年と比べてよくなったと思う点をご記入ください。
 (カテゴリー8 カテゴリー1～7に関する活動成果)

--

○ 貴事業所の特に良いと思う点、特に改善したいと思う点を、それぞれ3つ以内でご自由にお答え下さい。
 (組織マネジメント分析シート・サービス分析シートの記入を終えてから、事業所全体としてご記入下さい。)

特に良いと思う点 (組織マネジメント分析シート・サービス分析シートをあわせてご記入下さい。)	特に改善したいと思う点 (組織マネジメント分析シート・サービス分析シートをあわせてご記入下さい。)

〔平成20年度〕

認可保育所

職員用サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)

記入の手引き

■サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)の位置づけと構成

- (1) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、巻頭「組織マネジメント分析シート」のカテゴリー6「サービス提供のプロセス」をより詳細に評価するためのものです。
- (2) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、6つのサブカテゴリーに分かれています。
そして各サブカテゴリーはさらに評価項目、標準項目と、よりサービスの具体的な内容が記述されています。

■評価の進め方

- (1) まず「標準項目」の内容を確認し、その結果を考慮しながら「評価項目」の評価を行っていただきます。
- (2) 評価は次の評点基準で行います。当てはまるところに○印をつけてください。
A 標準項目をすべて満たした状態
B 標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態
C 標準項目をひとつも満たしていない状態
N 知らない・分からない
- (3) 自分が直接関わっていない仕事についてもなるべく自分の考えで評価してください。ただし、見当がつかないという項目については「知らない・分からない」のNに○をつけてください。

■回答シート

- (1) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」で評価したうえで、回答シートに転記し、回答シートのみ提出してください。
回答シートに記入していただいた内容は、第三者評価以外には使用しません。
- (2) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、日常の業務点検などに活用していただければ幸いです。

カテゴリ6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリ1 サービス情報の提供

評価項目	評点				標準項目
	A	B	C	N	
6-1-1 保護者等に対してサービスの情報を提供している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにして
					事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
					保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している

サブカテゴリ2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目	評点				標準項目
	A	B	C	N	
6-2-1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している
					サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている
					サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している
6-2-2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
					利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している
					サービス利用前の生活をふまえた支援をしている
					サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている

サブカテゴリ3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目	評点				標準項目
	A	B	C	N	
6-3-1 必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している
					子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
					アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている
6-3-2 必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている
					計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている
					計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている
					計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している
6-3-3 必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある
					計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している
6-3-4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している
					申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している

サブカテゴリ-4 サービスの実施

評価項目	評点				標準項目
	A	B	C	N	
6-4-1 子どもの発達を促すための保育を行っている	○	○	○	○	子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している
					子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている
					多様な表現活動や園外活動を計画している
					文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている
					障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している
6-4-2 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している	○	○	○	○	メニューや味付けなどに工夫を凝らしている
					子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している
					食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している
					快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている
					【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている
6-4-3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている	○	○	○	○	子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している
					乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある
					医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している
					保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている
6-4-4 園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている	○	○	○	○	子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)
					園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている
					お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている
6-4-5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている	○	○	○	○	保護者などが常時参観できるしくみがある
					便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している
					保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている
					保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている
					保護者からの相談に応じる体制を整えている
6-4-6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている	○	○	○	○	虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている
					職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握した際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている
					虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている
					子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている

評価項目	評点				標準項目
	A	B	C	N	
6-4-7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている	○	○	○	○	保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している
					保育所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している

サブカテゴリ-5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目	評点				標準項目
	A	B	C	N	
6-5-1 子どものプライバシー保護を徹底している	○	○	○	○	子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている
					子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている
6-5-2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している	○	○	○	○	日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している
					子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している
					子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている

サブカテゴリ-6 事業所業務の標準化

評価項目	評点				標準項目
	A	B	C	N	
6-6-1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	○	○	○	○	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている
					手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている
					提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している
					職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している
6-6-2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	○	○	○	○	提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている
					提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている
					職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる
6-6-3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	○	○	○	○	打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている
					職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している
					職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている
					職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している
					職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている

— 認可保育所版 —

職員用 : 回答シート

施設・事業所名 : _____

「A」…… 標準項目をすべて満たした状態

「C」…… 標準項目をひとつも満たしていない状態

「B」…… 標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態

「N」…… 知らない・分からない(サービス分析シートのみ)

○回答者属性 (どちらかに"○"をつけてください)

	リーダー層
	一般職員

○サービス分析シート(カテゴリー6) (あてはまるもの一つに"○"記入してください)

NO.	評点			
	A	B	C	N
6-1-1				
6-2-1				
6-2-2				
6-3-1				
6-3-2				
6-3-3				
6-3-4				

NO.	評点			
	A	B	C	N
6-4-1				
6-4-2				
6-4-3				
6-4-4				
6-4-5				
6-4-6				
6-4-7				

NO.	評点			
	A	B	C	N
6-5-1				
6-5-2				
6-6-1				
6-6-2				
6-6-3				